

長崎大学病院 医療教育開発 センター

令和6度(2024年度)業績集

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

「若人の集う 長崎大学病院」をスローガンに
医療教育開発センターは医療人教育に邁進しています！



医療教育開発センターとは



2011年2月1日、長崎大学病院の医師・歯科医師・看護師・薬剤師・メディカルスタッフ等の教育部門が集結し、全職員の生涯教育に責任を持つ部署として医療教育開発センターが設立されました。

設立の背景

1 卒後教育から生涯教育という視点



医療職の教育は、医療の進化・複雑化により、卒後から生涯に渡る教育が重視され、欧米では、卒後研修義務化、専門資格更新制度、生涯学習制度化が加速している。

2 職種間の教育の推進



WHO（世界保健機構）は、複雑化する専門分野や細分化する医療職種を統合し、チーム医療を推進するために、職種間教育を推進している。米国、カナダは予算化し推進。

3 日本における状況



平成16年度医師の卒後臨床研修の義務化、平成18年度歯科医師の臨床研修の義務化、平成22年度より看護師の卒後研修が努力義務化となった。今後、看護師卒後研修必修化、さらに薬剤師の研修必修化が予想される。

4 日本の大学病院等における状況



医学部が卒前教育を、大学病院が卒後教育をと分化させる傾向が強くなっている。さらに、医師、看護師等医療従事者のみならず一般職員の生涯教育を大学病院の専門部署が統括する傾向も出てきている。

設立の目的：3つの柱

1 全職員のキャリア開発を促進するため



若人の集う病院づくりを行うために、大学病院が、全職種の若手職員の教育及びキャリア開発に積極的に関与する。資格修得後のプロフェッショナルを目指す若人が集うためには、長崎大学病院が生涯にわたる全職種の専門職教育プログラムを病院の理念のもとに示し、医療教育開発センターが推進する必要がある。

2 職種間の教育を促進し、チーム医療を推進するため



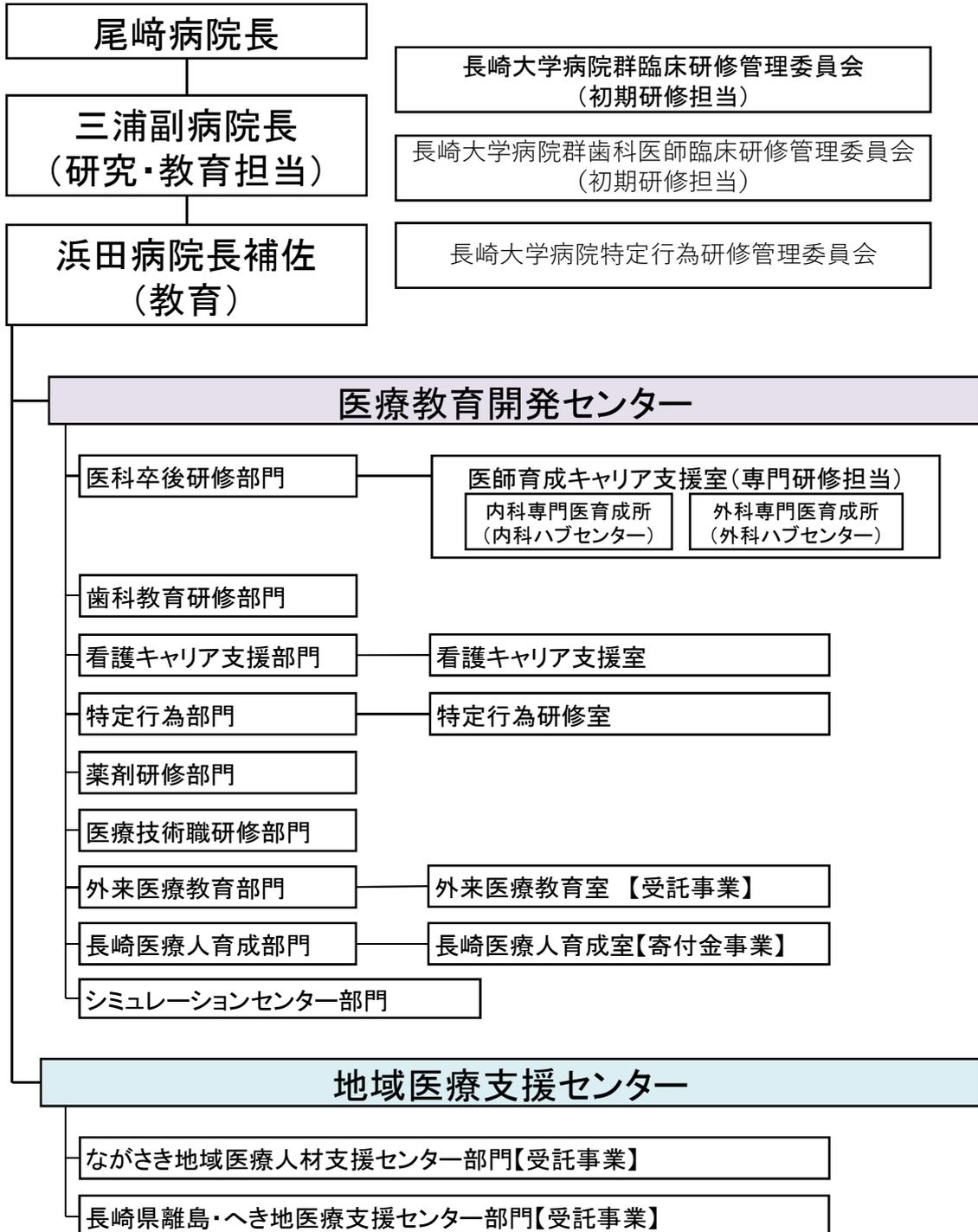
縦割りの動く巨大組織の教育部門を、横の軸でつなぐことにより、職種間の連携が促進され、チーム医療の推進ともなる。いわゆる全世界的に推進されている〈職種間教育〉を実践し、職種の壁を低くし、はたらきやすい風通しのよい職場をつくる。

3 地域の医療人教育を行うため



地域の医療人教育の質を向上させるために、シミュレーションセンター等を活用し、行政と協力しながら、地域医療人の育成を行う。

医療教育開発センター 組織図



目次

センター長 ご挨拶	P. 9
1. 医科卒後研修部門		
(1) 部門長 挨拶	P. 11
(2) 業務シート	P. 12
(3) 初期研修医マッチング実績	P. 13
(4) 初期研修 広報	P. 14
1) ホームページ		
2) ブログ		
3) SNS		
4) キャリアの軌跡		
5) PR資材の企画・制作一覧		
6) 説明会		
7) 病院見学		
(5) 初期研修 プログラム関連	P. 25
1) 研修プログラム		
2) EPOC2及びポートフォリオ		
3) グラウンドラウンド		
4) 無料英会話教室		
5) セミナー		
① 実力アップセミナー		
② 災害研修セミナー		
6) 研修医メンター制度	P. 38
7) 在宅医療研修	P. 39
(6) 医科 専門医研修のために	P. 40
1) 入局者推移		
2) 年度毎コース別登録者数の推移		
3) コース登録者の認定医・専門医取得状況		
(7) 指導医講習会	P. 44
1) 今年度実施記録		
2) 指導医講習者数推移		

(8) 採用者オリエンテーション	P. 56
1) 新規採用者オリエンテーション		
2) 中途採用者オリエンテーション		

2. 歯科教育研修部門

(1) 部門長 挨拶	P. 59
(2) 2024年度歯科教育研修部門業務シート	P. 60
(3) 歯科初期臨床研修	P. 61
1) 研修医数の推移		
2) 初期研修 広報		
3) プログラム紹介		
4) 病院見学者数の推移		
5) 研修プログラム		
6) 新規採用者オリエンテーション基礎研修プログラム		
7) 全身管理研修・専門研修選択状況		
8) 目標設定研修		
9) 総合歯科治療研修		
10) 週報		
11) 研修会		
12) 実技評価		
13) 研修医症例会発表会		
14) みなとメディカルセンター研修についてのアンケート結果		
15) 役立った研修		
(4) 歯科後期臨床研修	P. 80
1) 修練歯科医数の推移		
2) 医局別修練歯科医入職者数		
2) 修練医症例報告会		

3. 看護キャリア支援部門

- (1) 部門長 挨拶 P. 84
- (2) 2024年度 教育目標 P. 85
 - 1) 患者と家族の生活の質を高めるための看護の実践を追求する看護師を育成する
 - 2) 看護専門職者として自律した行動をとることの出来る看護師を育成する
 - 3) 教育機関としての大学病院の役割を理解し、後輩を育てる意思を持った看護師を育成する
 - 4) 高度先進医療機関としての大学病院の使命を果たせるよう自己研鑽に努める看護師を育成する
 - 5) 効率的な医療提供を目指すことで経営参画を果たすことのできる看護師を育成する

4. 薬剤研修部門

- (1) 部門長 挨拶 P. 111
 - 1) 薬剤師研修
 - 2) 研修医教育
 - 3) 看護師特定行為研修
 - 4) 薬局薬剤師研修
 - 5) 薬剤部の実績

5. 医療技術職研修部門

- (1) 部門長 挨拶 P. 123
- (2) 教育体制 P. 124
- (3) 自己評価 P. 137
- (4) 告示研修 P. 174
- (5) タスク・シフト/シェア 実施状況 P. 176

6. 特定行為部門

- (1) 部門長 挨拶 P. 179
- (2) 特定行為部門の実績 P. 179
 - 1) 令和6年度 特定行為研修部門目標
 - 2) 看護師特定行為研修生推移
- (3) 特定行為研修について P. 181
 - 1) 長崎大学病院看護師特定行為研修 研修プログラム
 - 2) 協力施設における特定行為研修支援
 - 3) 看護師特定行為研修に関する説明会
- (4) 特定行為研修を修了した看護師（特定看護師）への支援 P. 189
 - 1) 特定行為研修修了者推移
 - 2) 研修修了者へのフォローアップ研修
 - 3) 活動報告会
- (5) 特定行為研修指導者育成 P. 198
- (6) 広報の充実に向けて P. 199
 - 1) 特定行為研修ホームページ
 - 2) 特定行為研修Facebook
 - 3) 特定行為研修instagram
 - 4) 看護師特定行為Report

7. 外来医療教育部門

- (1) 部門長 挨拶 P. 201
- (2) 目標 P. 202
- (3) 目標に対する結果 P. 202

8. 長崎医療人育成部門

(1) 長崎医療人育成室とは	P. 212
(2) N-MECの各支部目標	P. 213
1) N-MEC長崎記念病院支部の目標		
2) N-MEC済生会長崎病院支部の目標		
3) N-MEC長崎みなとメディカルセンター支部の目標		
(3) N-MEC医科部門活動報告	P. 216
1) 長崎記念病院		
2) 済生会長崎病院		
(4) N-MEC歯科部門活動報告	P. 223

9. シミュレーションセンター

(1) 部門長 挨拶	P. 230
(2) シミュレーションセンター概要	P. 231
(3) 利用者数・職種別利用者数	P. 232
(4) 教育プログラム	P. 234
(5) シミュレータについて	P. 235
(6) キッズセミナーについて	P. 237

センター長挨拶

日頃より、当センターの教育活動にご協力頂きありがとうございます！
本業績集は、長崎大学病院の理念の実現のために、臨床教育を、職種を超えて組織的・効率的・効果的に行った医療教育開発センターの記録集であります。教育にご尽力して頂いた医療者の皆様、事務員の皆様に心より御礼申し上げます。また、患者さんのご協力にも心より感謝申し上げます。

【働き方改革の中での、医療者教育を充実させようとしています】

アフターコロナ時代となった2024年より、「医師の働き方改革」が法制化され、開始されました。もちろん、医師だけでなく、すべての職種の働き方改革を推進されることが、望まれております。

本センターでも、働き方改革を推進すべく、新人職員の残業時間の厳密な管理の実施を続けております。働き方改革では、時間管理だけでなく、様々なことが求められます。健康管理、特にメンタルヘルスケアが重要視され、臨床心理士との連携などを実践されています。さらに、タスクシフト/シェアや他職種との協力、医療機関のシステム導入など、様々な取り組みが求められおり、当センターは、多職種の連携で、それらを前進させようとしています。

【現場は、多くのジレンマを抱えているのが現実です】

そこで、働き方改革の現場のジレンマを、Chat GPTに聞いてみました。

① 患者安全 vs. 労働時間の制限（具体例、夜間当直明けの医師が休めないと、判断ミスリスクが上昇するが、休ませると診療体制が回らない）② 教育・研修 vs. 労働時間上限（症例数を減らす、当直や救急対応の機会が減るなど）③ 医師の健康 vs. 医療提供体制の維持（地方病院や中小病院では医師数が少なく、交代制が困難）④ 効率化 vs. 医療の質・丁寧さ⑤ 責任の所在 vs. チーム医療⑥ 社会の期待 vs. 現実的な人的資源……

さすがです、おっしゃる通りです。指導者のジレンマは沢山あります。この解決方法もChat GPTに聞いてみましたが、ありきたりの回答でした。

確かに、Chat GPT等生成AIを使用して、働き方改革の中で、ジレンマを解決する方法もあると思います。しかしながら、ひとつひとつの問題を、我々が、真摯に向き合い、話し合い、解決策を見つけるしかないと思います。

教育の問題は、必ず解決方法があると信じています。そのためにも、我々指導者が、勉強していく必要があると思います。教育は、価値ある変化で、人を幸せにし、自分を幸せにし、世の中を良くするものだと思じて、一緒に前に進みましょう！

2024年業績集によせて 長崎大学病院
医療教育開発センターセンター長（教授） 浜田 久之

1. 医科卒後研修部門

(1) 部門長 挨拶

2024年度は、全国国立大学病院長会議の第20回臨床研修協議会を開催いたしました。第55回日本医学教育学会大会開催（2023年）ほか、当院の層の厚い教育体制を全国的に認知いただけてきた証かと思えます。新しい試みとして、全国の国立大学病院へ先に先立ちニーズアセスメントを行い、議題テーマを決定いたしました。なぜ、全国的に研修医の大学病院離れが進んでいるのか協議し、文科省・厚労省からの最新の医学教育の動向をご講演いただくなど、大変充実したプログラムとなりました。多くの方にご参画いただきありがとうございました。今後の大学病院として改善していくべき課題について共有し、次年度の開催校へ引き継いでまいります。

「研修プログラム」

研修プログラムの見直しと研修医の待遇改善に取り組んできました。2024年度は42名と倍増し、2023年度入職予定者のマッチングは21名と過去最低の状況から一気にコロナ前まで回復いたしました。研修医、指導者、環境・管理側の三視点で改善点を見つめ直しました。病院長をはじめ全病院的にご協力をいただき、①過去実現してこなかった給与など待遇の改善を実現したこと、②長崎大学病院群のプレゼンスを学会活動などを通してしめすことができたこと、③コロナ禍が明け、県内病院とともに指導体制を見直し、院内のプログラム充実のため、研修医の自主性、裁量権を高めるよう各診療科、診療部門への協力依頼が進んだことの3点が実を結んだと思われまます。2025年度は入職予定者35名とさらなる増加は達成できませんでした。大学病院の40名を目標としております。研修プログラムは継続的に改善し続ける必要があると思っておりますので引き続き三視点の改善に取り組んでいきます。

「ダイバーシティの推進とキャリア支援」

医学部生のキャリアに関する講義参加やワークライフバランスセンターの支援を通して活動しました。キャリア支援としては、研修医メンター制度が定着し、安定して運用しています。2025年度は育児中の研修医受け入れを予定しておりますので、時間管理などのサポートを行ってまいります。働き方改革により、研修医の時間の使い方を定期的に管理しつつも、診療参加を過度に抑制しないように、時間外勤務が長時間にわたる研修医のみの注意喚起としています。

「多職種連携」

卒前では歯学部・薬学部講義、卒後では看護部門の指導者講習や特定行為看護師講習ほか、他部門の研修について講師として教育を行っています。研修医への360度評価は安定的に実施できるようになってまいりましたが、多職種への相互評価は不十分であるため、今後の課題です。2025年度からは、N-MECの統括として看護部より小淵美樹子室長が就任されますので、院外看護部との連携教育も強化していきます。

2025年度は、NPO 法人卒後臨床研修評価機構（JCPEP）の第三者評価の更新が控えており、この機会に全病院的に臨床研修病院としての体制・環境の見直しを行います。また、卒前・卒後のシームレスな教育を充実するために、卒前教育との定期的な情報交換を予定しており、連携体制の強化を図ってまいります。臨床研修プログラムとしては、国際貢献、感染症・熱帯医学、公衆衛生教育の充実を図るため、海外施設との連携を検討開始しております。

当センターの活動に対する、ご協力とご支援を、これからもどうぞよろしく申し上げます。

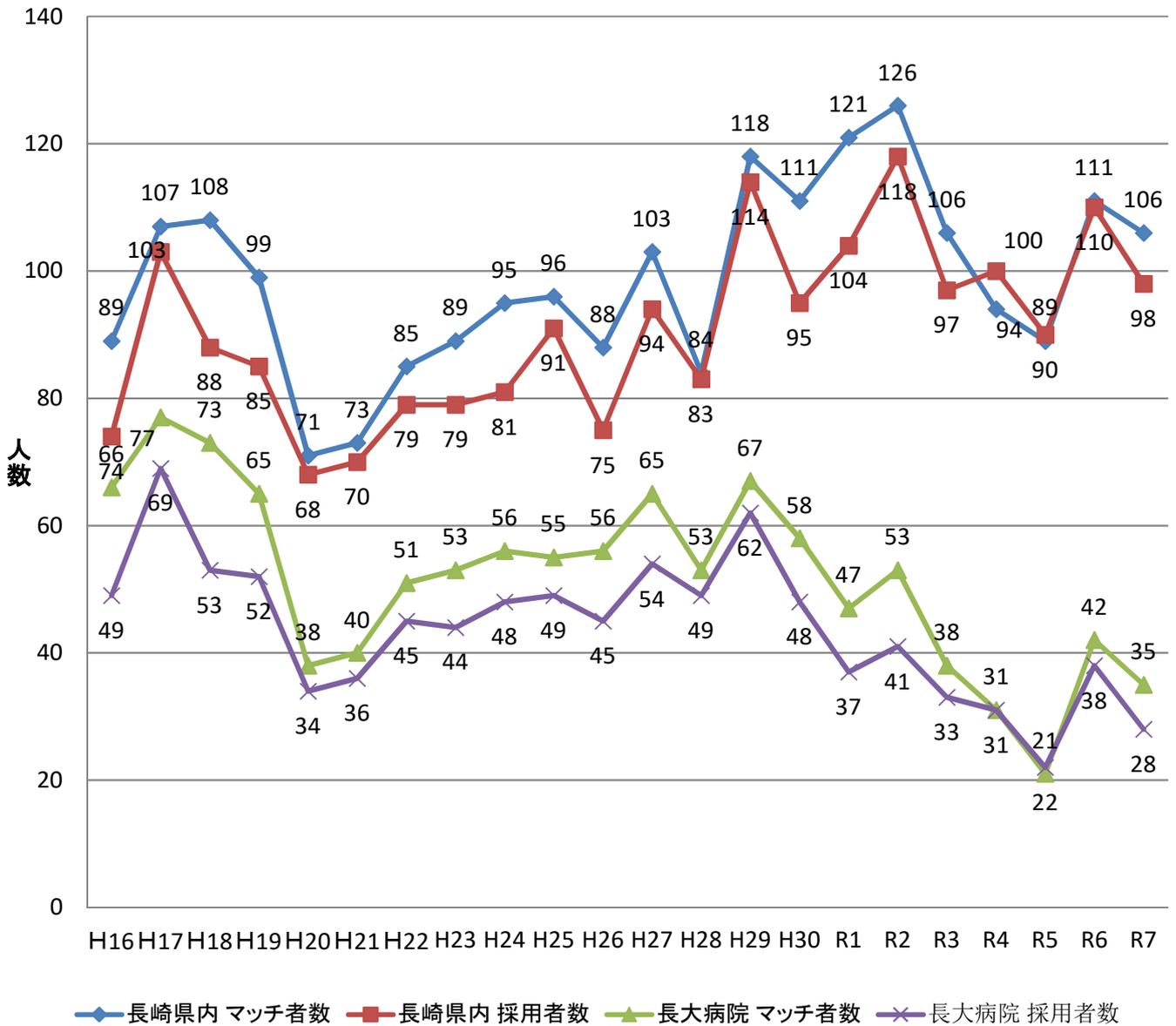
医療教育開発センター
医科卒後研修部門長 松島加代子

(2) 医科卒業後研修部門 業務シート

分野	大項目	中項目	小項目	責任担当	サブ
	定例業務として行うべき項目				
医師部門	研修医の獲得に関すること	① 長大生への説明年3回以上	6月、8月、12月頃(オンラインor対面)	松島	前田
		② 新・鳴滝塾主催説明会年2回以上	6月、12月頃	竹中	前田
		③ ホームページの刷新	構造の見直し	畑山	
		④	指導医、研修医のコメント刷新	畑山	
		⑤ SNS活用法の修正	アクセスの分析	畑山	
		⑥ たすきがけガイドブックの作成	2月頃	畑山	前田
	専攻医の獲得に関すること	① 各専門医プログラムの課題調査	各プログラム専攻医アンケート	前畑	松島
		②	シーリングのかかる科に関して対策検討会	松島	前畑
		③	専攻医パンフレット「ながさきのて」刷新	松島	前畑
		④ 専門医プログラムへ説明会実施依頼年2回	7月、2月頃	松島	前畑
		⑤ 各医局へメールによる情報提供 年3回	7月、9月、2月頃	松島	大塚
	研修医の評価に関すること	① オンライン評価システムの運用再考	N-port運用状況確認	高島	大塚・松島
		② ポートフォリオの見直し	3月頃	松島	竹中・梅田
	専攻医の評価に関すること	① プログラム運営の問題点の抽出	専攻医へアンケート	松島	前畑
		② 専門医プログラム進捗の確認	年度ごとの進捗確認をまとめて提出していただく	前畑	松島
	学術活動	① 研修医・専攻医に関わる学会発表を年1回	研修医・専攻医に関わる学会発表を年1回	浜田	松島
		② 研修医・専攻医に関わる論文発表を年1回	研修医・専攻医に関わる論文発表を年1回	浜田	松島
	部門発展のための項目(NGS)				
医師部門	New interactive systems				
	卒前との連携	① 定期ミーティングの開催	1ヶ月に1回	松島	牟田
	対話型研修システムの導入	② N-portの活用徹底		大塚	高島
		③ 事務間の申し送り、ミーティング改定		松島	高山/前田
	ICT教育推進	④ オンラインセミナーの充実		松島	梅田
	Gender & Generation free				
	支援システムの手配	① イベント時の託児所の手配	mWLBとの連携	松島	
		② 育児・介護情報提供	mWLBとの連携	松島	
	多様性に関わる講習会	③ 多様性教育	mWLBとの連携	松島	
	ワークライフバランス 進路個別相談	④ 随時	随時	松島	大塚
	Synergy with interprofessional education				
	専門職間教育(IPE)	① 多職種業務体験	2026年度までに実施	松島	前田
		② 地域医療チーム参画	保健所業務参画、住民への講義	松島	前田
		③ 終末期医療	ACP講義	松島	竹中
	Self career dock				
	研修医時代のキャリア支援	① 研修医メンター制度	メンター制度の継続	松島	前田
		② 研修医メンター制度研修医からの評価	研修医へのアンケート	松島	前田
		③ 研修医メンター制度指導医からの評価	メンターへのアンケート	松島	前田
	生涯教育・進路教育	④ 随時	随時	松島	各担任 指導医
	長崎での研修者同窓会	⑤ 同窓会ネットワークの作成	同窓会名簿の作成(2025年度内)	前田	畑山
	キャリアコンサルティング	⑥ 医師のキャリア情報提供 (留学、医政技官、保健所)	オンラインでグランドラウンドを開催(年1回)	松島	梅田

(3) 初期研修医マッチング実績

長崎県内 マッチング・採用者数



(4) 初期研修 広報

1) ホームページ (<http://www.mh.nagasaki-u.ac.jp/kaihatu/>)

ホームページとブログをそれぞれ運営。ホームページは週に1度、ブログは毎日更新しており、医学生や研修医に向けて常に新しい情報を発信している。

■ トップページ



- ・一番上に医科・歯科初期研修医・専攻医採用募集要項、病院見学のバナーを設置。内部へ誘導。

- ・常時、PR動画を埋め込み、上映

■ 内容

初期臨床研修や後期臨床研修の募集についての他、病院見学の案内、当センター主催のイベント告知、開催実績など。研修医獲得に向けた情報のすべてをここで確認できる。

募集要項



イベント・セミナー



病院見学



専門研修プログラム説明会



■ ホームページ訪問者数 年度推移

年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
合計	19,803	19,994	33,992 ※1	41,208	52,608	55,499	45,957 ※2	58,489	58,995	58,342	69,796	73,063	64,656	61,632	6,811 ※3	26,814

※1) 平成23年5月より、初期研修部門などのHPと合併。医療教育開発センターのHPとしてリニューアル。

※2) 平成27年4月～7月までのデータを解析できなかったため数字が下がっている。

※3) 2023年に旧Google Analyticsが終了したため、データが集計できる範囲が2023年10月1日以降となるため減少している。

2024年4月1日～ 2025年3月31日の アクセスレポート

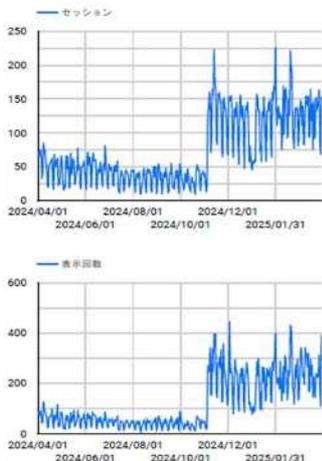
アクセスレポート
2024年4月1日～2025年3月31日

セッション
26,814

表示回数
43,487

総ユーザー数
15,612

新規ユーザー数
15,513



ページタイトル	セッション	表示回数
1. 長崎大学病院 医療教育開発セン...	13,666	16,245
2. 医科初期臨床研修(長崎大学病院)	2,048	2,595
3. 卒後10年目特集 医科後期臨床研...	1,775	2,159
4. スタッフ紹介 医療教育開発セン...	1,221	1,264
5. フォト&イベント開催実績 長崎...	1,022	1,230
6. 令和7年度初期臨床研修医募集の...	915	1,078
7. フォトギャラリー 長崎大学病院	882	1,042
8. 南科臨床(初期・後期)研修(長崎大...	793	1,169
9. 研修プログラム 医科初期臨床研...	692	845
10. 専門研修プログラム説明会、各種...	635	777

検索キーワード	Clicks
1. opap 設定	301
2. pc above peep 意味	266
3. 人工呼吸器	251
4. 長崎大学病院 研修医	226
5. 人工呼吸器 設定	225
6. レスビラトリリーキノロン錠	224
7. 人工呼吸器 pc ps 違い	223
8. pc above peep ps 違い	211
9. opap 設定項目	196
10. above peep	187



セッションのデフォルト...	セッション
1. Organic Search	15,292
2. Direct	9,925
3. Organic Social	1,100
4. Referral	491
5. Unassigned	224

ユーザーの最初の参照元	セッション
1. (direct)	10,855
2. google	9,884
3. yahoo	3,263
4. bing	885
5. l.instagram.com	664

2) ブログ

■アドレス

<http://careerngs.exblog.jp/>

■内容

初期研修医の日々の研修風景を掲載。全国の医学生に長崎大学病院での研修を身近に感じてもらえるように情報発信している。また、当センター主催のイベント告知にも活用。



研修医の日々



イベント開催実績



■アクセス数 年度推移

年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計	44,545	101,649	89,051 ※1	75,736	76,420	76,040	61,966	88,297 ※2	166,440	209,234	250,174	253,982	242,848	203,101	164,562	130,566

※1) 平成23年～平成28年7月：PCのみのアクセス数

※2) 平成28年8月～現在：PC+モバイルの総合アクセス数

→exciteブログ側の事情：平成28年8月からモバイルアクセス数も集計されるようになった

※平成28年8月のデータ：一定期間データの集計不足あり

3) SNS

ホームページの下部に、各SNSのリンクアイコンを設置。
情報の受け手のニーズを考え、徐々に発信を増やしている。



Instagram



Facebook



	Instagram	Facebook	X
令和6 4月	1180	669	137
5月	1187	669	137
6月	1192	668	137
7月	1257	670	137
8月	1270	671	137
9月	1320	671	139
10月	1361	671	141
11月	1365	672	141
12月	1376	673	142
令和7年 1月	1420	672	143
2月	1456	673	143
3月	1470	673	143

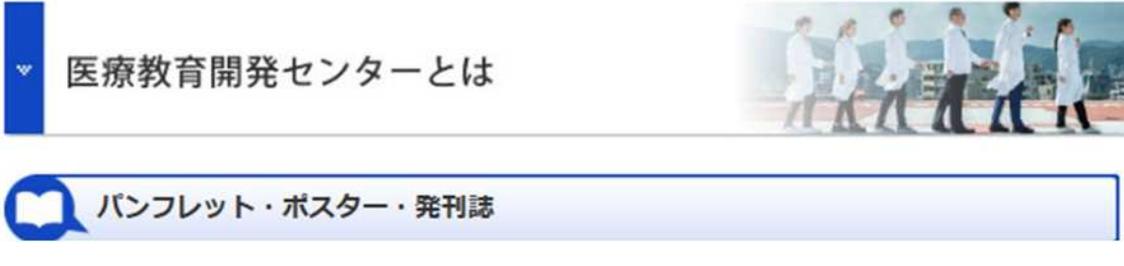
1) SNSの中では、Instagramのフォロワー数が1番伸びており、研修医・医学生共に反響も大きいので、引き続き積極的に運用して行く。

4) キャリアの軌跡

医学生や後期研修先を探している研修医に向けて、定期的にミニコミ紙を発行している。長崎大学病院の研修プログラムの特色や環境についてのほか、研修医の活躍、各種セミナーの開催模様などを掲載。長崎大学病院の魅力を伝えるための宣伝ツールに活用している。

当センターHPでも『キャリアの軌跡』のページを設けています。

<https://www.mh.nagasaki-u.ac.jp/kaihatu/center/staff/pamphlet/>



第90号（令和6年5月発行）

S先生(佐賀大学出身)
丁寧な指導体制とウェルカム感！

研修医1年目に開いたわたしが長大病院を選んだ理由

F先生(宮崎大学出身)
がんばった分だけ前に進める熱心な指導！

T先生(東京慈恵会医科大学)
先生からすぐにフィードバックをもらえるから学びやすい！

キャリアの軌跡 VOL.90

長崎大学病院 医療教育開発センター発行

長崎大学病院 WEB 病院説明会

初期研修病院の選び方がわかる1時間

今年マッチング対象の方、これから見学を考えている方、初期研修やマッチングのことをまだ何も考えていない方—どんな人でもウェルカムな説明会です！ご都合の良い日程にお気軽にご参加ください！

5/22 (日) 18:30-19:30

参加申込はコチラ！

主催・問い合わせ 長崎大学病院 医療教育開発センター 電話：095-819-1319

令和7年度採用 初期臨床研修医募集中

～2次募集の予定はありませんので、この機会にぜひご応募ください～

面接日程が決定しました！応募方法等の詳細は、5/24(金)にホームページに掲載予定です。歴史ある長崎大学病院で一緒に研修しませんか？みなさまのご応募をお待ちしております！！

●面接日程

面接日	R/27(日)	R/28(月)	R/29(火)	R/30(水)	R/31(木)	R/1(金)
午前	9:30-12:30	9:30-12:30	9:30-12:30	9:30-12:30	9:30-12:30	9:30-12:30
午後	13:30-16:30	13:30-16:30	13:30-16:30	13:30-16:30	13:30-16:30	13:30-16:30
応募受付	R/14(金) 必着		R/15(土) 必着		R/16(日) 必着	

詳細は、ホームページをご覧ください

【発行元】長崎大学病院 医療教育開発センター

095-819-7874

mhr.insho@ml.nagasaki-u.ac.jp

5) PR資材の企画・制作一覧

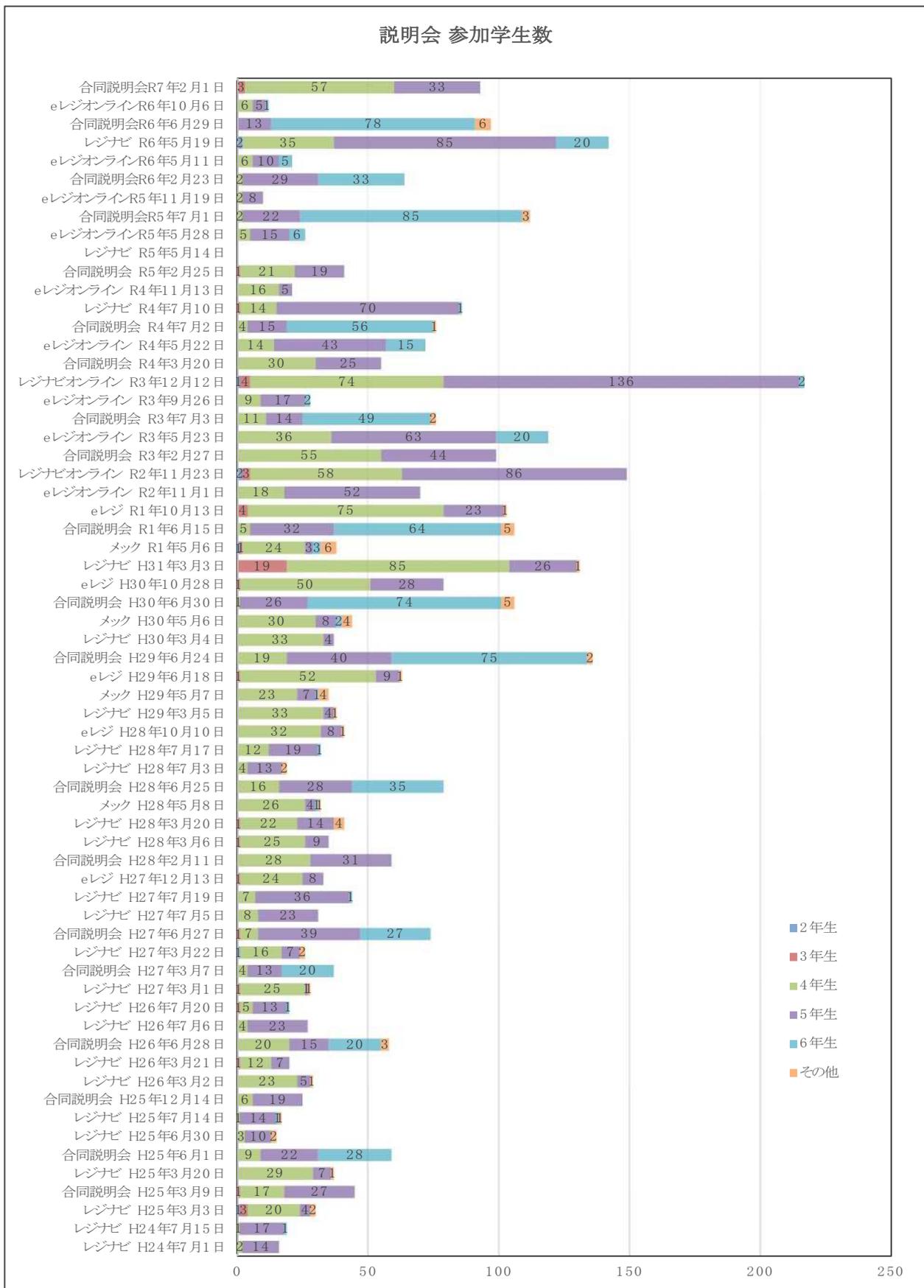
◆募集ポスター



◆たすきがけガイドブック



6) 説明会



合同説明会

	<p>【日時】平成25年3月9日（土） 11：00～16：00 【場所】長崎新聞文化ホール アストピア 【対象】医学部学生（3、4、5年生） 【ブース参加】長崎県内16研修病院 【参加学生数】45名</p>
	<p>【日時】平成25年6月1日（土） 15：00～19：00 【場所】長崎新聞文化ホール アストピア 【対象】医学部学生（4、5、6年生） 【ブース参加】長崎県内15研修病院 【参加学生数】57名</p>
	<p>【日時】平成26年3月9日（土） 13：00～17：30 【場所】長崎新聞文化ホール アストピア 【対象】医学部学生（3、4、5年生） 【ブース参加】長崎県内17研修病院 【参加学生数】23名</p>
	<p>【日時】平成26年6月28日（土） 10：00～13：00 【場所】長崎新聞文化ホール アストピア 【対象】医学部学生（4、5、6年生） 【ブース参加】長崎県内15研修病院 【参加学生数】58名</p>
	<p>【日時】平成27年3月7日（土） 10：00～13：00 【場所】長崎新聞文化ホール アストピア 【対象】医学部学生（3、4、5年生） 【ブース参加】長崎県内15研修病院 【参加学生数】37名</p>
	<p>【日時】平成27年6月27日（土） 11：00～14：50 【場所】NBC別館 【対象】医学部学生（学年制限なし） 【ブース参加】長崎県内15研修病院 【参加学生数】74名</p>
	<p>【日時】平成28年2月11日（木・祝） 13：30～17：00 【場所】長崎新聞文化ホール アストピア 【対象】医学部学生（3、4、5年生） 【ブース参加】長崎県内15研修病院 【参加学生数】59名</p>
	<p>【日時】平成28年6月25日（土） 13：00～17：00 【場所】長崎大学病院 【対象】医学部学生（4、5、6年生） 【ブース参加】長崎県内15研修病院 【参加学生数】79名</p>
	<p>【日時】平成29年6月24日（土） 13：00～17：00 【場所】長崎大学病院 【対象】医学部学生（4、5、6年生） 【ブース参加】長崎県内15研修病院 【参加学生数】80名</p>
	<p>【日時】平成30年6月30日（土） 13：00～17：00 【場所】長崎大学病院 【対象】医学部学生（4、5、6年生） 【ブース参加】長崎県内15研修病院 【参加学生数】106名</p>

	<p>【日時】令和1年6月15日(土) 13:00~17:00</p> <p>【場所】長崎大学病院</p> <p>【対象】医学部学生(4、5、6年生)</p> <p>【ブース参加】長崎県内15研修病院</p> <p>【参加学生数】106名</p>
	<p>【日時】令和3年2月27日(土) 13:00~17:00</p> <p>【場所】長崎大学病院</p> <p>【対象】医学部学生(4、5年生)</p> <p>【ブース参加】長崎県内12研修病院</p> <p>【参加学生数】99名</p>
	<p>【日時】令和3年7月3日(土) 10:00~12:00</p> <p>【場所】長崎大学病院</p> <p>【対象】医学部学生(4、5、6年生)</p> <p>【ブース参加】長崎県内14研修病院</p> <p>【参加学生数】76名</p>
	<p>【日時】令和4年3月20日(日) 13:00~17:00</p> <p>【場所】長崎大学病院</p> <p>【対象】医学部学生(4、5年生)</p> <p>【ブース参加】長崎県内13研修病院</p> <p>【参加学生数】55名</p>
	<p>【日時】令和4年7月2日(土) 10:00~12:00</p> <p>【場所】長崎大学病院</p> <p>【対象】医学部学生(4、5、6年生・既卒)</p> <p>【ブース参加】長崎県内13研修病院</p> <p>【参加学生数】76名</p>
	<p>【日時】令和5年2月25日(土) 13:00~17:00</p> <p>【場所】長崎大学病院</p> <p>【対象】医学部学生(3、4、5年生)</p> <p>【ブース参加】長崎県内15研修病院</p> <p>【参加学生数】41名</p>
	<p>【日時】令和5年7月1日(土) 10:00~12:00</p> <p>【場所】長崎大学病院</p> <p>【対象】医学部学生(4、5、6年生・既卒)</p> <p>【ブース参加】長崎県内14研修病院</p> <p>【参加学生数】114名</p>
	<p>【日時】令和6年2月23日(土) 13:00~17:00</p> <p>【場所】長崎大学病院</p> <p>【対象】医学部学生(3、4、5年生)</p> <p>【ブース参加】長崎県内15研修病院</p> <p>【参加学生数】64名</p>
	<p>【日時】令和7年2月1日(土) 13:00~17:00</p> <p>【場所】長崎大学病院</p> <p>【対象】医学部学生(3、4、5年生)</p> <p>【ブース参加】長崎県内15研修病院</p> <p>【参加学生数】93名</p>

レジナビフェア

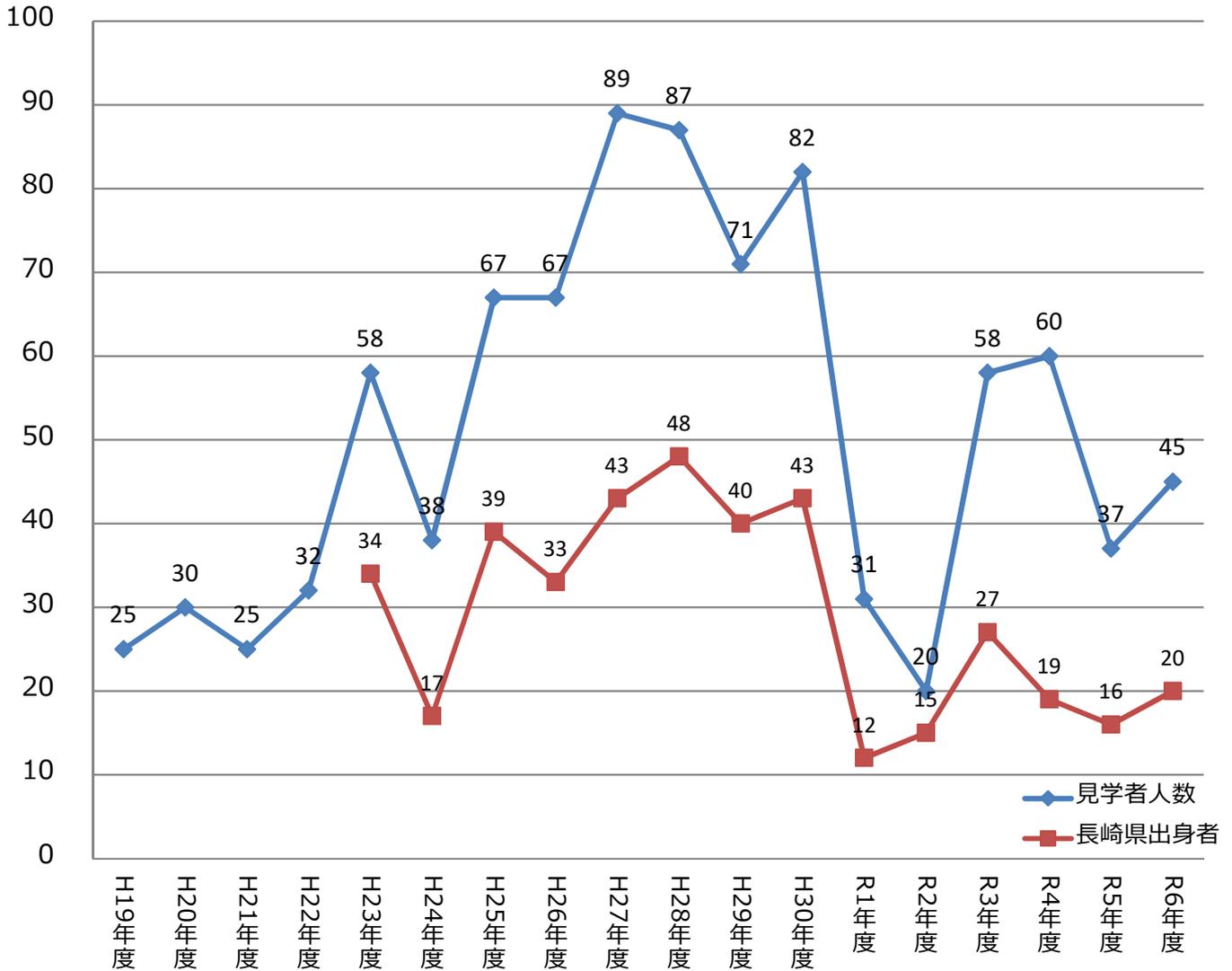
レジナビフェア2012 in 大阪	【日時】平成24年7月1日（日） 10：00～17：00 【場所】インテックス大阪 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】16名
レジナビフェア2012 in 東京	【日時】平成24年7月15日（日） 10：00～17：00 【場所】東京ビッグサイト 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】19名
レジナビフェア2013 in 福岡	【日時】平成25年3月3日（日） 10：00～17：00 【場所】福岡国際センター 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】30名
レジナビフェア スプリング 2013 in 東京	【日時】平成25年3月20日（水） 10：00～17：00 【場所】東京ビッグサイト 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】37名
レジナビフェア2013 in 大阪	【日時】平成25年6月30日（日） 10：00～17：00 【場所】インテックス大阪 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】15名
レジナビフェア2013 in 東京	【日時】平成25年7月14日（日） 10：00～17：00 【場所】東京ビッグサイト 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】17名
レジナビフェア2014 in 福岡	【日時】平成26年3月2日（日） 10：00～17：00 【場所】マリメッセ福岡 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】29名
レジナビフェア スプリング 2014 in 東京	【日時】平成26年3月21日（金） 10：00～17：00 【場所】東京ビッグサイト 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】20名
レジナビフェア2014 in 大阪	【日時】平成26年7月6日（日） 10：00～17：00 【場所】インテックス大阪 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】27名
レジナビフェア2014 in 東京	【日時】平成26年7月20日（日） 10：00～17：00 【場所】東京ビッグサイト 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】20名
レジナビフェア2015 in 福岡	【日時】平成27年3月1日（日） 10：00～17：00 【場所】マリメッセ福岡 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】28名
レジナビフェア スプリング 2015 in 東京	【日時】平成27年3月22日（日） 10：00～17：00 【場所】東京ビッグサイト 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】26名
レジナビフェア2015 in 大阪	【日時】平成27年7月5日（日） 10：00～17：00 【場所】インテックス大阪 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】31名
レジナビフェア2015 in 東京	【日時】平成27年7月19日（日・祝） 10：00～17：00 【場所】東京ビッグサイト 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】44名

レジナビフェア

レジナビフェア2016 in 福岡	【日時】平成28年3月6日（日） 10：00～17：00 【場所】マリンメッセ福岡 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】35名
レジナビフェア スプリング 2016 in 東京	【日時】平成28年3月20日（日） 10：00～17：00 【場所】東京ビッグサイト 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】41名
レジナビフェア2016 in 大阪	【日時】平成28年7月3日（日） 10：00～17：00 【場所】インテックス大阪 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】19名
レジナビフェア2016 in 東京	【日時】平成28年7月17日（日） 10：00～17：00 【場所】東京ビッグサイト 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】32名
レジナビフェア2017 in 福岡	【日時】平成29年3月6日（日） 10：00～17：00 【場所】マリンメッセ福岡 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】38名
レジナビフェア2018 in 福岡	【日時】平成30年3月4日（日） 10：00～16：30 【場所】マリンメッセ福岡 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】37名
レジナビフェア2019 in 福岡	【日時】平成31年3月3日（日） 10：00～16：30 【場所】マリンメッセ福岡 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】64名
レジナビFairオンライン長崎県	【日時】令和2年11月23日（祝・月） 10：00～17：20 【場所】各病院 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】124名
レジナビFairオンライン長崎県	【日時】令和3年12月12日（日） 10：00～16：20 【場所】各病院 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】125名
レジナビフェア2022 in 福岡	【日時】令和4年7月10日（日） 10：00～16：30 【場所】博多国際会議場 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】86名
レジナビフェア2023 in 福岡	【日時】令和5年5月14日（日） 10：00～16：00 【場所】博多国際会議場 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】131名
レジナビフェア2024 in 福岡	【日時】令和6年5月19日（日） 10：00～16：00 【場所】マリンメッセ福岡 【対象】医学部学生 【ブース訪問者数】142名

7) 病院見学

長崎大学病院 病院見学者数 推移（初期研修）



(5) 初期研修 プログラム関連

1) 令和6年度 研修プログラム

■ 募集定員55名

▼ 基本プログラム (定員51人)

	研修1年目	研修2年目
Aコース	長崎大学病院 内科(24週)、救急(12週) ^{注1} 、地域医療(4週)、外科(4週)、小児科(4週)、産婦人科(4週)、精神科(4週)、一般外来(4週) ^{注2} 、選択科(48週)	研修協力病院(※)
※新設 Bコース	研修協力病院(※)	長崎大学病院 内科(24週)、救急(12週) ^{注1} 、地域医療(4週)、外科(4週)、小児科(4週)、産婦人科(4週)、精神科(4週)、一般外来(4週) ^{注2} 、選択科(48週)
Cコース ^{注3} (トライアングルコース)	長崎大学病院 + 新・鳴滝塾構成病院 ^{注4} 内科(24週)、救急(12週) ^{注1} 、地域医療(4週)、外科(4週)、小児科(4週)、産婦人科(4週)、精神科(4週)、一般外来(4週) ^{注2} 、選択科(48週)	
Dコース	長崎大学病院 内科(24週)、救急(12週) ^{注1} 、地域医療(4週)、外科(4週)、小児科(4週)、産婦人科(4週)、精神科(4週)、一般外来(4週) ^{注2} 、選択科(48週)	

▼ 周産期重点プログラム (定員4人)

	研修1年目	研修2年目
Aコース	長崎大学病院 内科(24週)、救急(12週) ^{注1} 、地域医療(4週)、外科(4週)、精神科(4週)、一般外来(4週) ^{注2} 、選択科(44週) 小児科(8週)及び産婦人科(4週) または 小児科(4週)及び産婦人科(8週)	研修協力病院(※)
Bコース	長崎大学病院 内科(24週)、救急(12週) ^{注1} 、地域医療(4週)、外科(4週)、精神科(4週)、一般外来(4週) ^{注2} 、選択科(44週) 小児科(8週)及び産婦人科(4週) または 小児科(4週)及び産婦人科(8週)	
Cコース ^{注3} (トライアングルコース)	長崎大学病院 + 新・鳴滝塾構成病院 ^{注4} 内科(24週)、救急(12週) ^{注1} 、地域医療(4週)、外科(4週)、精神科(4週)、一般外来(4週) ^{注2} 、選択科(44週) 小児科(8週)及び産婦人科(4週) または 小児科(4週)及び産婦人科(8週)	

※アカデミック(大学院進学)コース(NU-CLEARコース)

長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター、日本赤十字社長崎原爆病院、済生会長崎病院、上戸町病院等の長崎市内の協力病院に限る。

注1：4週を上限として、麻酔科の研修期間を救急の研修期間とすることができる。

注2：一般外来は並行研修可能。

注3：長崎大学病院で地域研修1か月を含む12か月以上研修し、残りを本院以外の研修可能な施設及び地域研修施設(約60施設)から2病院を選択し研修する。

注4：研修可能な施設についてはP9を参照。

※研修協力病院

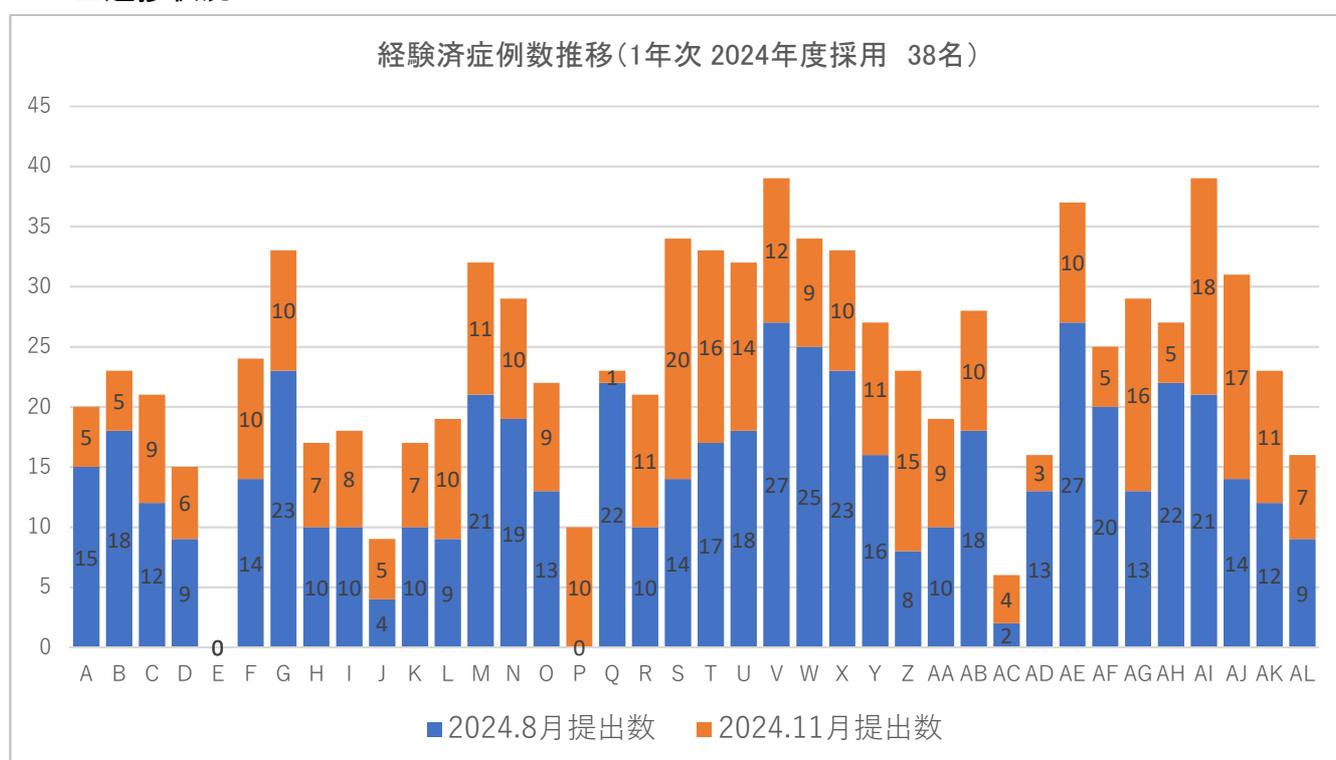
長崎みなとメディカルセンター、佐世保市総合医療センター、日本赤十字社長崎原爆病院、上戸町病院、諫早総合病院、白十字会佐世保中央病院、大分県立病院、国立病院機構端野医療センター、国立病院機構佐賀病院、済生会長崎病院、市立大村市民病院、国立病院機構長崎医療センター、北九州市立八幡病院、浜松医療センター、山口県立総合医療センター、北九州総合病院、五島中央病院、特定医療法人光晴会病院、医療法人厚生会虹が丘病院、社会医療法人長崎記念病院、長崎県島原病院、国立病院機構長崎川棚医療センター、長崎労災病院、周南記念病院、鎌馬光が丘病院、聖マリアンナ医科大学病院、東京北医療センター、佐世保共済病院、福岡青洲会病院

2) PG-EPOC及びポートフォリオ

初期研修修了規定に基づき、大学病院では2020年度よりEPOC2を導入した。2023年よりEPOC2 からPG-EPOCに名称が変更になり、各ターム終了ごとにPG-EPOCの進捗状況を把握している。また、旧制度からのポートフォリオも一部継続しており、レポートやフィードバックシートを年に数回開催される「ポートフォリオ講習会(缶詰の日)」の際にセンター担任がチェックをする。この時に、PG-EPOCの入力状況も把握しておく。

令和6年度は大学病院内に在籍している36名（1年次36名、2年次0名）とたすきがけにて関連病院在籍の24名（1年次2名、2年次22名）の経験症例や、レポート、フィードバックシートをセンター担任がチェックをする。関連病院研修中の研修医のチェックは年2回行われるセンター指導医との面談時に行う。毎年2月に管理委員会が開催され、合否が確定されるため、2年次の12月迄に必須・選択・地域研修を経験し、レポートを完成できるように研修医に告知をする。

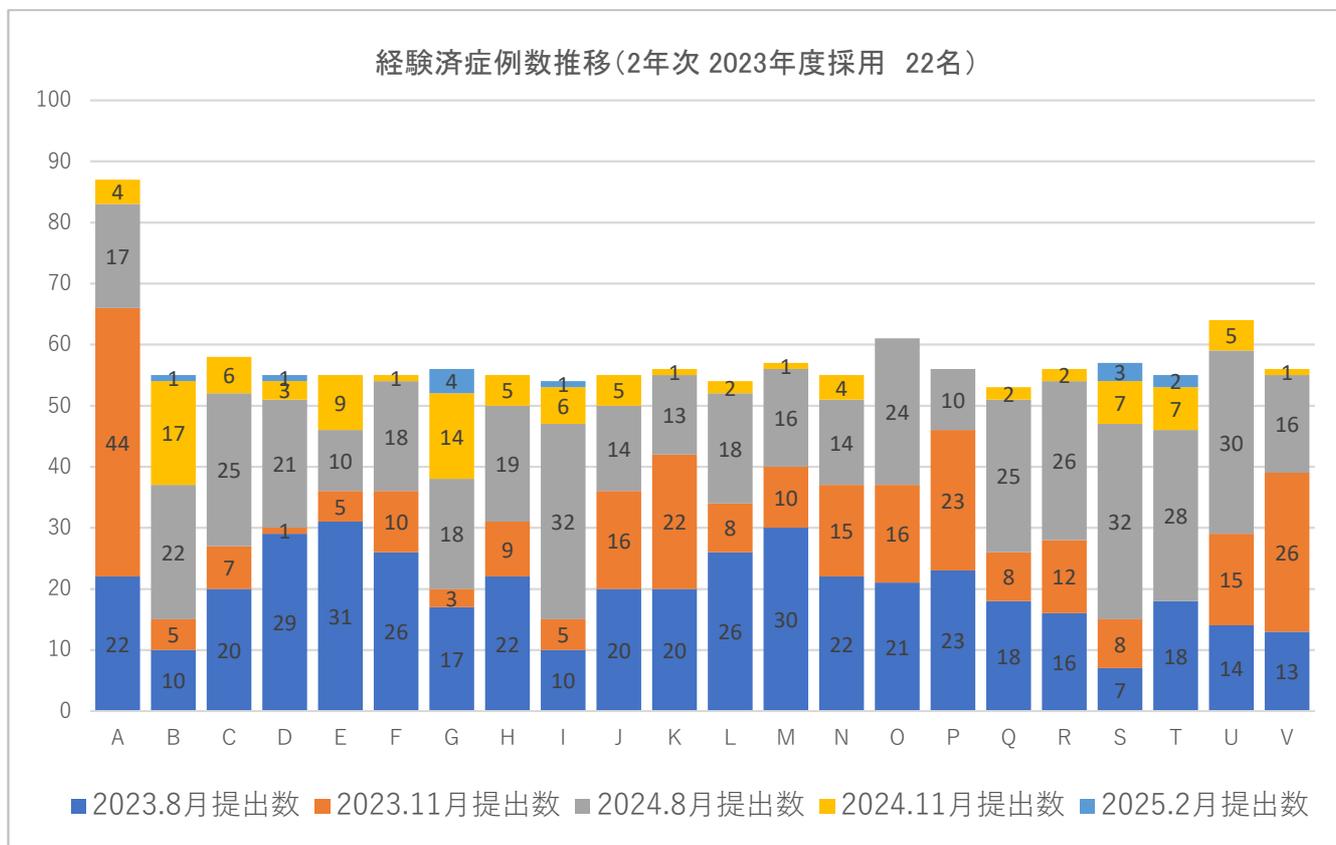
■進捗状況



※1名については研修を中断したため実績が反映されていない

2) PG-EPOC及びポートフォリオ

■進捗状況



3) グランドラウンド

開催日時：隔週水曜日（場所や講師の都合により、適宜変更あり）18：00～19：00

開催場所：長崎大学病院7F 研修セミナー室

内 容：研修医が最低限知っておかなければならない知識や技術を、すぐに見えるような内容で
レクチャーする。

対 象 者：長崎大学 初期研修医

令和6年度グランドラウンド日程表

開催日	回数	診療科	担当	テーマ	
2024	4月	4日	医療教育開発センター長	浜田 久之	外来診療の仕方 1
		17日	医療教育開発センター長	浜田 久之	先輩研修医が経験した恐ろしい症例と先輩研修医の勉強の仕方を紹介
	5月	8日	細胞療法部	古賀 嘉人	血液製剤について
		15日	聖路加国際病院 感染症科 MDアンダーソンがんセンター 感染症科	松尾 貴公	レジデントのためのビジネススキル・マナー
		22日	リハビリテーション科	高島 英昭	医療保険制度の基礎知識とクリニカルパス
	6月	12日	麻酔科	荒木 寛	呼吸管理の基礎知識
		26日	皮膚科	室田 浩之	失敗しないための皮膚疾患描記法
	7月	10日	脳神経内科	吉村 俊祐	神経学的所見の取り方
		24日/26日	形成外科	猪狩 紀子	形成外科が教える縫合のABC
	8月	14日	感染症医療人育成センター	古本 朗嗣	抗菌薬の適切な使い方
		28日	腎臓内科	大塚 絵美子	輸液について
	9月	11日	耳鼻咽喉科	渡邊 毅	つかえる！耳鼻咽喉科プライマリ知識&手技Tips ～基礎編～
		17日	糖尿病診療支援センター	鎌田 昭江	院内血糖管理マニュアルに基づいた入院患者の糖尿病治療
	10月	16日	麻酔科	中島 誉也	忙しい研修医のためのAIツールを活用したタイパ・コスパ重視の文献検索・管理法
		23日	放射線科	田崎 裕太郎	救急画像道場
	11月	13日	産科婦人科	重松 祐輔	救急外来で女性を診るとき気をつけること
		27日	長崎外来医療教育室	泉野 浩生	「食べられない患者さんにどう接する？」
	12月	11日	腫瘍外科	山根 裕介	外科研修で何を学ぶ？
		25日	泌尿器科	松尾 朋博	研修医に知っておいてほしい泌尿器科疾患のプライマリーケアについて
	2025	1月	8日	小児科	里 龍晴
22日			消化器内科	松島 加代子	1. 快適なおなかを目指せ！ 2. プレゼンスライドどうする!? 「便秘異常を中心とした消化管疾患と学会発表スライド作成のコツについてかいつまんでお話しします」
2月		26日	緩和ケアセンター	石井 浩二	がん治療中の患者における疼痛コントロール



4) 無料英会話教室

開催日時：毎週火曜日【対面】 18:00~19:00 【ZOOM】 21:50~
毎週木曜日【ZOOMのみ】 21:50~22:20

開催場所：長崎大学病院 医療教育開発センター 教授室

目的：若手医師へ、より高度な英会話力を身につけさせることを目的とする。

講師：Luc Loosveldt

対象者：長崎大学 初期研修医



参加した研修医の先生のコメント

- ・ 少人数制で参加しやすい。
- ・ 医学用語から身近なことまで話題が豊富で楽しい。
- ・ 季節のイベントも楽しめ、リフレッシュすることができた。
- ・ 対面参加が難しくてもZOOM開催されているため、参加しやすい。
- ・ 指導医の先生も都合が合えば参加して下さるので、コミュニケーションが取れる。

5) セミナー

①実力アップセミナー

実力アップセミナーとは、長崎県の初期及び専門研修医の技術・知識の向上のために、定期的に当センターで開催しているものです。内容によっては、学生や他職種の人も参加可能で、地域の指導医と院内外の参加者との交流の場となっています。

■参加者内訳

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加人数	146名	120名	167名	165名	189名	162名	147名

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
参加人数	89名	142名	131名	—	138名		

■参加者内訳（令和6年度開催セミナー）

	実施日	内容	応募人数	出席者数	参加者内訳		勤務先内訳		満足度
第65回	R6. 4. 20	心電図道場	62人	60人	研修医	30人	長崎大学病院	30人	5点： 53.4% 4点： 20% 3点：5% 無回答： 21.6%
					(1年)				
					たすき掛け病院研修医	20人	長崎みなとメディカルセンター	1人	
					看護師		1人	長崎大学病院	
指導医	9人	長崎大学病院	4人						
長崎みなとメディカルセンター		1人							
第66回	R6. 8. 2	診察実演	26人	23人	研修医 (1年)	23人	長崎大学病院	23人	5点： 94% 4点：6%
第67回	R6. 9. 13	救急	24人	21人	研修医 (1年)	17人	長崎大学病院	17人	5点： 74% 4点： 16% 3点：5% 2点：5%
					たすき掛け病院研修医 (1年) (2年)				
							長崎医療センター	2人	
							長崎原爆病院	1人	
第68回	R6. 11. 22	Zoom講演	36名	34人	研修医 (1年)	34人	長崎大学病院	34人	5点： 72% 4点： 28%

■セミナー内容

第65回 若手医師のための実力アップセミナー ～心電図道場～

開催日時：令和6年4月20日(土) 13:00～17:00

開催場所：長崎大学病院 多目的研修室（中央診療棟4階）

内 容：心電図の読み方の講義（実践的基本）、個別添削方式心電図道場

対 象 者：長崎県内研修病院初期臨床研修医（1年次・2年次）

参加人数：研修医50名、看護師1名、指導医9名（長崎大学病院）



第66回 若手医師のための実力アップセミナー ～山中 克郎 先生 講演会～

開催日時：令和6年8月2日(金) 18:00～19:00

開催場所：長崎大学病院 研修医セミナー室

内 容：めまい患者に出会ったら（診察実演つき）

対 象 者：医療関係者（研修医、指導医、医学生、病院職員他）

参加人数：研修医23名、指導医4名（長崎大学病院）、病院職員4名



第67回 若手医師のための実力アップセミナー ～林 寛之 先生 講演会～

開催日時：令和6年9月13日(金) 18:00～19:00

開催場所：長崎大学病院 研修医セミナー室

内 容：呼吸苦のA B C

対 象 者：医療関係者（研修医、指導医、病院職員他）

参加人数：研修医21名、指導医 3名（長崎大学病院）病院職員4名



第68回 若手医師のための実力アップセミナー ～渡部 欣忍 先生 講演会 (Zoom)～

開催日時：令和6年11月22日(金) 15:00～16:00

開催場所：長崎大学病院 研修医セミナー室

内 容：若手医師のためのプレゼンテーションの極意

対 象 者：医療関係者（研修医、指導医、病院職員他）

参加人数：研修医34名、指導医 4名（長崎大学病院）病院職員4名



質問内容		回答率(人)			
		第65回	第66回	第67回	第68回
1. 現在の学年	初期1年次	45	18	18	15
	初期2年次	1	0	1	0
	それ以上	0	0	0	0
	医学生	65	0	0	0
	その他	1	0	0	0
2. 性別	男	25	12	14	8
	女	21	6	5	7
	無回答	1	0	0	0

3～6 講師について

3. 配布された資料はよくまとめられており、わかりやすかった	期待以上	42	16	15	
	期待どおり	5	2	1	
	期待はずれ	0	0	1	
	コメントできない	0	0	2	
4. 講師の説明は明確でわかりやすかった	期待以上	41	18	16	11
	期待どおり	6	0	2	4
	期待はずれ	0	0	1	0
	コメントできない	0	0	0	0
5. 講師は受講者の話をよく聞き、興味・試行・議論・質問を促した	期待以上	45	18	16	10
	期待どおり	1	0	3	5
	期待はずれ	1	0	0	0
	コメントできない	0	0	0	0
6. 講師は資料等をうまく使っていた	期待以上	45	18	18	10
	期待どおり	1	0	0	5
	期待はずれ	1	0	0	0
	コメントできない	0	0	1	0

7～8 環境について

7. セミナーは明るく良い雰囲気だった	期待以上	43	18	19	11
	期待どおり	3	0	0	4
	期待はずれ	1	0	0	0
	コメントできない	0	0	0	0
8. 部屋の環境は快適だった	期待以上	43	16	17	9
	期待どおり	4	2	2	6
	期待はずれ	0	0	0	0
	コメントできない	0	0	0	0

9～11 セミナー全体について

9. セミナーは期待したとおりの内容だった	期待以上	43	18	17	10
	期待どおり	4	0	1	4
	期待はずれ	0	0	1	2
	コメントできない	0	0	0	1
10. 全体を通しての総合点を5点満点で採点して下さい。	5点	32	17	14	10
	4点	12	1	3	4
	3点	3	0	1	1
	2点	0	0	0	0
	1点	0	0	1	0
11. このようなセミナーに次回も参加したいと思いますか？	参加したい	47	18	19	15
	参加したくない	0	0	0	0

アンケートで回答いただいたコメントの一例 (第65回 心電図セミナーより)

今後開催してほしいセミナーの内容を教えてください。	セミナーに参加して最も良かった点、改善すべき点や希望を教えてください。	セミナーに参加して学んだことを教えてください。
心電図からわかる救急疾患	各グループで行えたのがよかった。質問しやすかった。	基本的な心電図の読み方、見逃してはいけない心電図を学びました。
輸液道場	心電図の目盛が見にくい資料があった	心電図を見てどこが傷害されてるのか、どこに電流が流れてるのかイメージができるようになった
レントゲンの読影などの画像所見	他の研修病院の人たちと学べるのでいつもと違う感じが楽しかったです	複数の病態が関わった時の心電図の見方が勉強になりました。
抗菌薬の使い方	心電図に対するハードルが下がった。	P波と軸の考え方。右脚ブロック、左脚ブロックの見方。
エコーセミナー	一つ一つ理解しているかを確認して下さったのがよかったです。	心電図のおもしろさ
研修医が習得すべき手技のレクチャー	正常な心電図をまず勉強できたのが最高でした！	不整脈の考え方
心電図の見方とその後の対処方法について	一方的な講義で終わるのではなく、グループ別に先生についてくださったのが、よかった。	心電図から伝導経路のイメージがつくようになった。
抗菌薬について、電解質の管理	心電図がなぜこのような形を取るのか、理論的に説明してくださったので丸暗記ではなく、理解することができた	心電図をどういう順番で見れば良いか
胸部レントゲンの読み方	PDFでも資料を配って欲しい。	軸偏位について新しいことを知れた
抗菌薬、急変対応	少人数グループで話し合いながら考えることができたこと。	P波を見るのがいかに大切かを学んだこと
X線の読影	もっと全員呼んだがいいと思います。	心電図異常の見方、考え方がかなりよくわかって有意義な時間だった
	心電図の基本を学べた	典型的な心電図の異常波形を順を追って学習することができた
	心筋梗塞から不整脈まで短時間で偏りなく所見を整理できて勉強になりました。	異常Q波について。

②災害研修セミナー

令和6年6月28日(金)と7月26日(金)の2日間に分けて、新人の研修医と看護師を対象とした院内研修「新人研修医&新人看護師合同災害研修セミナー」を実施した。

本研修のテーマは「医療者として災害に備える」。免許を取得したばかりの医療者が災害に遭遇した場合に、効率よく対応できるように、トリアージ(ふるい分け)の基本知識を学ばせ、チームワークの重要性を認識させることを目的にしている。

今回は研修医36名、看護師77名の合計113名が参加した。

- i. 開催日時 令和6年6月28日(金)、7月26日(金) 13:00~17:30
- ii. 開催場所 中央診療棟 4階多目的研修室
シミュレーションセンター、6階宿泊施設
- iii. 対象者 研修医1年次、新人看護師
- iv. 参加者数 (研修医は全員参加)

長崎大学病院
研修医&新人看護師 災害研修



災害時、医療者としてあなたはどう動く??

2024年6月28日(金) 13:00~17:15 (12:00受講者集合)
2024年7月26日(金) 13:00~17:15 (12:00受講者集合)

会場:多目的研修室、シミュレーション室2(中央診療棟4F)

到達目標 1. トリアージの基本知識を習得する。
2. チームワークの重要性を体験する。

時間	A~13:30	B~14:00
13:00~13:15	研修室集合	シミュレーション室2 集合
13:15~13:30	研修室集合	シミュレーション室2 集合
13:30~14:00	研修室(途中) 90分	研修室(途中) 90分
14:00~14:15	研修室(途中) 90分	研修室(途中) 90分
14:15~14:30	研修室(途中) 90分	研修室(途中) 90分
14:30~14:45	研修室(途中) 90分	研修室(途中) 90分
14:45~15:00	研修室(途中) 90分	研修室(途中) 90分
15:00~15:15	研修室(途中) 90分	研修室(途中) 90分
15:15~15:30	研修室(途中) 90分	研修室(途中) 90分
15:30~15:45	研修室(途中) 90分	研修室(途中) 90分
15:45~16:00	研修室(途中) 90分	研修室(途中) 90分
16:00~16:15	研修室(途中) 90分	研修室(途中) 90分
16:15~16:30	研修室(途中) 90分	研修室(途中) 90分
16:30~16:45	研修室(途中) 90分	研修室(途中) 90分
16:45~17:00	研修室(途中) 90分	研修室(途中) 90分
17:00~17:15	研修室(途中) 90分	研修室(途中) 90分

年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
研修医	37	36	42	39	46	49	57	47	42	41	34	31	22	36
新人看護師	41	36	37	43	39	40	34	37	43	36	33	61	96	77
合計	78	72	79	82	85	89	91	84	85	77	67	92	118	113

v. 内容

a. トリアージ実習



大災害で多くの負傷者が出たときに、患者の重症度、緊急性をみて治療の優先順位を決める訓練を行った。グループ毎に症例の違う7ブースを回り、一人一症例は必ず体験する。

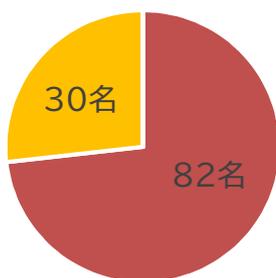
b. 机上シミュレーション



大災害が発生したと仮定し、長崎大学病院に運ばれてくる多数の負傷者の『受け入れ態勢』を整える訓練を行った。最後にはそれぞれのグループで出した内容を発表する。

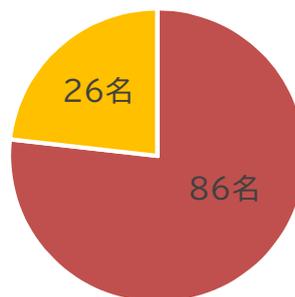
vi. 参加者の反応（令和6年度の参加者113名へのアンケートより）

机上シミュレーション 理解度



- 理解できた
- 大体理解できた
- あまり理解できない
- 理解できない

トリアージ実習 理解度



机上シミュレーション、トリアージ実習ともに、全体的に理解できている傾向。

■ フリーコメント

- ・ チームでのトリアージを実施するなど緊張感があったが、災害時はより強い緊張感が必要だと思うので、今日習った知識を身につけておきたい。
- ・ 実際の災害時にどのような行動が求められるのか想定した学習ができて充実していた。
- ・ 災害時の対応を学んで、DMATの活動に興味を湧いた。
- ・ 机上シミュレーションと実技演習を通して、災害医療を深く学ぶことが出来て良かった。
- ・ 訓練であっても緊張や焦りを感じた。実際の場面で少しでも動けるように訓練や知識の確認などの必要性を学ぶことができた。
- ・ トリアージを実際に行ってみて、落ち着いてトリアージすることが大事だと感じた。また病院内で対応する時は自分の役割をしっかりと把握して周りとの協力して行くことが大切だと感じた。
- ・ 今までよりもより身近に感じることができ、災害時の医療者の働きについて詳しく知ることが出来た。
- ・ 他職種連携の必要性や、災害がいつ発生するかわからない危機感や準備をしておく必要があると思った。
- ・ 災害時に取るべき行動や、大学病院が担う役割を知ることが出来た。災害時に活かしていきたい。
- ・ 実際に看護師が災害時に臨床の場で何をしないといけないのかということ具体的に学ぶことができてとても良かった。
- ・ シミュレーションを通して、教科書ではわかってるつもりでいた部分や現場の差を学ぶことができた。

▼多数傷病者訓練の様子



▼院内地図を使用して受け入れ方法を話し合う様子



▼集合写真



6) 研修医メンター制度

- ・2024年度も全病院的にメンターを募集し、36名の研修医に対して57名のメンター応募があった。研修医からの悩みの解消の場となり、コロナ禍において、不足しがちであった指導医陣とのコミュニケーションの一助となっていた。

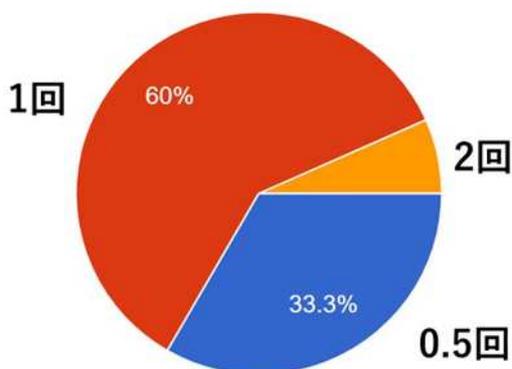
メンター推移

年度	メンター希望者	メンター(メンティ)数	備考
R1(2019)年度	56	41	メンティー：2年次(3名)含む
R2(2020)年度	53	41	
R3(2021)年度	41	34	
R4(2022)年度	52	31	
R5(2023)年度	40	22	
R6(2024)年度	57	36	

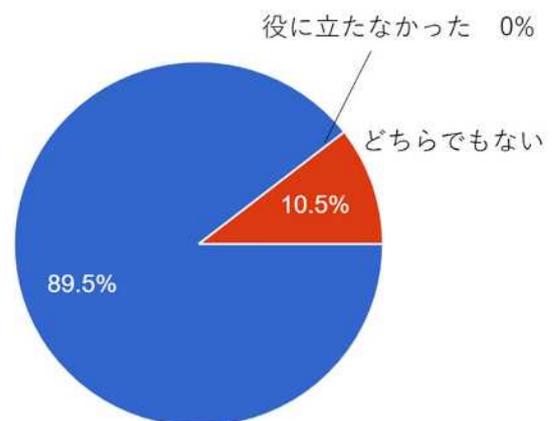
◆ 2023年度末に実施した研修医・メンターアンケート結果抜粋

研修医19名・メンター15名からの回答

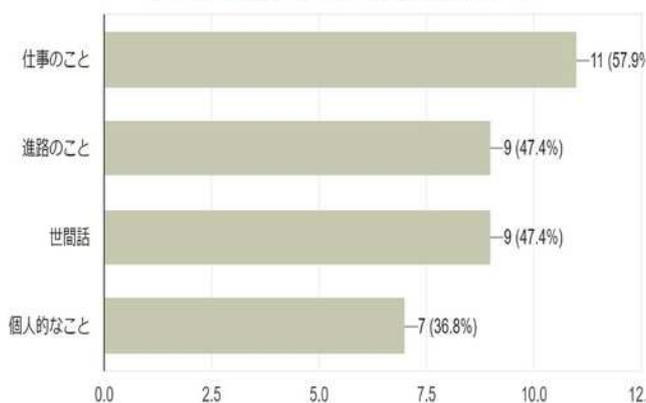
接触頻度は月何回？



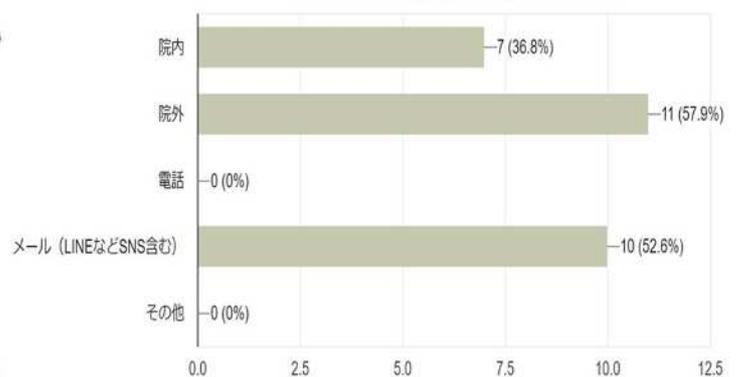
メンター制度は役に立った？



主に話した内容は？



主な接触方法は？



7) 在宅医療研修

2012年度にポリクリ実習の一環として在宅医療実習を開始した。当時は救命救急センターで実習中の長崎大学医学部5年生を対象に実施していたが、2016年度よりそれに初期研修医も加わり毎週金曜日実施。学生と研修医の同行は2年程続き、2018年度からは初期研修のみ同行することとなった。

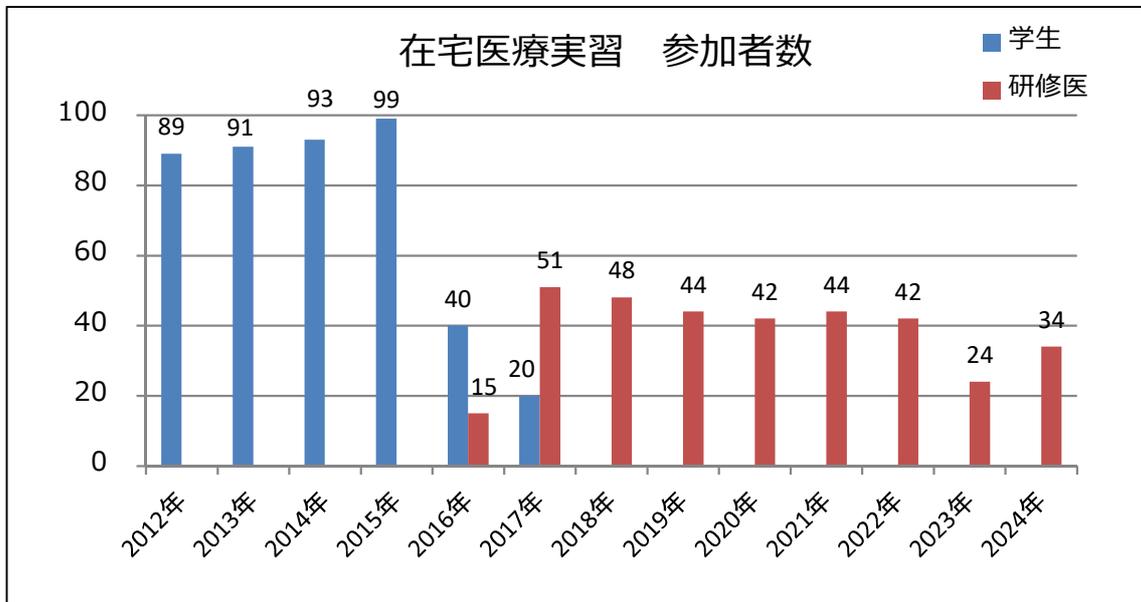
また、2020年の臨床研修の改定では、研修期間に定めはないものの在宅医療の研修は必須となり、以前より親交のある谷川胃腸外科医院のご協力のもと、大学病院でありながら個人宅や介護施設などを訪問し、在宅医療研修を実施している。

2024年度の入職研修医数は35人。そのすべての研修医が、在宅医療研修を経験する事が出来た。

<在宅医療研修の流れ>

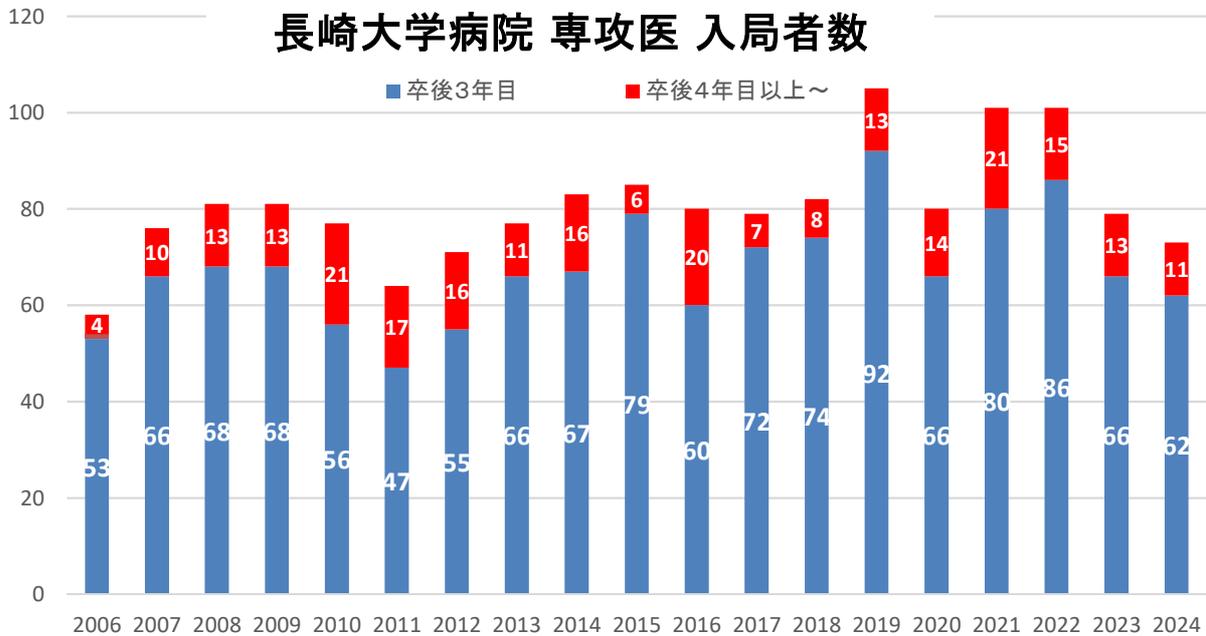


<在宅医療研修 参加数の推移>



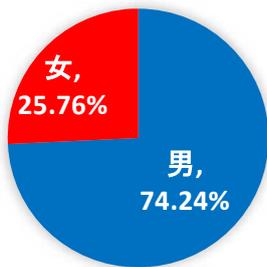
(6) 医科専門医研修のために

1) 入局者推移

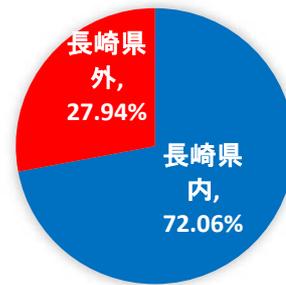


■2024年度卒後3年目入局者

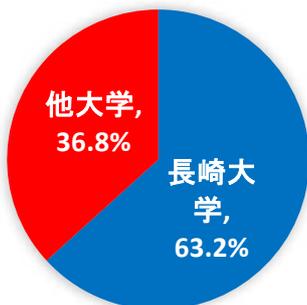
男女比



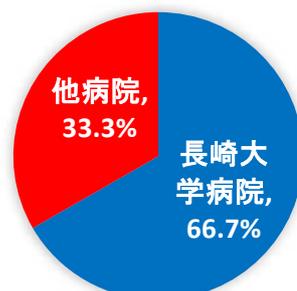
出身地



出身大学



初期研修病院

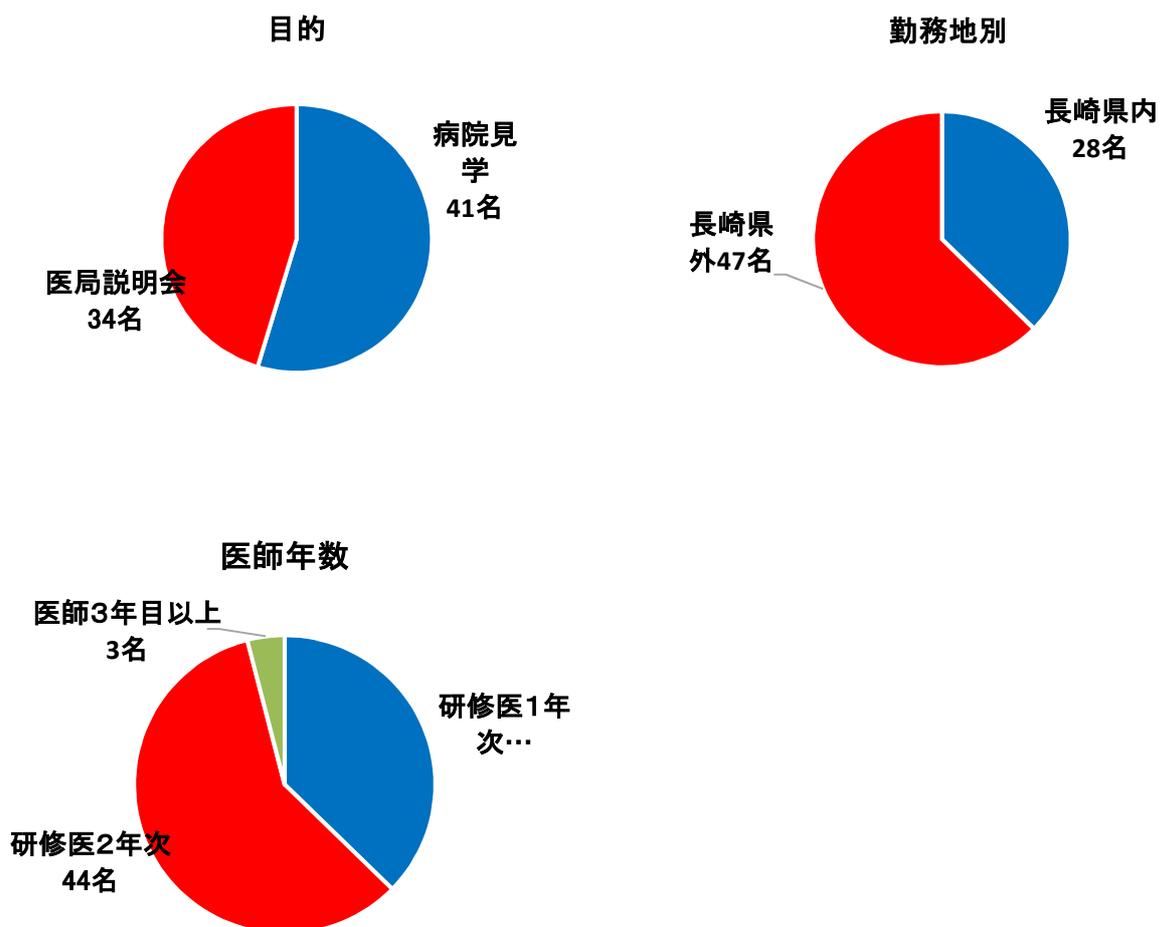


2) 基本領域専門研修プログラム 専攻医登録者および専門医修得者数

基本領域		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
内科	登録者数	33	39	28	39	33	28	28
	専門医修得者数	31	34	22	27	0	1	0
小児科	登録者数	7	7	2	2	5	2	3
	専門医修得者数	7	4	2	1	0	0	0
皮膚科	登録者数	0	3	2	3	2	4	2
	専門医修得者数	0	1	0	0	0	0	0
精神科	登録者数	1	1	4	2	5	3	2
	専門医修得者数	0	1	4	0	0	0	0
外科	登録者数	6	9	5	10	10	6	9
	専門医修得者数	6	8	4	6	0	0	0
整形外科	登録者数	6	7	5	4	6	3	4
	専門医修得者数	5	7	5	4	0	0	0
産婦人科	登録者数	1	2	3	2	3	4	1
	専門医修得者数	1	2	1	0	0	0	0
眼科	登録者数	0	2	3	4	4	3	2
	専門医修得者数	0	2	2	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	登録者数	1	3	2	2	2	5	1
	専門医修得者数	1	2	2	0	0	0	0
泌尿器科	登録者数	3	4	1	4	4	4	5
	専門医修得者数	3	4	1	0	0	0	0
脳神経外科	登録者数	1	5	0	0	1	3	0
	専門医修得者数	1	5	0	0	0	0	0
放射線科	登録者数	5	5	4	1	2	1	0
	専門医修得者数	5	4	3	1	0	0	0
麻酔科	登録者数	6	6	6	2	7	4	5
	専門医修得者数	4	5	5	2	0	0	0
病理	登録者数	1	0	4	1	0	0	2
	専門医修得者数	1	0	3	0	0	0	0
臨床検査	登録者数	0	0	0	2	0	3	0
	専門医修得者数	0	0	0	0	0	0	0
救急科	登録者数	2	0	0	1	2	2	0
	専門医修得者数	2	0	0	0	0	0	0
形成外科	登録者数	3	4	5	6	3	2	1
	専門医修得者数	3	1	2	0	0	0	0
リハビリテーション科	登録者数	0	0	0	0	0	1	1
	専門医修得者数	0	0	0	0	0	0	0
総合診療科	登録者数	0	3	1	1	2	0	0
	専門医修得者数	0	3	1	0	0	0	0

3) 専門研修にかかる病院見学・医局説明会参加者実績

■2024年度病院見学・医局説明会参加者実績

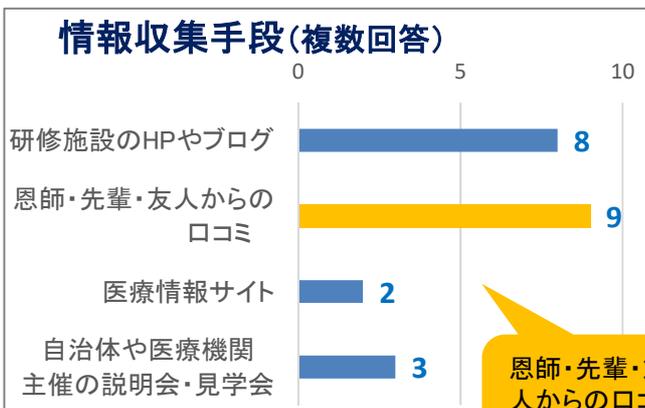


※ながさき地域医療人材支援センターホームページ病院見学(旅費申請)(<https://www.ncmsc.jp/>)から申し込みいただいた情報を基に作成しております。

医療教育開発センター医師育成キャリア支援室は、長崎大学病院の病院見学(専門研修)の窓口として、院内各診療科(専門研修プログラム)へ見学調整をサポートしております。

3)進路に関する専攻医アンケート結果

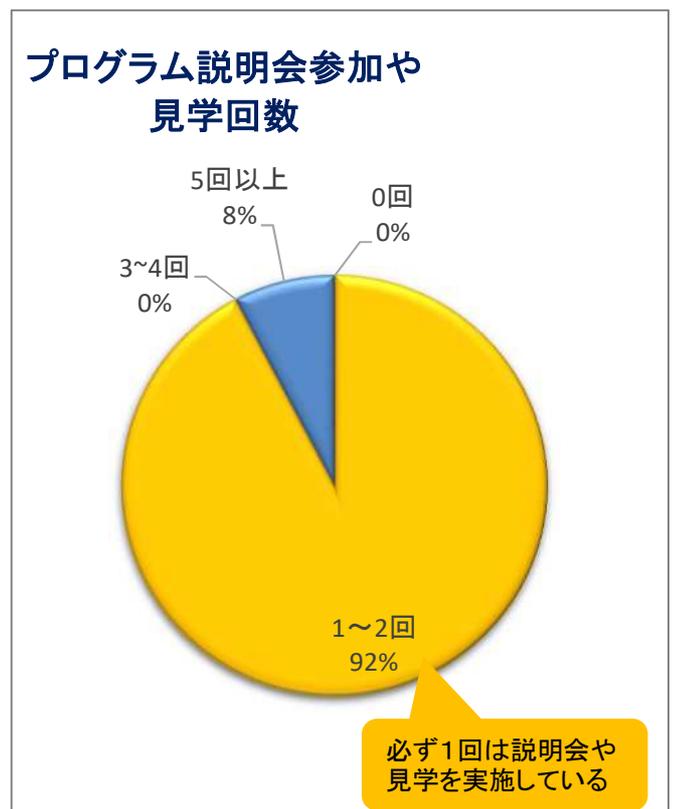
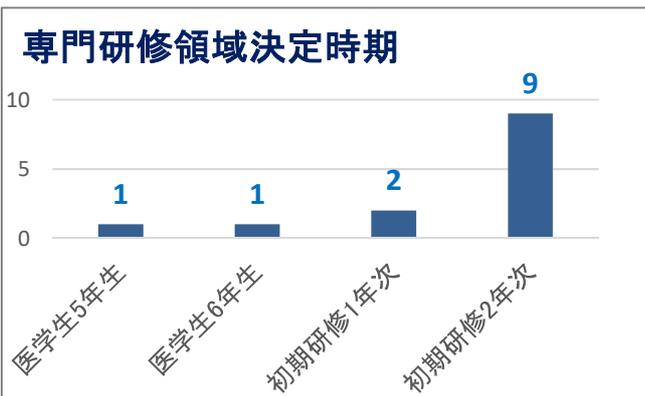
調査対象:長崎大学病院2024年度採用専攻医(回答数:13)



恩師・先輩・友人からの口コミが多数



プログラム内容、雰囲気、症例数・経験も重要ポイント!!



必ず1回は説明会や見学を実施している

(7) 医科 指導医講習会

1) 今年度実施記録

令和6年度 長崎大学病院群臨床研修指導医養成のための講習会

1. 主催：長崎大学病院
共催：長崎県医師臨床研修協議会（新・鳴滝塾）
2. 開催期間、開催地
【第1回】期間：令和6年10月 8日（火）～ 9日（水） 長崎新聞社文化ホール「アストピア」
【第2回】期間：令和6年10月10日（木）～11日（金） 長崎新聞社文化ホール「アストピア」
3. 講習会実施担当者

【第1回】

区分	氏名	所属・役職等	
主催責任者	濱田 久之	長崎大学病院	医療教育開発センター 医療教育開発センター長／教授
企画責任者	松島 加代子	長崎大学病院	医療教育開発センター 医師育成キャリア支援室長 医科卒後研修部門長／教授
世話人	泉野 浩生	長崎大学病院	医療教育開発センター 外来医療教育部門長 特定行為部門長／特定教授
世話人	永田 康浩	医学部	地域医療学／教授
世話人	牟田 久美子	医学部	先端医学センター／教授
世話人	石本 裕士	長崎大学病院	医療教育開発センター シミュレーション部門長／准教授
世話人	古賀 智裕	長崎大学病院	医療教育開発センター／講師
世話人	梅田 雅孝	長崎大学病院	医療教育開発センター／助教
世話人	大塚 絵美子	長崎大学病院	医療教育開発センター／助手
世話人	大坪 竜太	長崎大学病院	地域医療支援センター 副センター長／准教授
世話人	渡邊 毅	長崎大学病院	地域医療支援センター／病院講師
世話人	塩田 純也	長崎大学病院	地域医療支援センター／助教
世話人	和泉 泰衛	長崎医療センター	内科部長
世話人	松坂 雄亮	長崎県精神医療センター	医師
協力者	福原 視美	長崎大学病院	保健センター／臨床心理士
研修医	大久保 藍雅	長崎大学病院	医療教育開発センター／1年次研修医
研修医	鎌田 有佳理	長崎大学病院	医療教育開発センター／1年次研修医
研修医	柴田 佳那恵	長崎大学病院	医療教育開発センター／1年次研修医
研修医	庄野 賢成	長崎大学病院	医療教育開発センター／1年次研修医
研修医	原田 薫乃	長崎大学病院	医療教育開発センター／1年次研修医
研修医	日高 駿	長崎大学病院	医療教育開発センター／1年次研修医
事務局	山田 一岳	長崎大学病院	教育研究支援課／課長
事務局	高山 清隆	長崎大学病院	教育研究支援課／課長補佐
事務局	前田 梓	長崎大学病院	教育研究支援課／主任
事務局	徳永 亜梨紗	長崎大学病院	教育研究支援課／課員
事務局	濱田 大和	長崎大学病院	教育研究支援課／課員
事務局	竹中 朱里	長崎大学病院	教育研究支援課／事務補佐員
事務局	大平 真弓	長崎大学病院	教育研究支援課／事務補佐員
事務局	畑山 ちひろ	長崎大学病院	医療教育開発センター／事務補佐員
事務局	小川 久美	長崎大学病院	医療教育開発センター／新・鳴滝塾事務

3. 講習会実施担当者

【第2回】

区分	氏名	所属・役職等	
主催責任者	濱田 久之	長崎大学病院	医療教育開発センター 医療教育開発センター長／教授
企画責任者	松島 加代子	長崎大学病院	医療教育開発センター 医師育成キャリア支援室長 医科卒後研修部門長／教授
世話人	高島 英昭	長崎大学病院	医療教育開発センター 副センター長／教授
世話人	泉野 浩生	長崎大学病院	医療教育開発センター 外来医療教育部門長 特定行為部門長／特定教授
世話人	永田 康浩	長崎大学医歯薬学総合研究科	地域医療学／教授
世話人	牟田 久美子	医学部	先端医育センター／教授
世話人	石本 裕士	長崎大学病院	医療教育開発センター シミュレーション部門長／准教授
世話人	梅田 雅孝	長崎大学病院	医療教育開発センター／助教
世話人	清水 俊匡	長崎大学病院	医療教育開発センター／助教
世話人	大塚 絵美子	長崎大学病院	医療教育開発センター／助手
世話人	芦塚 翔子	長崎大学病院	医療教育開発センター／医員
世話人	宮本 俊之	長崎医療センター	整形外科部長
世話人	森 英毅	長崎医療センター	内科 医長
世話人	松坂 雄亮	長崎県精神医療センター	医師
世話人	中桶 了太	平戸市民病院	副院長
世話人	高橋優二	井上病院	医師
協力者	福原 視美	長崎大学病院	保健・医療推進センター／臨床心理士
研修医	今菌 博文	長崎大学病院	医療教育開発センター／1年次研修医
研修医	新山 仁士	長崎大学病院	医療教育開発センター／1年次研修医
研修医	坂野 弘和	長崎大学病院	医療教育開発センター／1年次研修医
研修医	松屋 奈々	長崎大学病院	医療教育開発センター／1年次研修医
研修医	溝口 優	長崎大学病院	医療教育開発センター／1年次研修医
研修医	宮崎 玲依奈	長崎大学病院	医療教育開発センター／1年次研修医
事務局	山田 一岳	長崎大学病院	教育研究支援課／課長
事務局	高山 清隆	長崎大学病院	教育研究支援課／課長補佐
事務局	前田 梓	長崎大学病院	教育研究支援課／主任
事務局	徳永 亜梨紗	長崎大学病院	教育研究支援課／課員
事務局	濱田 大和	長崎大学病院	教育研究支援課／課員
事務局	竹中 朱里	長崎大学病院	教育研究支援課／事務補佐員
事務局	大平 真弓	長崎大学病院	教育研究支援課／事務補佐員
事務局	畑山 ちひろ	長崎大学病院	医療教育開発センター／事務補佐員
事務局	小川 久美	長崎大学病院	医療教育開発センター／新・鳴滝塾事務

4. 参加者（研修修了者）

長崎大学病院所属 42名、外病院所属 44名
合計 86名

5. ワークショップの主題と目標

主題：卒後臨床研修カリキュラム・プランニング

目標

一般目標：

臨床研修指導医は、研修の質を高めるために、望ましい研修プログラムを立案し推進する能力および基本的な臨床能力を備えた研修医を育成する能力を身につける。

行動目標：

1. 望ましい教育の原理ならびに指導の姿勢を説明する。
2. 基本的な臨床能力の習得に適した研修システムを示す。
3. カリキュラムの構成ならびに立案の手順を説明する。
4. 目標、方略ならびに評価の要点を述べる。
5. 患者・社会のニーズに配慮した研修のあり方について説明する。
6. 卒後臨床研修の研修単元例について適切なカリキュラムを立案する。
7. 立案したカリキュラムを評価する。
8. 対応困難な研修医への対応方法について述べる。
9. 指導医のあり方について説明する。
10. 効果的なフィードバックのかけ方を説明する。
11. 研修医指導とその改善に熱意ある態度を示す。

6. ワークショップの日程表

令和6年度第1回長崎大学病院群臨床研修指導医養成のための講習会 日程表

※ワークショップの進行状況に応じて、時間が若干変更となる場合があります。予めご了承ください。

		8:20	8:50	8:58	9:23	10:10	10:20	12:10	12:50	14:45	14:55	16:50	17:00	18:55
1日目 10/8(火)	受付	開会		オリエンテーション	ワークショップ1 研修医が学びやすい雰囲気の作り方	休憩	ワークショップ2 困った研修医への対応の仕方	昼食 (40分)	ワークショップ3 ポートフォリオの活用	休憩	ワークショップ4 研修医へのフィードバックの仕方	休憩	ワークショップ5 指導医の在り方～研修医との意見交換から医師のプロフェッショナリズムを考える～	
2日目 10/9(水)		9:00	10:46	10:56	11:25	11:45	12:25	14:15	14:25	17:15	17:25	17:35	17:50	
		ワークショップ6 新医師臨床研修制度の理念と概要、到達目標と修了基準、医学教育理論の活用	ワークショップ6 新医師臨床研修制度の理念と概要、到達目標と修了基準、医学教育理論の活用	休憩	ワークショップ6 研修プログラムの立案	昼食 (40分)	ワークショップ7 研修プログラムの立案(研修目標、研修方略および研修評価の実施計画の作成)	休憩	ワークショップ8 卒前卒後研修の充実のために	ワークショップ9 WSふりかえり 閉会				

※第2回も同じプログラムで実施

令和6年度第1回長崎大学病院群臨床研修指導医養成のための講習会 運営・進行表

SGD:Small Group Discussion グループ討論

PLS:Plenary Session 全体セッション(発表)

D:Director 講習会主催責任者

TF:Task Force 講習会世話人

1日目 令和6年10月8日(火曜日)						
時刻	時間	事項	内容	方法	担当(案)	備考・資料
事前		参加者への案内	集合場所、時刻等			事前配付
8:20 ~ 8:50		受付・事務局説明	施設、スケジュール説明		事務	
8:50 ~ 8:58		開会(8分)	開会式、スタッフ紹介	PLS	濱田	主催者、ディレクター挨拶(1分) タスク紹介(3分) 長大卒後研修PR動画「光と影」(4分)
8:58 ~ 9:23	25	オリエンテーション 本講集会の目的 ワークショップとは プログラムの作り方① 長崎大学&長崎県の状況 (新・鳴滝塾説明)	厚労省指針に基づく指導医講習 会である説明 参加型学習 成人教育理論 プレアンケート	PLS	松島	アンケート
ワークショップ1「研修医が学びやすい雰囲気への作り方」						
9:23 ~ 9:33	10	自己紹介の方法を学ぶ	説明	PLS	梅田	ピンク紙
9:33 ~ 9:48	15	名刺作り(教育的視点からの自己分析)		PLS	TF	
9:48 ~ 10:08	20	自己紹介実践	2人組((プレゼン+質問)2分×交代×3回)+8分	PLS	梅田 TF	
10:08 ~ 10:10	2	まとめ+アンケート		PLS	梅田	アンケート①
10:10 ~ 10:20		休憩(10分)				
ワークショップ2「困った研修医への対応の仕方」						
時刻	時間	事項	内容	方法	担当	備考・資料
10:20 ~ 10:30	10	教育経験の振り返り(SEAの説明)		PLS	和泉	
10:30 ~ 10:45	15	個人が体験した教育症例に関するSEA作成		PLS	TF	A:永田,B:大塚,C:梅田,D:古賀,E: 泉野,F:松坂
10:45 ~ 11:15	30	グループ内で発表及びディスカッション		SGD	和泉 TF	2分発表(自己紹介込)×7人+全体討論8 分+8分 A:永田,B:大塚,C:梅田,D:古賀,E:泉 野,F:松坂
11:15 ~ 11:40	25	コーチング&アンガーマネジメント		PLS	泉野	ピンク紙
11:40 ~ 12:05	25	1分間指導法		PLS	大塚	
12:05 ~ 12:10	5	アンケート			大塚	アンケート②
12:10 ~ 12:50		昼食(40分)				

1日目 令和6年10月8日(火曜日)

ワークショップ3「ポートフォリオの活用」

時刻	時間	事項	内容	方法	担当	備考・資料
12:50 ~ 13:40	50		臨床研修を修了させるためには(理念、概要、到達目標、修了基準)	PLS	松島	
13:40 ~ 13:50	10		ポートフォリオ説明	PLS	大塚	
13:50 ~ 14:15	25		フィードバックシート	PLS	石本	ピンク紙
14:15 ~ 14:40	25		講義(メンタルヘルス)	PLS	福原	
14:40 ~ 14:45	5		質疑応答+アンケート	PLS	松島	アンケート③
14:45 ~ 14:55			休憩(10分)			

ワークショップ4「研修医へのフィードバックの仕方」

時刻	時間	事項	内容	方法	担当	備考・資料
14:55 ~ 15:05	10		研修医へフィードバックする6つの場面を想定(やり方説明)	PLS	大塚	
15:05 ~ 16:40	95		グループワーク ①診療科でのオリエンテーションでのフィードバック(梅田) ②入院時プレゼンテーションのフィードバック(石本) ③指示忘れの研修医へのフィードバック(和泉) ④ルート確保(手技)時のフィードバック(泉野) ⑤うつ状態の研修医への対応時のフィードバック(松坂、福原) ⑥針刺しをした研修医へのフィードバック(古賀)	SGD	大塚 TF	6名タスク 6名模擬研修医 (13分×6)
16:40 ~ 16:45	5		まとめ	PLS	大塚	
16:45 ~ 16:50	5		アンケート	PLS	松島	アンケート④
16:50 ~ 17:00			休憩(10分)			

ワークショップ5「指導医の在り方～研修医との意見交換から医師のプロフェッショナリズムを考える～」

時刻	時間	事項	内容	方法	担当	備考・資料
17:00 ~ 17:05	5		イントロダクション	PLS	和泉	指導のテクニックを使う プロダクトをUSBに保存する
17:05 ~ 18:05	60		グループワーク	SGD	和泉 TF	シナリオ作成、ロールプレイ練習 A:松島、B:古賀、C:梅田、D:石本、 E:泉野、F:松坂
18:05 ~ 18:35	30		発表(発表4分+討論1分×6グループ)	PLS	和泉	劇の発表
18:35 ~ 18:45	10		まとめ	PLS	和泉	
18:45 ~ 18:55	10		第一日のふりかえり、アンケート	PLS	松島	アンケート⑤

2日目 令和6年10月9日(水曜日)

ワークショップ6「新医師臨床研修制度の理念と概要、到達目標と修了基準、医学教育理論の活用」

時刻	時間	事項	内容	方法	担当	備考・資料
						WSセット(マジック・ポストイット・もんじゅカード・はさみ・セロテープ)を各グループに配布しておく
9:00 ~ 9:16	16	第一日のふりかえり		PLS	松島	
9:16 ~ 9:26	10	フィードバックのしかた		PLS	梅田	
9:26 ~ 9:41	15	教育力を上げるための組織の作り方 (Learning triangle, Learning circleの説明)		PLS	濱田 (梅田)	ピンク紙
9:41 ~ 10:21	40	個人で自分の組織の問題点を分析(組織の改善点の抽出)		PLS	濱田	A: 渡邊, B: 大塚, C: 梅田, D: 石本, E: 和泉, F: 松坂
10:21 ~ 10:46	25	グループ内発表	3分×7、一人選ぶ	SGD	濱田 TF	
10:46 ~ 10:56		休憩(10分)				
10:56 ~ 11:15	19	グループの代表が発表(発表3分×6)		PLS	濱田	
11:15 ~ 11:20	5	まとめ		PLS	濱田	
11:20 ~ 11:25	5	アンケート		PLS	濱田	アンケート⑥

ワークショップ7「研修プログラムの立案(研修目標、研修方略および研修評価の実施計画の作成)」

時刻	時間	事項	内容	方法	担当	備考・資料
11:25 ~ 11:45	20	プログラム立案に関する解説		PLS	松島	
11:45 ~ 12:25		昼食(40分)				
12:25 ~ 12:30	5	プログラム立案に関する解説		PLS	松島	ピンク紙
12:30 ~ 13:25	55	個人でプログラム作成		SGD	松島 TF	A: 渡邊, B: 大塚, C: 梅田 D: 牟田, E: 和泉, F: 松坂
13:25 ~ 14:05	40	グループ内で発表および添削(発表3分+討論2分×7)		SGD	松島 TF	
14:05 ~ 14:15	10	アンケート		PLS	松島	アンケート⑦
14:15 ~ 14:25		休憩(10分)				

2日目 令和6年10月9日(水曜日)

ワークショップ8「卒前卒後研修の充実のために」

時刻	時間	事項	内容	方法	担当	備考・資料
14:25 ~ 14:55	30	卒後とN-MEC、地域医療、特定行為研修の取り組み		PLS	梅田 大坪 松島	卒後・N-MEC:梅田(15分) 地域医療:大坪(5分) 特定行為研修:松島(5分)
14:55 ~ 15:20	25	卒前の取り組み		PLS	永田	
15:20 ~ 15:30	10	KJ法 2次元展開		PLS	梅田	模造紙・ポストイット・マジック・セロテープ
15:30 ~ 16:35	65	グループワーク(組織としてやるべきこと)		SGD	梅田 TF	模造紙の写真撮影 A: 松島、B: 大塚、C: 大坪 D: 牟田、E: 和泉、F: 松坂
16:35 ~ 17:10	35	発表(ワールドカフェ+上位2チーム)		PLS	梅田	4分発表×3(興味のあるグループへ訪問) +4分発表×2(上位2グループ)
17:10 ~ 17:15	5	アンケート		PLS	松島	アンケート⑧
17:15 ~ 17:25		休憩(10分)				

ワークショップ9「理想の研修指導医となるために」

時刻	時間	事項	内容	方法	担当	備考・資料
17:25 ~ 17:35	10	理想の指導医像(個人としてやるべきこと) 名刺の裏面に書く		SGD	松坂 TF	スケッチブックの写真撮影 A: 塩田、B: 大塚、C: 大坪 D: 松島、E: 牟田、F: 梅田
17:35 ~ 17:40	5	WSふりかえり	総合ポストアンケート 第二日の評価 WS総合評価 講習会全体を通しての質問	PLS	松島 TF	アンケート⑨
17:40 ~ 17:50		閉会(10分)	参加証(修了証)伝達 主催者(ディレクター)挨拶 解散	PLS	松島	

7:30

16:17

令和6年度第2回長崎大学病院群臨床研修指導医養成のための講習会 運営・進行表

SGD:Small Group Discussion グループ討論

PLS:Plenary Session 全体セッション(発表)

D:Director 講習会主催責任者

TF:Task Force 講習会世話人

1日目 令和6年10月10日(木曜日)						
時刻	時間	事項	内容	方法	担当(案)	備考・資料
事前		参加者への案内	集合場所、時刻等			事前配付
8:20 ~ 8:50		受付・事務局説明	施設、スケジュール説明		事務	
8:50 ~ 8:58		開会(8分)	開会式、スタッフ紹介	PLS	濱田	主催者、ディレクター挨拶(1分) タスク紹介(3分) 長大卒後研修PR動画「光と影」(4分)
8:58 ~ 9:23	25	オリエンテーション 本講集会の目的 ワークショップとは プログラムの作り方① 長崎大学&長崎県の状況 (新・鳴滝塾説明)	厚労省指針に基づく指導医講習 会である説明 参加型学習 成人教育理論 プレアンケート	PLS	松島	アンケート
ワークショップ1「研修医が学びやすい雰囲気への作り方」						
9:23 ~ 9:33	10	自己紹介の方法を学ぶ	説明	PLS	梅田	ピンク紙
9:33 ~ 9:48	15	名刺作り(教育的視点からの自己分析)		PLS	TF	
9:48 ~ 10:08	20	自己紹介実践	2人組((プレゼン+質問)2分×交代×3回)+8分	PLS	梅田 TF	
10:08 ~ 10:10	2	まとめ+アンケート		PLS	梅田	アンケート①
10:10 ~ 10:20		休憩(10分)				
ワークショップ2「困った研修医への対応の仕方」						
時刻	時間	事項	内容	方法	担当	備考・資料
10:20 ~ 10:30	10	教育経験の振り返り(SEAの説明)		PLS	松坂	
10:30 ~ 10:45	15	個人が体験した教育症例に関するSEA作成		PLS	TF	A:清水、B:森、C:梅田、D:中桶、E:泉野、F:宮本
10:45 ~ 11:15	30	グループ内で発表及びディスカッション		SGD	松坂 TF	2分発表(自己紹介込)×7人+全体討論8分+8分 A:清水、B:森、C:梅田、D:中桶、E:泉野、F:宮本
11:15 ~ 11:40	25	コーチング&アンガーマネジメント		PLS	泉野	ピンク紙
11:40 ~ 12:05	25	1分間指導法		PLS	中桶	
12:05 ~ 12:10	5	アンケート			泉野	アンケート②
12:10 ~ 12:50		昼食(40分)				

1日目 令和6年10月10日(木曜日)

ワークショップ3「ポートフォリオの活用」

時刻	時間	事項	内容	方法	担当	備考・資料
12:50 ~ 13:40	50	臨床研修を修了させるためには(理念、概要、到達目標、修了基準)		PLS	松島	
13:40 ~ 13:50	10	ポートフォリオ説明		PLS	梅田	
13:50 ~ 14:15	25	フィードバックシート		PLS	石本	ピンク紙
14:15 ~ 14:40	25	講義(メンタルヘルス)		PLS	福原	
14:40 ~ 14:45	5	質疑応答+アンケート		PLS	松島	アンケート③
14:45 ~ 14:55		休憩(10分)				

ワークショップ4「研修医へのフィードバックの仕方」

時刻	時間	事項	内容	方法	担当	備考・資料
14:55 ~ 15:05	10	研修医へフィードバックする6つの場面を想定(やり方説明)		PLS	大塚	
15:05 ~ 16:40	95	グループワーク ①診療科でのオリエンテーションでのフィードバック(中桶) ②入院時プレゼンテーションのフィードバック(森) ③指示忘れの研修医へのフィードバック(石本) ④ルート確保(手技)時のフィードバック(泉野) ⑤うつ状態の研修医への対応時のフィードバック(梅田、福原) ⑥針刺しをした研修医へのフィードバック(宮本)		SGD	大塚 TF	6名タスク 6名模擬研修医 (13分×6)
16:40 ~ 16:45	5	まとめ		PLS	大塚	
16:45 ~ 16:50	5	アンケート		PLS	松島	アンケート④
16:50 ~ 17:00		休憩(10分)				

ワークショップ5「指導医の在り方～研修医との意見交換から医師のプロフェッショナリズムを考える～」

時刻	時間	事項	内容	方法	担当	備考・資料
17:00 ~ 17:05	5	イントロダクション		PLS	宮本	指導のテクニックを使う プロダクトをUSBに保存する
17:05 ~ 18:05	60	グループワーク		SGD	宮本 TF	シナリオ作成、ロールプレイ練習 A:高橋、B:森、C:梅田、D:中桶、 E:泉野、F:高島
18:05 ~ 18:35	30	発表(発表4分+討論1分×6グループ)		PLS	宮本	劇の発表
18:35 ~ 18:45	10	まとめ		PLS	宮本	
18:45 ~ 18:55	10	第一日のふりかえり、アンケート		PLS	松島	アンケート⑤

2日目 令和6年10月11日(金曜日)

ワークショップ6「新医師臨床研修制度の理念と概要、到達目標と修了基準、医学教育理論の活用」

時刻	時間	事項	内容	方法	担当	備考・資料
						WSセット(マジック・ポストイット・もんじゅカード・はさみ・セロテープ)を各グループに配布しておく
9:00 ~ 9:16	16	第一日のふりかえり		PLS	松島	
9:16 ~ 9:26	10	フィードバックのしかた		PLS	大塚	
9:26 ~ 9:41	15	教育力を上げるための組織の作り方 (Learning triangle, Learning circleの説明)		PLS	濱田 (梅田)	ピンク紙
9:41 ~ 10:21	40	個人で自分の組織の問題点を分析(組織の改善点の描出)		PLS	濱田	A:清水,B;大塚,C;梅田,D: 中桶,E:
10:21 ~ 10:46	25	グループ内発表	3分×7,一人選ぶ	SGD	濱田 TF	泉野,F: 宮本
10:46 ~ 10:56		休憩(10分)				
10:56 ~ 11:15	19	グループの代表が発表(発表3分×6)		PLS	濱田	
11:15 ~ 11:20	5	まとめ		PLS	濱田	
11:20 ~ 11:25	5	アンケート		PLS	濱田	アンケート⑥

ワークショップ7「研修プログラムの立案(研修目標、研修方略および研修評価の実施計画の作成)」

時刻	時間	事項	内容	方法	担当	備考・資料
11:25 ~ 11:45	20	プログラム立案に関する解説		PLS	松島	
11:45 ~ 12:25		昼食(40分)				
12:25 ~ 12:30	5	プログラム立案に関する解説		PLS	松島	ピンク紙
12:30 ~ 13:25	55	個人でプログラム作成		SGD	松島TF	A; 清水,B; 大塚,C:梅田
13:25 ~ 14:05	40	グループ内で発表および添削(発表3分+討論2分×7)		SGD	松島TF	D: 中桶,E: 泉野,F: 宮本
14:05 ~ 14:15	10	アンケート		PLS	松島	アンケート⑦
14:15 ~ 14:25		休憩(10分)				

2日目 令和6年10月11日(金曜日)

ワークショップ8「卒前卒後研修の充実のために」

時刻	時間	事項	内容	方法	担当	備考・資料
14:25 ~ 14:55	30	卒後とN-MEC、地域医療、特定行為研修の取り組み		PLS	梅田 大塚 泉野	卒後・N-MEC:梅田(15分) 地域医療:大塚(5分) 特定行為研修:泉野(5分)
14:55 ~ 15:20	25	卒前の取り組み		PLS	永田	
15:20 ~ 15:30	10	KJ法 2次元展開		PLS	中桶	模造紙・ポストイット・マジック・セロテープ
15:30 ~ 16:35	65	グループワーク(組織としてやるべきこと)		SGD	中桶 TF	模造紙の写真撮影 A; 清水、B; 大塚、C: 芦塚 D: 牟田、E: 泉野、F: 宮本
16:35 ~ 17:10	35	発表(ワールドカフェ+上位2チーム)		PLS	中桶	4分発表×3(興味のあるグループへ訪問) +4分発表×2(上位2グループ)
17:10 ~ 17:15	5	アンケート		PLS	松島	アンケート⑧
17:15 ~ 17:25		休憩(10分)				

ワークショップ9「理想の研修指導医となるために」

時刻	時間	事項	内容	方法	担当	備考・資料
17:25 ~ 17:35	10	理想の指導医像(個人としてやるべきこと) 名刺の裏面に書く		SGD	高島 TF	スケッチブックの写真撮影 A; 牟田、B; 大塚、C: 芦塚 D: 中桶、E: 泉野、F: 宮本
17:35 ~ 17:40	5	WSふりかえり	総合ポストアンケート 第二日の評価 WS総合評価 講習会全体を通しての質問	PLS	松島 TF	アンケート⑨
17:40 ~ 17:50		閉会(10分)	参加証(修了証)伝達 主催者(ディレクター)挨拶 解散	PLS	松島	

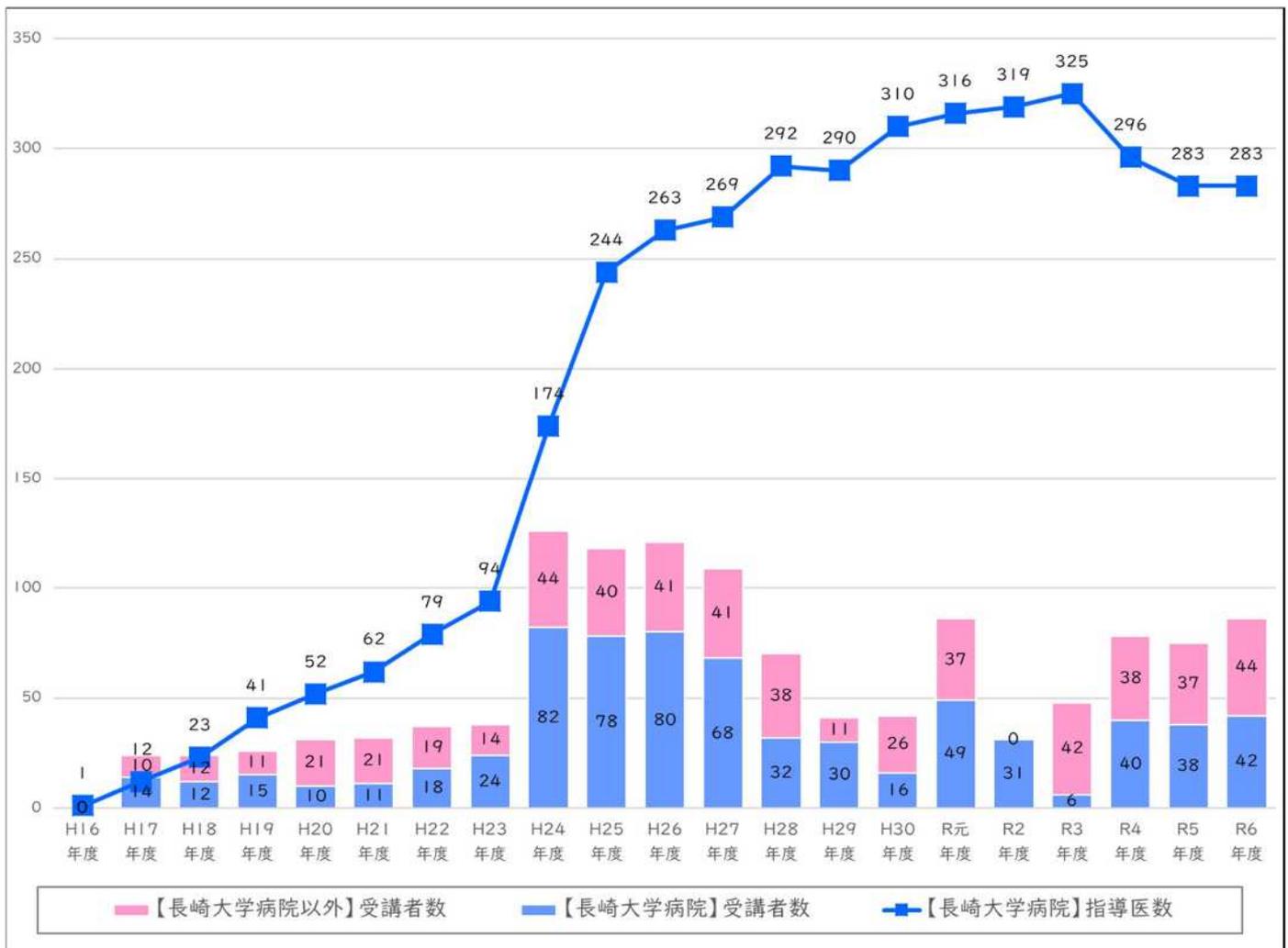
7:30

16:17

2) 指導医講習会 受講者数推移

令和6年度に「長崎大学病院群臨床研修指導医養成のための講習会」を開催した。本講習会は、長崎大学病院主催、長崎県医師臨床研修協議会（新・鳴滝塾）を共催とし、厚生労働省の定める「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」（平成16年3月18日付け医政発第0318008号）にのっとり内容で企画されている。平成24年度より年3回の開催であったが、平成28年度より年2回の開催となった。令和2年度及び令和3年度は、新型コロナの感染拡大のため、年1回の開催であったが、令和4年度から年2回（9月・1月）の開催となった。

また、令和5年度は働き方改革を考慮し、連続する平日4日間の開催とし、本年度も平日に開催した。



※指導医数は年度末現在 長崎大学所属かつ臨床経験7年以上

(8) 採用者オリエンテーション

1) 新規採用者オリエンテーション

令和6年4月1日(月)に記念講堂にて全業種新規採用者を対象にしたオリエンテーションを開催した。

■オリエンテーションスケジュール

開催日:令和6年4月1日(月)

場所	区分	時刻	内容	
医学部記念講堂	前半	8:00 ~ 8:30	受付 (看護師・研修医等新規免許取得者を含む)	
		8:45 ~ 8:55	病院長挨拶 宣誓書朗読 医師(医科研修医1年次), 看護師	
		8:55 ~ 9:00	副病院長紹介	
		9:00 ~ 9:20	メンタルヘルス セルフケアについて ころとからだの健康相談室 福原 視美 先生	
			9:20 ~ 9:30	休憩・移動(医科・歯科研修医、新人看護師、医療技術者(新規免許取得者))
	後半		9:30 ~ 9:50	医薬品の取り扱いについて 薬剤部 中川 博雄 副薬剤部長
			9:55 ~ 10:10	医療機器の取り扱いについて ME機器センター 林 誠 副センター長
			10:15 ~ 10:40	感染対策について 感染制御教育センター 藤田 あゆみ 先生
			10:45 ~ 11:00	個人情報の取り扱いについて 病院事務部 総務課
			11:05 ~ 11:15	検査部の運用について 検査部 長谷川 寛雄 副部長
			11:20 ~ 11:45	安全管理について 安全管理部 栗原 慎太郎 部長

以下については、長崎大学病院職員専用HP(イントラネット)にて各自研修。

【動画研修】

1. 臓器移植について 2. 臨床研究について

【資料研修】

3. SPDIについて 4. 保険診療のルール 5. 情報セキュリティについて 6. 教育制度について
7. 病院の組織と身分 8. 労務管理について

2) 中途採用者オリエンテーション

毎月初日に医療法第6条の10に基づき、安全管理、感染対策等に関して研修会を行っている。
また、医師を対象にした電子カルテ基本操作研修を同日午後から行っている。

■研修内容 <動画による研修>

時間	項目
9:00 ~ 9:10	受付
9:10 ~ 9:20	病院長挨拶、オリエンテーション
9:20 ~ 9:30	「個人情報取り扱いについて」
9:30 ~ 9:50	「セルフケアについて」
9:50 ~ 10:10	「医薬品の取り扱いについて」
10:10 ~ 10:25	「医療機器の取り扱いについて」
10:25 ~ 10:55	「感染対策について」
10:55 ~ 11:15	「安全管理について」
11:15 ~ 11:25	「検査部の運用について」

■職種別・月別採用者数 (令和6年度実績)

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
医師(常勤)	1	9	8	2	2	9		3	3		2	39
医師(非常勤)	1							1	1			3
歯科医師(常勤)									1			1
歯科医師(非常勤)												0
看護師	2	5	1	3	4	4	5	2	6	2	1	35
看護助手	3	2		3					1		2	11
精神保健福祉士												0
検査員												0
検査助手												0
事務	10	2	17	1	2	7	5	4	2		2	52
戦略職員												0
心理士												0
理学療法士	2	1										3
作業療法士												0
視能訓練士												0
言語聴覚士											1	1
技能補佐員												0
研究員												0
薬剤師		1				1	1	1				4
ソーシャルワーカー												0
実験助手	1										2	3
自動車運転手												0
医療技術補助												0
メディカルアシスタント												0
歯科衛生士			1									1
歯科技工士												0
放射線技師												0
臨床検査技師	1											1
臨床工学技士												0
調理師												0
栄養士								1	1			2
炊夫			1								2	3
コーディネーター									1			1
計	21	20	28	9	9	21	11	12	16	2	12	161

2. 齒科教育研修部門

(1) 部門長 挨拶

歯科教育研修部門 部門長
角 忠輝

平成18年4月から、歯科医師の臨床研修が必修化されました。この制度は、歯科医師法第十六条の二に基づいており、国家試験に合格し診療に従事しようとする歯科医師は、厚生労働大臣が指定する研修施設で1年以上臨床研修を受けなければならないとするものです。そして、臨床研修を修了すると厚生労働大臣から臨床研修修了登録証が交付されます。

長崎大学病院はもとより、臨床研修を担う各施設は、臨床研修を管理運営する研修管
理委員会の設置、指定基準に合致した研修プログラム、安全管理体制、研修歯科医を指
導できると等、多岐にわたる審査を経て厚生労働省より臨床研修施設として指定を受け
ます。歯科医師臨床研修の基本的理念は、「歯科医師については、単に専門分野の負傷又
は疾病を治療するのみでなく、全人的医療を理解した上で患者の健康と負傷又は疾病を
診ることに総合的な診療を行うことが求められている。また、医療の社会的重要性及び公
共性を考え、臨床研修は、歯科医師個人間の十分なコミュニケーションを必要とし、
性の高いものである。このため、臨床研修については、患者中心の全人的医療を理解し
た上で、歯科医師として的人格をかん養し、総合的な診療能力（態度・知識・技能）を
身につけ、臨床研修を生涯研修の第一歩とすることのできるものでなければならない。
」とされています。令和4年度から歯科医師臨床研修制度が改正され、この基本理念を
具体化するために、到達目標として、「A. 歯科医師としての基本的価値観（プロフェ
ッショナルリズム）」、「B. 資質・能力」および「C. 基本的診療業務」が設定されて
います。

本院では、制度に基づいた臨床研修を実施するため、平成10（1998）年度から取り組
みをはじめ、臨床研修専用診療エリア、技工室、控室等の設備の充実、研修プログラム
の改善、研修管理委員会や研修指導委員会の再編成、協力型研修施設や研修協力施設の
充実、研修歯科医の身分や処遇の制度改善等を行ってきました。そして、研修歯科医の
指導を担当する指導歯科医は、学外や学内で行われている講習会やワークショップに積
極的に参加し研鑽を重ねています。

上記研修を進めるにあたり、2024年度は2023年度に続き広報としての歯科研修医ホー
ムページの充実をはかること、臨床研修における知識、技能、態度を有機的に繋げるた
めのセミナーの充実をはかること、さらには研修歯科医と指導医間の情報共有を密にす
ることを目標としました。その結果として特に研修歯科医の日常を報告する研修医プロ
グが26回更新され、次頁以降に述べるホームページ閲覧回数の増加に繋げることが出来
ました。また、本院の研修の特徴でもある研修医セミナーの幅広い内容をさらに充実さ
せ、院内外の講師によってのべ100回ものセミナーが実施されました。さらに2021年度
に導入したコミュニケーションツール LINE WORKS により、日々の連絡事項だけでなく
、臨床の勘どころなど研修歯科医と指導医の間で多方面にわたる情報共有がスムーズに
行われています。

令和4年度からの歯科医師臨床研修制度改正を契機に、さらなる臨床研修の充実を図
るため、プログラム構成および内容を再精査し改善に繋げていくことを2025年度の目標
設定としたいと考えます。

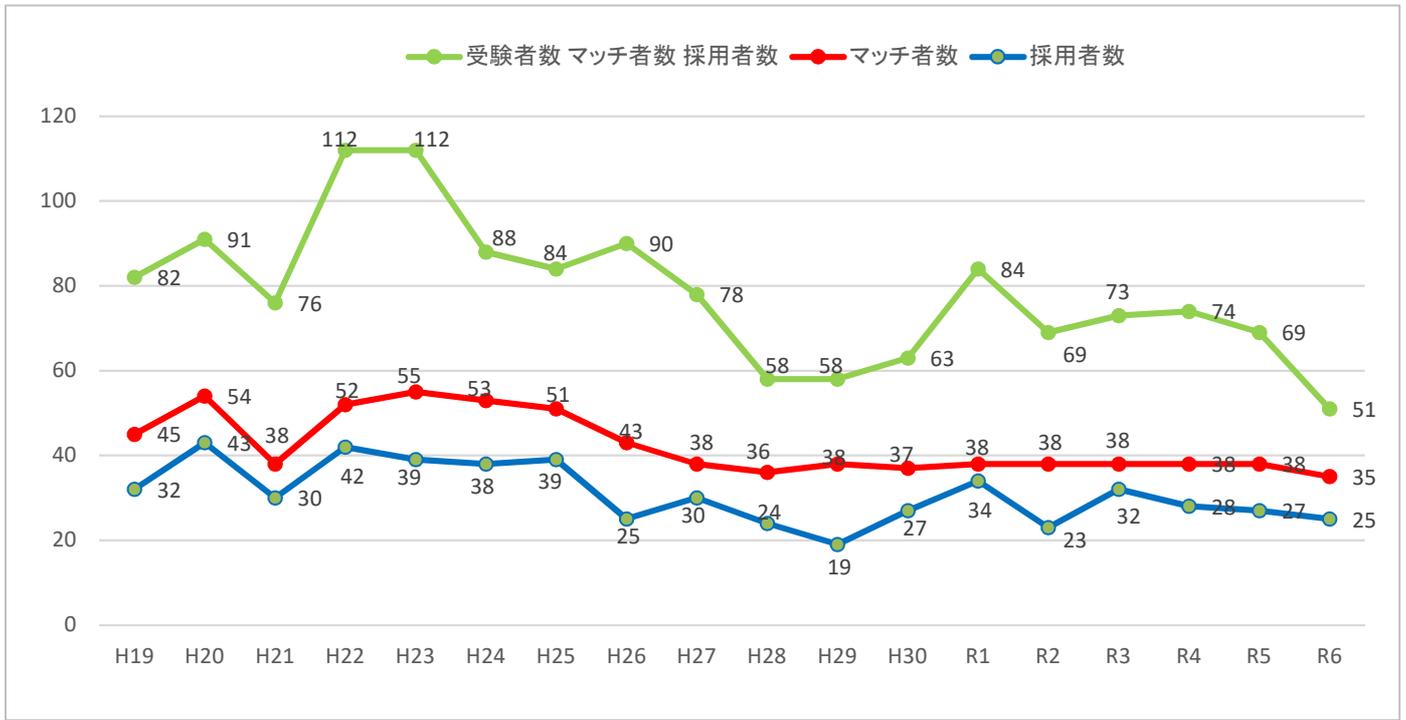
(2) 2024年度歯科教育研修部門業務シート

分野	大項目	中項目	小項目	責任担当	サブ	2024年度実績			
						4~8月	9~12月	1~3月	全体
						結果			
(1) 歯科卒前教育支援室目標	1 研修歯科医の採用に関すること	① プログラム紹介	プログラム説明会の開催	角 鶴飼	鎌田 徳永	1			1
		② プログラム紹介	臨床実習生への臨床研修説明会	鎌田				1	1
	2 学外広報：情報の発信等及び相談対応に関すること	① 研修医ホームページの運営	2回/月以上の更新	野上		13	5	8	26
② 院外見学希望者の対応		病院見学の回数	角	徳永	3		3	6	
3 その他上記に付帯する業務に関すること	① 協力型（I）施設管理	施設要件の確認	角	徳永	/				
(2) 歯科卒後研修支援室目標	1 プログラム全般に関すること	① 臨床研修実施要項の作成	次年度版歯科医師臨床研修実施要項の作成	角 鶴飼 鎌田	徳永	/			
	2 到達目標に関すること	① 自験症例数の達成	研修手帳による症例数確認	指導医		1	2	1	4
		② 自験症例数の経験	症例件数自己申告	鶴飼		4	4	2	10
		③ 技術確認	技術試験（口腔内写真、ラバーダム防湿、印象）	鎌田 杉本 樋口		4		4	8
	3 臨床能力向上に関すること	① 院内セミナーの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・レクチャー・ハンズオン（講座、メーカー、外部講師）（41回） ・レクチャー・ハンズオン（指導医）（74回） ・研修医発表・症例報告（研修医）・カンファレンス・WS・その他（30回） ・自由参加セミナー・面談（7回） 	杉本 樋口		91	37	13	141
	4 後期研修に関すること	① 修練医の学修評価	修練医症例報告会（5回）	鎌田			5		5
	5 生涯教育に関すること	① セミナーの開催	歯周治療Zoomセミナー（12回）	鶴飼		5	4	3	12
		② 大学院進学推進	大学院説明会の開催	角		3			3
		③ 臨床動画の配信	随時更新	鶴飼		/			
	6 その他上記に付帯する業務に関すること	① 主要会議の開催	下記主要会議の運営	鶴飼 角	徳永	/			
1 主要会議	① 研修指導医定例会議	月1回	鶴飼	指導医 徳永	5	5	3	13	
	② 研修指導医委員会	年5回	鎌田		2	2	1	5	
	③ 臨床研修管理委員会	年2回（含メール会議）	角	徳永	2	0	2	4	
	④ 診療科長等会議・報告	4月、11月	角 鶴飼	徳永	1	1	0	2	

(3) 歯科初期臨床研修

1) 研修歯科医数の推移

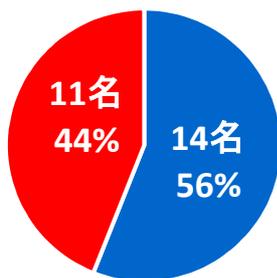
■受験者数、マッチ者数、採用者数の推移



■令和6年度採用実績

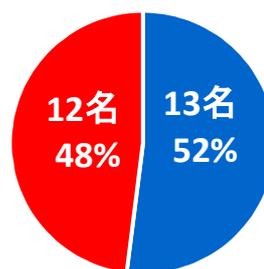
男女比

■ 男性 ■ 女性



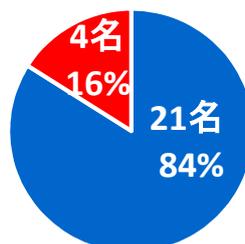
出身県

■ 長崎県内 ■ 長崎県外



出身大学

■ 長崎大学出身



2) 初期研修 広報

2015年6月に「長崎大学病院 研修歯科医ホームページ」を開設し、今年で11年目となった。総カウンターは約4.5万。長崎大学における研修プログラム、研修設備、指導医の紹介など内外への情報発信に取り組んでいる。これらの情報から長崎大学病院での研修を希望した他大学出身者も多い。

<研修歯科医ホームページ>

<https://nagasaki-kenshin.wixsite.com/kenshin-1>



<ブログ>

ブログは各年度の研修医が持ち回りで更新し、日々の研修で得た気づきや医局内の出来事を紹介しながら、本院の研修の雰囲気や長崎の魅力を発信している。



<研修歯科医ホームページアクセス数>

(2024年4月1日～2025年3月31日 週データ)



毎年6月のプログラム説明会の開催前後でアクセス数が大きく伸びる傾向が見られる。また、2024年度は例年に比べ新規訪問者の割合が多かった。

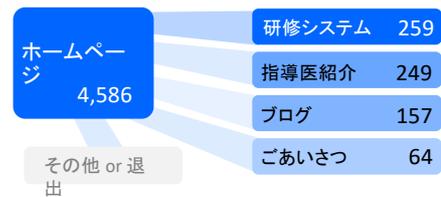
<位置別訪問者数>



長崎 2133
 東京 510
 大阪 405
 宮崎 263
 高松 272
 福岡 113
 ※ 不明 926

長崎を中心にアクセスが集まるが、東京・大阪・福岡・名古屋など主要都市や他地域からの閲覧も一定数あり、全国の幅広い関心を得ていることが分かる。

<訪問者の行動_2024>



研修歯科医ホームページでは、長崎大学病院の研修システムや指導医紹介を閲覧する利用も多いが、退出はブログ更新確認による可能性が高い。

<臨床tips>

長崎歯科研修倉庫というサイトを作成し、臨床Tipsという形で、日常の歯科臨床に役立つ内容の歯科臨床動画を定期的に配信している（100本以上の動画を配信中）。さらに、ホームページとは別に日常の研修歯科医の研修内容をブログ形式で報告している。

(<https://nagasaki-kenshu.wixsite.com/home/tips>)



3) プログラム紹介

①プログラム説明会

6月1日にzoomを用いて開催
プログラム概要説明（鶴飼）
プログラム詳細説明（鶴飼）

申込者 35名 長崎大学： 30名（既卒者：2名）
他大学（大学）： 5名（既卒者：2名）

参加者 34名 長崎大学： 29名（既卒者：2名）
他大学（大学）： 5名（既卒者：2名）



②臨床実習性への臨床研修説明会

1月30、31日に対面開催

特殊歯科診療部、麻酔・生体管理科、歯科保存治療室、小児歯科室、
口腔管理センター、口腔外科、虫歯治療室、義歯補綴治療室

4) 病院見学者数の推移

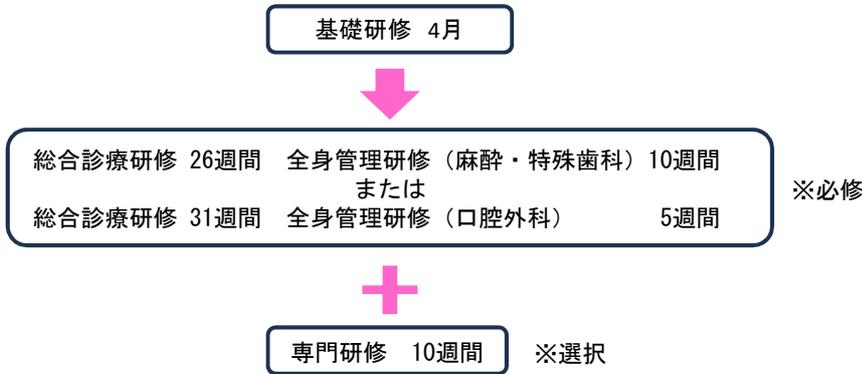
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
福岡歯科大学	8	2	1	3	15	4	6
鹿児島大学	2				1	3	
九州大学		1		1	2	2	
広島大学		1			1		
日本大学				1			
九州歯科大学					3		
東京歯科大学					1		
愛知学院大学					1		
合計	10	4	1	5	24	9	6

令和2年度から令和3年度まで、新型コロナウイルス感染拡大対策で見学者受け入れを縮小していたが、令和4年度の訪問者緩和により見学者数が急増した。
令和5年度はコロナ禍前の平均値に戻ってきたが、令和6年度は減少しているため、今後見学者数を増加させるための対策が必要である。

5) 研修プログラム

長崎大学では大きく分けて2つの研修プログラム（管理型研修方式、複合型研修方式）を設けている。

① 管理型研修方式の流れ



② 複合型研修方式は本院にて基礎研修および全身管理研修を行った後、協力型臨床研修施設で約8ヶ月間の研修を行う。

③ 令和6年度歯科研修プログラム

		2024(令和6)年度臨床研修プログラム																																																																								
		4月				5月				6月				7月				8月				9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月																												
研修プログラム A (定員32名)	班構成 (32名)	オリエンテーション及び基礎研修		総合歯科治療研修(含N-MEC等 5/1~3/29, 48週間)																																																																						
A1 (11名)		専門研修(5/1~7/12, 10週間又は総合歯科治療研修)										A1-1 口腔外科(7/16~8/16, 5週間)					総合歯科治療研修					A1-2 口腔外科(8/19~9/20, 5週間)					総合歯科治療研修					A1-3 麻酔・特殊歯科(7/16~9/20, 10週間)					総合歯科治療研修																																					
A2 (11名)		総合歯科治療研修										専門研修(7/16~9/20, 10週間又は総合歯科治療研修)					A2-1 口腔外科(9/24~10/25, 5週間)					総合歯科治療研修					A2-2 口腔外科(10/28~11/29, 5週間)					総合歯科治療研修					A1-3 麻酔・特殊歯科(9/24~11/29, 10週間)					総合歯科治療研修																																
A3 (10名)		総合歯科治療研修										総合歯科治療研修					専門研修(10/7~12/13, 10週間又は総合歯科治療研修)					A3-1 口腔外科(12/1~1/10, 5週間)					総合歯科治療研修					A3-2 口腔外科(1/14~2/14, 5週間)					総合歯科治療研修					A1-3 麻酔・特殊歯科(12/1~2/14, 10週間)					総合歯科治療研修																											
研修プログラム B (定員6名)	班構成 (6名)	オリエンテーション及び基礎研修		B 全身管理研修(5/1~7/12, 10週間)										総合歯科治療研修					協力型臨床研修施設(8/1~3/31, 35週間)																																																症例報告会(最大10回)				研修認定			

		プログラム					
		A		B			
【必修】	総合歯科治療研修	口腔管理センター	通年		2024(令和6)年4月1日(月)入職オリエンテーション		
		協力型臨床研修施設	8か月		2024(令和6)年6月1日(土)R6年度プログラム説明会および研修管理委員会		
	全身管理系	選択	口腔外科 麻酔科 特殊歯科	10週間		2024(令和6)年8月30日(金)R6年度研修歯科医採用試験	
		ローテート研修	小児歯科(希望者) 周術期口腔管理 N-MEC(みなとメディカルセンター)	1日 2日 10-15日		2025(令和7)年3月13日(木)研修管理委員会 2025(令和7)年3月28日(金)研修修了式	
	選択【専門研修】	発達・予防系	小児歯科 矯正歯科	10~12週間 日程指定要応談		1クール 1~2名	
(希望しない場合は総合歯科臨床研修へ)	保存・補綴	虫歯治療室	10~12週間		1クール 1名		
		アドバンスド系	歯周歯内治療室 冠補綴治療室 義歯補綴治療室	10~12週間 10~12週間 10~12週間		1クール 1~2名 1クール 1~3名 1クール 1~3名	
	診断系	歯科放射線室	日程指定要応談		1クール 1~2名		

6) 新規採用者オリエンテーション基礎研修プログラム

2024年4月1日
新規採用者25名にオリエンテーションを行った。

<オリエンテーション項目>

- ・臨床研修の心得
- ・臨床研修の進め方
- ・診療室・事務室案内、控室説明
- ・指認証登録
- ・白衣オーダー
- ・研修プログラムについて
- ・口腔管理センターの診療について
- ・ローテート表、チューターについて
- ・院内ローテート研修について
- ・全身管理研修について
- ・日本歯科医師会について



2024年4月2日～4月30日
5月から開始する臨床研修に備え各歯科治療の講義、実習を行った。

<研修項目>

- ・プロフェッショナリズム
- ・弁護士の動画研修
- ・接遇研修
- ・診療室の注意事項
- ・技工室の注意事項
- ・感染対策（講義・実習）
- ・医薬品管理
- ・安全管理（講義・実習）
- ・支台歯形成（講義・実習）
- ・歯内治療（講義・実習）
- ・歯周病について
- ・PMTC、SRP（講義・実習）
- ・歯周検査（講義・実習）
- ・CR修復（講義・実習）
- ・マイクロスコープ（講義・実習）
- ・電子カルテ研修（算定）
- ・電子カルテ研修（記事入力）
- ・浸潤麻酔（講義・実習）
- ・冠除去、冠装着講義
- ・カリオロジー講義
- ・口腔機能検査（講義・実習）
- ・ラバー、印象採得試験
- ・高頻度治療の保険算定
- ・LINE WORKS 登録
- ・目標設定・研修の評価法
- ・専門研修説明会
- ・治療計画立案
- ・予約の取り方
- ・衛生士業務（口腔ケア）
- ・みなとメディカル研修説明
- ・諫早療育センター研修説明
- ・Doctorbook解説
- ・長崎大学病院の災害対策
- ・BLS（講義・実習）
- ・放射線業務従事者新規講習
- ・デンタルX線写真撮影実習
- ・大学院説明会
- ・各ライフステージの歯科疾患の予防管理
- ・離島医療講義
- ・ルーペセミナー
- ・災害講義
- ・症例発表会の説明
- ・歯科治療保険算定に関する動画視聴
- ・診療時に潜むリスク



7) 全身管理研修・専門研修選択状況

プログラム	氏名	全身管理研修		専門研修			ローテート
					main	sub	
A1	A1-1	7/16~8/16	口腔外科	5/1~7/12	保存	放射線・矯正	小児
	A1-2		口腔外科		保存	放射線	
	A1-3		口腔外科		冠補綴	矯正	
	A1-4		口腔外科		虫歯		
	A1-5		口腔外科		義歯補綴	放射線	小児
	A1-6	口腔外科	小児歯科				
	A1-7	7/16~9/20	麻酔・特歯		冠補綴		
	A1-8		麻酔・特歯		義歯補綴	放射線	小児
A2	A2-1	9/24~10/25	口腔外科	7/16~9/20	冠補綴	矯正	
	A2-2		口腔外科		保存		
	A2-3		口腔外科		義歯補綴	放射線	小児
	A2-4		口腔外科		冠補綴		
	A2-5		口腔外科		虫歯	放射線	小児
	A2-6	9/24~11/29	麻酔・特歯		義歯補綴		小児
	A2-7		麻酔・特歯		小児歯科	放射線	小児
A3	A3-1	12/2~1/10	口腔外科	9/24~11/29	冠補綴	放射線・矯正	小児
	A3-2		口腔外科		冠補綴		
	A3-3		口腔外科				小児
	A3-4		口腔外科		虫歯	矯正	
	A3-5		口腔外科		義歯補綴	放射線	小児
	A3-6	12/2~2/14	麻酔・特歯		保存	放射線	小児
	A3-7		麻酔・特歯		義歯補綴		
プログラム	氏名	全身管理研修					
B	B-1 B-2 B-3	前半5/1~6/7 後半6/10~7/12	麻酔・特歯	口腔外科	8/1~3/31	協力型研修施設	
			麻酔・特歯	口腔外科		協力型研修施設	
			口腔外科	麻酔・特歯		協力型研修施設	

麻酔・特歯: 歯科麻酔科、特殊歯科総合治療部

保存: 歯科保存治療室

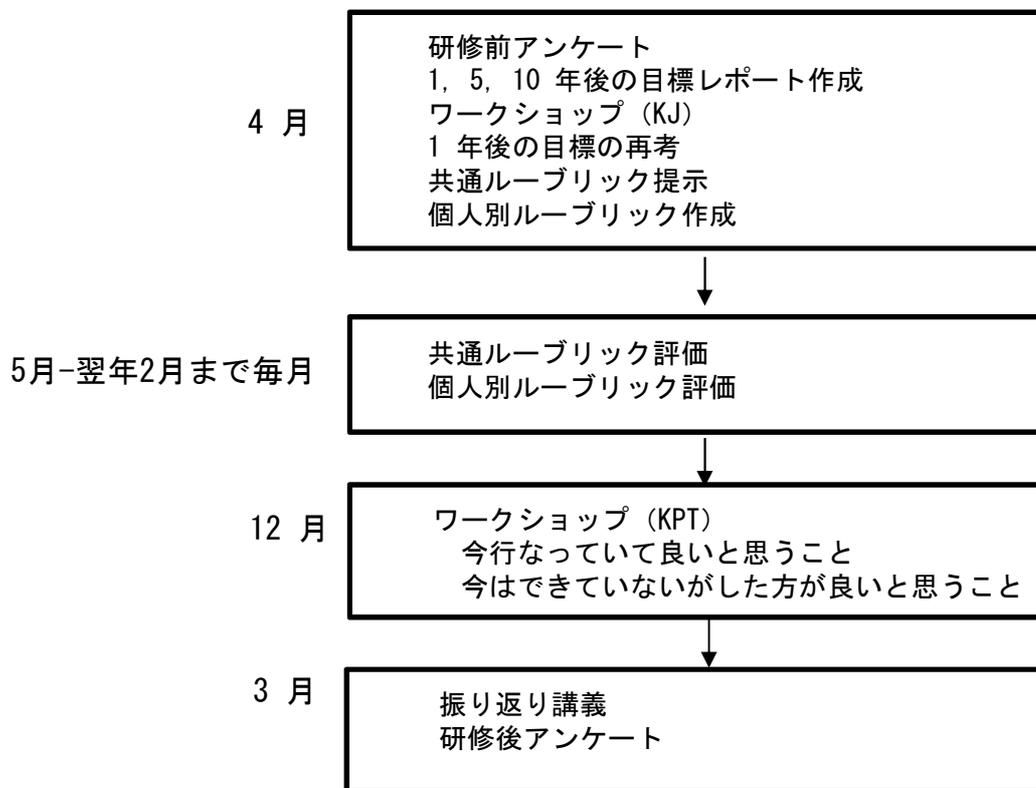
虫歯: 虫歯治療室

冠補綴: 冠補綴治療室

義歯補綴: 義歯補綴治療室

8) 目標設定研修

今年度の目標設定研修ならびに自己評価を下記のように実施した。



ワークショップ (KJ)



個人ルーブリック評価シート

評価		3	2	1	0
技術	PMTc、スクーリングの練習	1回/1週	<1回/2週	1回/1ヶ月	0回/1ヶ月
	文台書形成の練習を行う	<1回/1週	1回/2週	1回/1ヶ月	0回/1ヶ月
	根拠治療の練習を行う (マイクロ練習、動脈閉塞、根拠形成など)	1回/1週	1回/2週	1回/1ヶ月	0回/1ヶ月
	印象採得、咬合採得の練習	1回/1週	1回/2週	<1回/1ヶ月	0回/1ヶ月
	レジメ完成の練習(最終除去一完)	1回/1週	<1回/2週	1回/1ヶ月	0回/1ヶ月
	Fac制作の練習(自分の形成したものなどで 行った練習を先生に評価してもらう)	<1回/1週	1回/2週	1回/1ヶ月	0回/1ヶ月
	行った練習を先生に評価してもらう	1回/1週	<1回/2週	1回/1ヶ月	0回/1ヶ月
評価		3	2	1	0
知識	各科目の書籍、動画(Tipsなど)などの視聴	5-6回/週	3-4回/週	<1-2回/週	0回/週
	セミナーに参加する	<100%	75%	50%	0%
	知識の確認(説明のためのアウトプット)	5回/週	3回/週	<1回/週	0回/週
	論文を読む	1回/1週	1回/2週	1回/1ヶ月	<0回/1ヶ月
	わからない物事への対応	毎回やる	大体やる	あまりやらない	全然やらない
	1週間の総復習	きちんとやる	大体やる	あまりやらない	全然やらない
	資料以外の教養、ニュースを見る	2回/週	1回/週	<1回/1ヶ月	0回/1ヶ月
評価		3	2	1	0
その他	私生活の見直し(日々の振り返り)	1回/週	<1回/2週	1回/4週	0回/4週
	運動をする	3回/週	<1回/週	1回/2週	0回/4週
	同僚との実習やセミナーの振り返り	1回/週	1回/2週	<1回/4週	0回/4週

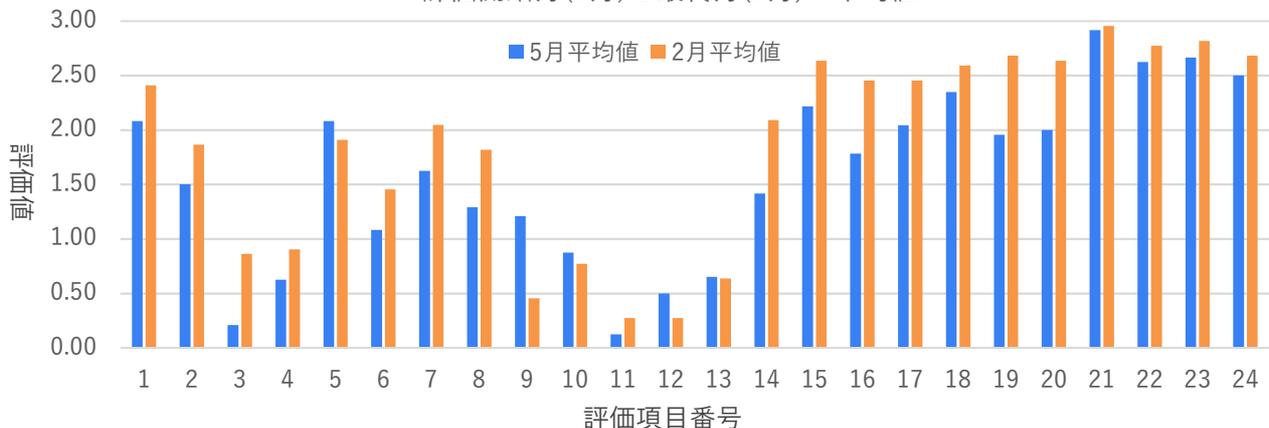
		3	2	1	0
知識	教科書を読む	60分/日	45分/日	30分/日	0分/日
	セミナー参加	100%	80%	50%	0%
	tipsの動画を見る	5回/日	3回/日	1回/日	0回/日
	セミナー参加後の内容をまとめる	毎日	ほぼ	時々	全く
	インシデントレポートをみる	5個/日	3個/日	1個/日	0個/日
技術	形成実習をする	1本/週	1本/2週	1本/月	1本/2月
	印象採得をする(相互)	2回/週	1回/週	1回/2週	1回/月
	PMTc(相互)	2回/週	1回/週	1回/2週	1回/月
その他	マイクロ実習をする	1回/週	1回/2週	1回/3週	1回/月
	今日の振り返りをする	毎日	ほぼ	時々	全く
	同僚のいいところを見つける	毎日	ほぼ	時々	全く

共通ルブリック評価シート

	評価	求めるもの	3	2	1	0
知識	【1】 歯科の本を読む	読む	疑問に思ったことは概ね調べている	十分でないが疑問に思ったことは概ね調べている	疑問に思ったことは少しだけ調べている	疑問に思ったが調べていない
	【2】 まとめる	学んだことをまとめる	調べたことはほとんどまとめている	十分でないが調べたことは概ねまとめている	調べたことの一部のみまとめている	まとめていない
	【3】 論文を読む	読む	定期的に十分読んでいる	十分でないが定期的に読んでいる	ごくわずか読んだ	ほとんど読んでいない
	【4】 まとめる	学んだことをまとめる	調べたことはほとんどまとめている	十分でないが調べたことは概ねまとめている	調べたことの一部のみまとめている	まとめていない
	【5】 セミナーに参加する	学ぶ	学外のものも含め出席可能なセミナーに積極的に参加できた	すべてではないが予定されていたものは概ね参加できた	予定されていたものの1/2程度に参加できた	あまり参加できなかった
	【6】 まとめる	学んだことをまとめる	調べたことはほとんどまとめている	十分でないが調べたことは概ねまとめている	調べたことの一部のみまとめている	まとめていない
	【7】 全身疾患について勉強する	検索	疑問に思ったことは概ね調べている	十分でないが疑問に思ったことは概ね調べている	疑問に思ったことは少しだけ調べている	疑問に思ったが調べていない
	【8】 まとめる	学んだことをまとめる	調べたことはほとんどまとめている	十分でないが調べたことは概ねまとめている	調べたことの一部のみまとめている	まとめていない
技術	【9】 相互実習の練数	空き時間に積極的に相互実習を行う	20回	10回	5回	4回以下
	【10】 模型実習の練習	勤務外の時間で積極的に練習を行う	20回	10回	5回	4回以下
	【11】 歯型実習の練習（歯形彫刻）	歯の解剖を理解するため、歯形彫刻を行う	5本	3本	1本	未経験
	【12】 治療計画立案ができるようになる	自分で治療計画立案する	15例	10例	5例	4例以下
	【13】 X線写真の読影ができるようになる	全額X線写真を読影する	15例	10例	5例	4例以下
	【14】 見学・介助	自分の診療のないときには積極的に外来で見学を行い、一通りの治療の見学あるいは介助を行う	診療以外の次回は積極的に見学した。一通りの治療の見学あるいは介助ができた	すべてではないが自分が経験していない処置、これから行う処置の介助、見学を積極的に行った	積極的に介助を行っている	頼まれた介助のみ行った
態度	【15】 診療の予習をする		右記の他、疑問に思ったことは基本的に調べた	右記の他、関連する内容の勉強を行った	手順の確認を行った	予定の確認のみ行った
	【16】 診療の振り返りをする		右記の他、定期的に診療内容を整理している	右記の他、疑問に思ったことは基本的に調べた	右記の他、関連する内容の勉強を行った	カルテの記事記載のみ行った
	【17】 指導医に質問する		積極的に質問している	質問するように意識している	たまに行う	ほとんどしない
	【18】 積極的に取り組む		積極的に取り組んでいる	十分でないが積極的に取り組んでいる	積極的に取り組んだこともある	積極性に乏しい
コミュニケーション	【19】 コミュニケーション取れるようになる	説明とその理解度の確認ができる	常に患者への説明と患者の理解度の確認ができた	毎回ではないが患者への説明と患者の理解度の確認ができた	説明を行ったが、患者の理解度を確認できなかった	十分に説明できていない
	【20】 患者にわかりやすく説明できる		常に患者の身になって考えている	患者が理解しやすい表現を用いている	話すスピードや声の大きさに注意した	患者の理解度は考えていない
マナー	【21】 遅刻しない	決められた時間に行動できる	3ヶ月間遅刻せず毎日出勤できている	3ヶ月に1日しか遅刻していない	3ヶ月間に2日遅刻した	3ヶ月間に3日以上遅刻した
	【22】 身だしなみに注意する		常に注意している	できる限り注意するようにしている	注意することはある	注意していない
	【23】 医療人としてのマナーを身につける		常に意識している	できる限り意識するようにしている	意識することはある	意識していない
	【24】 健康管理（運動・睡眠・栄養）		常に意識している	できる限り意識するようにしている	意識することはある	意識していない

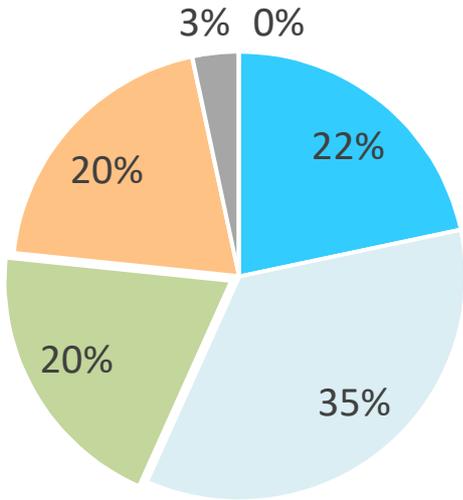
2024年度 共通ルブリック自己評価結果

評価開始月(5月)と最終月(2月)の平均値

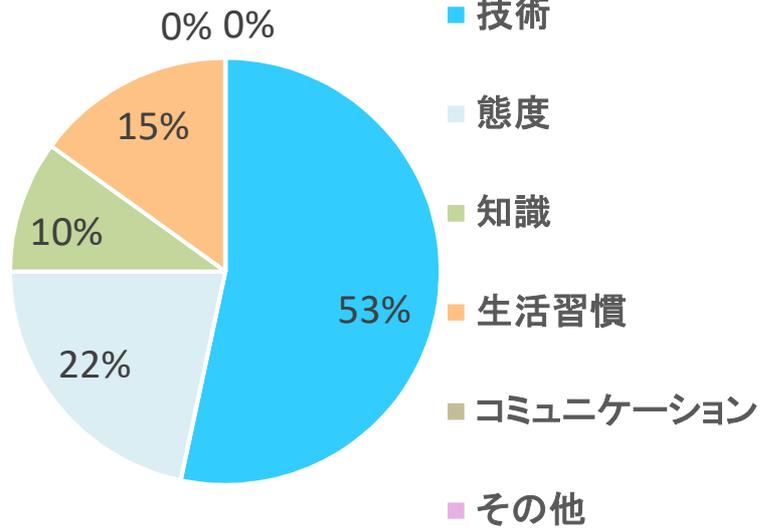


12月に実施した振り返り研修の結果

いま行なっている良いと思うこと

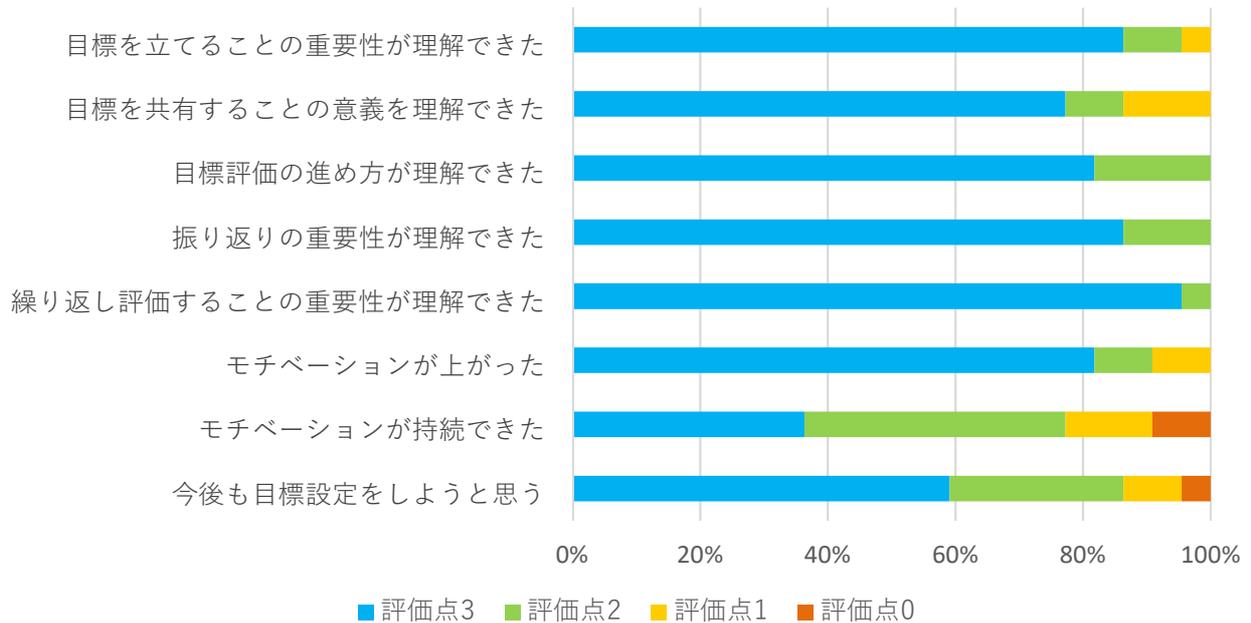


できていないがしたほうが良いと思うこと



研修修了時のアンケート結果

2024年度



9) 総合歯科治療研修

① 配当患者数に関して

R6年度の研修開始時に前年度から引き継ぎを行った患者数は361人であり、研修歯科医1人当たり14～16人の患者の担当となるように配当を行った。
また、年間を通じ新患として11人の患者が来院し、処置内容に応じて希望する研修医に配当を行った。

② 診療評価に関して

研修歯科医が行った診療について、診療直後に当科独自の診療評価票を用いて指導歯科医による診療評価の取り組みを行っている。項目は診療前レポートの内容、主治療への研修歯科医の関与と研修歯科医が行なった処置評価および処置の難易度とした。1年を通じて診療評価票の提出率は88%と前年度(61%)から大きく向上していた。

診療評価の取り組みに関するアンケート調査では、指導歯科医、研修歯科医ともに診療評価・フィードバックの取り組みが有効であると思う意見が多く認められた。指導歯科医と研修歯科医がお互いの意見を聞く機会となり、フィードバックの時間を十分に取れていなかった現状の改善のきっかけとなったと考えられる。

診療前レポートと共に持参するように

診療日	研修医氏名	指導医		
副院長診療評価				
	3	2	1	0
診療前レポート	仕上がりと製べられ、指導医のアドバイスも受けていた	仕上がりと製べられていた	提出したが、内容では及ばなかった	提出していなかった
主治療への副院長の関与	十分	ほぼ十分	やや不足	不足
副院長が行った処置の存在	十分	ほぼ十分	やや不足	不足
処置の難易度	難しい	どちらかと言えば難しい	どちらかと言えば易しい	易しい
処置内容の記載	TBI、PCR+PMTC、口腔癌、SG、SRP、歯周外科、 CR完成(平均高付、咬合高付)、1/4移動(KP、imp、BT、set)、 根管治療(歯髄、歯髄消毒)、根管形成、根管充填、根管拡大、根管洗浄・封塞(根管充填)、 歯周療法(歯周炎、歯周炎)、クラウン(PZ、mp、BT、set)、ブリッジ(PZ、imp、BT、set)、 部分矯正(歯列、imp、BT、I、set)、処置歴(mo、BI、II、set)、 咬合調整(調整、1/4移動、リライズ、修繕)、 抜歯、顎関節症、その他()			
処置の難易度へのコメント (今回難しい処置なのか)				

2024年(5月～3月)診療評価シートの提出状況

- ・ 総提出枚数 **2306 枚**
- ・ 月平均提出枚数 **210 枚**



11) 研修会

院内外の講師によるクリニカルセミナーや企業によるハンズオンセミナーによって基礎的技術から最先端の歯科医療に至るまでの知識を獲得している。

月	日付	曜日	レクチャー、ハンズオン (講座、メーカー、外部講師等)	レクチャー、ハンズオン (指導医)	研修医/修練医発表 カンファレンス等	自由参加セミナー
4月	4月25日	木				Zoomセミナー
5月	5月9日	木	小児歯科臨床研究協力についての説明			
	5月10日	金		NiTi実習		
	5月13日	月		II級CR実習		
	5月15日	水	歯周病、咬合リスク評価表説明			
	5月16日	木	諫早療育センター研修説明			
	5月20日	月	スーパーボンドセミナー			
	5月21日	火		口腔内写真テスト グループ1		
	5月22日	水	中久木先生災害歯科研修			
	5月23日	木		口腔内写真テスト グループ1		
	5月24日	金		NiTi実習		
	5月27日	月		口腔内写真テスト グループ3		
	5月28日	火		口腔内写真テスト グループ4		
	5月29日	水		II級CR実習		
	5月30日	木				Zoomセミナー
6月	5月31日	金		NiTi実習		
	6月4日	火	松風 アイスペシャル説明会			
	6月7日	金		NiTi実習		
	6月10日	月	GCセミナー			
	6月11日	火	ルーベ説明会 メディカルプログレス社			
	6月12日	水	ライオン歯ブラシ歯磨剤セミナー			
	6月13日	木			症例発表の説明	
	6月17日	月	瀧美先生セミナー			
	6月18日	火	GSK 歯磨剤等セミナー			
	6月19日	水	ツムラ漢方セミナー			
	6月21日	金		II級CR実習		
	6月24日	月	キャビトン実習付き説明会			
	6月25日	火	ヴェルテック商品説明会			
	6月26日	水		NiTi実習		
6月27日	木				Zoomセミナー	
6月28日	金	キャリアアップセミナー				
7月	7月1日	月		口腔機能検査 実習		
	7月2日	火		口腔機能検査 実習		
	7月3日	水		口腔機能検査 実習		
	7月5日	金		口腔機能検査 実習		
	7月9日	火	将来設計セミナー			
	7月17日	水	木戸先生セミナー(1)			
	7月22日	月			症例検討会	
	7月23日	火	田中先生歯周病セミナー	CSミラーテクニック1日半コース前半組		
	7月24日	水		CSミラーテクニック前半組		
	7月25日	木		CSミラーテクニック1日半コース後半組		Zoomセミナー
	7月26日	金		CSミラーテクニック後半組		
	7月29日	月				若手歯科医師懇話会
	7月30日	火	技工士セミナー			
	8月	8月5日	月	ナカニシセミナー		
8月19日	月			症例検討会		
8月21日	水	木戸先生セミナー(2)				
9月	9月3日	火			論文セミナー	
	9月9日	月	松下祐樹先生キャリアアップセミナー			
	9月10日	火	口腔外科医局説明会			
	9月17日	火		動画研修1回目		
	9月18日	水			専門研修発表会	
9月30日	月			症例検討会		
10月	10月1日	火		動画研修2回目		
	10月7日	月	保険算定勉強会 多田先生			
	10月9日	水	木戸先生セミナー(3)			
	10月15日	火			論文セミナー	
	10月16日	水		CO2レーザーハンズオンセミナー		
	10月18日	金		動画研修3回目(視聴ログ記録)		
	10月21日	月	キャナルシーラー-BG説明会			
10月29日	火			論文セミナー		
10月31日	木				Zoomセミナー	
11月	11月6日	水	オルコア 歯周病原菌PCR検査説明会			
	11月11日	月		口腔内スキャナー		
	11月12日	火	大学院説明会1		論文セミナー	
	11月13日	水			専門研修発表会	
	11月14日	木	大学院説明会2			
	11月18日	月			症例検討会	
	11月19日	火			論文セミナー	
	11月20日	水		ルナビューを用いた研修		
	11月25日	月			修練医症例報告会	
	11月26日	火			修練医症例報告会	
11月29日	金			修練医症例報告会		
12月	12月2日	月	岸本先生セミナー			
	12月3日	火			論文セミナー	
	12月4日	水			修練医症例報告会	
	12月6日	金			修練医症例報告会	
	12月9日	月			修練医症例報告会 予備日	
	12月10日	火			修練医症例報告会 予備日	
	12月12日	木	N-MEC研修の要点			
	12月16日	月			症例検討会	
	12月17日	火	高嶋智也先生マイクロハンズオンセミナー			
	12月18日	水	GCセメント関連			
	12月20日	金			振り返り研修	
	12月23日	月			論文セミナー	
	1月	1月21日	火	2024年度接遇研修会		
2月	2月5日	水		ラバーダム、印象採得試験		
	2月7日	金	池田先生臨床セミナー			
	2月12日	水		ラバーダム、印象採得試験		
	2月18日	火		口腔内写真撮影試験		
	2月19日	水		ラバーダム、印象採得試験		
	2月26日	水	NextVision説明			
	2月27日	木				Zoomセミナー
2月28日	金	「若手医師向け情報共有サービス」説明会				
3月	3月4日	火		口腔内写真撮影試験		
	3月11日	火		口腔内写真撮影試験		
	3月18日	火		口腔内写真撮影試験		
	3月19日	水			振り返り研修	



指導医によるセミナー



メーカーセミナー



外部講師研修会



12) 実技評価

概形印象評価

相互実習形式で研修歯科医の上下顎の概形印象を
研修開始時と終了時に行い、評価した（以下、評価結果参照）。

評価項目		○	×	開始時 平均	終了時 平均	
上顎	印象範囲	歯列全体の歯冠部を包含している	1	0	0.65	0.86
		唇 頬側の各小帯が採れている	1	0	0.13	0.41
		口蓋側では口蓋面全域を包含している	1	0	0.70	0.91
		ハミュラーノッチが採れている	1	0	0.17	0.68
		トレーのサイズが合っている	1	0	0.91	0.91
		トレーの柄が正中とズれていない	1	0	1	1
		歯や粘膜へトレーが接触し、印象面に露出していない	1	0	0.70	0.32
		後方への印象材の大量の流れがない	1	0	0.65	0.68
		大きな気泡の混入がない	1	0	0.70	0.77
		不明瞭な部分がない	1	0	0.48	0.73
下顎	印象範囲	歯列全体の歯冠部を包含している	1	0	0.57	0.95
		唇 頬側の各小帯が採れている	1	0	0.17	0.36
		後方は臼歯三角が採れている	1	0	0.70	0.91
		舌側は舌小帯が採れている	1	0	0.91	0.91
		トレーのサイズが合っている	1	0	1	1
		トレーの柄が正中とズれていない	1	0	1	1
		歯や粘膜へトレーが接触し、印象面に露出していない	1	0	0.65	0.50
		後方への印象材の大量の流れがない	1	0	0.74	0.68
		大きな気泡の混入がない	1	0	0.83	0.91
		不明瞭な部分がない	1	0	0.61	0.77
計				13.05	15.27	



ラバーダム防湿評価

研修歯科医が相互にラバーダム防湿を行う実技試験を実施した。

実技試験は実際の診療が始まる前の基礎研修期間(4月)に1回目、研修後期(2,3月)に2回目を行い、指導歯科医が研修歯科医の手技に関して7項目(9点満点)を評価した。研修歯科医はお互いの手技に関して、ラバーダム装着中の不快感等をVASにて評価し、フィードバックを行った。

指導医による実技評価は1回目よりも2回目の実技試験時の方が点数は高かった(1回目:6.09点→2回目:8.09点)。

研修医同士によるVASの評価も、1回目よりも2回目の方がラバーダム装着中の不快感が少なくなっていた(1回目:2.33点→2回目:0.95点)。年間を通して診療や自主練習により、ラバーダム防湿の診療能力が向上したことがうかがえる結果となった。



口腔内写真撮影評価

口腔内写真撮影の方法について指導し、実践(テスト)を年度初めと終わりに行った。5分以内で、全顎の写真5枚撮影できるようにすることを1年間の目標とし、研修初めと修了間近での比較をした。



13) 研修医症例発表会

第1回 令和7年1月14日(火) 16:30~17:00 発表者2名

- ①「パーキンソン病患者のTBI」
- ②「突発性歯頸部外部吸収の症例」

第2回 令和7年1月20日(月) 16:30~17:30 発表者4名

- ①「失明患者への抜歯後新義歯作製と指導を行った症例」
- ②「ガッタパーチャ、シーラー、歯質の接着について」
- ③「顎関節患者に対する考察と治療計画」
- ④「2壁性骨欠損に対してリグロスを用いた症例」

第3回 令和7年1月27日(月) 16:30~17:30 発表者4名

- ①「ブリッジマージン下の歯肉縁下齲蝕の治療」
- ②「口腔乾燥症による多数歯齲蝕に対する欠損補綴症例」
- ③「デンチャースペース減少に対する前処置と補綴治療計画」
- ④「セメント質剥離に対して外科的処置を行なった症例」

第4回 令和7年2月3日(月) 16:30~17:30 発表者4名

- ①「歯根端切除術を行った前歯に対する補綴治療症例」
- ②「多数歯齲蝕を有する小児患者の治療計画立案と予後管理計画」
- ③「シェーグレン症候群を有する患者の治療計画」
- ④「抜歯後の歯槽粘膜の変化とともに補綴装置の修理を行った症例」

第5回 令和7年2月10日(月) 16:30~17:30 発表者4名

- ①「歯根破折歯に対してヘミセクションを行った症例」
- ②「認知症患者に対して口腔機能検査を行った症例」
- ③「顎位が不安定な歯周病患者に対する治療計画の検討」
- ④「磁性アタッチメントを用いて新義歯を作製した症例」

第6回 令和7年2月17日(月) 16:30~17:30 発表者4名

- ①「清掃状態不良、多数歯う蝕患者の口腔管理」
- ②「歯周一歯内病変に対して根管治療を行った症例」
- ③「角化歯肉狭少に対してAPFを行った症例」
- ④「感染根管と非感染根管を有する歯に対する治療」

第7回 令和7年2月25日(火) 16:30~17:15 発表者3名

- ①「若年層の多数歯う蝕に対する治療」
- ②「C4から歯冠補綴まで行った症例」
- ③「カリエス多発、清掃不良患者に対する口腔管理」

14) みなとメディカルセンター研修についてのアンケート結果

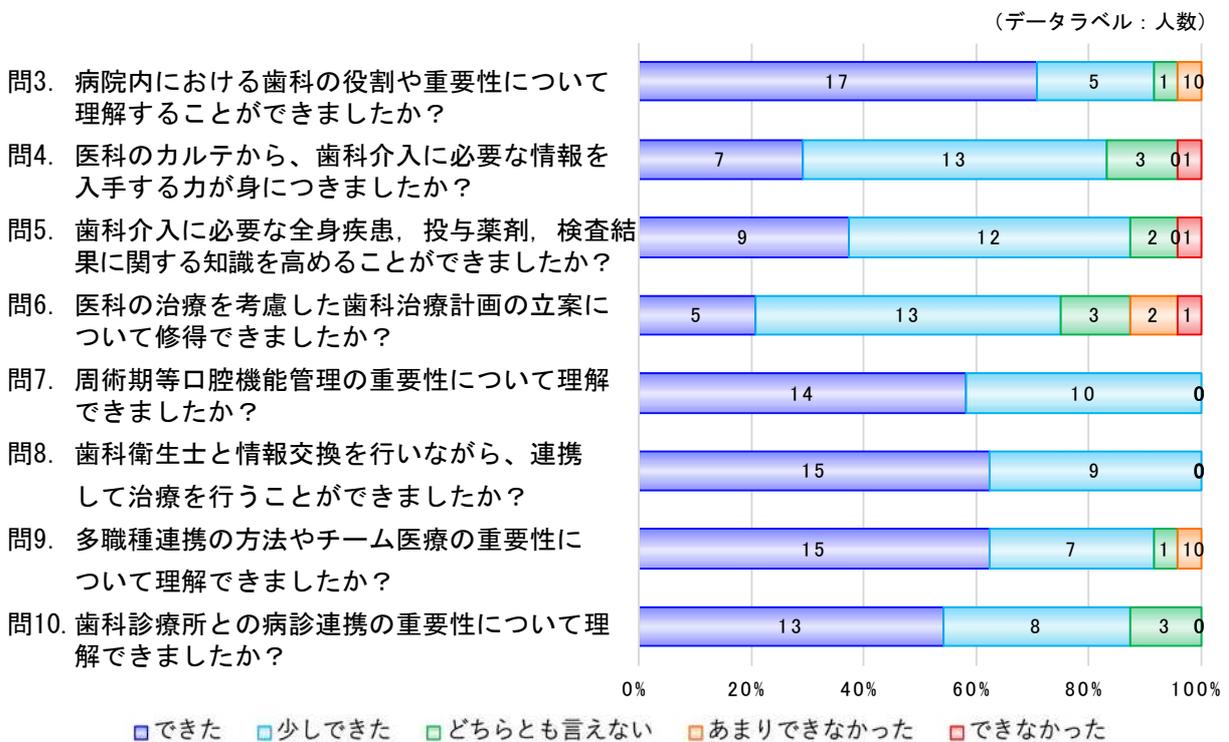
対象：研修歯科医25名中24名（回答率96%）

問1. 研修日数（25名分の実績より）

5日：3人（群方式臨床研修の研修歯科医） 8日：2人 9日：12人 10日：8人
平均 9.3 日

問2. チーム医療への参加回数

- ・NSTカンファレンス：平均 2.0 回（1回：7人 2回：11人 3回：5人 5回：1人）
- ・緩和ケアカンファレンス：平均 1.9 回（1回：8人 2回：10人 3回：6人）
- ・糖尿病チームカンファレンス：途中から参加開始のため、次年度から計数



<自由記述>

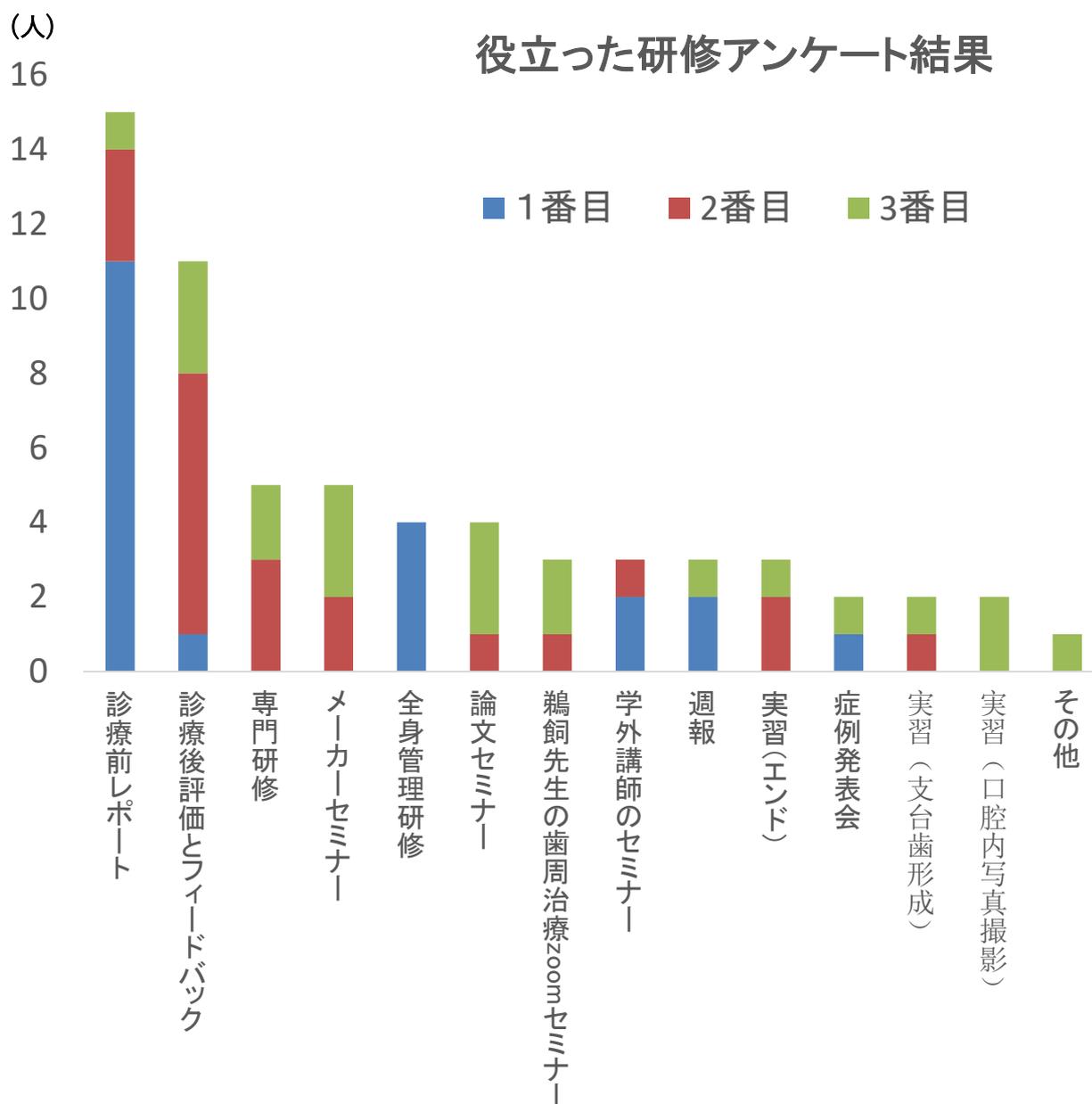
問11. 研修をより充実させるためには、どのような研修内容が望ましいと思いますか？

- 『まとまった連続した日数で研修を行なう』
- 『もう少し実際に手を動かす機会がほしい』
- 『研修開始前に、様々なカンファレンスに研修医が参加する意義の説明があるとよい』

問12. この研修に対する意見や感想など、自由に記載してください。

- 『口腔ケアが患者の栄養状態に大きな影響を与えることを実感できた』
- 『術後の患者は特に口腔ケアが行き届いていないので、歯科介入の重要性を再認識できた』
- 『大学病院とは異なる環境で周術期の口腔管理を学ぶことができ、充実した時間だった』
- 『歯科衛生士の病棟での口腔ケアからは学ぶことが多かった』
- 『医科との連携について学べてよかった』
- 『カンファレンスに参加することでチーム医療の大切さが分かった』

15) 役立った研修

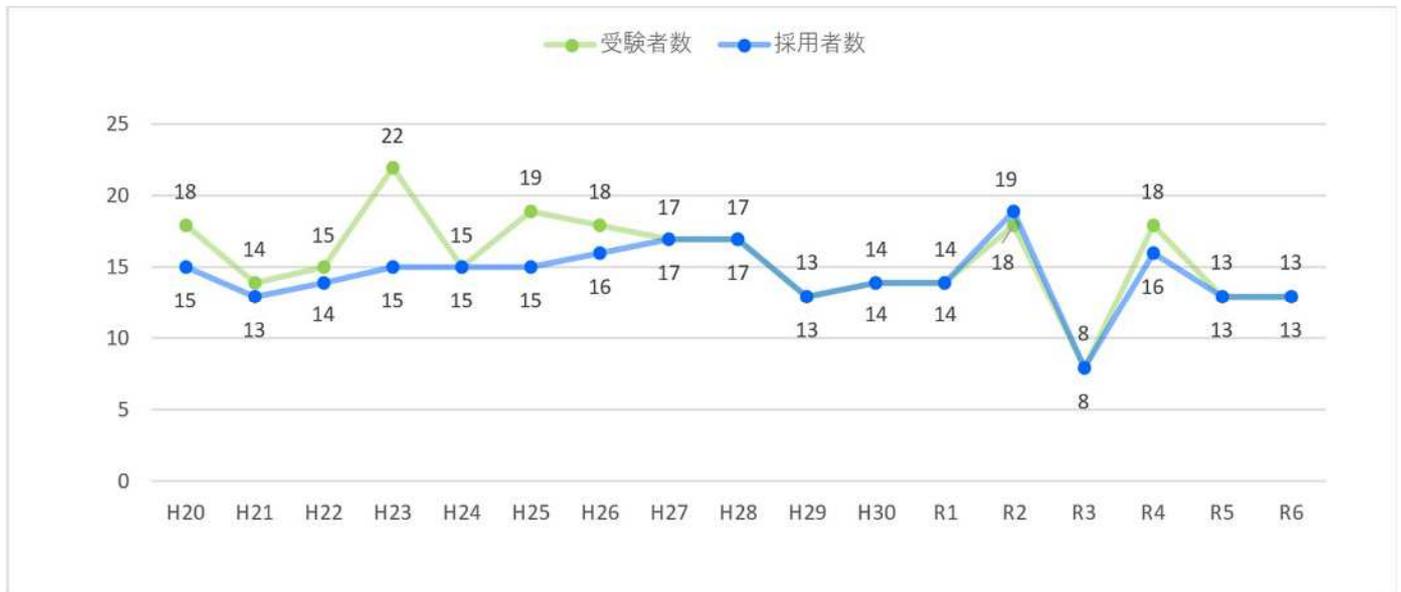


研修修了時に役立ったと思う研修を各研修歯科医に3つ挙げてもらい集計した。その結果、診療前レポートやフィードバックなど、指導医とのディスカッションが必要な項目の評価が高かった。

(4) 歯科後期臨床研修

1) 修練歯科医数の推移

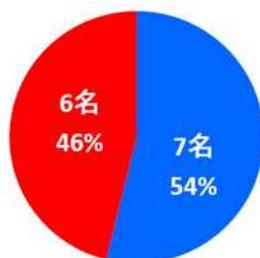
■受験者数、採用者数の推移



■令和6年度採用実績

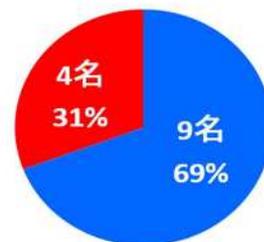
男女比

■男性 ■女性



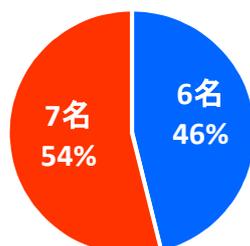
出身県

■長崎県内 ■長崎県外



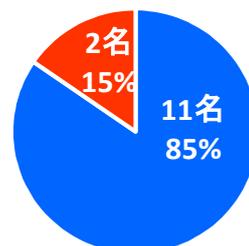
出身大学

■長崎大学出身 ■他大学出身



長崎大学で研修した割合

■長崎大学初期研修修了者 ■他大学初期研修修了者



2) 医局別修練歯科医入職者数

	R6年	R5年	R4年	R3年	R2年	R1年
虫歯治療室		1				
歯科保存治療室	2		1	1	1	1
冠補綴治療室	3	1	4		3	2
義歯補綴治療室	3	2	2	1	1	2
小児歯科			1		3	
矯正歯科	2	1	4	2	2	2
口腔外科		3	1		5	4
麻酔・生体管理科		2			1	1
口腔管理センター	2	3	3	3	2	
特殊歯科総合治療部	1			1	1	
総合歯科診療部						2
	13	13	16	8	19	14

3) 修練歯科医症例報告会

11月25日から12月6日にかけて修練医12名の症例報告会を研修セミナー室で実施した。

発表内容を研修先ならびに臨床研修の指導医、さらには初期研修医によりルーブリック表を用いて評価を行った（以下、参加者数・評価結果 参照）。

参加者（平均参加人数24.9人）

発表者	参加者	研修医	修練医	その他
A	26	20	3	3
B	26	21	2	3
C	25	21	1	3
D	26	19	2	5
E	26	19	2	5
F	26	19	2	5
G	24	18	3	3
H	23	18	2	3
I	25	18	4	3
J	21	17	2	2
K	22	18	2	2
L	29	19	7	3

ルーブリック評価結果（各項目3点満点）

評価項目		平均(SD)
大項目	評価対象	
内容	主訴情報	2.96±0.04
	現症の説明	2.96±0.04
	口腔内写真、X線写真、その他のData等	2.92±0.06
	方針や治療計画	2.89±0.10
	治療の流れ、術式等	2.84±0.11
	治療経過、治療結果等	2.70±0.28
	考察、反省、まとめ等	2.89±0.09
スライド	タイトルと本文のバランス	2.75±0.28
	行間が適切	2.93±0.13
	改行が適切	2.93±0.09

評価項目		平均(SD)
大項目	評価対象	
話し方	滑舌がよい	2.93±0.11
	スピード	2.93±0.05
	自分の言葉で話す	2.28±0.21
	「ええと」などの言葉	2.76±0.23
	スライドばかり見ていない	1.97±0.31
	発表時間	1.83±1.10
質疑応答	質問をよく聞く	2.96±0.06
	知識を用いて考えを述べる	2.93±0.10

3. 看護キャリア支援部門

(1) 部門長挨拶

【看護部 教育目標】

1. 患者と家族の生活の質を高めるための看護の実践を追求する看護師を育成する
2. 看護専門職者として自律した行動をとることの出来る看護師を育成する
3. 教育機関としての大学病院の役割を理解し、後輩を育てる意思を持った看護師を育成する
4. 高度先進医療機関としての大学病院の使命を果たせるよう自己研鑽に努める看護師を育成する
5. 効率的な医療提供を目指すことで経営参画を果たすことのできる看護師を育成する

2025年の4月から部門長を拝命しました宮原です。

2024年度もこの5つの教育目標を達成するために、看護キャリア支援部門は教育に関連する6つの委員会と2つのプロジェクトを管理する看護部教育管理運営委員会と連携し継続して取り組みました。また他職種へのタスクシフトシェアとして看護補助者に対する教育も体系的な研修体制を構築し取り組みました。

まず、患者と家族の生活の質を高めるための看護実践を追求する看護師の育成に関しては、5分野の院内認定看護師があらたに6名誕生しました。臨床実践モデルとして患者へ質の高い看護を提供するために活躍しています。例年開催している院内看護研究発表会では、ここ数年コロナ禍で参加者を制限していましたが、2024年度は当日参加も受けつけ182名の参加がありました。5演題が発表され活発な意見交換になりました。

看護専門職者として自律した行動をとることが出来る看護師の育成に関しては、新人看護職員、クリニカルラダー、職場復帰等の各段階に応じた継続教育プログラムを充実させました。

大学病院の教育機関としての役割を理解し、後輩を育てる意思を持った看護師の育成に関しては、各委員会での実地指導者や臨地実習指導者育成など、その役割を担う看護師が研修や交流会を受講することで、指導者の不安解消や成長の一助となっています。また継続教育ラダー別研修では、看護師の実践能力の評価指標であるクリニカルラダーを用いて、看護師自身の目標や課題に応じた研修プログラムを選択し受講することが出来ています。

高度先進医療機関としての大学病院の使命を果たせるよう自己研鑽に努める看護師の育成では、昨年度より力を入れて管理者育成に取り組んでいます。副看護師長全員を対象に外部講師を招いて看護マネジメントリフレクション研修を開催しました。また大学病院の使命としては、看護学生の臨地実習施設の受け入れ、他施設の看護職員の研修や施設見学も受け入れました。

効率的な医療提供を目指すことで経営参画を果たすことのできる看護師育成では、アドバンス・テクニクやエキスパート・テクニク取得者を計画的に増やすことで医師の業務のタスクシフト、タスクシェアが進みました。看護師の技術力の向上が患者の安心と信頼につながると共に医師の働き方改革にも貢献しました。

今後も、専門職である看護師としての使命と責任を自覚し、安全・安心を保障する看護実践ができる看護師育成に取り組み、患者・家族が長崎大学病院で良かったと思う看護を実現していきたいと考えます。

看護キャリア支援部門

部門長 宮原真千世

(2)2024年度 教育目標

大項目	中項目	小項目	結果
<p>【目標】 専門職である看護師としての使命と責任を自覚し安心・安全を保障する看護実践ができる看護師を育成する。</p>	<p>1) 患者と家族の生活の質を高めるための看護の実践を追求する看護師を育成するために院内認定看護師 活動の支援のあり方を検討する。</p>	<p>院内認定看護師資格取得後の支援について院内認定看護師全員を対象にアンケート調査を行い、次年度に向けて支援内容を決定する。</p>	<p>調査結果を基に、取得後の支援については、分野責任者・委員会で行うことを検討したが、マニュアル改訂には至らなかった。次年度の取り組みを踏まえ、支援方法を明文化していくための準備に繋がった。</p>
		<p>院内認定看護師活動を院内職員全員を対象に院内認定看護師の認知度を調査し、啓蒙方法を検討する。</p>	<p>調査結果を分析したところ、他の資格と混同していることが推察され、院内認定看護師の活動がアピールできるように、院内認定看護師の役割、活動紹介をスライドにまとめ、イントラに掲載した。また、院内認定看護師PRESSに調査結果を掲載し、周知した。</p>
		<p>看護研究フローのマニュアルのブラッシュアップを図る。業務上の取り組みについて、マニュアルに明記するなど、認識を統一と周知を図る。研究支援の広報活動を行う。</p>	<p>看護研究マニュアルの確認が不十分なまま提出される症例が多く、ポスターを作成し研究準備について告知した。</p>
		<p>院内看護研究発表会の企画・運営・評価をする。</p>	<p>院内看護研究発表会を2/27に開催し、5演題の発表があった。182名が参加し、参加者アンケートの結果（n=151）、「看護研究に関心を持った」と回答した割合が96%と高い評価が得られた。また、「参加したことで今後主体的に看護研究に取り組める」と89%が回答した。実際に看護研究に取り組んでいる看護師は8%であったが、「1年以内に取り組む」・「今後取り組む」と答えた看護師は35%の比率であった。</p>
	<p>2) 看護職員が看護研究への関心を高め、主体的に取り組むことができる。</p>	<p>看研カフェの運営を継続し、参加者が①看護研究への関心を高められたか、②研究計画書や抄録作成に進むことができたかについて評価する。</p>	<p>①参加後のアンケートにより100%が看護研究に関心を持つことができたことと返答した。 ②4割が研究計画等に進むことができた。</p>
		<p>研究計画書ならびに抄録の申請前事前確認を継続し、スムーズな研究支援を図る。</p>	<p>申請前事前確認実施率は100%/年であった。</p>

(2)2024年度 教育目標

大項目	中項目	小項目	結果
<p>【目標】 専門職である看護師としての使命と責任を自覚し安心・安全を保障する看護実践ができる看護師を育成する。</p>	1) 患者と家族の生活の質を高めるための看護の実践を追求する看護師を育成する。	(3) 看護部全体の教育プログラムの一元管理を行うことができる。	2025年度の看護部継続教育プログラムを作成する。 作成した資料を看護部運営会議で報告し承認された。各委員会からの研修・教育活動について取りまとめを行い、継続教育プログラムを作成することができた。
		(4) 看護部教育体制の見直しを行う。	看護部教育マニュアルの改訂を行う。 基準・手順などのすみわけを行い、看護部の教育に関する全体像と考え方を整理してまとめることができた。
		(5) 自立した看護師として、看護実践できるための知識・技術・態度を修得することができる。	新人看護職員研修プログラムの企画・運営・評価ができる。 オリエンテーション含め5つの研修が終了し、目標達成度100%、達成度100%であった。 ※看護技術演習・評価は除く。
			2年目看護師育成研修(シリーズ)の企画・運営・評価ができる。 計3回のシリーズ研修を開催することができた。
			復帰支援スクールの企画・運営・評価ができる。 第1回(6月)、第2回(9月)、第3回(12月)が終了し、目標達成度100%、達成度100%であった。
		復帰者・中途採用者オリエンテーションの企画・運営・評価ができる 医療教育開発センターと調整を図り、毎月予定通り開催できた。スケジュールと項目の見直しを随時行った。	
	2) 看護専門職者として自律した行動をとることの出来る看護師を育成する。	(1) マニュアルの大幅な改定後、ラダー申請者、合格者の評価	クリニカルラダーマニュアル改訂後の各ラダー申請及び合格者の状況把握と管理レポートの再評価運用の検討 各ラダー最終合格者数 ラダーⅠ合格者数:81名(合格率89%) ラダーⅡ合格者数:63名(合格率94%) ラダーⅢ合格者数:10名(合格率55.6%) ラダーⅣ合格者数:2名(合格率14.3%)
		(2) クリニカルラダー評価表と合否判定表の電子化移行後の運用と評価	電子化したクリニカルラダー評価表・合否判定表を運用の評価と醸成 委員会内で全ラダー評価表及び合否判定表を運用しての効果等について意見交換を行い大きなトラブルもなく運用できた。
		(3) マネジメントラダーⅠの見直し	マネジメントラダーマニュアル改訂後の取得状況の確認及び更新についてのポイント獲得についての検討 「看護職の倫理綱領」の内容と文言に沿って、認定や評価委委員会に関する追記や修正を行った。

(2)2024年度 教育目標

大項目		中項目	小項目	結果
<p>【目標】 専門職である看護師としての使命と責任を自覚し安心・安全を保障する看護実践ができる看護師を育成する。</p>	<p>2) 看護専門職者として自律した行動をとることの出来る看護師を育成する</p>	<p>(4) 身体拘束廃止に向けた実践ができる。</p>	<p>クリニカルラダー皿以上看護師の「身体拘束」に関する意識を高める研修を企画・運営・評価する</p>	<p>12月より2023年度の受講者を対象とし、受講1年後の行動調査を実施した。約半数から回答が得られた。回答者の82%が研修を活かし、身体拘束評価に向けた行動が実施できたという結果であった。</p>
		<p>(5) 中堅看護師を支援することで部署の活性化を図る。</p>	<p>3年目～10年目の看護師を対象に「看護職の専門職的自律性測定尺度」を用いた調査結果をもとに分析し、評価が低い項目の改善に向けた現状把握を行う。</p>	<p>12月の調査の結果、3～5年目未満は23名、5～10年目未満は44名の回答が得られた。調査結果の特徴として、自律度が低かった項目は、3～5年目では「緊急時や突発的対応」、5～10年目未満は「患者の精神的援助や看護方法の選択」であった。また、今後望む研修については「緊急時の対応」が50%、「同世代との交流」75%であった。</p>
		<p>(6) 新人看護職員ローテーション制度の評価を行い運用方法を検討することができる。</p>	<p>・2022年度、2023年度ローテーション制度対象者にアンケート調査を実施、昨年度と比較検討、また教育担当者、実地指導者、2年目フォロー担当者にも同様のアンケート調査を実施し、双方の意見を比較検討、結果分析し運用検討する。 ・指導者育成の評価ツールである役割別評価表について自己評価だけでなく、他者評価を導入する。</p>	<p>アンケート結果より、「新人看護師の指導の目安」の作成についての要望があり、今年度作成した。内容については、ラダーⅠを軸に年間スケジュールに組み込み、各クールごとに実践できるようにし次年度より運用開始とした。他者評価については準備を行い、次年度の課題とした。</p>
		<p>(7) 新人看護職員の評価指標を再検討し、自ら行動することができるようにする。</p>	<p>社会人基礎力評価内容を再検討し、向上が実感できる内容にする。</p>	<p>柱会人基礎力評価表について、これまでは、1年ごとに評価内容が変わっており、段階的な成長が見えなかったため、1～3年目まで同じ内容で評価するよう改訂した。評価基準も3段階から5段階へ変更し、3年間ですべての項目が「いつもできている」になるようにした次年度より運用開始とした。</p>
		<p>(8) 自身の足跡(キャリア)を見つめ、看護職としてこれからも働き続けるためのキャリアデザインを考えることができる。</p>	<p>中堅ブラッシュアップ研修(シリーズ)の企画・運営・評価ができる。</p>	<p>シリーズ通して、全9名が参加し、目標達成度100%、満足度100%であった。</p>
		<p>(9) 生涯教育を支援することができる。</p>	<p>学研メディカルサポートの活用を推進することができる。</p>	<p>継続教育プログラムの研修や個別で相談があった看護師への教育での活用を行った。2023年度3483時間から2024年度6432時間と1.8倍に増加した。</p>

(2)2024年度 教育目標

大項目	中項目	小項目	結果	
【目標】 専門職である看護師としての使命と責任を自覚し安心・安全を保障する看護実践ができる看護師を育成する。	3) 教育機関としての大学病院の役割を理解し、後輩を育てる意思を持った看護師を育成する。	(1) 新人看護職員の静脈注射に関するスムーズな手技習得ならびに実地指導者の指導の負担軽減を目的とし、自指導者の負担軽減に繋げて主練習環境を整備する	実技評価に向けた演習を、演習模型 (SASUKE)の導入により各部署で実施し、より効率的な手技の習得と実地指導者の負担軽減に繋げていく。	実施後のアンケート調査を行い、認知度は80%、使用した割合は30%程であった。より効率的に使用する方法を見出すことが課題とされた。
		(2) 臨地実習指導者が実習指導の実践を振り返り改善することができる	臨地実習指導者の実習評価体制を整備、構築できる評価表の修正、本運用に向けての分析法方法や評価結果のフィードバックについて具体的に検討する。	「ECTB評価表の選択理由」、「アンケート内容」、「プレテストの結果」について説明できる資料を作成した。評価方法、運用方法、フローチャートを作成することができた。
		(3) 新人看護師育成に関わる指導者同士の交流会によりそれぞれの問題点を明らかにし解決策が見出せる。	新人看護師の育成に携わる教育担当者、実地指導者、2年目フォロー担当者による繋がりを深め、教育者側の課題を解決できるよう交流会を開催する。	教育担当者、実地指導者の交流会を2回開催した。各部署の課題を明確にし、課題解決にむけた対策について意見交換ができた。グループワークで明確化された課題について部署の対処方法や取り組みについて情報共有することができた。
		(4) 実地指導者としての知識・技術・態度を修得することができる	指導者育成研修の企画・運営・評価ができる	シリーズ通して、全51名が参加し、目標達成度99.5%、満足度100%であった。
		(5) 臨地実習指導者の役割を理解し、効果的な実習指導ができる	① 実習及び指導者会、オリエンテーションの調整ができる。 ② 実習ラウンドを行い、課題の抽出、早期解決に向けた調整ができる。	① 計画(実習配置)通り、実習と指導者会が実施できた。 ② 課題に対して、関係各所と調整を図り、早期解決ができた。
		(6) 資格修得者拡充を行いタスクシフトへの貢献を安全に行う安全にタスクシフトできるように持続的なG/Sマイスターの育成により技術体制を醸成する(Aテクニック)修得者の質を維持するために定期的な指導者育成を計画し実行する。	Aテクニック前期7月期、後期9月期Eテクニック1期6月期の研修申請を企画する。A/Eテクニックマイスター研修の企画運営するにあたり、評価表の見直し、IV3Cの取り決めを順次見直し、評価者講習で現場にあった内容を検討する。研修動画の見直しを依頼しアップする。修得者の定期的なフォローアップ研修の確実な実施(各部署)を行い技能維持に努めることができるよう体制を整える。	エキスパートテクニックは、申請者103名全員が合格した。 アドバンステクニックは、前期4項目4名、5項目60名、後期は3項目2名、4項目2名、5項目28名が合格した。
		(7) (Eテクニック)修得者の質を維持するために定期的な指導者育成を計画し実行する。	修得者の定期的なフォローアップ研修の確実な実施(各部署)を行い技能維持に努めることができるよう体制を整える。	アドバンステクニック演習指導者講習会は9/3、9/4で実施し48名が受講できた。 エキスパートテクニック演習指導者講習会は7/2、7/5で実施し56名が受講できた。

(2)2024年度 教育目標

大項目	中項目	小項目	結果	
【目標】 専門職である看護師としての使命と責任を自覚し安心・安全を保障する看護実践ができる看護師を育成する。	3) 教育機関としての大学病院の役割を理解し、後輩を育てる意思を持った看護師を育成する。	(1) 新人看護職員の静脈注射に関するスムーズな手技習得ならびに実地指導者の指導の負担軽減を目的とし、自指導者の負担軽減に繋げて主練習環境を整備する	実技評価に向けた演習を、演習模型 (SASUKE)の導入により各部署で実施し、より効率的な手技の習得と実地指導者の負担軽減に繋げていく。	実施後のアンケート調査を行い、認知度は80%、使用した割合は30%程であった。より効率的に使用する方法を見出すことが課題とされた。
		(2) 臨地実習指導者が実習指導の実践を振り返り改善することができる	臨地実習指導者の実習評価体制を整備、構築できる評価表の修正、本運用に向けての分析法方法や評価結果のフィードバックについて具体的に検討する。	「ECTB評価表の選択理由」、「アンケート内容」、「プレテストの結果」について説明できる資料を作成した。評価方法、運用方法、フローチャートを作成することができた。
		(3) 新人看護師育成に関わる指導者同士の交流会によりそれぞれの問題点を明らかにし解決策が見出せる。	新人看護師の育成に携わる教育担当者、実地指導者、2年目フォロー担当者による繋がりを深め、教育者側の課題を解決できるよう交流会を開催する。	教育担当者、実地指導者の交流会を2回開催した。各部署の課題を明確にし、課題解決にむけた対策について意見交換ができた。グループワークで明確化された課題について部署の対処方法や取り組みについて情報共有することができた。
		(4) 実地指導者としての知識・技術・態度を修得することができる	指導者育成研修の企画・運営・評価ができる	シリーズ通して、全51名が参加し、目標達成度99.5%、満足度100%であった。
		(5) 臨地実習指導者の役割を理解し、効果的な実習指導ができる	臨地実習指導者育成研修の企画・運営・評価ができる ① 実習及び指導者会、オリエンテーションの調整ができる。 ② 実習ラウンドを行い、課題の抽出、早期解決に向けた調整ができる。	シリーズ第3回研修を1/31に開催した。 ① 計画(実習配置)通り、実習と指導者会が実施できた。 ② 課題に対して、関係各所と調整を図り、早期解決ができた。
		(6) 資格修得者拡充を行いタスクシフトへの貢献を安全に行う安全にタスクシフトできるように持続的なG/Sマイスターの育成により技術体制を醸成する(Aテクニック)修得者の質を維持するために定期的な指導者育成を計画し実行する。	Aテクニック前期7月期、後期9月期Eテクニック1期6月期の研修申請を企画する。A/Eテクニックマイスター研修の企画運営するにあたり、評価表の見直し、IV3Cの取り決めを順次見直し、評価者講習で現場にあった内容を検討する。研修動画の見直しを依頼しアップする。修得者の定期的なフォローアップ研修の確実な実施(各部署)を行い技能維持に努めることができるよう体制を整える。	エキスパートテクニックは、申請者103名全員が合格した。 アドバンステクニックは、前期4項目4名、5項目60名、後期は3項目2名、4項目2名、5項目28名が合格した。
		(7) (Eテクニック)修得者の質を維持するために定期的な指導者育成を計画し実行する。	修得者の定期的なフォローアップ研修の確実な実施(各部署)を行い技能維持に努めることができるよう体制を整える。	アドバンステクニック演習指導者講習会は9/3、9/4で実施し48名が受講できた。 エキスパートテクニック演習指導者講習会は7/2、7/5で実施し56名が受講できた。

(2)2024年度 教育目標

大項目	中項目	小項目	結果	
【目標】 専門職である看護師としての使命と責任を自覚し安心・安全を保障する看護実践ができる看護師を育成する。	4) 高度先進医療機関としての大学病院の使命を果たせるよう自己研鑽に努める看護師を育成する。	副看護師長対象のリフレクション研修を企画・運営する。	看護マネジメントリフレクションのシリーズ研修を終了。受講予定者は全員受講できた。	
		(1) 看護管理者がマネジメントに必要な知見を獲得し、より効果的な看護管理に繋げることができる。	2025年度昇任者研修を企画・運営する。	3月上旬に2日間の研修を開催。対象者全員が受講できた。前年度の運営経験を活かし問題なく研修を終了した。
			副看護師長マニュアルを改訂する。	改訂時期は再検討となった。
		(2) トリアージの基礎知識を習得することができる。チームワークの重要性を体験することができる。	合同災害研修を企画・運営・評価する。	研修医との合同演習を通して、トリアージの基礎知識の習得とチームワークの重要性について理解を深めることできた。
		(3) 原子力災害医療に関連する放射線の基礎知識を習得することができる。	原子力災害医療研修を企画・運営・評価する。	全回終了し、61名が参加し、目標達成度100%、満足度100%であった。中核人材研修の受講者は1名であった。
	(4) 看護専門職として最善の看護を常に提供するために必要な知識・技術・態度を修得することができる。	ラダー別研修の企画・運営・評価ができるラダー別研修の運営を振り返り、マニュアルを改訂することができる。	マニュアルに沿って計画通り実施できている。より円滑な運用に向けて本年度抽出された課題についてマニュアルを改訂、1月教育管理運営委員会、2月看護部運営会議で付議する予定。	
	(5) 看護研究を支援できる。	看護研究研修(シリーズ)を企画・運営・評価できる。	シリーズ第5回まで終了、シリーズ通しての参加者は6名。目標達成度98.5%、満足度98.5%であった。	
	5) 効率的な医療提供を目指すことで経営参画を果たすことのできる看護師を育成する	(1) 安全で適正なタスクシェア(業務の共同化)を行うための教育プログラムの運営、評価認定を行うことができる。	アドバンステクニク5項目(動脈ライン採血、動脈ライン作成、12誘導心電図検査、血液培養採取、咽頭培養採取)のカリキュラムを計画して2025年度の継続教育プログラムに組み込む。	2025年度継続教育プログラムに組み込むよう、スケジュールおよび関係資料をA/Eテクニク取得推進PTと共に作成した。
			CV抜針手技のカリキュラムを作成し2025年度の継続教育プログラムに組み込む。	CVポート抜針について組み込み、静脈注射を安全に実施するための教育プログラムおよび評価表・申請書を作成し、承認を得た。
		(2) 病棟でのIV3C実施開始に伴いタスクシフトに貢献できる。	PT内でV3cの各部署の実施状況を聞き取る。改善点などを共有しマニュアル改訂にむけ目指す。	IV3C実施状況は昨年度と比較し軽度上昇し、CVポート穿刺率は医師とのタスクシェアは50%程度である。また末梢静脈穿刺も約50%に上昇し、いずれも一昨年より向上した。

1) 患者と家族の生活の質を高めるための看護の実践を追求する看護師を育成する

〈院内認定看護師取得数〉

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
褥瘡対策 2014年開設	1名	2名	2名	2名	2名	2名	2名	3名	3名	4名
BLS 2015年開設		3名	8名	10名	11名	13名	11名	10名	11名	12名
SBE（シミュレーション教育）2015年開設		3名	5名	3名	4名	4名	5名	4名	5名	5名
PD（腹膜透析） 2016年開設～2024年度 2025年度～「慢性腎臓病看護」		1名	2名							
認知症看護 2016年開設			3名	4名	4名	5名	5名	4名	4名	3名
ストーリーケア 2016年開設			1名	1名	1名	1名	1名	1名	2名	2名
治験コーディネーター 2017年開設				1名	1名	0名	0名	0名	1名	2名
糖尿病ケア 2018年開設					0名	0名	0名	0名	0名	0名
緩和ケア 2018年開設					1名	1名	1名	1名	1名	2名
災害看護 2018年開設					1名	3名	5名	5名	5名	5名
急変対応 2020年開設							1名	1名	3名	3名
在宅看護 2022年開設									1名	3名
合計	1名	9名	21名	23名	28名	31名	34名	31名	37名	43名

2024年は、新規取得者が6名であった。合計43名の院内認定看護師が各分野で臨床実践モデルとしてリーダーシップをとり、質の高い看護の提供に貢献し、活躍している。

4月8日2024年度
院内認定看護師認定証授与式



2024年度院内認定看護師認定証授与式



院内認定看護師 PRESS Vol.17
2025年3月発行

過去に1回以上、院内認定看護師に相談をしたことがある人のほとんどが、
「また依頼・相談したい」と回答！

＜2024年10月 院内認定看護師認知度調査より＞

- 院内認定看護師をご存知ですか？ (N=450) **yes 94.7%**
- 院内認定看護師に依頼や相談をしたことがありますか？ (N=426) **yes 42.0%**
- 院内認定看護師に次回も依頼または相談してみたいと思いませんか？ (N=179) **yes 99.4%**

院内認定看護師に依頼または相談したことが無い理由

0 20 40 60 80 100 (%)

- スベラ以外に相談している
- 自身も院内認定看護師がない
- 何を相談していいかわからない
- 依頼・相談の方法がわからない
- 自分または自身が解決できる
- 他の分野に相談すればいいかわからない
- 多忙で依頼・相談する時間がない
- 学会認定資格を持つスタッフに相談する
- 依頼・相談するの習慣である
- その他

この分野にどんな分野の院内認定看護師がいるのかわからない

院内認定看護師になる方法を学びたい

相談できる高度な資格を知りたい
活動内容を発信してほしい！

おしらせ
皆さんの意見を踏まえ看護部イントラネットに院内認定看護師のページが誕生しました！部署ごとごの配置一覧を作りわかりやすくしました。分野別活動も掲載しましたのでこの機会に是非ご覧ください。

作成元：院内認定看護師研究委員会 啓発活動グループ 澤島、田島、中野、下田、山本

1) 患者と家族の生活の質を高めるための看護の実践を追求する看護師を育成する

《看護研究支援》

①看護研究取組み状況(倫理委員会事前確認)

月	確認件数	月	確認件数
4月	2	10月	1
5月	3	11月	2
6月	1	12月	4
7月	5	1月	4
8月	3	2月	5
9月	2	3月	2

②2024年度看研カフェ参加人数



③院内看護研究発表会

対面・発表形式で、院内看護研究発表会が2/27に開催され、5演題の発表があった。182名が参加し、参加者アンケートの結果(n=151)、「看護研究に関心を持った」と回答した割合が96%と高い評価が得られた。また、「参加したことで今後主体的に看護研究に取り組める」と89%が回答した。実際に看護研究に取り組んでいる看護師は8%であったが、「1年以内に取り組む」・「今後取り組む」と答えた看護師は35%の比率であった。

**2024年度
院内看護研究発表会**

日時: 2月27日(木)
時間: 17:30~18:30
場所: 第4講義室

・会場入口前の受付で、所属と氏名を伺います。
・会場内の座席は奥の方から順に、空いているところから詰めて、着席をお願いします。

【問い合わせ先】
看護研究支援委員会
委員長 松尾理香子(PHS:90049)



2) 看護専門職者として自律した行動をとることの出来る看護師を育成する

《2024年度継続教育プログラム》

研修会名	開催日	テーマ	講師、担当者	参加者 (名)	
看護部オリエンテーション	4月1日	看護部概要	看護部長	80	
		協会・連盟・賠償責任保険について	総務担当副看護部長	80	
病院オリエンテーション		労務関係～就業規則・就業情報管理システムを中心に～	人事企画課主査	80	
看護部オリエンテーション		教育体制について	教育担当副看護部長	80	
情報管理		看護部の人事について(ローテーション制度等)	人事担当副看護部長	80	
看護部オリエンテーション		個人情報保護	医療情報部医師	80	
看護部オリエンテーション		生涯学習記録ファイル・評価表・提出物の説明	看護キャリア支援室	80	
看護職員として必要な基本姿勢と態度		学研メディカルサポートについて	看護キャリア支援室	80	
災害・防災管理		接遇研修	担当事業所 医療教育開発センター	80	
組織における役割・心構えの理解と適切な行動		防災設備・医療ガスについて	施設部施設管理課	80	
情報管理	4月2日	看護提供方式について	看護師長	80	
		看護記録について	医療情報部看護師長	80	
与薬の技術		輸血管理	細胞療法部医師	80	
看護職員として必要な基本姿勢と態度		社会人としての心構え	安全担当副看護部長	80	
看護部オリエンテーション		Fish! 哲学について	安全担当副看護部長	80	
感染予防		4月3日	感染管理総論	感染制御教育センター看護師長	80
			感染管理各論	感染制御教育センター医師	80
			感染管理演習	感染制御教育センター副センター長	80
安全管理			医薬品管理各論	薬剤部准教授副薬剤部長	80
			医療機器管理総論・各論	ME機器センター副センター長	80
	医療安全総論		安全管理部看護師長	80	
ワークショップ	医療安全演習		安全管理部部长	80	
	チーム医療		医療教育開発センター 看護キャリア支援室	80	
安全管理	4月4日		医療安全(転倒転落アセスメント、身体抑制、口頭指示など)	安全管理部看護師長	80
			DVD学習「みんなで考えよう医療事故防止対策！」	看護キャリア支援室	80
与薬の技術(安全管理)		静脈注射と法的責任	安全管理部看護師長	80	
与薬の技術(感染管理)		静脈注射と感染管理	感染制御教育センター看護師長	80	
与薬の技術(薬剤管理)		薬剤の基礎知識	薬剤部准教授副薬剤部長	80	
静脈注射		テスト: 薬剤の基礎知識、安全管理、感染管理	看護キャリア支援室	80	
与薬の技術		麻薬管理	薬剤部麻薬管理室室長	80	
		与薬管理	看護キャリア支援室	80	
安全管理		患者誤認防止について	安全管理部看護師長	80	
採血の技術		採血の基礎知識	検査部 主任臨床検査技師	80	

新採用者オリエンテーション

《2024年度継続教育プログラム》

研修会名		開催日	テーマ	講師、担当者	参加者 (名)
新採用者 オリエンテーション	症状・生体機能管理技術	4月5日	輸液ポンプ(FP-N15) + 輸液管理	看護キャリア支援室	80
	症状・生体機能管理技術		シリンジポンプ	看護キャリア支援室	80
	採血の技術		採血	看護キャリア支援室	80
	情報管理		電子カルテ操作研修	医療情報部、 看護キャリア支援室	80
	部署内研修	4月8日 4月9日	部署内研修	第1クール配属部署	80
	物品管理	4月10日	SPDIについて	SPDセンター	80
	看護部オリエンテーション		社会人基礎力について	看護キャリア支援室	80
	症状・生体機能管理技術		フィジカルアセスメント(呼吸・循環)	集中ケア看護認定看護師	80
	症状・生体機能管理技術		インスリン療法・血糖自己測定	糖尿病看護認定看護師 看護キャリア支援室	80
	組織における役割/心構えの 理解と適切な行動		スタートアップ研修～入職後1年後の目標 設定～	看護キャリア支援室	80
新人看護職員	電子カルテ操作研修②	4月17日 4月18日	安全で確かな看護技術を提供するための 電子カルテ基本操作を学ぶ	安全管理部 医療情報部 看護キャリア支援室	79
新採用者 オリエンテーション	症状・生体機能管理技術	4月23日	モニター・アラームについて	医療機器担当者	78
	組織における役割/心構えの 理解と適切な行動		緩和ケアについて	緩和ケアセンター看護師長	78
	組織における役割/心構えの 理解と適切な行動		看護倫理の基礎知識	専門看護師・認定看護師会委員 長	78
	看護部オリエンテーション		今後のローテーションスケジュールや研修 計画など	看護キャリア支援室	78
	組織における役割/心構えの 理解と適切な行動		セルフマネジメントについて	精神看護専門看護師	78
	組織における役割/心構えの 理解と適切な行動		地域医療連携センター・メディカルサポート センターについて	地域医療連携センター・メディ カルサポートセンター看護師長	78
	看護職員としての自覚と責任 ある行動		特定看護師活動について	特定行為研修室看護師長	78
	組織における役割/心構えの 理解と適切な行動		専門看護師・認定看護師活動について	専門看護師・認定看護師会委員 長	78
	組織における役割/心構えの 理解と適切な行動		院内認定看護師活動について	院内認定看護師管理委員会 委員長	78
組織における役割/心構えの 理解と適切な行動	第1回新採用者フォローアップ研修	看護キャリア支援室	78		
新人看護職員	新採用者フォローアップ研修②	6月19日 6月26日	同期のことがわかる 同期の仲間に成功体験を話すことができる 同期の仲間と交流することで、緊張・ストレスを 緩和することができる 自部署・他部署のことを知り、働きたい部署 のイメージができる	看護キャリア支援室	77
	患者の状態観察と報告	5月16日 5月22日 5月28日 5月30日	患者の状態に合わせた観察と報告ができる	看護キャリア支援室	70
	合同災害研修	6月28日 7月26日	トリアージ 机上シミュレーション	医療教育開発センター 看護キャリア支援室	80
	インスリン療法中の患者対応	7月3日 7月8日 7月10日 7月22日 7月30日	インスリン療法や低血糖のリスクを理解し、 低血糖時の対応ができる	糖尿病看護認定看護師 看護キャリア支援室	68

《2024年度継続教育プログラム》

研修会名		開催日	テーマ	講師、担当者	参加者 (名)
新人看護職員	翼状針評価	8月6日 8月7日 8月9日 8月13日 8月16日	静脈注射を安全に実施するための知識・技術・態度を習得する	看護キャリア支援室	67
	褥瘡対策	9月12日 9月19日	褥瘡対策の実際を理解し、基礎的褥瘡予防・対策の知識・技術を習得する	看護キャリア支援室 褥瘡管理 褥瘡管理院内認定看護師 特定看護師:創傷管理関連他、皮膚・排泄ケア認定看護師	77
	新採用者フォローアップ研修③	10月17日 10月28日	入職後からの6ヶ月間を振り返り、自己目標の到達状況を確認することができる 自己目標達成に向けて、今後の課題や具体的な解決方法を見出すことができる	看護キャリア支援室	76
	膀胱留置カテーテル挿入と管理評価	11月8日 11月12日 11月13日	男性膀胱内留置カテーテルの挿入と管理を安全に実施できる	看護キャリア支援室	68
	新採用者フォローアップ研修④	1月16日 1月20日	新採用者が目標に対する取り組みを語り合い、お互いに共有することで、自分の目標の達成状況や自己の成長、課題を確認し、自己の看護観を深めることができる	看護キャリア支援室	70
	留置針評価	2月12日 2月14日 2月19日 2月21日	静脈注射(留置針)を安全に実施できる	看護キャリア支援室	67
リーダーレベル	2年目看護師育成研修① ～看護観を深めよう～ セルフマネジメント研修	5月10日 5月17日 5月31日	地域包括ケアシステムにおける当院の役割が理解でき、患者の思いを地域につなぐ大切さがわかる 入退院支援は、患者が住み慣れた生活の場で暮らすための日々の看護であることが理解できる 事例を通して、患者の入院前、退院後の生活がイメージでき、入退院支援を考えることができる 明日から実践する入退院支援について考えることができる	看護キャリア支援室 集中ケア看護認定看護師	85
	2年目看護師育成研修② ～患者さんが住み慣れた生活の場で暮らせるよう、地域で看護をつなぐために 私たちができることを考えよう～	10月18日 10月23日 10月29日	自分の看護観を表現できる 自分の看護体験に対して、意味づけができる リフレクションをすることで、今後実践する具体的な行動を述べる 自己に合ったセルフケアの方法を考えることができる	看護キャリア支援室 地域医療連携センター	84
	2年目看護師育成研修③ ～自立した看護師に求められる能力を理解し、役割を担う準備をしよう～	1月15日 1月22日 1月28日	3年目看護師に期待される役割、必要な能力が説明できる 3年目に向けて、目標設定ができる 自己の成長に向けた行動計画が立案できる	看護キャリア支援室	80
	原子力災害医療看護	7月29日 9月24日 11月15日	原子力災害医療の基本的知識と看護を学び実施できる	看護キャリア支援室	61
	3年目対象セルフマネジメント研修	9月6日 9月20日 9月27日	自己にあったセルフケアの方法を考えることができる	精神看護専門看護師 看護キャリア支援室	57

《2024年度継続教育プログラム》

研修会名		開催日	テーマ	講師、担当者	参加者 (名)
ラ ダ ー II レ ベル	臨地実習指導者育成研修①	3月25日 ～ 5月10日	コロナ禍における臨地実習の位置づけ 看護基礎教育における臨地実習の位置づけ 臨地実習指導者の役割	看護キャリア支援室	16
	指導者育成研修①: 新人看護職員研修制度・教育 体制・院内ルール・人材育成の 考え方	4月30日	新人看護職員研修の目的を理解し、教育的 な関わり方について考えることができる	看護キャリア支援室	49
	指導者育成研修②: メンタルヘルスケア	5月27日	新人看護師が経験しやすいストレスと精神的 支援および指導者が経験しやすいストレス とセルフケアを学ぶ	精神看護専門看護師 看護キャリア支援室	51
	指導者育成研修③: ティーチング・コーチング	6月14日 6月21日	指導者としての基本的な姿勢(態度)を実 践できる ティーチングとコーチングの使い分けが説 明できる	看護キャリア支援室	51
	臨地実習指導者育成研修②	7月5日	実習指導を意図的・計画的に実践する必 要性が理解できる 学生が主体的に学ぶための指導方法を説 明できる 臨地実習指導者としての目標設定ができる	看護キャリア支援室 長崎大学保健学科教員	16
	中心静脈カテーテル管理研修	8月26日	中心静脈カテーテルの管理を安全に行うこ とができる	安全管理部 看護キャリア支援室	22
	指導者育成研修④: フィードバックの基本	10月21日 11月18日	新人看護師に対するフィードバックの基本 がわかる 指導する意味、教育の大切さを知る	医療教育開発センター 看護キャリア支援室	50
	ドレーン管理研修	12月13日	ドレーン管理について安全の視点から考 えることができる	安全管理部 看護キャリア支援室	16
	臨地実習指導者研修③	1月31日	臨地実習指導を振り返り、課題について解 決策を述べるることができる	看護キャリア支援室	16
ラ ダ ー III レ ベル	中堅看護師ブラッシュアップ研 修①	5月24日	自分の足跡(キャリア)を見つめ、“もっと” いきいきと働くために、これからのキャリア を考える。	看護キャリア支援室	9
	セルフマネジメント研修	10月30日 11月6日 11月11日	メンタルヘルスの不調を予防するための基 礎的な知識を得ることができる	看護キャリア支援室	62
	中堅看護師ブラッシュアップ研 修②	11月29日	自分の足跡(キャリア)を見つめ、“もっと” いきいきと働くために、これからのキャリア を考える。	看護キャリア支援室	8
ラ ダ ー I ラ ダ ー IV ・ マ ネ ジ メ ン ト ラ ダ ー	身体拘束研修	10月7日 10月25日 11月7日	身体拘束最小化の意識を高めることが できる	継続教育委員会	51
	看護研究研修① 研究倫理・看護研究支援	7月23日	研究倫理が説明できる 看護研究を行うための当院のルール(要件 倫理審査等)が説明できる 看護研究支援が説明できる	教育担当副看護部長	21
	看護研究研修② リサーチクエスト	9月30日	リサーチクエストを考えることができる	看護キャリア支援室	17
	看護研究研修③ 文献検索	10月25日 10月28日	データベースを使って文献検索が できる 文献の入手方法が理解できる	看護キャリア支援室	20
	看護研究研修④ 文献の見方	11月25日	文献の違いがわかり、看護研究での活 用方法がわかる 文献のクリティークができる	看護キャリア支援室	17
	看護研究研修⑤ 研究の進め方	12月20日	研究開始までの流れ(研究準備、研究計 画書作成等、倫理申請・審査)がわかる	臨床研究センター 看護キャリア支援室	47
	看護研究研修⑥ 抄録の書き方	1月27日	看護研究の基礎的手法を習得し、臨床 での看護研究に役立てる	臨床研究センター 看護キャリア支援室	33

《2024年度継続教育プログラム》

研修会名		開催日	テーマ	講師、担当者	参加者 (名)
復帰支援スクール①	最近の看護の動向	6月11日 6月12日	不安を解消し、安心して職場に復帰できる	看護部長	6
	医療安全と最近のインシデント傾向			安全管理部看護師長	6
	感染対策の最新情報			感染制御教育センター看護師長	6
	カムバックナースミーティング			看護キャリア支援室	7
	電子カルテシステム研修患者 参画型看護計画立案(基礎編)			医療情報部看護師長、副看護師長	7
	看護技術・採血			看護キャリア支援室	7
	看護技術・翼状針、留置針				7
	看護技術・ME機器(輸液ポンプ、シリンジポンプ)				8
	看護技術・吸引				7
	看護技術・膀胱内留置カテーテル				7
	看護技術・BLS				7
復帰支援スクール②	最近の看護の動向	9月10日 9月11日	不安を解消し、安心して職場に復帰できる	看護部長	0
	医療安全と最近のインシデント傾向			安全管理部看護師長	0
	感染対策の最新情報			感染制御教育センター看護師長	2
	カムバックナースミーティング			看護キャリア支援室	1
	電子カルテシステム研修患者 参画型看護計画立案(基礎編)			医療情報部看護師長、副看護師長	2
	看護技術・採血			看護キャリア支援室	2
	看護技術・翼状針、留置針				2
	看護技術・ME機器(輸液ポンプ、シリンジポンプ)				2
	看護技術・吸引				1
	看護技術・膀胱内留置カテーテル				2
	看護技術・BLS				2
復帰支援スクール③	最近の看護の動向	12月11日 12月12日	不安を解消し、安心して職場に復帰できる	看護部 看護部長	2
	医療安全と最近のインシデント傾向			安全管理部看護師長	2
	感染対策の最新情報			感染制御教育センター看護師	2
	カムバックナースミーティング			看護キャリア支援室	2
	電子カルテシステム研修患者 参画型看護計画立案(基礎編)			医療情報部副看護師長	4
	看護技術・採血			看護キャリア支援室	3
	看護技術・翼状針、留置針				3
	看護技術・ME機器(輸液ポンプ、シリンジポンプ)				2
	看護技術・吸引				
	看護技術・膀胱内留置カテーテル				3
	看護技術・BLS				BLS院内認定看護師

《2024年度継続教育プログラム》

研修会名	開催日	テーマ	講師、担当者	参加者 (名)
復帰支援スクール③	3月11日 3月12日	不安を解消し、安心して職場に復帰できる	看護部 看護部長	5
			安全管理部看護師長	5
			感染制御教育センター看護師	5
			看護キャリア支援室	4
			医療情報部副看護師長	7
			看護キャリア支援室	4
				4
				1
				2
				2
BLS院内認定看護師	2			

復帰支援スクールポスター

復帰支援スクールの風景

長崎大学病院看護部

年4回開催!

復帰支援スクールのご案内

復帰支援スクールとは、育児休業、自己啓発休業、病氣休業、出向などでしばらく臨床現場を離れていた看護師のみなさんが、安心して職場復帰できるように支援するプログラムです。受講された方からは、「復帰に不安があったが気持ちよくなった」「他の復帰の方たちと情報交換できた」「振り返りもでき、新たな学びも得られてとても勉強になった」「とても和やかな雰囲気だった」など、毎回好評な意見をもらっています。講義は少人数制で、内容も充実しています。受講したい研修だけ参加！振り切って全部受講！など、自由に何度でも参加できます。

最近の看護の動向

★看護部の方針・取り組みなど最新の情報を得ることができます。

医療安全&感染対策

★医療安全・感染対策に関するトピックスをお伝えします。

看護技術演習

★採血・静脈注射・ME機器操作・BLSなど復帰前に練習できて安心です。

患者参画型看護計画立案

★電子カルテ操作や患者参画型看護計画立案方式について復習できます。

職場復帰を全力でサポート

2024年度開催スケジュール

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
①	6	11日、12日				
②	9	10日、11日				
③	12	10日、11日				
④	3	11日、12日				

※日程は変更の可能性がございます。

お問い合わせ先:
長崎大学病院 看護部管理室
復帰支援スクール担当者 安田
TEL:095-819-7525
看護キャリア支援室
TEL:095-819-7931
E-mail:fukki@ml.nagasaki-u.ac.jp

※その他、育児の先輩NSに相談できる「カムバックナースミーティング」や復帰支援に関する事務手続き説明・復帰支援相談もあります。詳細なプログラムはHPでご確認ください。
<http://www.mh.nagasaki-u.ac.jp/nurse/>




《クリニカルラダー申請者・取得者》

①2024年度クリニカルラダー申請者・取得者

ラダーレベル	申請者数	取得者数
I	91	81
II	63	4
III	18	8
IV	14	1

②クリニカルラダー取得状況

ラダーレベル	取得者数
クリニカルラダー I	111
クリニカルラダー II	486
クリニカルラダー III	181
クリニカルラダー IV	24
マネジメントラダー I	28

《新人看護職員ローテーション制度の評価》

①新人看護職員ローテーション制度導入の目的

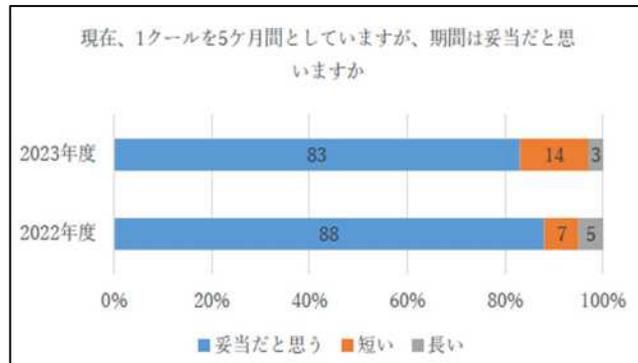
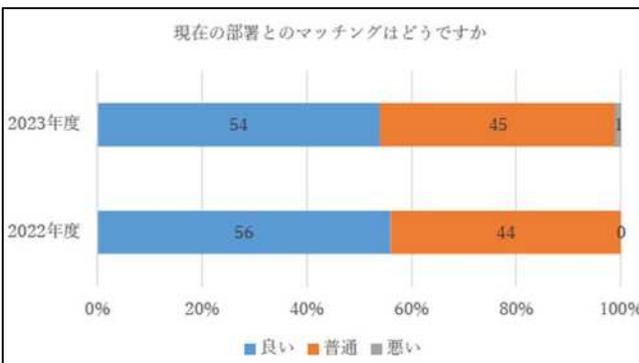
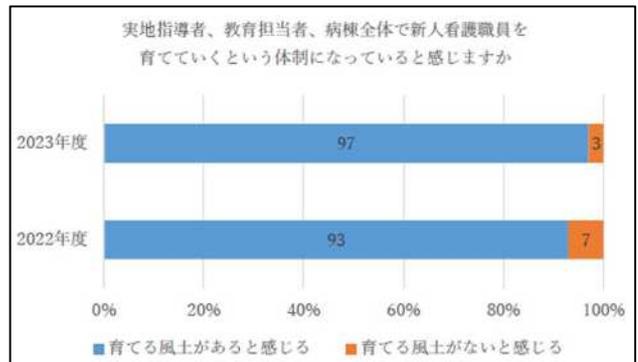
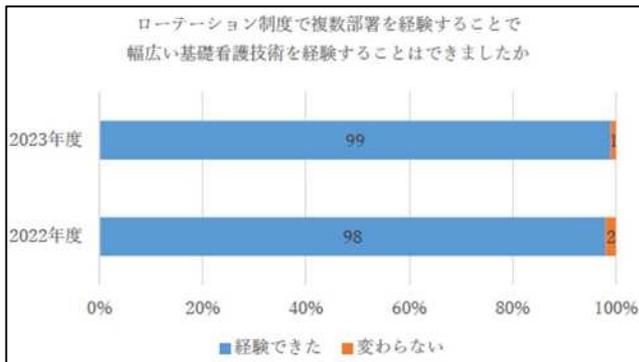
1. 基礎看護技術に関する経験知を向上する（複数部署を経験することで幅広い経験を積み上げる）
2. 自分が働きたい部署とのマッチングができる
（職場へのスムーズな適応を促進する。人的ネットワークの複数部署で作る。）
3. 研修（育成）する風土を作る。
（新人看護職員を指導する看護職員のスキルアップ。指導する体制を整備する。）

②新人看護職員ローテーション制度に関するアンケート調査結果 2024.6実施

対象者：2022年度新採用者54名回答41人(75.9%)

2023年度新採用者80名回答70人(87.5%)

目的：新人看護職員ローテーション制度を経験した新採用者を対象にローテーション制度の運用に関する現状を把握する。



新人看護職員は、複数部署のローテーションにより、幅広い基礎看護技術を経験できていた。ローテーション制度の目的である「基礎看護技術に対する経験知を向上する」・「自分が働きたい部署とのマッチングができる」という点で達成していると考えられた。また5ヶ月間のローテーション期間についても妥当であるとの意見が多い結果であった。受け入れについては、病棟全体で新人看護職員を育てていく体制が構築できていることがわかった。

3)教育機関としての大学病院の役割を理解し、後輩を育てる意思を持った看護師を育成する

《継続教育ラダー別研修》

研修会名	開催日	目的	参加者 (名)	
ラ ダ ー I I I I V ・ マ ネ ジ メ ン ト ラ ダ ー	放射線療法の基礎知識を学ぼう	放射線療法看護の基礎知識を学び、院内の治療の流れを知る。	8月6日	10
			9月3日	11
			11月12日	11
	周術期看護	7月4日	周術期における看護の役割を理解する	6
	在宅看護	6月19日	在宅看護における病院看護師としての役割を認識し、在宅療養支援を実践できる能力を身につける	8
		7月17日		7
		8月21日		6
		9月18日		6
		11月20日		6
	緩和ケア	6月21日	緩和ケアに必要な基本的知識、支援の方法について学び実践できる	9
		7月26日		9
		8月23日		8
		9月27日		9
		10月25日		9
		11月29日		9
		12月6日		9
	看護倫理	7月4日	看護倫理の基盤となる知識を学び、倫理的看護実践に取り組むことができる	11
		8月8日		9
ストーマケア成人Basic	6月26日	ストーマ造設患者の入院から退院後の生活状況を含めて、基本的なストーマケアを習得して、自部署で実践できる。	10	
	7月3日		10	
	8月7日		10	
	9月4日		10	
	10月7日		10	
褥瘡対策	6月19日	褥瘡対策を日々業務のなかで実施することができ、スタッフへ指導することができる	10	
	7月17日		10	
	8月22日		10	
	9月18日		11	
	10月24日		11	
糖尿病ケア	6月17日	糖尿病の病態・治療・看護の基礎を学び、糖尿病患者の理解を深め、看護展開できる	4	
	7月11日		4	
	8月8日		4	
	9月26日		4	
	10月24日		4	
	11月14日		4	

《継続教育ラダー別研修》

研修会名		開催日	目的	参加者 (名)
ラ ダ ー I V ・ マ ネ ジ メ ン ト ラ ダ ー	病棟での血糖管理のコツ	6月20日	血糖管理に必要な知識・技術を習得し、 糖尿病領域において部署内で リーダーシップを発揮した看護実践ができる	2
		7月4日		2
		8月8日		2
		9月5日		2
		10月3日		2
		11月28日		2
	がん化学療法看護	11月9日	がん化学療法の基本的知識を理解し、 看護実践に活かすことができる	20
	治験と看護師の役割	7月10日	患者さんが参加する治験への知識と実践内容への 理解を深め、看護へ活かすことができる	1
		9月11日		1
		11月13日		1
	災害看護	6月28日	災害医療・看護を理解し、医療者として 必要な知識とスキルを習得できる	7
		7月26日		6
		8月23日		6
		9月27日		7
		10月25日		6
	原子力災害医療における看護	10月26日	原子力災害時の病院内での対応について理解でき、 汚染拡大や放射線防護に留意し、 被ばく・汚染傷病者に対する看護を実践できる	7
	急変対応 【basic&advance】	6月29日	患者の急変に気づき、 緊急病態に応じた急変対応が実践できる	20
		7月13日		20
		8月17日		20
		9月21日		20
10月12日		20		
11月2日		20		
急変対応 【expert】	6月20日	根拠を持った急変対応を説明できる	4	
	7月11日		4	
	8月8日		4	
	9月19日		4	
	10月10日		4	
	11月14日		4	
	12月12日		4	
シミュレーション教育 指導者育成	6月25日	シミュレーション教育手法について理解し、 その指導に必要な知識・技術・態度を習得する	3	
	7月30日		3	
	9月24日		3	
	10月22日		3	
	11月19日		3	
研修の設計力を高めよう！	6月21日	一人ひとりの目標に合わせた教育支援を行う為に、 指導計画の立案方法を習得する	2	
	7月19日		2	
	8月16日		2	
	9月20日		2	
	10月18日		2	

《2024年度臨地実習指導者の育成》

研修目的： 臨地実習指導者の役割を理解し、効果的な実習指導ができる

保健学科の教員を講師に迎えてのグループワーク等を取り入れた3回シリーズの研修

2024年度は16名の臨地実習指導者が研修を修了しました

2024年度 臨地実習指導者研修
シリーズ研修

第1回対象：2024年度 臨地実習指導者【本研修受講者は必須、その他は任意】

第1回
2024年3月～5月
オリエンテーション
看護基礎教育における臨地実習の位置づけ
臨地実習のあり方
臨地実習指導者の役割
臨地実習指導者としての心構え

第2回
2024年7月5日(金)
実習指導の基本
実習指導の実際
学生の特徴
指導の方向性の明確化
病棟スタッフ、教員との連携

第3回
2025年1月31日(金)
実践状況の振り返り
課題の共有と解決策の検討

第2回 臨地実習指導者研修
2024年7月5日(金)

【目的】
臨地実習指導者の役割を理解し、効果的な実習指導ができる。
【内容】
1. 臨地実習を受け入れる一連の流れが理解できる。
2. 実習指導を意思的に実践する必要がある。
3. 学生が主体的に学ぶための指導方法を理解できる。
4. 病棟スタッフ、教員と共に、実習指導を円滑に実施するための役割を把握できる。
5. 実践した指導の方向性が明確になる。

1 臨地実習受け入れの流れについて
2 実習指導の基本
3 実習指導の実際
4 指導者と教員との連携について考える
5 指導の方向性の明確化

《2024年度臨地実習指導者の育成》

目的： 実地指導者の役割を担う看護師が、指導者としての必要な知識・技術・態度を身につける

医療教育開発センターの浜田教授や松島教授を講師に迎えてロールプレイ等を取り入れた4回シリーズの研修

2024年度は50名の臨地実習指導者が研修を修了しました

2024 指導者育成研修報告書

「実地指導者の心構えをしよう」 4月30日開催
「メンタルヘルス」 5月27日開催
「相手のあった指導方法を考えよう」 6月14日、21日開催
「あなたの指導力を磨いて、新人をのびのびと育てよう」 10月17日、24日開催

1 実地指導者の心構えをしよう
2 メンタルヘルス
3 相手のあった指導方法を考えよう
4 あなたの指導力を磨いて、新人をのびのびと育てよう

4) 高度先進医療機関としての大学病院の使命を果たせるよう自己研鑽に努める看護師を育成する

《2024年度管理者育成研修》

副看護師長を対象とし、「看護マネジメントリフレクション研修」を開催した。河野秀一先生（株式会社サフィール代表取締役）を講師に迎え、第1回（11月16日・17日）、第2回（1月18日・19日）のシリーズ研修とした。副看護師長総数79名のうち受講者は66名であった。

研修風景

～管理者研修（副看護師長必須）～

「看護マネジメントリフレクション」

講師：河野 秀一 先生
（株式会社サフィール代表取締役）

講師紹介
医療機関において人権増進推進部長（職員研修区分：リーダー、経営管理、経営開発）、研修部長・研修主任（経営管理・看護マネジメントリフレクション・リーダーシップ）、看護コンサーターション（人権増進本部に属する施設別に10人の研修・指導）サービスと連携している。経営、看護部長。

内容
「看護マネジメントリフレクション」の基本的な考え方を学んだうえで、参加者自身のマネジメント事例から、リフレクティブな視点で実践し、グループディスカッションとコーチングを行います。
※シリーズ研修のため、1回目、2回目とも受講して下さい。
1回目、2回目ともに、2日連続（土・日）のうちどちらかを受講して下さい。研修内容は同じです。

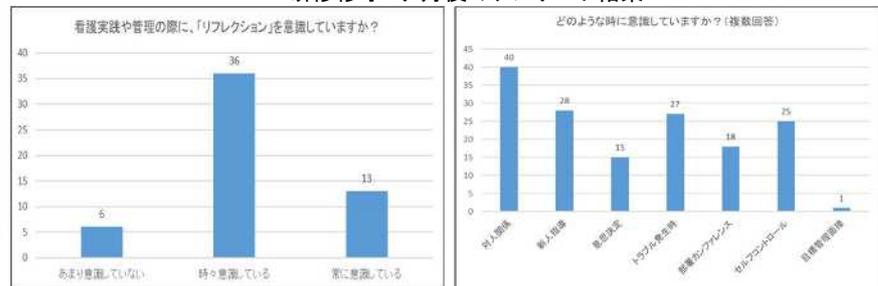
シリーズ研修 1 回目
日時：2024年11月16日（土）
17日（日）
時間：9:00～16:00
場所：（看護学専攻会館 研修室 2A）

シリーズ研修 2 回目
日時：2025年1月18日（土）
19日（日）
時間：9:00～16:00
場所：（中央研修棟 4 階）多目的研修室

【講師】
河野 秀一 先生
株式会社サフィール
代表取締役



研修修了6ヶ月後のアンケート結果



研修修了6ヶ月後のアンケート調査において、リフレクションを「常に意識している」・「時々意識している」との回答が約90%程と研修の効果が示された。具体的に意識する場面として、「対人関係」や「新人指導」・「トラブル発生時」などがあり、日常遭遇する多くのマネジメント場面で活かされていることがわかった。

《臨地実習受け入れ実績》

2024年度臨地実習実績一覧

養成施設名	実習科目名	看護師	理学療法士	作業療法士
長崎大学大学院 修士課程	助産学実習 I	10		
	助産学実習 III	11		
長崎大学医学部 保健学科 看護学専攻	入門科目	71	28	18
	臨床看護学実習 I	72（うち1名は2023年度の再履修）		
	臨床看護学実習 II	72		
	領域別実習（3年次）	65		
	専門科目強化実習	68		
長崎県立大学 看護栄養学部看護学科	領域別実習	67		
長崎市医師会 看護専門学校 第1看護学科	領域別実習	58		
	基礎看護学実習	23		
長崎市医師会 看護専門学校 第2看護学科	領域別実習	33		
		550	28	18
総計				596

＜研修及び施設見学受け入れ状況＞

受け入れた部署名	見学・研修目的	実施日	病院（施設）名	受け入れ人数
6階西病棟/MFICU	日本の保健医療福祉システム・サービス提供体制について紹介	2024/11/11	ジョージタウン大学 長崎大学医学部保健学科	4
血液浄化療法部	透析療法従事職員研修・見学	2024/11/18～11/29	田中クリニック	1
メディカルサポートセンター	MSCでの術前検査業務内容の実際について	2024/9/9	千葉大学医学部附属病院	8
メディカルサポートセンター	患者サポートセンター新規設置に伴う当院メディカルサポートセンターの設置及び運用状況についての見学	2024/9/25	長崎労災病院	6
細胞療法部	日本輸血・細胞治療学会の認定・臨床輸血看護師制度に基づく施設研修	2025/1/30	長崎みなとメディカルセンター	1
光学医療診療部	院内感染対策について部署の現状を把握する。職業感染防止を促進し、職員の安全を確保する。	2024/10/9	山口県立大学	1
放射線部	放射線治療看護全般について	2024/10/15	ミュンヘン工科大学病院	1
手術部	ロボット支援下手術導入のため	2024/4/23	日本赤十字社長崎原爆病院	3
手術部	ロボット支援下手術導入のため	2024/6/25	社会医療法人白十字会佐世保中央病院	2
手術部	ロボット支援下手術導入のため	2024/7/4	国立病院機構別府医療センター	2
手術部	ロボット支援下手術導入のため	2024/7/9	国立病院機構別府医療センター	2
手術部	ロボット支援下手術導入のため	2024/8/22	山口県済生会下関総合病院	2
手術部	ロボット支援下手術導入のため	2024/10/8	済生会長崎病院	3
手術部	腹膜透析カテーテル手術見学	2024/11/20	田中クリニック	1
手術部	腹膜透析カテーテル手術見学	2024/11/21	田中クリニック	1
手術部	腹膜透析カテーテル手術見学	2024/11/27	田中クリニック	1
手術部	腹膜透析カテーテル手術見学	2024/11/29	田中クリニック	1
手術部	日本輸血・細胞治療学会 学会認定・臨床輸血看護師制度指定施設研修	2025/1/30	長崎みなとメディカルセンター	1

教育課程	名
認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了	6
認定看護管理者教育課程セカンドレベル修了	9
認定看護師教育課程修了(資格取得)	2
専門看護師教育課程修了(資格取得)	1

《執筆活動》

タイトル	書籍名	出版社名
ベッドサイドのプロを育てる！急変時の初期対応アプローチ 呼吸アセスメントが決め手 4. ケーススタディ COPD患者が意識障害を起こしている！	みんなの呼吸器Respica	メディカ出版
PICS対策とケア	重症集中ケア2024年12, 1月号	日総研
僧帽弁置換術と術後管理②	重症集中ケア2024年2, 3月号	日総研
肝臓移植－移植人生における患者と医療者の相互理解－	移植人生のための患者・医療者マニュアル（初版）	ばーそん書房
胸骨圧迫	EmerLog救急ナースの看護技術虎の巻	メディカ出版
輸液ポンプ	EmerLog救急ナースの看護技術虎の巻	メディカ出版
輸血	EmerLog救急ナースの看護技術虎の巻	メディカ出版
胸痛	EmerLog救急外来のコモンディジーズとケア35	メディカ出版
頭痛	EmerLog救急外来のコモンディジーズとケア35	メディカ出版
救急初療における急性症状の救急看護実践（胸痛）	救急初療看護に活かすフィジカルアセスメント	へるす出版
各論1：事例でわかる多職種の仕事でとらえる臨床実践 ERにおける多職種連携	道又元裕 監修 多職種の仕事でとらえる臨床実践集 ER・ICU・病棟・在宅 36の場面とチームアプローチ	ヴェクソン医療看護出版
2章 実践編 場面別にケースで学ぶ患者・家族ケア 2【患者ケア】患者への病状説明と治療方針の検討	Emer-Log（エマログ） 理論・重要用語をコンパクトにおさらい 場面別のケース解説で実践での対応が分かる 救急外来・ERの患者・家族への心理的ケア	メディカ出版
運動器系の症状とアセスメント	救急看護スタンダード	照林社
IV. 呼吸苦（呼吸困難） 15. 急性心不全/慢性心不全急性増悪 16. 慢性閉塞性肺疾患（COPD）増悪 17. 気管支喘息 18. 可換気症候群	EmerLog救急外来のコモンディジーズとケア35	メディカ出版
V. めまい 19. 良性発作性めまい症 20. メニエール病 21. 前庭神経炎		メディカ出版
高齢者の不眠にくすり”以外”でどう対処する？	エキスパートナース	照林社
コロナ禍で感じた葛藤と倫理的看護実践	パンデミックの航跡 コロナ感染の危機を支えた感染管理看護師たち	クパプロ
特集7 汚物処理室のピットフォール	インフェクションコントロール	メディカ出版
感染症患者の看護を学ぶにあたって	系統看護学講座 専門分野成人看護学11 アレルギー膠原病 感染症 第16版	医学書院
疾患をもつ患者の経過と看護	系統看護学講座 専門分野成人看護学11 アレルギー膠原病 感染症 第16版	医学書院
患者の看護：症状に対する看護、検査・治療を受ける患者の看護	系統看護学講座 専門分野成人看護学11 アレルギー膠原病 感染症 第16版	医学書院
事例による看護の展開	系統看護学講座 専門分野成人看護学11 アレルギー膠原病 感染症 第16版	医学書院

5) 効率的な医療提供を目指すことで経営参画を果たすことのできる看護師を育成する

《アドバンス・エキスパートテクニック取得者人数の推移》

	アドバンス・テクニック5項目修得者	クリニカルラダー対象レベル
2019年～2020年	197名	ラダーⅣ
2021年前期・後期	200名	ラダーⅢ以上
2022年前期・後期	171名	ラダーⅡ以上
2023年前期・後期	153名	ラダーⅠ以上
2024年前期・後期	88名	ラダーⅠ以上

	エキスパート・テクニック修得者	クリニカルラダー対象レベル
2019年～2020年	71名	ラダーⅣ
2021年	46名	ラダーⅢ以上
2022年	106名	ラダーⅢ以上
2023年	159名	ラダーⅡ以上
2024年	104名	ラダーⅡ以上

ラダー対象レベルを拡大し、取得者は年々増加している。

イントラネットへ取得手順や計画を掲載

認定証

指導者バッジ

指導者は、シルバー・ゴールドのバッジをつけています。

その他

＜看護補助者研修＞

研修会名	内容	日程	対象者	参加者
基礎研修会	医療体制の概要及び病院の機能と組織の理解 医療チーム及び看護チームの一員としての看護補助者業務の理解 看護補助業務を遂行するための基礎的な知識・技術 日常生活にかかわる業務 守秘義務、個人情報保護の基礎知識 看護補助業務における感染防止策 医療安全の基礎知識	・2024年9月17日（火） 13：00～14：30 ・2024年10月2日（水） 13：00～14：30 * 両日とも同じ内容	2024年度入職者を除く看護補助者全員（必須研修）	48名
夜間看護補助者基礎研修会	医療体制の概要及び病院の機能と組織の理解 医療チーム及び看護チームの一員としての看護補助者業務の理解 看護補助業務を遂行するための基礎的な知識・技術 日常生活にかかわる業務 守秘義務、個人情報保護の基礎知識 看護補助業務における感染防止策 医療安全の基礎知識	・2025年1月9日（木） 16：00～17：30	全員	25名
任意研修会	ストレスケア研修（グループワーク含む）	・2024年11月5日（火） 13：30～14：30 ・11月6日（水） 13：00～14：00 ・11月12日（火） 16：00～17：00 * 3日間とも同じ内容	希望者 * 11月12日は夜間看護補助者対象	昼間看護補助者53名 夜間看護補助者23名
任意研修会	洗髪介助研修	・2024年11月13日（水） ・11月26日（火） ・12月9日（月） ・12月20日（金） 13：30～14：30 * 4日間とも同じ内容	希望者	12名
入職オリエンテーション	看護補助業務を遂行するための医療安全に関すること 看護補助業務を遂行するための感染防止に関すること 感染防止の演習（手指消毒、手袋・エプロンの着脱） 看護補助業務を遂行するための基本的な知識・技術	・2024年4月1日（月） ・5月1日（水） ・6月3日（月） ・7月1日（月） ・8月2日（金） ・9月2日（月） ・11月6日（水） ・12月2日（月） ・2025年1月20日（月） ・2月17日（月） ・3月3日（月） 全て9：00～12：00	中途採用看護補助者	18名 （うち派遣17名）
夜間看護補助者入職オリエンテーション	看護補助業務を遂行するための医療安全に関すること 看護補助業務を遂行するための感染防止に関すること 守秘義務・個人情報保護の基礎知識 看護補助業務を遂行するための基本的な知識・技術 勤務管理 他 感染防止の演習（手指消毒、手袋・エプロンの着脱）	・2024年4月2日（火） ・4月23日（火） ・5月7日（火） ・6月4日（火） ・11月5日（火） ・2025年1月21日（火） 全て16：00～23：00	中途採用夜間看護補助者	9名

その他

《看護補助者研修》

夜間看護補助者 段階的必須研修	患者移送 歩行付き添い、車椅子移送、ストレッチャー移送（演習含む）	2024年5月24日（金） 6月21日（金） 7月17日（水） 2025年12月18日（水） 2月20日（水） 全て16：00～17：00	入職1ヶ月経過 夜間看護補助者	7名
	義歯洗浄（演習含む）	2024年4月22日（月） 7月23日（火） 2025年2月26日（水） 16：30～17：00	入職2ヶ月目 夜間看護補助者	10名
	患者の見守り（グループワーク含む）	2024年4月25日（木） 6月20日（木） 10月4日（金） 2025年3月26日（水） 全て16：00～17：00	入職3ヶ月目 夜間看護補助者	9名
	食事介助	2024年9月19日（木） 全て16：00～17：00	入職4か月目 夜間看護補助者	7名
夜間看護補助者 必須研修会	洗髪介助研修	<ul style="list-style-type: none"> 2024年11月14日（木） 11月21日（金） 11月25日（月） 11月27日（水） 2025年3月3日（月） 3月13日（木） 16：00～17：00 *6日間とも同じ内容	入職6か月以降 夜間看護補助者	21名

看護補助者協働推進委員会により、看護補助者の仕事と日常の活躍を広めるための広報誌をイントラへ掲載

みずいろ通信 第9号 (2024年8月)

2023年2月から夜間看護補助者さんが導入されて1年半が経ちます。今年度より新しく【園試き】と【洗髪】のケアが増えました。あらためて、夜間看護補助者さんの仕事をご紹介します。

NEW 園試き **NEW 洗髪**

9月の研修後、実施できるようになります。

患者さん対応業務

- 2か月目～ 配膳、オムツ交換、ナースコール対応
- 3か月目～ 移送
- 4か月目～ 患者見守り、食事介助、義歯洗浄、洗濯

研修後、評価を受け実施可能になります。

その他の業務

- 清掃、買い物代行
- 機器の清掃・消毒
- 洗濯
- 電話対応
- ポータルトイレ 扉扉の交換

7月に実施した【みずいろ通信認知度に関するアンケート】の結果は以下の通りになりました。

質問	回答数	知っている	知らない
Q1: みずいろ通信を知っていますか?	n:467	60%	40%
Q2: みずいろ通信は看護補助者のスキルアップのきっかけになりましたか?	n:347	24.8%	75.2%
Q3: 7月と比較すると、みずいろ通信の認知度は看護補助者、看護補助者ともに上昇していることが分かりますか?	n:347	48.4%	25.4%
Q4: また、今後掲載して欲しい内容は、多量量の看護補助者の活動状況（充実していることなど）、看護補助者が楽しそうややりがいを感じた業務、研修後に看護補助者が実施可能になるケア、夜間看護補助者の活動内容等の意見が寄せられました。	n:57	52%	48%
Q5: 過去のみずいろ通信はイントラネットの「広報誌・ミニコソ経一貫より閲覧」ができます。アンケートのご協力、ご意見ありがとうございました!	n:57	22.8%	77.2%
Q6: 【洗髪研修（任意、看護補助者対象）】	n:57	42.1%	59.7%

みずいろ通信 第11号 (2025年2月)

看護補助者協働推進委員会では、みずいろ通信を通して、さらなる看護補助者との協働推進に繋がるよう活動を促してきました。今回、2024年7月と同様のみずいろ通信認知度アンケートを実施し、認知状況の検証を行いました。

1月に実施した【みずいろ通信認知度に関するアンケート】の結果は以下の通りになりました。

質問	回答数	知っている	知らない
Q1: みずいろ通信を知っていますか?	n:467	60%	40%
Q2: みずいろ通信は看護補助者のスキルアップのきっかけになりましたか?	n:347	24.8%	75.2%
Q3: 7月と比較すると、みずいろ通信の認知度は看護補助者、看護補助者ともに上昇していることが分かりますか?	n:347	48.4%	25.4%
Q4: また、今後掲載して欲しい内容は、多量量の看護補助者の活動状況（充実していることなど）、看護補助者が楽しそうややりがいを感じた業務、研修後に看護補助者が実施可能になるケア、夜間看護補助者の活動内容等の意見が寄せられました。	n:57	52%	48%
Q5: 過去のみずいろ通信はイントラネットの「広報誌・ミニコソ経一貫より閲覧」ができます。アンケートのご協力、ご意見ありがとうございました!	n:57	22.8%	77.2%
Q6: 【洗髪研修（任意、看護補助者対象）】	n:57	42.1%	59.7%

【洗髪研修（任意、看護補助者対象）】
観音園4～5名ずつの参加、実践練習を行いました！
開催日：2024年11月13日、26日・12月9日、20日

【研修へ参加した看護補助者さんより】
普段から洗髪する機会が多かったが、髪が長い女性の方に対して実施するのは難しいという課題があった。今回の研修に参加して、浴をお家で洗う時に、先に手やタオル等で泡を取っておいたほうが洗しやすくなることや声のかかり方を知ることができたので参加できてよかった。

その他

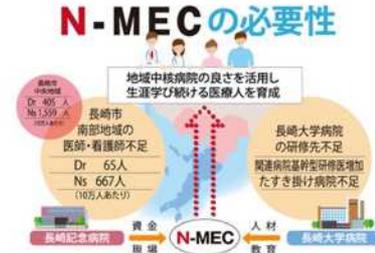
《NMEC アイランドナース 地域貢献》

アイランドナースネットワーク事業



長崎県の離島などの企業団病院と看護師の人材交流を図り、職員の資質向上につなげることを目的としています。

長崎医療人育成室(N-MEC)



長崎大学病院と長崎記念病院が協力して、明日の医療を担う若い医療人を育てていこうという目的で人事交流をしています。

2024年度報告会

《広報》

①インターンシップ及び病院見学・説明会

名称	場所	対象	開催日	参加人数
インターンシップ	本院	看護学生	2024/8/14 (水)	19名
			2024/8/27 (火)	18名
			2025/2/26 (水)	7名
病院見学・説明会			2025/3/7 (金)	11名
2025/3/14 (金)			9名	
2025/3/21 (金)			15名	

名称	日時
県立大学 県内看護職員就職説明会	2024/7/12 (金)
活水大学 卒業生との交流会	2024/8/2 (金)
ナース専科合同就職説明会	2024/7/28 (日)
長崎県お仕事フェア	2024/12/8 (日)
長崎大学 保健学科流会	2025/1/24 (金)
県立大学 学内病院説明会	2025/3/14 (金)
医師会看護学校 病院等説明会	2025/3/13 (木)

②看護部ホームページ

URL <https://www.mh.nagasaki-u.ac.jp/nurse/>



看護部の紹介・教育体制・キャリア支援・採用情報など、最新情報が確認できます。

LINEも活用し、最新情報が発信されています。

4. 藥劑研修部門

(1) 部門長挨拶

日本では医療機関の機能分化が進むとともに、医療と介護を連携させた地域包括ケアが推進されています。また、多種多様な医療スタッフが各々高い専門性を前提に、的確な医療を患者に提供するチーム医療がすべての医療機関や地域医療で進められています。限られた医療資源のなかで、医療の質や安全性を高める職能として薬剤師への期待が集まっています。

薬剤師も個別化の時代です。基礎的スキルを身につけるとともに独自の専門性を武器にチーム医療に貢献する必要があります。長崎大学病院薬剤部（当薬剤部）は全国有数の教育プログラムを有しており、未来の薬剤師に必要な高度な学力と技術を習得してもらうことを目標にしています。入職初期より、調剤、注射薬調剤、抗がん剤調製の研修プログラムにより、薬剤師の基本的スキルの習得が可能です。また、感染制御、緩和ケア、NST、がん薬物治療、救急医療、HIV感染薬物治療、糖尿病などの専門・認定薬剤師の人数も多く、早期体験学習のプログラムや専門教育のプログラムも組み入れています。

《2024年度の目標》

- ・新採用薬剤師が基本的な薬剤師業務全般を行えるようにする
- ・認定・専門・指導薬剤師を輩出する

《2024年度の結果》

新採用薬剤師2名全員が基本的なセントラル業務および病棟業務を実施できるようになった。また、薬物療法専門薬剤師を1名輩出できた。

充実した教育プログラムのもと、今後もチーム医療に貢献するために、高度な臨床能力と専門性を有する薬剤師の育成を推進していきます。

薬剤研修部門長
兒玉 幸修

2024年度薬剤研修部門目標

分野	大項目	中項目	小項目
(1) 薬剤研修 部門 目標	1) 薬剤研修部門の運営に関すること	① 薬剤部門会議を月1回開催する	各研修の進捗状況を報告する
		2) 薬剤師のキャリア形成に関すること	① 新採用薬剤師研修プログラムを作成する
	② 専門領域に関する研修プログラムを作成する		2年目を対象にしたアーリーエクスポージャーの開催
	③ 2年目以降の薬剤師に対する研修プログラムを作成する		各室における技術チェックリストに基づき研修を行う
	④ 認定・専門薬剤師取得のための講習会等旅費対象件数を2件以上にする		がん専門薬剤師、感染制御専門薬剤師など
	⑤ 認定・専門薬剤師を年間1名以上輩出する		病院薬学認定薬剤師、がん専門薬剤師など
	3) 薬剤研修部門における教育・指導に関すること	① 薬学生に対して、薬剤に関する講義を年に1回以上行う	実務実習時に開催
		② 地域の薬剤師の研修を年に1名以上受け入れる	地域薬学ケア専門薬剤師研修
		③ 看護師に対して、薬剤に関する講義を年に2回以上行う	13東のCKD、8西の麻薬、10階の心臓関係など
	4) 求人に関すること	① 薬学部での求人活動を行う。	就職活動中の薬学部生を対象に毎年開催
		② 他大学で説明会を年に1か所以上行う。	長崎国際大学
	5) その他上記に付帯する業務に関すること	① 業務の内容を学会などで発表する	日本医療薬学会、日本薬学会、医療薬学フォーラムなど
		② 業務内容に関する研究を行う	研究ワーキンググループを中心に実施する

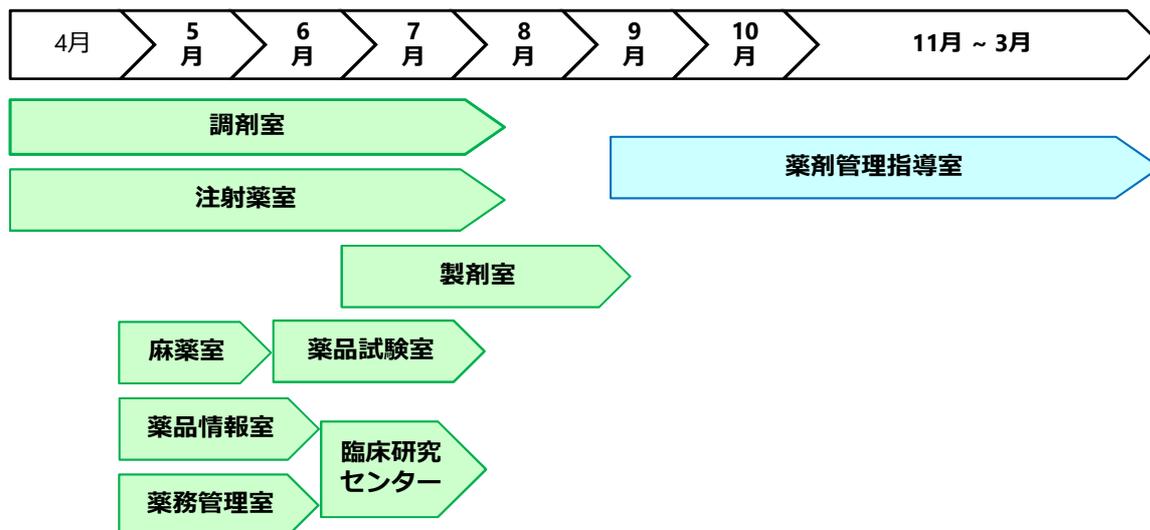
1) 薬剤師研修

① 新人薬剤師研修

薬剤師に必要な基本的な知識や実践的な技術を習得させるための独自の新人教育システムを構築し、調剤、注射薬調剤、抗がん薬調製、薬剤管理指導等のトレーニングを行っている。

2024年度は2名の新入局薬剤師に下記のスケジュールで実施した。

新人薬剤師業務研修スケジュール



○到達目標

1. 基礎的な知識と技術の習得: 薬剤師として必要な基礎的な医薬品知識や調剤・監査技術を習得する。
2. 業務遂行能力の向上: 医療現場での業務遂行能力を高め、処方箋管理や患者ケアなどの業務を効率的かつ正確に行えるようにする。
3. チームワークとコミュニケーション能力の向上: 医療チームとの連携を深め、コミュニケーション能力を向上させる。
4. 個人の成長と発展: 自己評価とフィードバックを通じて、個人の成長と専門性の向上を促進する。

また、新人薬剤師の薬剤管理指導業務を評価するために、新人病棟研修症例報告会を下記の通り実施した。

日程	発表者	疾患名(診療科)
2025年2月4日(火) 17:30- 薬剤部カンファランス室	森川 侑里	子宮体癌(産婦人科)
	山下 貴子	頬部癌(形成外科)

1) 薬剤師研修

② イブニングセミナー

国家試験には試験委員が推敲を重ねた良質なモデル症例が多く収載されており、業務で触れる診療科ごとの典型的な症例を研修会のベースとするよりも、モデル症例の方が新鮮度に起因する着眼点の多様さや議論の展開の幅広さが生まれると考えられる。新人薬剤師は過去の国家試験の中からモデル症例を選択し、症例に対する治療指針の解答解説を行い、症例から考えられるクリニカルクエスションを提示し、当該問題について参加者全員で議論する集合研修を下記の通り実施した。

日程	モデル症例	発表者	オブザーバ
2024年6月20日	感染症領域	安松 美保	坂元 利彰
2024年7月4日	腎・泌尿器領域	森 泰毅	塩尻 恭平
2024年7月18日	脳・神経系領域	藻利 翔	松坂 章也
2024年8月1日	循環器領域	三原 加奈子	宮崎 啓至
2024年9月5日	骨粗鬆症・脳・循環器領域	鶴田 彩希	中邨 翔太
2024年9月19日	小児てんかん	近藤 夏和	高木 唯加
2024年10月3日	消化器領域	森川 侑里	谷尾 莉佳
2024年10月17日	自己免疫疾患領域	山下 貴子	西村 美智子
2024年11月14日	脳・神経系領域	西田 拓也	太田 千代枝



③ 各専門領域のアーリーエクスポージャー（早期体験学習）

専門領域の活動に興味があっても、なかなか日常業務では接する機会が少ない。そのような入局2年目の若手職員を対象に、体験型の実習を行っている。当薬剤部には様々な認定・専門の資格を有する薬剤師が在籍している。専門領域への理解を深め、いち早く興味をもってもらえるように、各領域の認定・専門薬剤師を講師として実習を行っている。座学だけでなく、ロールプレイや症例検討、体験実習など、より実践に近い内容を目指しており、2024年度は下記のスケジュール、内容で実施した。

<NSTアーリーエクスポージャー>

・実施日：2024年9月6日、27日（各90分）

・目的：

栄養に関する興味・関心を持ってもらうため、栄養に関する基礎知識を習得してもらう

・内容：

①経腸栄養・静脈栄養に関する基礎講義を行った。

②経腸・静脈栄養に関して症例を提示し、グループディスカッションを行い、解説を行った。

③エレンタール(ゼリー)を実際に作成した。



<がん領域アーリーエクスポージャー>

・実施日：2024年10月8日、25日（各90分）

・内容

①論文、各種ガイドライン、添付文書等の情報を読み解き、レジメン（抗がん薬投与手順書）作成を経験する。

②スペシャルポピュレーション（特に重度の肝障害）患者における抗がん薬の体内動態を推論する手段を学ぶ

③②の情報を元に、具体的な減量、あるいは抗がん薬の変更までを踏み込んだ薬学的な提案を経験する。



<救急・集中治療領域アーリーエクスポージャー>

・実施日：2024年11月7日、20日（各90分）

・目的：

救急医療・集中治療における薬剤師の専門的な役割、関わりを知り、専門的な知識の活用を体験する。

・内容：

・講義

- ①救急医療・集中治療における薬剤師の専門的な役割
- ②特殊医療機器や特異的な薬物動態の環境での薬剤投与の実際

・SGD・体験

- ①模擬患者症例（詳細な背景、バイタル、検査値、処方内容）をもとにした専門的な視点での薬学的プロブレムの立案
- ②たてたプロブレムの優先度の決定
- ③プロブレムを解決する考え方に関するディスカッション

<糖尿病領域アーリーエクスポージャー>

・実施日：2024年 12月18日（90分）

・目的：

糖尿病に関する新しい知見や考え方などを教育することでより専門的な知識の習得や興味につなげる

・内容：

- ①血糖測定の実技
- ②ブドウ糖の試食
- ③インスリン指導について
- ④症例検討も含めた講義

<感染領域アーリーエクスポージャー>

・実施日：2025年1月16日、30日（各90分）

・目的

(ICT) 病棟活動で感染症を貰わない、広げないようにするため、感染制御に対する正しい知識を習得すること。
(AST) 感染症治療の考え方を学び、経験的治療や標的治療を体験すること。

・内容

(ICT) 標準予防策および経路別予防策の講義、PPEの着脱体験、N95マスクのフィットテスト等
(AST) 模擬症例を用いた抗菌薬の選択、実際の検体を用いたグラム染色実習等



<緩和ケア領域アーリーエクスポージャー>

・実施日：2025年 2月13日、25日（各90分）

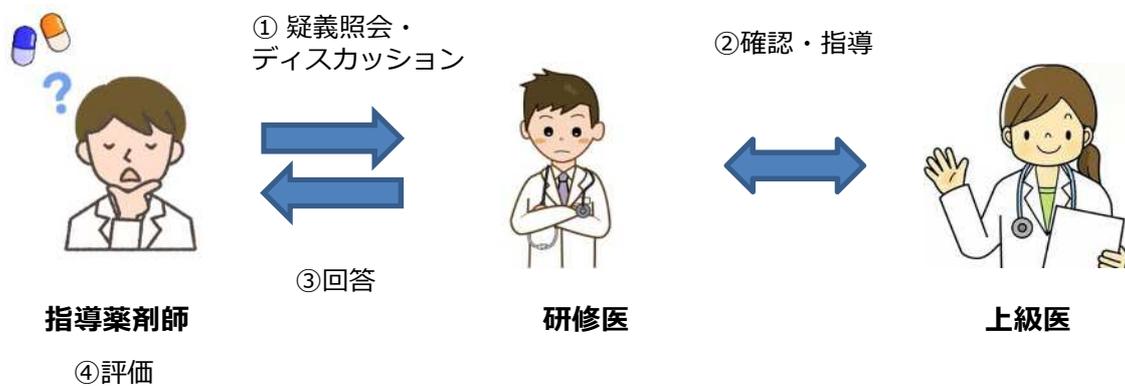
・内容

- ①デルマトームを元にした疼痛診断を学ぶ
- ②①をベースに鎮痛薬の選択方法を学ぶ
- ③オピオイド鎮痛薬に関する服薬指導をロールプレイを通じて学習する。
- ④オピオイドスイッチングを実例を通じて経験し、実際の現場で応用できる技能として習得する。

2) 研修医教育

薬剤師は日常業務の中で研修医の教育にも貢献している。医療教育開発センターからの協力要請を受け、看護師とともに、コメディカルの立場から救命救急センターにローテーションで配属される研修医の評価を担当する。

救命救急センターに入院してくる患者はほぼ緊急入院であり、循環動態や呼吸状態が不安定な患者が多く、これまでの定期服用薬をそのまま継続することができない。定期服用薬の中で、現時点で何を継続し何を休薬するか、継続する場合は代替薬が必要か等を投与方法も含め医学的、薬学的に判断する必要がある。病棟担当薬剤師は業務の中で、これらの問題を研修医を窓口としてディスカッションを行うことで、研修医との繋がりを持つ。また、日々変化する患者の病態に応じて、薬剤の追加、中止の相談、副作用の確認を行い、医師と円滑なコミュニケーションを取る中で、研修医の医師としての資質、能力などの評価を行っている。



2024年度の担当薬剤師：宮永 圭、森塚 暁裕、谷口 隼輔、佐伯 結衣、長瀬 青葉

3) 看護師特定行為研修

高齢化社会を迎えるにあたり、さらなるチーム医療の推進を図っていくためには、個別に熟練した看護師のみでは足りないとされる。そのため、医師又は歯科医師の判断を待たずに、手順書により、一定の診療の補助（特定行為）を行う看護師を養成し、確保していく必要がある。特定行為の中には薬剤投与に関連する項目も含まれている。

薬剤師は、薬剤投与等の特定行為を行う場合に特に必要とされる、実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能の向上を図るため、臨床薬理学講義を担当している。2024年度には以下の研修を行った。

特定行為研修（共通科目：臨床薬理学スケジュール）

日時	講義時間	指導者	講義タイトル	
2024年9月24日	9:00 - 9:30	30分	里 加代子	薬物動態・薬物相互作用（総論）
	14:00 - 15:00	60分	天本 翔子	糖尿病 ～インスリン療法～
	15:20 - 16:20	60分	赤松 隼人	脳梗塞
	16:30 - 17:30	60分	黄 智剛	高血圧
2024年9月25日	9:00 - 10:00	60分	坂元 利彰	心不全
	10:15 - 11:15	60分	小林 瑞希	脂質異常症
	14:05 - 15:05	60分	伊藤 直子	気管支喘息
	16:00 - 17:00	60分	増山 優紀	肺炎
2024年9月26日	9:00 - 9:30	30分	岸川 礼子	妊婦に対する薬物療法
	11:00 - 12:00	60分	森塚 暁裕	不眠症
	15:20 - 16:50	90分	今村 政信	感染症
2024年9月27日	15:15 - 16:15	60分	内田 隆寛	糖尿病 ～経口血糖降下薬～

4) 薬局薬剤師研修

①「薬剤師のかかりつけ強化のための研修シラバス」に基づく研修会

日本薬剤師会では、「患者のための薬局ビジョン」（平成27年10月策定）を踏まえ、患者本位の医薬分業の実現に向け、かかりつけ薬剤師に必要な知識・技能習得のための実践的な研修体制の整備を図る観点から、「薬剤師のかかりつけ機能強化のための研修シラバス」を作成し、県薬剤師会、地区薬剤師会において本シラバスに沿った研修実施を要請している。

長崎県薬剤師会においても、研修会の開催が企画され、長崎大学病院薬剤部は下記日程で研修会を担当した。

2024年7月26日（金）19:30 - 21:00

内容：Ⅱ 医療薬学的知識と技能（6. 薬学的観察・評価（備考：フィジカルアセスメント））

講師：長崎大学病院薬剤部 赤松 隼人

2024年9月27日（金）19:30 - 21:00

内容：Ⅱ 医療薬学的知識と技能（4. 小児、高齢者、妊婦、授乳婦）

講師：長崎大学病院薬剤部 岸川 礼子

2025年1月17日（金）19:30 - 21:00

内容：Ⅱ 医療薬学的知識と技能（16. 薬学的知見に基づく記録）

講師：長崎大学病院薬剤部 内田 隆寛

② 地域薬学ケア専門薬剤師研修

2019年の医薬品医療機器等法の改正において、患者自身が自分に適した薬局を選択できるよう、機能別の薬局（地域連携薬局、専門医療機関連携薬局）の認定制度が導入された。このうち、専門医療機関連携薬局については、がん等の専門的な薬学的知見に基づく調剤及び指導の業務を行うこととされており、その認定要件（人的要件）として「学会認定等の専門性が高い薬剤師の配置」が示されている。

このような背景のもと、日本医療薬学会は、地域包括ケアなどの地域医療・介護における切れ目のない薬学ケアに対応するため、幅広い領域の薬物療法における高度な知識、技能及び臨床能力を備えた信頼される薬剤師を養成し、国民の保健・医療・福祉に寄与することを目的として、地域薬学ケア専門薬剤師認定制度を発足した。

長崎大学病院薬剤部は地域薬学ケア専門薬剤師の養成に必要な研修を実施するための地域薬学ケア専門薬剤師研修施設に認定されており、2024年度は5名の研修生に対して次ページのスケジュールで研修を実施した。

地域薬学ケア専門薬剤師研修スケジュール

実施日	研修名	担当者	研修形式
2024/4/3	緩和ケアカンファ	岸川	実地
2024/4/9	ASTカンファ	福重	実地
2024/4/9	研修に関する話し合い	坂元	ZOOM
2024/4/10	緩和ケアカンファ	太田、宮永	実地
2024/4/11	NSTカンファ	稲岡	実地
2024/4/12	ASTカンファ	甲斐	実地
2024/4/16	ASTカンファ	今村	実地
2024/4/16	文献紹介	橋詰	ZOOM
2024/4/23	がんチームミーティング	橋詰	ZOOM
2024/4/24	緩和ケアカンファ	龍、橋詰	実地
2024/4/26	ASTカンファ	迫	実地
2024/5/17	薬剤管理指導室	宮永・谷口	実地
2024/5/21	文献紹介	坂元	ZOOM
2024/5/23	薬剤管理指導室	赤城・阿部・中邨	実地
2024/5/28	がんチームミーティング	赤城	ZOOM
2024/6/6	薬剤管理指導室	12,13階グループ	実地
2024/6/7	薬剤管理指導室	8,9階グループ 坂元	実地
2024/6/14	薬剤管理指導室	10,11階グループ 松永	実地
2024/6/18	文献紹介	今村	ZOOM
2024/6/20	薬剤管理指導室	8,9階グループ 坂元	実地
2024/6/25	がんチームミーティング	丸田	ZOOM
2024/7/4	緩和ケアカンファレンス	太田	実地
2024/7/5	製剤室	製剤室担当者	実地
2024/7/23	文献紹介	岸川	ZOOM
2024/7/25	薬剤管理指導室	5, 国際, ICUグループ	実地
2024/7/26	薬剤管理指導室	6, 7階グループ	実地
2024/7/30	がんチームミーティング	三輪	ZOOM
2024/8/1	薬剤管理指導室	10, 11階グループ	実地
2024/8/2	薬剤管理指導室	12, 13階グループ	実地
2024/8/20	文献紹介	宮永	ZOOM
2024/8/27	症例検討会・がんチームミーティング	黄	ZOOM
2024/9/5	製剤室	製剤室担当者	実地
2024/9/6	薬品試験室	薬品試験室担当者	実地
2024/9/10	文献紹介	赤松	ZOOM
2024/9/12	製剤室	製剤室担当者	実地
2024/9/13	製剤室	製剤室担当者	実地

地域薬学ケア専門薬剤師研修スケジュール

2024/10/17	注射室	注射室担当者	実地
2024/10/22	注射室	注射室担当者	実地
2024/10/22	文献紹介	河内	ZOOM
2024/10/29	症例報告検討	橋詰	ZOOM
2024/11/1	ASTカンファ	谷口	実地
2024/11/7	NSTカンファ	稲岡	実地
2024/11/8	ASTカンファ	福重	実地
2024/11/12	ASTカンファ	谷口	実地
2024/11/13	緩和ケアカンファ	江崎、太田	実地
2024/11/19	文献紹介	宮永	ZOOM
2024/11/20	緩和ケアカンファ	宮永、宮崎	実地
2024/11/26	ASTカンファ	谷口	実地
2024/11/26	症例報告検討	坂元	ZOOM
2024/12/17	文献紹介	岸川	ZOOM
2024/12/24	症例報告検討	丸田	ZOOM
2025/1/9	薬品情報室	橋詰	ZOOM
2025/1/21	文献紹介	黄	ZOOM
2025/1/31	症例報告検討	赤松	ZOOM
2025/2/4	指導室新人症例報告会 兼 地域薬学ケア研修会	全薬剤部職員	ZOOM
2025/2/18	文献紹介	森塚	ZOOM
2025/2/26	症例報告検討	橋詰	ZOOM
2025/3/4	ASTカンファ	谷口	実地
2025/3/5	緩和ケアカンファ	橋詰、太田	実地
2025/3/6	外来ケモ室カンファ	製剤室担当者	実地
2025/3/6	NSTカンファ	稲岡	実地
2025/3/7	ASTカンファ	福重	実地
2025/3/12	NSTカンファ	松永	実地
2025/3/18	ASTカンファ	赤松	実地
2025/3/18	文献紹介	今村	ZOOM
2025/3/25	症例報告検討	坂元	ZOOM
2025/3/26	NSTカンファ	松坂	実地

がんチーム：橋詰淳哉、丸田基史、黄智剛、河内佑樹、小林瑞希、赤城友章、谷尾莉佳、三輪里美
 緩和ケアチーム：龍恵美、橋詰淳哉、宮永圭、岸川礼子、江崎のぞみ、太田千代枝
 感染チーム：今村政信、赤松隼人、森塚暁裕、福重友理、谷口隼輔、長瀬青葉
 NSTチーム：松永典子、稲岡奈津子、松坂章也

5) 薬剤部の業績

① 論文投稿

1. Akamatsu H, Kohno Y, Hashizume J, Nakagawa H, Kodama Y, Kawano H, Maemura K, Ohyama K: Effect of rifampicin administration on CYP induction in a dermatomyositis patient with vasospastic angina attributable to nilmatrelvir/ritonavir-induced blood tacrolimus elevation: A case report. J Infect Chemother 2024, 30(9):928-933.
2. Sakamoto T, Miyamoto H, Hashizume J, Akamatsu H, Akagi T, Kodama Y, Hamano H, Zamami Y, Ohyama K: Differences in the Adverse Event Profiles of Sodium-Glucose Cotransporter 2 Inhibitors used in Patients with Diabetes Mellitus and Heart Failure: An Analysis Using the Japanese Adverse Drug Event Report Database. Clin Drug Investig 2024, 44(10):761-771.
3. 嶺 豊春, 中川 博雄, 橋詰 淳哉, 兒玉 幸修, 大山 要: PBPMによる入院前持参薬確認外来の業務効率化の取り組み. 九州薬学会雑誌 2024, 78:13-17.
4. 橋詰 淳哉, 兒玉 幸修, 大山 要, 栗原 慎太郎: グルコース・インスリン療法の誤投与防止対策の取り組みと評価. 九州薬学会雑誌 2024, 78:117-122.
5. 橋詰 淳哉, 松本 武浩, 里 加代子, 伊藤 眞由美, 兒玉 幸修, 栗原 慎太郎, 大山 要: 成分単位別医薬品情報を有する誤処方防止システムIRISの有用性評価 患者固有の使用禁忌薬または使用注意薬における分析. 医療薬学 2024, 50(11):631-636.

② 学会発表

1. 赤城 友章: Vigibaseを用いたイリノテカン誘発性有害事象に対するロペラミドの影響評価. 第51回日本毒性学会学術年会
2. 赤松 隼人, 河野 佑介, 橋詰 淳哉, 中川 博雄, 兒玉 幸修, 河野 浩章, 前村 浩二, 大山 要: ニルマトレルビルリトナビルの併用に起因したタクロリムス血中濃度上昇に伴う冠攣縮性狭心症を来し、CYP誘導目的にリファンピシンを投与した1例. 医療薬学フォーラム2024
3. 坂元 利彰, 赤松 隼人, 中川 博雄, 三好 敬之, 兒玉 幸修, 大山 要: タゾバクタム・ピペラシリン併用によるワルファリンの作用増強が腸腰筋血腫を来した症例. 医療薬学フォーラム2024
4. 今村 政信, 福重 友理, 谷口 俊輔, 田中 健之, 泉川 公一, 中川 博雄: 長崎大学病院における経口抗菌薬適正使用推進の取り組み. 第39回日本環境感染学会総会・学術集会
5. 森 泰毅, 原澤 仁美, 龍 恵美, 岸川 礼子, 大塚 早紀, 太田 千代枝, 兒玉 幸修, 大山 要: 医薬品トレーサビリティシステム (CUBIXX, NOVUMN) を用いた医薬品管理の効果. 第34回日本医療薬学会年会
6. 甲斐 真己都, 松永 典子, 潮崎 孝則, 里 加代子, 兒玉 幸修, 大山 要: ACMIA法、ECLIA法およびLC-MS/MS法によるエベロリムス測定値の比較. 第34回日本医療薬学会年会
7. 赤城 友章, 橋詰 淳哉, 黄 智剛, 河内 佑樹, 小林 瑞希, 谷尾 莉佳, 兒玉 幸修, 大山 要: 有機アニオン輸送ポリペプチド阻害薬とパクリタキセルによる有害事象との関連性の評価. 第34回日本医療薬学会年会
8. 嶺 豊春, 中川 博雄, 橋詰 淳哉, 大山 要: SGLT2阻害薬の適正使用に関する勧告の遵守状況調査. 第34回日本医療薬学会年会
9. 橋詰 淳哉, 里 加代子, 伊藤 直子, 兒玉 幸修, 大山 要: 成分単位別医薬品情報を有する禁忌薬誤投与防止システムIRISの有用性評価. 第34回日本医療薬学会年会
10. 井上 貴恵, 福重 友理, 赤松 隼人, 森塚 暁裕, 今村 政信, 中川 博雄, 兒玉 幸修, 大山 要: 外来経口抗菌薬の処方件数と細菌の薬剤耐性率の変化に関する調査. 第34回日本医療薬学会年会
11. Toshiaki Sakamoto, Hiroataka Miyamoto, Junya Hashizume, Hayato Akamatsu, Tomoaki Akagi, Yukinobu Kodama, Hirofumi Hamano, Yoshito Zamami, Kaname Ohyama: Differences in the adverse event profiles of SGLT2 inhibitors used in patients with and without diabetes: an analysis using the Japanese Adverse Drug Event Report (JADER) database.第89回日本循環器学会学術集会
12. 橋詰 淳哉, 宮元 敬天, 原田 紫苑, 菊永 大智, 兒玉 幸修, 濱野 裕章, 座間味 義人, 大山 要: FAERSを用いたプロトンポンプ阻害薬併用が免疫関連有害事象の発現に及ぼす影響の分析. 第145回日本薬学会

5. 医療技術研修部門

(1) 部門長挨拶

2024年度の目標

長崎大学病院医療技術部は2004年度に発足され、2023年度時点では、全国国立大学病院45大学中21大学が設置されています。医療技術部は看護部以外の「医療技術集団」の立ち上げと効率的な人事配置、業務の融通性の確保を目的とし、目指す方向は「病院のために役に立つ組織でありたい」です。

所属する職種は診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、臨床工学技士、視能訓練士、言語聴覚士、歯科衛生士、歯科技工士の9つの職種が集まっており、職種によって歴史があり、考え方や職種キャリアパスも異なります。

業務内容と業務量の増加に伴い、権限と義務、責任が生じるようになったが、医療技術部職員共通の人材育成とモチベーションの維持、積極的な業務への関わり等が必要と感じております。

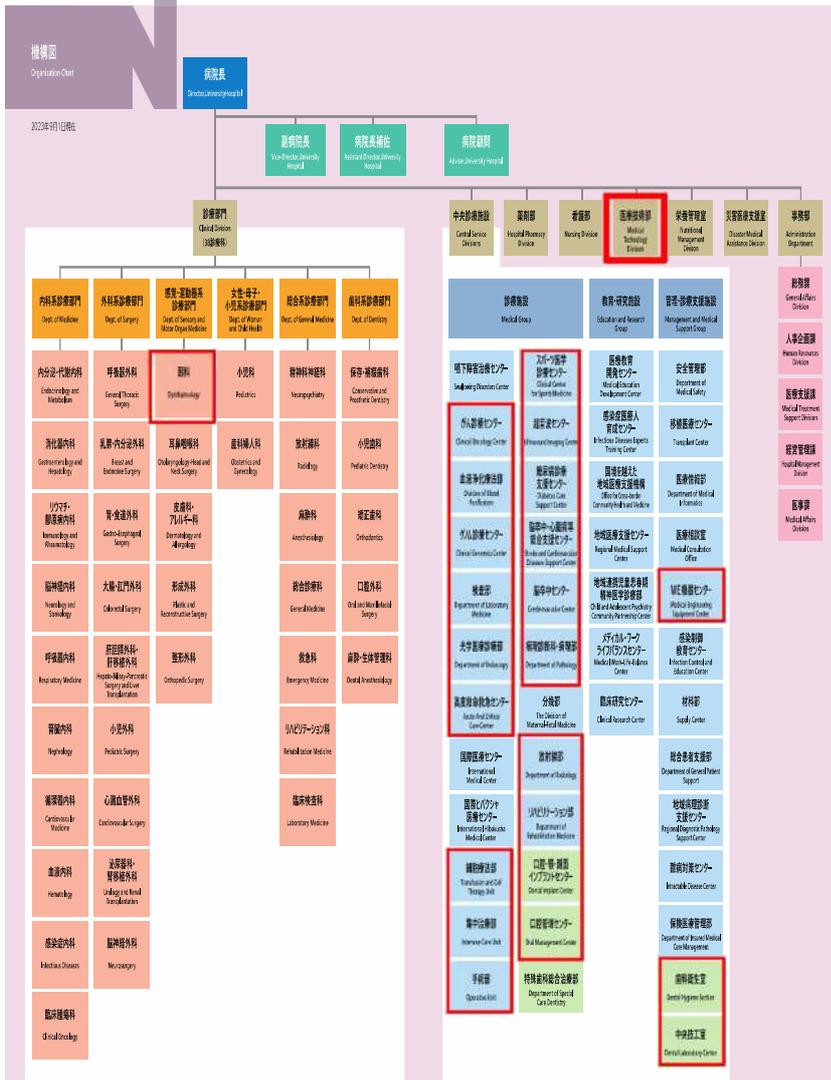
そのような中、医療技術部共通の人事評価表を用いて「自分自身を見つめ直す機会を作ること」で、長崎大学病院医療技術部職員としての自覚を持って頂きたいと考えています。

医療技術部共通のモラル表と各部門におけるスキル表を組み合わせたラダーで医療人基礎力の向上とチーム医療の促進を図ります。

2024年度からの医師の働き方改革に向けた医療技術職によるタスクシフト・シェアを推進すべく、実施可能な業務の明確化を図り、スタッフに告示研修受講を促していきます。

2024年度は医療技術部設立からの20年を振り返ると同時に次の20年を見据えて、チーム医療を支える一員としての自覚と各部門のキャリアアップを目指します。

医療技術部職員は多部署に配属されている



(2) 教育体制

・ 長崎大学病院医療技術部内規第2条

「医療技術部は、診療上必要とする医療技術の提供を円滑に行うため、技術職員（事情に規定する職種に限る）を一元的に所属させ、持って効率的な病院運営に資するとともに患者サービスの向上を図ることを目的とする。」

1、組織の充実（人材育成）

病院の課題を直接感じる。何をすべきかスタッフ自ら認識し、行動する。

2、人事の管理（効率的人事配置）

高度医療専門技術職により病院の価値を高める。効率的職務配置により病院に収益をもたらす個人のスキルが上がる。

3、医療機器管理（医療安全対策）

患者から信頼されることにより病院の価値を高める。事故を未然に防ぐ。（スタッフの安心感・リスク管理）

(医療技術部研修会)

研修名	研修日数	研修回数	開催予定日	テーマ	講師、担当者	参加者数	参加率
医療技術部 オリエンテーション	1	1	4月1日	医療技術部長挨拶、 他部門との連携について	医療技術部長、 副医療技術部長	28	100%
医療技術部 合同研修会	1	1	2月20日	①災害時に備えて ②BCP安否確認システムについて ③給与明細の見方について	①長崎市役所 機器防災管理室 ②長崎大学病院 CE部門 ③長崎大学病院 事務部	100	46%

※後日資料閲覧により100%

(2) 教育体制（放射線部：新入職員）

- ・ 新人技師は初年度1年間を通じて、1人夜勤業務に対応すべく、OJTによる一般X線撮影・CT検査・MRI検査・血管造影検査をローテーション勤務する。
- ・ 2～5年間は初期研修期間とし、6ヶ月ごとに一般X線撮影・CT検査・MRI検査・血管造影検査をローテーション勤務し、診療放射線技師としての基礎を作る。
- ・ 入職3年以内に、地方会以上の学術大会で発表を行う。

研修名	研修日数	研修回数	開催予定日	テーマ	講師、担当者	参加者数	参加率
放射線部 オリエンテーション	1	1	4月1日	HIS/RIS取り扱いについて	診療放射線技師長	1名	100%
放射線部内 安全管理研修	1	12	毎月	インシデントレポートの振返り、 STAT画像報告検討	安全管理担当および 各部門持ち回り	47名	100%
土日勤務対応研修	160	160	4月3日～ 12月28日	一般X線撮影、CT、MRI、血管造影 検査に従事し、土日勤務体制に対応 できるようになる。	各モダリティー責任者	名	%
夜勤務対応研修	3	3	1月4日～ 3月31日	先輩技師の夜勤業務に帯同従事し、 一人夜勤務体制に対応できるよう なる。	当日夜勤担当技師	名	%
X線装置安全管理研修	50	50	毎週 水曜日	持ち回り担当が最新技術研究論文を 紹介解説する。	持ち回り担当技師	47名	100%

(15年～)
地域研究会の主催
各部門の主任業務
院内委員業務

リーダーシップ

(1年～3年)
初期研修
部内ローテーション
部内研究発表

スキルアップ

モラル

ドトムアップ

(5年～30年)
専門認定資格の取得
全国学会発表
論文研究
学位(修士/博士)取得

自己の研鑽

(1年～7年)
地域研修会参加
技師会活動
地方学会発表

OFF-JT

人事交流

(2) 教育体制（検査部：新入職員）

- 初年度は、ISO 15189（検査部門組織、品質マネジメント、手順書等）の理解を深め、採血業務の対応、配属検査室での日常業務における特定業務者（レベル☆☆）を目指す。また、時間外業務のオリエンテーションの実施およびトレーニングを開始する。
- 2年目は、日常業務の技量のレベルアップならびに時間外業務（検査）のトレーニングを重ね、見極め評価を受けて合格後、時間外業務に従事する。また、ISO 15189のワーキンググループに参加し、検査品質の維持・向上に努める。
- 3年目は、学会発表を行い、専門分野の試験に挑む。

研修名	研修日数	研修回数	開催予定日	テーマ	講師、担当者	参加者数	参加率
検査部門新人オリエンテーション	1	1	4月1日 4月2日 (実施済)	検査部門組織 配属予定の検査室 雇用期間及び条件 検査部門施設、設備 安全衛生教育 労働衛生サービス 品質マネジメントシステム 検査室情報システム 倫理 患者情報の守秘義務 社会人として一般的心得	検査部技師長 品質管理者 教育WG担当者	11名	100%
採血に関するオリエンテーション	2	2	4月10日 4月16日 (実施済)	採血業務について 採血実技実習 (シミュレーションセンター)	中央採血室責任者	9名	100%
時間外業務（検査）オリエンテーション	1	1	6月6日	時間外業務の概要について ・時間外検査業務	教育WG担当者	11名	100%



1年目
検査部門組織・品質マネージメントの理解
採血業務への従事

2年目
夜勤業務への従事
ISO ワーキンググループへの参加

3年目
学会発表
専門資格の取得

(2) 教育体制（細胞療法部：新人教育）

検査部と合同で取得しているISO15189の教育訓練手順書に沿って進める。ISO15189 の各種手順書を理解しつつ、OJTにて血液型検査、交差適合試験、受付・輸血管理、製剤調製の4セクションの業務を2週間交代でローテーションし身に着けていく。

ルーチン検査の習得状況を見ながら、移植関連検査、細胞治療関連業務など業務の幅を拡大しステップアップしていく。

学会の認定資格の取得を推奨し、日頃の知識習得や積極的な院外活動（研修会講師、実務員参加など）参加、学会発表を促している。（細胞療法部 令和4年度の入職者なし。）

令和4年度 業績（地方学会）

学会名	開催期間	氏名	発表	論文
2022年度 日臨技九州支部医学検査学会（第56回）in福岡 福岡県	2022/11/5～ 2022/11/6	古賀 嘉人	輸血細胞治療シンポジウム [未来につなげる輸血医療を目指して～さまざまな視点から効率化を考える～]	輸血医療における効率の良い管理業務
長崎県南地区臨床検査研究会 冬季研修会 (Web)	2023/2/26	中村 浩哉	男性 臨床検査技師、育休をとる	

(2) 教育体制 (細胞療法部：部内スタッフ、時間外輸血当番技師)

- 時間外の輸血検査・管理業務は検査部の協力のもと運営されている。そのような中、患者の生命が危ぶまれる「危機的出血」への対応もしばしば発生する。（年間70例程度）
- 危機的出血の際の緊急輸血に対し迅速かつ確実に対応出来るように部門間合同の緊急輸血トレーニングを年に複数回実施している。
 - ① 時間外輸血業務のトレーニングを受け見極めに合格した検査部の技師に対して、業務に入る直前に緊急輸血シミュレーションを実施し手順や注意点、輸血の搬送場所への経路の確認を行っている。既に業務に入っている技師も自主的に見学することがある。
 - ② 「危機的出血」への対応手順のリマインド、知識のアップデート、手順の見直しおよび部門間の連携強化を目的とし、高度救命救急センター医師・看護師（ときに産科婦人科医師・看護師）、検査部、細胞療法部合同での「危機的出血に対する緊急輸血トレーニング」を年に2回程度実施している。
 - ③ 自主研修のため、部門合同の「危機的出血に対する緊急輸血トレーニング」の際に撮影した動画を編集しイントラネットの動画研修ページに掲載し、いつでも閲覧できるようにしている。

開催日	内容
2022/4/19	新人緊急輸血トレーニング
2022/5/19	高度救命救急センター合同緊急輸血シミュレーション
2022/8/18	新運用(電子カルテ運用) 高度救命救急センター合同緊急輸血シミュレーション
2023/2/01	新人緊急輸血トレーニング
2023/3/24	母体・胎児集中治療管理室 (MFICU) 緊急輸血シミュレーション

(2) 教育体制（病理部：新入職員）

- ・ 新人技師は、初年度1年間を通して各セクションごとの病理業務に対応することを目的に基礎研修を行う。
- ・ 2～3年間は、初期研修期間として各セクションの技術向上に努め基礎を作ると同時に、スキルアップとして細胞検査士免許取得に向け勉強を行う。
- ・ 入職3年時には全国学会レベルの学会で発表を行う。（研究・論文投稿可）

研修名	研修日数	研修回数	開催予定日	テーマ	講師、担当者	参加者数	参加率
病理診断科・病理部 オリエンテーション	1	1	4月1日	病理診断科・病理部運営、病理業務流れ、 病理部門システム、病理マニュアル等について	主任臨床検査技師	1名	100%
受付業務	20	1	4月～	検体受付・標本管理・試薬発注業務等について	臨床検査技師 事務業務担当者	1名	100%
切り出し業務	20	1	5月～	病理医とのコミュニケーションを取りながらの各種臓器切り出し手順・準備、切り出し後検体処理方法、各機器の取り扱い等について	臨床検査技師	1名	100%
包埋・薄切業務	20	1	6月～	包埋手順・薄切手順・各種機器の取り扱い等について	臨床検査技師	1名	100%
一般・特殊染色	20	1	7月～	各種染色手順・染色試薬管理等について	臨床検査技師	1名	100%
術中迅速検査	20	1	8月～	術中迅速手順・各種機器の取り扱い等および感染性検体の取り扱いについて	臨床検査技師	1名	100%
免疫組織化学検査	20	1	10月～	各種抗体に対する理解と各種機器の取り扱いについて	臨床検査技師	1名	100%
分子遺伝子検査	20	1	1月～	FISH検査に関する手順・各種プローブに対する理解・各種機器の取り扱い等について	臨床検査技師	1名	100%
細胞診業務	20	1	3月～	各種検体処理の手順・各種機器の取り扱い等について	臨床検査技師	1名	100%
解剖介助業務	20	1	4月～	解剖介助の手順・各種道具・各種機器の取り扱い・感染防護等について	臨床検査技師	1名	100%

★ 作年度の入職者なし、本年度は、1名入職。

1) 新規採用者オリエンテーション

研修名	研修日数	研修回数	開催日	テーマ	講師、担当者	参加者数	参加率
ME機器センター オリエンテーション	1	1	4月1日	ME機器センター運営、臨床工学業務等について	臨床工学技士長 主任臨床工学技士	2名	100%
ME機器センター オリエンテーション	1	1	4月1日	就業と人事考課について	臨床工学技士長 主任臨床工学技士	2名	100%
ME機器センター オリエンテーション	1	1	4月4日	緊急対応とインシデント・アクシデント発生時の連絡・対応について	臨床工学技士長 主任臨床工学技士	2名	100%
ME機器センター オリエンテーション	1	1	4月4日	安全管理と感染対策について	臨床工学技士長 主任臨床工学技士	2名	100%
ME機器センター オリエンテーション	1	1	4月5日	電子カルテと機器管理システムの操作方法について	臨床工学技士長 主任臨床工学技士	2名	100%
ME機器センター オリエンテーション	1	1	4月5日	コンプライアンスと公正取引規約について	臨床工学技士長 主任臨床工学技士	2名	100%
COVID-19診療従事のためのPPE着脱訓練	1	1	4月5日	PPEレベル4着脱訓練	主任臨床工学技士	2名	100%
アイソトープ初心者 教育講習会	1	1	4月15日	放射線及び放射性同位元素の新規取扱者のための初心者教育	長崎大学放射線総合センター	2名	100%

2) スタッフ教育研修会

研修名	開催日	テーマ	講師、担当者	参加者数	参加率
スタッフ教育研修会	4月19日	動画編集の概要とPower Directorを用いた編集方法について	ME機器センター CE富山	2名	100%
スタッフ教育研修会	5月15日	TERUMO HRジョイントについて	TERUMO 大川内氏	1名	50%
スタッフ教育研修会	6月19日	心臓カテーテル治療における ガイディングカテーテルと ガイドワイヤーについて	ME機器センター CE神近	2名	100%
スタッフ教育研修会	7月17日	人工心臓における カニューレーションについて	ME機器センター CE工藤	2名	100%
スタッフ教育研修会	8月21日	光学医療診療部における CEが求められること	ME機器センター CE岳下	2名	100%
スタッフ教育研修会	9月18日	血液浄化療法部における CEが求められること	ME機器センター CE久田	2名	100%
スタッフ教育研修会	10月16日	ICU急患対応時の動きについて	ME機器センター CE下田	2名	100%
スタッフ教育研修会	11月20日	医療機器情報登録の手順について	ME機器センター CE猪野	2名	100%
スタッフ教育研修会	12月18日	医療監視について	ME機器センター CE林	1名	50%
スタッフ教育研修会	1月15日	要望書の書き方について	企画課 村川 泰蔵氏	2名	100%
スタッフ教育研修会	2月29日	IABPについて	ME機器センター CE福崎	2名	100%
スタッフ教育研修会	3月19日	ECMOについて	ME機器センター CE寺坂	1名	50%

(2) 教育体制(リハビリテーション部：新入職員)

リハビリテーション部門は3職種、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)の3つの職種で構成されており業種により職務の内容は異なる。しかし、基本的な業務手順、リスク管理は共通することも多くオリエンテーション、リスク管理など共通の講義を行うことでセラピストとしての資質向上と安全にリハビリテーションを実施できることを目的としている。基本的なスケジュールは、4月の1か月間はオリエンテーションと各疾患別リハビリテーションの分野を見学またはOJTを主に行い、5月～OJTを実施しながら診療補助業務を開始する。

1) 新規採用者オリエンテーションの内容

研修名	研修 日数	研修 回数	開催	テーマ	講師、担当者	参加者数	参加 率
リハビリテーション部 オリエンテーション	1	1	4月4日	リハビリテーション部 概要紹介	鋤崎	2	100%
リハビリテーション部 オリエンテーション	1	1	4月4日	リハビリテーション部内 接遇について	鋤崎	2	100%
リハビリテーション部 オリエンテーション	1	1	4月4日	勤怠管理についてとシステム操作方法	鋤崎	2	100%
リハビリテーション部 オリエンテーション	1	1	4月5日	リハビリテーション部 業務手順	鋤崎	2	100%
リハビリテーション部 オリエンテーション	1	1	4月5日	リハビリテーション関連診療報酬について	鋤崎	2	100%
リハビリテーション部 オリエンテーション	1	1	4月5日	リハビリテーション関連 書類作成方法	鋤崎	2	100%
リハビリテーション部 オリエンテーション	1	1	4月5日	カルテ記載の方法	鋤崎	2	100%
リハビリテーション部 オリエンテーション	1	1	4月8日	電子カルテ操作方法について	鋤崎	2	100%
リハビリテーション部 オリエンテーション	1	1	4月8日	リスク管理 患者観察とリハビリ テーション中止基準(総論)	鋤崎	2	100%
リハビリテーション部 オリエンテーション	1	1	4月8日	肺血栓症塞栓症について	鋤崎	2	100%
リハビリテーション部 オリエンテーション	1	1	4月9日	リハビリテーション時の緊急対応と インシデント・アクシデント発生時の連絡	鋤崎	2	100%
リハビリテーション部 オリエンテーション	1	1	4月9日	リハビリテーション部における感染対策	鋤崎	2	100%
リハビリテーション部 オリエンテーション	1	1	4月9日	リハビリテーション時における注意義務と 責任	鋤崎	2	100%
リハビリテーション部 オリエンテーション	1	1	4月9日	リハビリテーションと倫理	鋤崎	2	100%

2) 疾患別リハビリテーション見学またはOJT(1か月間)

見学者	4月11日(木)		4月12日(金)		4月15日(月)		4月16日(火)		4月17日(水)		4月18日(木)		4月19日(金)	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
松本	呼吸器 班	呼吸器 班	嚔下	嚔下	がん班	がん班	運動器 班	運動器 班	精神科	精神科	脳血管 班	脳血管 班	循環器 班	循環器 班
中川	脳血管 班	脳血管 班	運動器 班	運動器 班	嚔下	嚔下	循環器 班	循環器 班	がん班	がん班	呼吸器 班	呼吸器 班	精神科	精神科

※予定以降4月中は各配属班でOJT継続実施

3) 疾患別リハビリテーション リスク管理研修

研修名	研修 日数	研修 回数	開催 予定日	テーマ	講師、担当者	参加者 数	参加率
リスク管理研修	1	1	4月18日	脳血管障害のリスク管理	李	5	100%
リスク管理研修	1	1	4月25日	脳血管障害のリスク管理	大久保	5	100%
リスク管理研修	1	1	5月2日	運動器疾患のリスク管理	山下	6	100%
リスク管理研修	1	1	5月9日	運動器疾患のリスク管理	井上	7	100%
リスク管理研修	1	1	5月16日	呼吸器障害のリスク管理	花田	7	100%
リスク管理研修	1	1	5月23日	呼吸器障害のリスク管理	及川	6	100%
リスク管理研修	1	1	5月30日	循環器障害のリスク管理	矢野	6	100%
リスク管理研修	1	1	6月6日	循環器障害のリスク管理	渡部	5	100%
リスク管理研修	1	1	6月12日	がんのリスク管理	山口	6	100%

研修対象者2名は全て参加

(2) 教育体制(視能訓練部門：新入職員)

- 新人視能訓練士は、初年度1年間を通じて眼科各種検査を段階的に研修を行い、適切かつ安全に業務に行う
- 2年～3年は、徐々に急患検査や術前検査など1人でも行えるよう視能訓練士の基礎を作る
- 入職3年を目処に、地方勉強会以上の場での発表を目標とする

研修名	研修日数	研修回数	開催予定日	テーマ	講師、担当者	参加者数	参加率
視能訓練部門 オリエンテーション	1	1	4月1日	視能訓練部門 概要紹介	主任視能訓練士		
視能訓練部門 オリエンテーション	1	1	4月1日	視能訓練部門 接遇について	主任視能訓練士		
視能訓練部門 オリエンテーション	1	1	4月1日	視能訓練部門 危機管理研修	主任視能訓練士		
視能訓練部門 オリエンテーション	1	1	4月1日	就業管理およびシステム操作方法	主任視能訓練士		
視能訓練部門 オリエンテーション	14	1	4月1日 ～	一般業務手順 電子カルテ操作方法について カルテ記載研修	主任視能訓練士 視能訓練士		
視能訓練士 各種検査業務研修	12	12	4月1日 ～ 3月31日	習熟が必要とされる各種眼科検査また眼科知識習得を目標とする研修会	視能訓練士、医師、MR		
眼科新人講義	2	1	7月	斜視弱視に関する講義 色覚異常に関する講義	医師 および 視能訓練士		

R6年度新入職員無しにつき実施せず

(2) 教育体制（歯科衛生士：新入職員）

例年のスケジュール 2024. 新人0名

研修名	研修 日数	研修 回数	開催時期	テーマ	講師および評価者	対象者
オリエンテーション	2	2	4月	歯科衛生士室の運用について 外来の運用について	歯科衛生士長 歯科衛生士主任	新人
歯科衛生士の業務について	2	2	4月	外来業務手順	歯科衛生士主任 歯科衛生士教育担当	新人
基礎実習	3	3	4月～ 6か月	ユニット操作 実技に関する事 (印象準備、手順、練和)	歯科衛生士教育担当	新人
記録の書き方	2	2	4月～ 6か月	電子カルテ操作方法 歯科衛生士業務記録の入力 方法につて	歯科衛生士主任	新人

月/日	場所	研修内容	研修内容	講師
6月	歯科外来	1カ月ラダーテスト	筆記・実技	歯科衛生士教育担当
7月	歯科外来	3カ月ラダーテスト	筆記・実技	歯科衛生士教育担当
7月	歯科外来	実技試験2回目	実技	歯科衛生士教育担当
10月	歯科外来	6か月ラダーテスト	筆記	歯科衛生士教育担当

(2) 教育体制(歯科技工部門：新入職員)

研修名	研修時間	研修回数	開催時期	テーマ	講師および評価者	対象者
オリエンテーション	3	5	採用後 1か月内	中央技工室の運営全般について学ぶ	歯科技工士長 各種運営委員	新人
業務の流れ	3	60	～ 3ヶ月	受付, 配当, 外部委託について学ぶ	受付担当リーダー	新人
技工担当リーダー業務について学ぶ	3	60	～ 6ヶ月	技工担当リーダーを補助しながら, リーダーとしての業務を学ぶ	技工担当リーダー	新人
技工基礎実習	3	15	～ 12ヶ月	初歩的な補綴装置の歯科技工に関する知識と技術を習得する.	歯科技工士長 主任歯科技工士 歯科技工士	新人
臨床実習	3	30	～ 24ヶ月	採用されて10年未満のものが, 一定の水準に達していない補綴装置またはこれまでに経験のない補綴装置に関する知識と技術を習得する	歯科技工士長 主任歯科技工士	新人 初心者

1. 採用されたものは, これまでの歯科技工経験年数にかかわらずすべて新人として扱う. 新人に対しては, 2年間の研修期間中において適切なタイミングで全ての項目について評価を実施し, 新人研修期間の終了または延長を決定する.

2. 採用されて10年未満のもので, 歯科技工の技能が一定のレベルに満たないと判断された場合, 初心者として研修を行う. 2年間の研修期間中に評価を実施し, 研修期間の終了または延長を決定する.

(3) 自己評価1(放射線部)

- ・ スタッフが期間中に努力したことのほとんど全てが点数化されて評価できる。

個人票(1/2)

氏名	長崎太郎		評価期間	年	月	日	～	年	月	日
生年月日	1964/8/13	57.8638889	歳							
技師免許取得日	2000/4/1	22.2305556	年(技師経験)							
入職日	2010/4/1	12.2305556	年(放射線部在籍)							

評価項目	点数	勤務態度評価基準
責任感	4	自己の役割をよく理解し、責任を持って誠実に仕事を最後までやり遂げたか。
	3	適切なタイミングで、上司等関係者への報告、連絡、相談や申し送り等を行ったか。
	3	本学の職員として自覚を持ち、服従規程や職場のルールを遵守したか。
	4	患者および内外の関係者への接遇、対応、気遣いに心がけているか。
協調性	3	自分の担当分野に固執せず、相手の話を聞き、柔軟に対応し、関係者と協調したか。
	3	上司、同僚や他職種等と協力して、仕事を進めたか。
	3	医療チームとしての関係を形成し、医療職としての役割を果たしたか。
積極性	4	探究心、向上心を持ち、専門性を高める努力を行ったか。
	3	新しい業務・課題への挑戦を行ったか。
	3	自己啓発および職務遂行のため、内外の研修会等へ積極的に参加したか。
知識・技術	4	職務に必要な知識や技術を習得し、業務に活用できたか。
	3	担当業務や関連する他の業務についての知識と技術の習得に努めたか。
業務遂行	3	仕事の結果は、正確で信頼のおけるものであったか。
	3	仕事の重要度、優先度を的確に判断し、迅速に仕事をすることができたか。
説明・表現	4	患者や内外の関係者にわかりやすい説明ができたか。
	4	上司等関係者に対し、的確な説明が行えたか。
	4	作成資料等は効率的かつ分かりやすい内容だったか。
理解	3	医療事故防止、感染防止等の院内各種マニュアルを理解し、適切に行動できたか。
	3	部門の方針、上司の指示を理解し、行動できたか。
課題対応	4	従来のやり方を参考にしながら効率的な改善を提案、実行したか。
	3	適切な情報収集に基づき、現状を分析し、対応したか。
	3	コスト意識を持って経費削減に努めたか。
小計	74	

評価項目	点数	達成目標
今期目標達成度	10	MR専門技術者資格を取得する
来期目標		日本放射線技術学会雑誌へ論文投稿する

評価項目	点数	出席率
部会・セミナー等出席率		出席率(%) 90-100%:10点 80-89%:7点 70-79%:5点 0-69%:0点

評価項目	点数	プロジェクト貢献内容
プロジェクト貢献度	4	病院機能評価WGメンバーとして、MR部門のマニュアル整備などで成果をあげた
	3	MRI緊急呼出対応メンバーとして貢献した
小計	7	

評価項目	点数	院内での発表内容
外部講習会等出張報告 放射線部勉強会発表 院内セミナーでの発表	1	医療事故防止セミナーで講演
	1	勉強会で「f-MRIについて」を発表
小計	2	

(3) 自己評価2(放射線部)

- 医療技術部共通モラル評価に加えて、期間中の研修記録を点数化する。

個人票(2/2)

氏名 長崎太郎 評価期間 年 月 日 ~ 年 月 日

評価項目	点数	内容
資格	10	MR専門技術者
発表	5	「f-MRIにおける解析手法の有用性(放射線技術学会総会発表)
	2	「f-MRIにおけるストレス時間の検証(放射線技術学会総会 長崎二郎発表、2nd演者)
論文		
表彰	10	日本放射線技術学会 技術奨励賞
著書		
学位	10	長崎大学・福島県立大学共同大学院 前期課程入学(入学)
人事交流		
小計	37	

上記項目では評価できていないことで、自分の活動を伝えたい・アピールしたいことがあれば自由に記載する
放射線部の会計委員として、新人歓迎会、送別会の企画・運営を行った。
長崎県診療放射線技師会地域理事として、地区研修会の企画運営を行った。

研修記録

月日	学会、研修会名	開催場所・テーマ、演題名、講師名など

取得資格

取得年	資格名
2005	第一種放射線取扱主任者(試験のみ)
2010	医学物理士
2015	救急撮影認定技師

(3) 自己評価2(放射線部)

勤務態度 点数評価判定基準	5	求められる行動が全て確実に取られており、特に優秀な能力発揮状況である
	4	求められる行動が十分に取られており、優秀な能力発揮状況である
	3	求められる行動が概ね取られており、求められる能力が概ね発揮されている状況である
	2	求められる行動が一部しか取られておらず、十分な能力発揮状況とは言えない
	1	求められる行動がほとんど取られておらず、必要とされる能力発揮状況とは言えない

目標達成度	10	自身が設定した目標を達成できた場合は10点
	5-7	自身が設定した目標は達成できなかったもののその努力と進捗状況により5-7点をつける
	0	努力不足と認められる場合

プロジェクト貢献度 点数判定基準	5	プロジェクトに主たるメンバーとして参加し、特に優秀な成績を上げた
	4	プロジェクトに主たるメンバーとして参加し、優秀な成績を上げた
	3	プロジェクトに主たるメンバーとして参加し、成果を上げた
	3	プロジェクトに補助的なメンバーとして参加し、特に優秀な成績を上げた
	2	プロジェクトに補助的なメンバーとして参加し、優秀な成績を上げた
	1	プロジェクトに補助的なメンバーとして参加し、成果を成績を上げた

注) プロジェクト期間が6ヶ月以上の場合、6ヶ月単位で評価を行う。評価は最大2回まで。

外部講習会等出張報告	1	出張命令により講習会等に出席し、勉強会で報告を行ったもの
放射線部勉強会発表	1	放射線部勉強会で発表を行ったもの(学会予演会を除く)
院内セミナーでの発表	1	医療事故防止セミナー等、院内で発表を行ったもの

資格	第1種放射線取扱主任者	20	合格時 x0.7を評価、資格取得時 x0.3を評価
	MR専門技術者	10	第1種放射線取扱主任者以外の資格は、資格取得時に評価する マンモグラフィ撮影技師B1からAへのランクアップ時には5点
	上級MR専門技術者	20	
	核医学専門技師	10	
	放射線治療専門技師	10	
	放射線治療品質管理士	20	
	医学物理士	20	
	放射線治療専門医学物理士	10	
	血管造影IVR専門技師	10	
	医療情報技師	10	
	医療画像情報専門技師	10	
	マンモグラフィ撮影技師A	10	
	マンモグラフィ撮影技師B1	5	
	CT認定技師	10	
	CT専門技師	20	
	救急撮影認定技師	10	
	第一種衛生管理者	5	
	衛生工学衛生管理者	5	
その他の資格	5~10		
資格更新	5		
発表	学会講演・発表・シンポジウム	5	学会に限る・座長は含まない 学会発表共同演者(2nd:2点、3rd:1点)
	研究会等発表・講演	2	研究会・技師会等 筆頭者のみ評価
論文(学会誌)	査読付原著論文	30	査読付原著の場合 共著者(2nd:5点、3rd:3点)
	査読付他論文	20	査読付他論文の場合 共著者(2nd:5点、3rd:4点)
	査読無論文(総説等)	10	査読無の場合 筆頭者のみ評価 論文投稿時に x0.2を評価、論文掲載時に x0.8を評価
論文(学会誌以外)	商用誌	5	筆頭者のみ評価
	その他	2	
表彰	論文賞等著名な賞	30	学会賞等
	他優秀賞	20	学会発表賞
	学会発表金賞	15	
	学会発表銀賞	10	
	学会発表銅賞	5	
著者	著書(単著)	20	出版後
	著書(共著)	10	
特許	特許出願	30	特許出願時
人事交流	人事交流	20	人事交流から復帰後
学位	修士	20	入学時 x0.5を評価、学位取得後 x0.5を評価
	博士	30	

(3) 自己評価3(放射線部 ラダー)

クリニカル ラダー		認定資格など	マネジメント ラダー		職位	学位 取得 が望ま しい
レベル5 (研究・ 教育)	専門の知識・ 技術を生かし 創造性を発揮し、 研究・教育が できる	研究・教育	レベル5 (部長・ 技師長)	医療経営に 参加し社会に 貢献できる	部長・副部長 など以上の他 部門と経営に 関わる管理職	博士
レベル4 (スペシャ リスト)	卓越した知識・ 技術を生かし 専門性が発揮で きる専門診療放 射線技師	専門診療放射線技師 資格、認定診療放射 線技師資格、第一種 放射線取扱主任者試 験合格	レベル4 (技師長・ 副技師長)	部門管理を した上で他部 署との連携で チーム医療を 実践できる	技師長・ 技士長などの 部門長	修士
レベル3 (スペシャ リスト)	知識・技術を生 かし日常業務の 質向上、後進の 指導などができる	臨床実習指導教員、 認定診療放射線技師 資格、第一種放射線 取扱主任者試験合格	レベル3 (主任)	部署・部門の 管理ができる	主任など 部門などの 中間管理職	学士
レベル2 (ジェネラ リスト)	日々進歩する標 準医療を担保で きる(科学的根 拠に基づく医療 の実践)	各基礎技術講習会 受講修了者				
レベル1 (新人 教育)	日々の放射線診 療に必要な基礎 知識を身に付け、 医療安全を担保 できる	感染対策、マナー、 放射線被ばく、看護 学、救急医療学等の 講習会修了者				

(3) 自己評価3 (放射線部 ラダー)

レベル5	管理職 研究・教育	クリニカルラダー 研究・教育	クリニカルラダー 研究・教育	マネジメントラダー 管理職 (部長・技師長)
レベル4 (スペシャリスト)	就職20年目程度 (認定技師・ 副技師長)	クリニカルラダー 画像診断系	クリニカルラダー 放射線治療系	マネジメントラダー 管理職 (技師長・副技師長)
レベル3 (スペシャリスト)	就職10年目程度 (認定技師・主任)	クリニカルラダー 画像診断系	クリニカルラダー 放射線治療系	マネジメントラダー 管理職(主任)
レベル2 (ジェネラリスト)	就職5年目程度	クリニカルラダー 中級		
レベル1 (新人教育)	就職1～2年目程度	クリニカルラダー 初級		
レベル0	就職1年目			

- ・ クリニカルラダー レベル1
ラダー項目(スキル達成度評価:初級)を100%クリアすること。
- ・ クリニカルラダー レベル2
レベル1が認定された上で、5年の経験年数に加え、基本的には一般X線撮影・CT検査・MRI検査・血管造影検査4部門のラダー項目(スキル達成度評価:中級)の全ての項目をクリアすること。
- ・ クリニカルラダー レベル3
レベル2が認定された上で、臨床実習指導教員及び認定診療放射線技師資格1つ以上の認定を取得し、クリニカルラダー(スキル達成度評価)画像診断系または放射線治療系の上級を2つクリアすること。
- ・ クリニカルラダー レベル4、5は詳細検討中。
- ・ マネジメントラダー レベル3
クリニカルラダーレベル2が認定された上で、マネジメント研修会への参加や担当部門の業務分析を行い、報告すること。
- ・ マネジメントラダー レベル4、5は詳細検討中。

令和6年度 放射線部門 業績

学会発表【全国学会】

学会名	開催期間	氏名	発表
第80回日本放射線技術学会総会学術大会	2024/4/11～ 2024/4/14	安藤大将	多段面同時励起併用拡散強調画像における深層学習を用いた画像再構成の有用性の検証
第47回日本CI学会総会	2024/4/19～ 2024/4/20	佐々木尚也	当院における画像手術支援についての取り組み
		平田悠真	頭部血管造影における2段階注入法を用いた撮影について
第52回日本磁気共鳴医学会大会	2024/9/20～ 2024/9/22	室井僚哉	3T MRI装置におけるFast Dixon法の至適撮像条件の検討-TSE Dixon法との比較
第1回日本放射線医療技術学術大会	2024/10/30～ 2024/11/3	東佑弥	超高精細CTによるAdamkiewicz動脈の描出能向上を目的とした低管電圧撮影と画像再構成法の検討：ファントムによる検証
		坂本直哉	超高精細CTを用いた骨微細構造解析：画像ノイズが解析に及ぼす影響について
		園田芙優	腎細胞がんの免疫チェックポイント分子の活性を推定するための radioproteomics

学会発表【地方学会】

学会名	開催期間	氏名	発表
第38回日本核医学技術学会九州地方会長崎沖縄大会	2024/7/6～ 2024/7/7	岩竹聡	Fundamental Study of Virtual Planar Imaging by SPECT Imaging
第20回九州放射線医療技術学術大会（宮崎大会）	2024/12/22～ 2024/12/23	中村卓弥	頭頸部癌に対する強度変調放射線治療における人工知能ベース自動計画技術の有用性評価
		瀧口朋花	骨微細構造解析における超高精細CTの画像再構成法と撮像回数への検討について

寄稿

会誌名	掲載号	氏名	表題
九州循環器撮影研究会誌	No. 35 2024	佐々木尚也	画像手術支援の取り組み
福岡県診療放射線技師会会誌	No. 356 2024	西川公英	当院における2段階注入法を用いた回転撮影について
RadFan	2025年3月号	坂口良介	長崎県におけるAi (Autopsy imaging) の現状と課題 (アンケート報告)

令和6年度 放射線部門 業績

講演・研究会など

学会名	開催期間	氏名	発表
第22回長崎県放射線治療研究会	2024/7/6	山崎寛文	長崎大学病院におけるTrueBeamの使用経験
第83回九州循環器撮影研究会	2024/8/17	佐々木尚也	当院の画像手術支援の取り組み
第4回キヤノンCTユーザー会	2024/9/7	石橋顕治	高精細CTを用いた骨撮像の有用性
第48回長崎CT・MR研究会	2024/9/7	福島快晶	放射線技師による静脈路確保への取り組み
第43回 長崎 GEHC Signa User's Meeting	2024/9/27	坂口良介	上腹部検査における取り組み
ARTIS icono club九州技術者の会	2024/12/7	西川公英	iconoの便利機能・困っていること
全国国立大学放射線技師会 第7回学術サミット	2025/1/18	橋口修卓	手術支援に関する最新情報 CT班 支援画像への挑戦
令和7年九州国立病院機構診療 放射線技師会 西九州地区研修会	2025/1/25	岩竹聡	原子力災害医療における診療放射線 技師の役割
長崎県診療放射線技師会 令和6年度長崎地区研修会	2025/2/27	坂本直哉	高精細CTによる骨微細構造解析について
第49回長崎CT・MR研究会	2025/3/15	園田芙優	乳がんの免疫チェックポイント分子の 活性と不活性を判別するための Radioproteomics

資格取得

認定資格名	氏名	認定機構
核医学専門技師	山田誠	日本核医学専門技師認定機構
日本血管造影・インターベンション 専門診療放射線技師	室井僚哉	日本血管造影・インターベンション 専門診療放射線技師認定機構
乳がん超音波検査認定診療放射線技師	長瀬純	日本乳がん検診精度管理中央機構

(3) 自己評価(検査部・細胞療法部・病理部)

- 教育訓練実施手順書に則り、評価を実施する。
 評価には、①各検査室における専門的技能の力量評価、②検査部門共通の技術的力量評価、③検査部門共通の管理面も含めたその他の勤務評価を行う。この3つの評価を行い、スキルマップを作成する。

① 専門的技能の力量評価

- (1) チェックリストによる力量評価を行う
- (2) 力量評価を行い、スキルマップに反映させる
- (3) 要員はより上の星☆を目指す

～ チェックリストは以下のような視点および内容を含む ～

- ① ある活動の直接観察
- ② 機材の保守および機能チェックの直接確認
- ③ 検査結果の記録および報告の監視
- ④ 業務記録の評価
- ⑤ 問題解決能力の評価
- ⑥ 外部精度管理物質または検査室間比較物質などの特別に提供されたサンプルの検査

◆ スキルマップにおける星☆の基準 ◆

☆	力量ある要員を目指す
☆☆	日常業務における力量ある要員
☆☆☆	資格や経験を持ち指導ができる力量ある要員
☆☆☆☆	資格や十分な経験を持ち専門的アドバイスができる力量ある要員

② 検査部門共通の技術的力量の評価>

- (1) 専門的技能以外のパフォーマンス評価を行う
 - (2) 割り当てられた技術上のタスク以外の管理上のタスクの遂行に対する評価も行う
 - (3) 評価し、スキルマップに反映させる
- ※評価は、別紙1「検査部門共通スキルマップの項目と評価法」の基準に則り評価する。

③ 検査部門共通の管理面も含めたその他の勤務評価>

- (1) 勤務態度に関して評価を行う
 - (2) 業務以外の活動面についても評価を行う
- ※評価は、別紙2「勤務評価記録の項目と評価法」の基準に則り評価する。

- ①～③を統合し、「統合勤務評価表」を作成、人事(勤務)評価としている

(3) 自己評価(検査部・細胞療法部・病理部)

別紙1 検査部門共通スキルマップの項目と評価法

検査部門共通スキルマップの項目と評価法			
No.	項目	評価	要求基準の目安
1)	採血検査	★	力量ある要員を口指す
2)	時間外検査	★★	日常業務における力量ある要員
3)	時間外輸血検査	★★★	資格や経験を持ち指導ができる
4)	情報システム	★★★★	資格や十分な経験を持ち専門的アドバイスができる
5)	管理上のタスク	★	主任の指示のもと管理職務の手伝いができる
		★★	主任として管理職務ができる
		★★★	主任として適切に管理職務をおこなえ、要員をまとめることができ、管理職務の教育ができる
		★★★★	上記に加え、複数の検査室をまとめることができる
6)	IT スキル	★	IT スキルが必要
		★★	オフィスソフト等が使用できる
		★★★	オフィスソフト等の機能や使用法が教育できる
		★★★★	オフィスソフトの難易度が高い機能(マクロ等)または専門的なソフト(統計ソフト等)が使用できる
7)	ISO 関連業務	★	ISO を学ぶ初心者
		★★	ワーキンググループに参加し、ISO 関連業務に関わることができる
		★★★	ワーキンググループ、ISO 関連業務で中核的な活動を行い、初心者に指導ができる。審査に関わることができる
		★★★★	外部からの ISO 審査に対応できる
8)	学生教育	★	学生教育ができることを目指す
		★★	学生教育ができる
		★★★	学生教育する要員に指導できる
		★★★★	学生教育を計画し、指示できる
9)	研究活動	★	研究の手伝いができる
		★★	課された研究を行い、学会発表ができる
		★★★	研究および学会発表の指導ができる
		★★★★	研究資金を獲得できる

(3) 自己評価(検査部・細胞療法部・病理部)

別紙2 勤務評価記録の項目と評価法

勤務評価記録の項目と評価法			
No	項目	評価	要求基準の目安
1)	業務に対する姿勢 (業務がスムーズにおこなえるような働きかけを含む)	★	遅刻や通常欠勤が月に一回程度認められた
		★★	業務をおおむね良好に果たせた
		★★★	業務姿勢は優秀であり、求められる水準の業務が十分果たせた
		★★★★	他の要員の業務のカバー、ミスのカバーなど、求められる水準以上の業務が果たせた
2)	業務改善活動 (サービスの利用者に対する働きかけを含む)	★	サービスの質の維持に貢献できなかった
		★★	検査室のサービスの質を維持できた
		★★★	検査室のサービスの質の向上のため、実践的な活動ができた
		★★★★	検査室のサービスの質の向上に取り組み、求められる水準以上の成果を挙げた
3)	生産的な人間関係 (協調性・ハラスメントの有無を含める)	★	良好な人間関係を保てないことがあった
		★★	業務上良好な人間関係を維持できた
		★★★	検査室内外において良好な人間関係を率先して構築できた
		★★★★	良好な人間関係の構築・維持を実践し、求められる水準以上の活動をおこなった
4)	業務以外の活動・社会活動 (学会・研究会・勉強会等の活動を含める)	★	業務以外の活動にあまり参加しなかった
		★★	業務以外の種々の仕事や社会活動を手伝うことができた
		★★★	業務以外の種々の仕事や社会活動に積極的に取り組み、求められた役割を果たせた
		★★★★	業務以外の種々の仕事や社会活動において求められた水準以上の活動をおこなった
5)	業務の適性 (検査技師の適正として粘り強さ、分析力、几帳面さなどがある)	★	種々の理由でモチベーションが低下した
		★★	求められる適性をおおむね発揮した
		★★★	求められた以上に適性を発揮した
		★★★★	特に優秀な適性を発揮した

令和6年度 臨床検査部門 業績

【資格取得】

認定資格名	氏名	認定日	認定機構
緊急臨床検査士	大久保 翔貴	2024年9月3日	日本検査同学院・日本臨床検査医学会
	馬場 遥花	2024年9月3日	
	山崎 杏香	2024年9月3日	
二級臨床検査士(微生物)	石川 貴久	2024年9月3日	日本検査同学院・日本臨床検査医学会
二級臨床検査士(血液)	中原 萌衣	2024年9月3日	日本検査同学院・日本臨床検査医学会
感染制御認定臨床検査技師(ICMT)	川元 康嗣	2024年11月8日	日本臨床微生物学会
バイオインフォマティクス技術者認定資格	石川 貴久	2024年12月24日	日本バイオインフォマティクス学会
認定サイトメトリー技術者	大久保 翔貴	2025年1月31日	日本サイトメトリー学会
長崎県肝炎医療コーディネーター	山口 海偉	2025年2月21日	長崎県肝疾患相談支援センター
医用質量分析認定士	川原 健太郎	2025年4月1日	日本医用マススペクトル学会

【論文投稿】

学会名	掲載号	氏名	論文名
Microbiology Spectrum	May 2025 Volume 13 Issue 5	Mika Murata	Antimicrobial susceptibility and resistance mechanisms to
日本臨床微生物学会	Vol.34 No.4 2024	小玉 陽菜	過去10年間に培養に提出された髄液検査所見

【受賞歴】

学会名	受賞	氏名	演題名
第73回日本化学療法学会西日本支部総会	支部長賞(臨床)	村田 美香	MRSA伝播調査におけるコアゲノムMLSTの有用性の評価
第70回日本臨床検査医学会九州地方会	最優秀演題賞	川元 康嗣	質量分析装置による血液培養陽性ボトルからの迅速な薬剤耐性菌検出法の開発
第70回日本臨床検査医学会九州地方会	優秀演題賞	松本 成良	HTLV-1 定量検査におけるリアルタイムPCR法からデジタルPCR法への移行

【学会発表・地方】

学会名	会期	筆頭発表者	演題名
第19回九州遺伝子診断研究会	11月2日	鍋島 賢人	Whole genome sequencingを用いた血液培養由来の緑膿菌の解析
2024年度日臨技九州支部医学検査学会	11月9日~10日	山内 俊輔	当院におけるフローサイトメトリー検査の運用と人材育成の現状
第72回日本化学療法学会西日本支部総会	11月14日~16日	村田 美香	MRSA伝播調査におけるコアゲノムMLSTの有用性の評価
第70回 日本臨床検査医学会 九州地方会 第36回 日本臨床化学会 九州支部総会 第5回 日本医療検査科学会 九州地方会 合同学会	2025年2月22日	松永 莉子	蛋白分画パターンからIgG4高値が判明した好酸球増多症の一例
		大塩 美央	ファゴット細胞様形態と表面マーカーから診断に苦慮したAML with t(8;21)(q22;q22.1);RUNX1::RUNX1T1の1例
		川元 康嗣	質量分析装置による血液培養陽性ボトルからの迅速な薬剤耐性菌検出法の開発
		糸瀬 終人	5類感染症移行後の新型コロナウイルス遺伝子検査の陽性率と陽性が持続する患者の解析
		豊村 里奈	イムノクロマト法を測定原理とする「エスプラインHBsAg」と「ダイナスクリーンHBsAg2Plus」の比較検討
		松本 成良	HTLV-1 定量検査におけるリアルタイムPCR法からデジタルPCR法への移行

令和6年度 臨床検査部門 業績

【学会発表・全国】

学会名	会期	筆頭発表者	演題名
第35回臨床微生物迅速診断研究会総会	6月22日	石川 貴久	マイクロ流路型遺伝子検査装置GeneSoCiによる結核菌遺伝子検出の性能評価
第48回日本睡眠学会定期学術集会	7月18～19日	松野 貴子	COVID-19罹患後に長時間睡眠と周期性四肢運動障害を呈した一例
		井上 和美	PSG時の深部体温測定の臨床的意義について
第39回 日本環境感染学会総会・学術集会	7月25日～27日	重石 ゆうい	長崎大学病院における過去6年間の耐性菌分離率と抗菌薬使用の推移
MRSAフォーラム2024	7月6日	村田 美香	血液培養より検出されたMRSAの経時的変化に関する検討
第34回日本サイトメトリー学会学術集会	7月6日～7日	森 沙耶香	形態からの推測と異なりフローサイトメトリー検査が多発性骨髄腫の診断につながった1例
第25回日本検査血液学会学術集会	7月20日～21日	森 沙耶香	診断に苦慮したCCR4陰性の成人T細胞白血病/リンパ腫(ATLL)の1例
		中原 萌衣	MEF2D::BCL9 融合遺伝子を伴う難治性前駆B細胞急性リンパ性白血病(BCP-ALL)の一症例
第64回日本臨床化学会年次学術集会	8月30日～9月1日	臼井 哲也	当院のALアミロイドーシスにおける免疫固定法(IFE)、遊離L鎖κ/λ比(FLC)について
		山川 智宏	生化学検査における輸液混入例の解析
第56回日本医療検査科学会	10月4日～6日	臼井 哲也	抗核抗体間接蛍光抗体法セントロメア型と対応抗体との乖離に関する検討
		石原 香織	当院におけるHBV再活性化対策HBV DNA定量検査緊急報告システムの活用状況
		大久保 翔貴	当院におけるクロスミキシング試験の運用変更の検討
		山崎 杏香	偽性低Na血漿における総蛋白と中性脂肪の影響
第10回日本HTLV-1学会学術集会	11月8日～10日	石田 佳緒里	HTLV-1定量検査におけるリアルタイムPCRからデジタルPCRへの移行
第71回臨床検査医学会学術集会	11月28日～12月1日	石原 香織	尿中B J P陽性患者における尿蛋白定性、定量検査結果の比較検討
		海端 亜季	全自動蛍光抗体法分析装置(HELIOS)の抗核抗体像によるICAP分類AC-29型判定について
		林田 章也	間接蛍光抗体(IIF)法における有糸分裂に関連する抗核抗体陽性症例と腫瘍性疾患との関連性について
		山崎 杏香	早期の炎症マーカーとしてのIL-6～CRP上昇との関連性～
		石田 佳緒里	デジタルPCRによるHTLV-1定量検査についての検討
		川原 健太郎	微生物同定検査装置BDTM Bruker MALDIバイオタイパー-TM siriusシステムの性能評価
第44回医療情報学連合大会	11月21日～24日	臼井 哲也	地域医療連携ネットワークシステムにおける臨床検査結果表示の統一化に向けた取り組み
第36回日本臨床微生物学会総会・学術集会	2025年 1月24日～26日	松本 慧介	呼吸器検体における緑膿菌の薬剤感受性の推移とカルバペネマーゼ産生性の解析
		川元 康嗣	アメリカの臨床微生物検査室の現場を経験して
		重石 ゆうい	質量分析装置でNeisseria polysaccharea をNeisseria meningitidis と誤同定した1例
		村田 美香	微生物検査室における核酸検査の活用「微生物検査におけるNGS解析」
第59回緑膿菌・グラム陰性菌感染症研究会	2025年 2月21日～22日	鍋島 賢人	Whole genome sequencingによる血液培養由来緑膿菌の解析
第54回日本嫌気性菌感染症学会総会・学術集会	2025年3月1日	川元 康嗣	Gardnerella 属菌の同定とBVとの関連性

【国際学会】

学会名	会期	筆頭発表者	演題名
International Retrovirology Association	6月2日～5日	Nariyoshi Matsumoto	Clonality evaluation using RISING method for patients with Adult T-cell Leukemia relapsed after complete remission

(3) 自己評価(臨床工学部門)

令和4年度 前期 ME機器センター人事考課表 臨床工学技士

総人事考課スコア		
氏名:	職種:	配置グループ:
※職種には臨床工学技士として業務を行った年数を記載		
【年度目標】	年度目標区分:	記入日: 年 月 日
【目標の達成状況】		記入日: 年 月 日
【目標未達成に対する方策】		記入日: 年 月 日
【目標の達成度評価】	自己評価	他者評価
A: 優れて達成している(80%以上100%未満)[10] B: 概ね達成している(60%以上80%未満)[8] C: やや達成不十分(20%以上60%未満)[2] D: 全く達成できていない(20%未満)[0]		
【被評価者コメント】		

第2版: 令和4年5月11日
長崎大学病院ME機器センター

令和4年度 前期 ME機器センター人事考課表 臨床工学技士

	モラル評価	自己評価	他者評価
規律性	ユニフォームなどは常に清潔なものを着用しておらず、身だしなみが適切でない あいさつ、言葉遣いが適切でない 上長の指示命令に対して曖昧な返事や、後ろ向きな返え、態度等があった 職場の規律を乱したり、怠慢(サボリ、談笑など)が目立った 始業時刻までに準備を整え職務にあたっていない 休暇、遅刻などは事後報告だけで済ませている 職務遂行責任を最後まで果たしていない		
責任性	職務遂行を通じて責任回避や転嫁がみられる 方針、指示命令など決定事項の徹底化に努めていない 部下や同僚に対して、適切な指導やアドバイスを行っていない 約束した時間、期日を守れない		
協調性	自分に余裕があるのに、他人が困っていても援助しようとしなかった 自分の立場、仕事に固執して、他人に迷惑を及ぼす事があった 奥に入った人にだけ援助をする、選り好みのある協力しなかった 組織の一員であることを自覚せず、周囲と調和し協力しない 自己の都合で職務遂行を阻害することがあった		
積極性	旺盛な意欲と熱意をもって、率先して職務に取り組んでいない わかっているのに責られるまでやろうとしなかった 責われたこと、与えられたことかやらないという態度だった 職務に必要な知識、技術の習得のため自己啓発に努めている 会議や打ち合わせで自分の意見を言うことは少なく、愚痴が多かった		
職務能力	職務遂行は迅速で、正確であったか 職務、業務担当に相応の専門知識、技術を備えているか 状況を的確に判断し、必要な対応をとれているか 上長に対する報告、相談の必要性、タイミングを適切に判断し実施できているか 効率的な職務遂行や問題解決のため、分析、創意工夫を行っていたか 上長を補佐し状況を的確に伝達する能力はどうか		
モラル評価スコア合計		0	0
評価基準	5 非常に優れている or まったくない	2 やや劣る or よく見受けられた	
	4 優れている or ほとんどない	1 劣る or 多すぎて困った	
	3 普通 or 少し見受けられた		

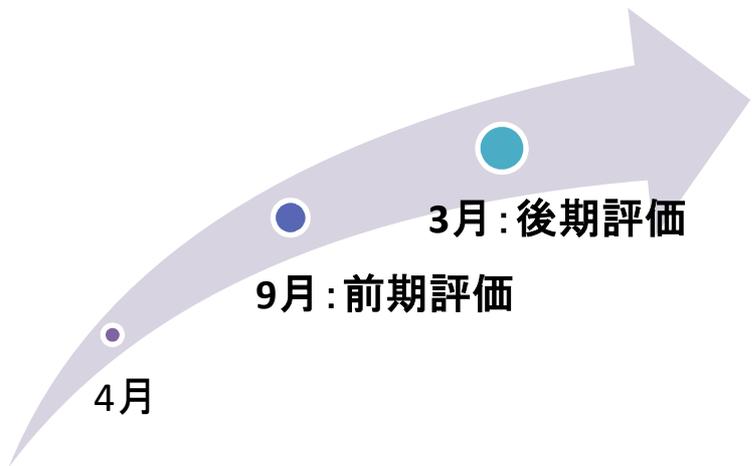
第2版: 令和4年5月11日
長崎大学病院ME機器センター

令和4年度 前期 ME機器センター人事考課表 臨床工学技士

【面接】	実施日: 年 月 日
【被評価者コメント】	
【評価者コメント】	
他者評価	[30点]

第2版: 令和4年5月11日
長崎大学病院ME機器センター

年度内に前期・後期で評価を行う



スタッフが期間中に努力した事のほぼ全てを評価できるよう人事考課を行う。

(3) 自己評価(臨床工学部門 ラダー)



令和6年度 臨床工学部門 業績

【学会発表・全国】

学会名	開催期間	氏名	発表
第34回日本臨床工学会	2024/5/24	笹口 剛志	当施設におけるECMOにおける 教育と評価の現状
第26回日本医療マネジメント学会	2024/5/21	吉富 拓	CEからみたロボット手術 ～多職種の働き方改革のための施策～
第49回日本体外循環技術医学会大会	2024/10/10～ 2024/10/14	野田 政宏	人工心肺中の吸引圧に関する検討
			低体温下人工心肺中のPaCO ₂ 管理について
第30回日本血液透析濾過医学会 学術集会	2024/11/2～ 2024/11/3	山木 洋一	当院における移動用血液透析関連装置の現状と課題
第30回日本臨床補助人工心臓研究会 学術集会	2024/11/14	笹口 剛志	当施設における医療従事者の補助人工心臓教育プログラム の作成
第62回日本人工臓器学会大会	2024/11/14～ 2024/11/16	野田 政宏	当院におけるMECC回路(半閉鎖回路)の活用について ～非開心術時の体外循環としての使用に関する考 察～
カテーテルアブレーション 関連秋季大会2024	2024/10/10～ 2024/10/11	柴田 和也	当院におけるアブレーション業務のタスクシフト・ シェアの取り組み

【学会発表・地方会】

学会名	開催期間	氏名	発表
第3回国立大学病院臨床工学技士協 議会九州ブロック合同研修会	2024/4/19	吉富 拓	長崎大学病院におけるタスクシフトシェアの現状
第7回国立大学附属病院医療安全管 理協議会 九州地区会議	2024/5/28	吉富 拓	生体情報モニタの安全について
第16回長崎県臨床工学会	2024/6/2	笹口 剛志	資産形成 NISA,iDeCoの活用
		石原 康平	副業による資産形成
		池田 翼	S-ICDの不適切作動にてリード調整を経験した一例
		福崎 瑚瑛	初めてのda Vinci業務 ～初回ローテート期間を振り返って～
		高橋 諒充	臨床工学技士として令和6年能登半島地震日本DMAT 活動を経験して
第37回日本心血管インターベンシ ョン治療学会九州・沖縄地方会	2024/8/23～ 2024/8/24	神近 貴弘	虚血が引き起こす不整脈
第7佐賀・長崎 重症心不全・補助 人工心臓懇話会	2024/10/26	笹口 剛志	当施設における医療従事者間の 補助人工心臓教育プ ログラムの作成
第86回九州消化器内視鏡技師学会	2024/11/16	岳下 玄征	未洗浄スコープ報知機能を使用した洗浄消毒履歴管 理
第19回九州・沖縄臨床工学会	2025/1/18～ 2025/1/19	森山 史彬	臨床工学技士が温風式加温装置の管理を始めた事 による効果
第19回九州・沖縄臨床工学会	2025/1/18～ 2025/1/19	林 誠	生成AIを活用したバーコード照合システム開発

令和6年度 臨床工学部門 業績

【講演・研究会等】

学会名	開催期間	氏名	発表
第20回ながさき 不整脈カンファレンス	2024/4/5	石原 康平	SICD植込み後に不適切作動を繰り返しリード調整を 施行した症例のその後—
第21回ながさき 不整脈カンファレンス	2024/6/19	田端 一樹	PEFに対するRFCA治療時に誘発されたMarshall Veinを介したAT回路をマッピングにて 同定できた症例
呼吸療法オンラインコース (急性期ケア専門士)	2024/8/1	石原 康平	①人工呼吸器の基礎
			②人工呼吸器のモードと設定項目
			③人工呼吸器のアラーム対応とNPPVについて
長崎臨床工学技士会 第4回卒後教育セミナー	2024/9/8	下田 峻椰	人工呼吸器の基礎
		笹口 剛志	体外循環の基礎
		田端 一樹	不整脈の基礎
第13回内視鏡検査・周術期管理の 標準化に向けた研究会	2024/11/3	久田 晋也	臨床工学技士の内視鏡業務におけるタスクシフト/ シェアへの取り組み
第27回長崎呼吸セミナー	2024/11/9	下田 峻椰	グラフィック波形から考える人工呼吸器管理と 安全管理
第3回沖縄県臨床工学会	2024/11/24	野田 政宏	ECMOを知ろう
第8回循環器セミナー	2025/1/12	神近 貴弘	PCIの基礎

【資格取得】

認定資格名	氏名	認定機構
消化器内視鏡技師	久田 晋也	日本消化器内視鏡技師会
内視鏡関連専門臨床工学技士	野田 有希	日本臨床工学技士会
消化器内視鏡技師	山木 洋一	日本消化器内視鏡技師会

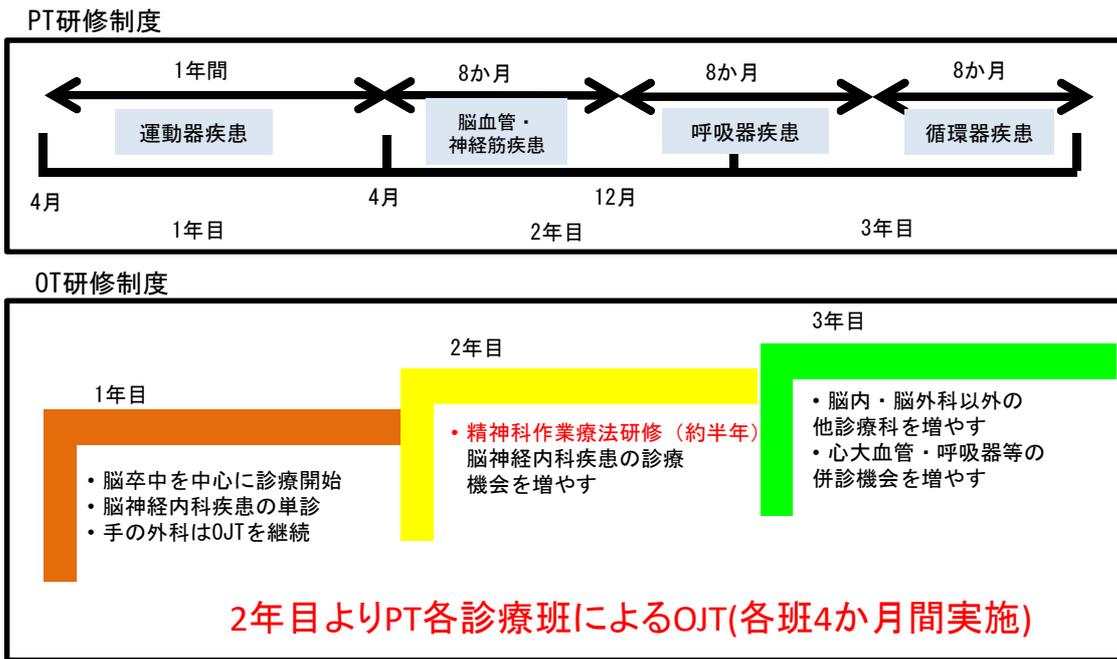
(2) 理学療法士・作業療法士の育成

医師には、研修医制度というものがあり、医師免許を取得したあとは大学病院や一般の研修指定病院で2年間の前期研修を行います。また看護師の場合には新人看護職員の卒後臨床研修が努力義務化され、厚労省から新人看護職員研修ガイドラインに沿って各病院独自の教育プログラムが用意され教育体制が整えられてきています。

しかしPT・OTにはこのような研修制度や確立された卒後研修プログラムはありません。そこで当院では2020年度より臨床実務を通して、高度急性期医療・地域連携に対応した臨床能力を身に付け、チーム医療を実践できる療法士を養成することを目的として『研修生制度』を開始しました。2020年度はPT・OT共に1名ずつ2名の研修生、2022年度はPT・OT共に3名ずつの研修生を受け入れ計6名の研修生を受け入れています。期間は3年間です。

1) プログラムの概要

理学療法士は専門的な班に分かれて診療補助業務を実施しており、各診療班において代表的な症例を経験しながらローテーションを行っています。作業療法士は脳血管疾患・神経筋疾患を中心に経験しながらいろいろな症例を担当していきます。



2) PT・OT・STレジデントのための合同研修会の試み

理学療法・作業療法研修制度の先駆けである広島大学病院、神戸医療センター中央市民病院の協力を得て福島県立会津医療センター、小田原市立病院、長崎大学病院合同のレジデントのため研修会を2021年度より開催しました。

PT・OT・STレジデントのための合同研修プログラム

研修プログラム理念

本研修プログラムは、保健・医療・福祉のニーズの多様化、複雑化に柔軟に対応し、質の高いリハビリテーションを提供できるようPT・OT・STのキャリア開発を支援するとともに地域に貢献できる人材となることを目指す。

研修目的

1. 社会が求める質の高いリハビリテーションが提供できる人材の育成
2. 自ら学び成長できる人材の育成
3. 社会人、医療人としてふさわしい豊かな人間性を育む

研修プログラム到達目標

- 多種多様な疾患・重症障害を理解し、対応できる
- PT・OT・ST実施に必要なケア管理ができる
- 多職種連携を基礎とした退院支援を行うことができる
- 医療人としての自覚と責任のある行動がとれる
- 患者を理解し、良好な人間関係が構築できる
- 組織における役割・心構えを理解し、適切な行動がとれる

連携施設

鳥根大学医学部付属病院
広島大学病院
長崎大学病院
福島県立医科大学 会津医療センター

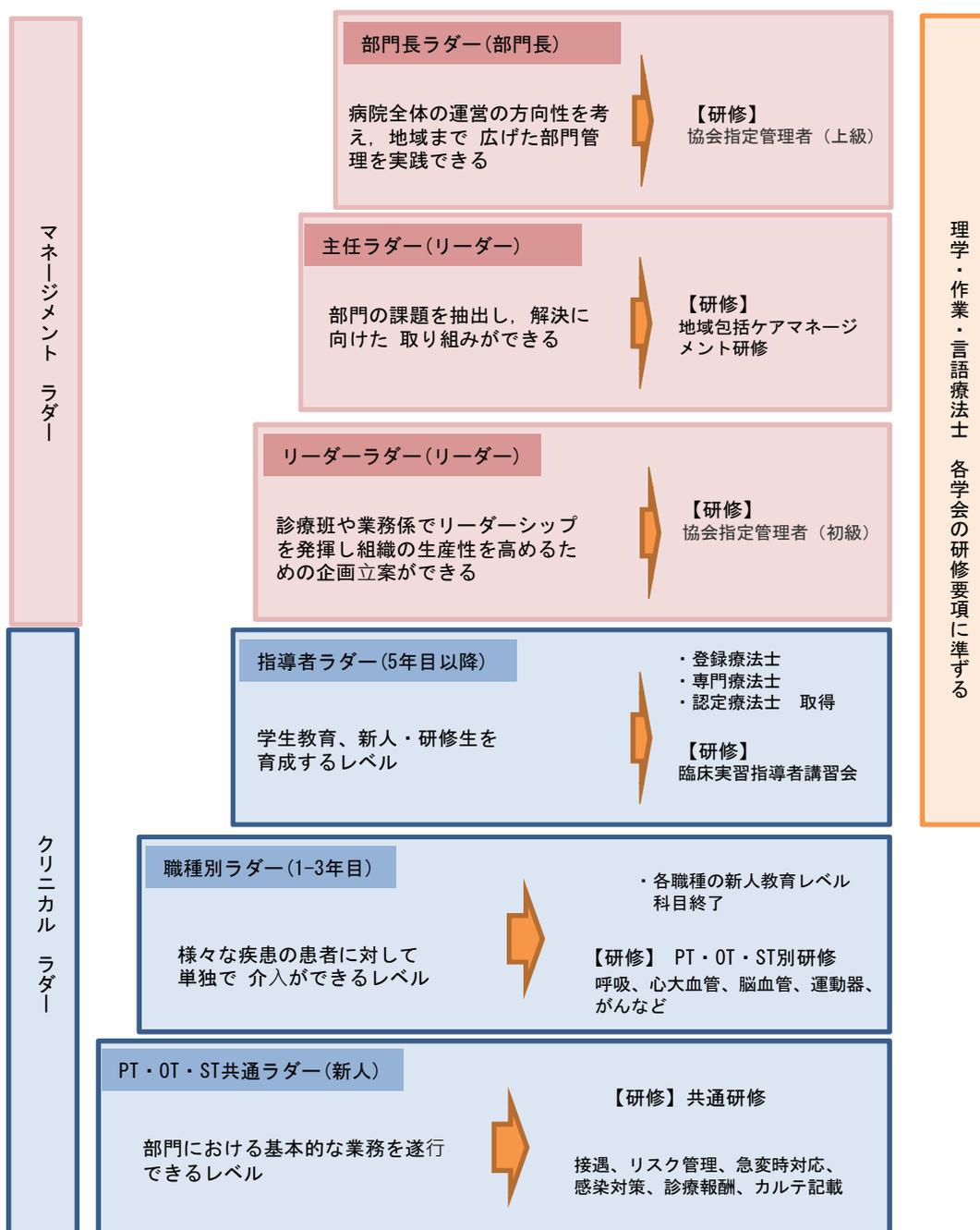
研修プログラム

日程	研修内容	講師
10月	リハビリテーションと臨床実務 病院現場の現状に対応した療法士になるために	高橋啓世 先生
11月	理学療法士・作業療法士として成長を続けるための研修の考え方	江原政典 先生
11月	レジデントのキャリアデザイン	レジデント・フォロー員 先生
12月	レジデントのためのオンライン研修実施	長尾大志 先生
12月	実際に学ぶPT・OT・STに必要なフィジカルアセスメント	西原浩貴 先生
1月	患者と関係するリハビリテーションをするには	劉東俊介 先生
1月	臨床現場でできる？リハビリ	西村芳弘 先生
2月	多職種連携の重要性を学ぶためのリハビリテーションセミナー	川原啓弘 先生
2月	結果的リハビリテーションの重要性	高橋龍太郎 先生
3月	レジデントフォーラム 合同研修会総括	

PT・OTレジデントのための合同研修プログラム事務局

・ [www.website.com]
・ [E-mail@email.com]

(3) 自己評価(リハビリテーション部門 ラダー)



(3) 細胞検査士の育成の試み(病理部門)

細胞検査士は、日本臨床細胞学会認定の免許で日本には約6000人が免許を取得し、多くの方が国際免許も取得しています。顕微鏡下でがん細胞を探し出し、細胞診専門医に報告・診断し臨床へ報告書を返す業務を行います。

受験資格として臨床検査技師または衛生検査技師の資格取得後、細胞診検査業務に1年以上従事したもの。日本臨床細胞学会認定の細胞診技術者養成機関卒業見込み者又は卒業者。4年制大学で日本臨床細胞学会認定の細胞検査士養成課程修了者で大学卒業見込みの者又は、卒業者、及び該当課程修了者で臨床検査技師または衛生検査技師の資格取得した者。

一次試験合格率50%前後、二次試験合格率50%前後と難易度は厳しい。



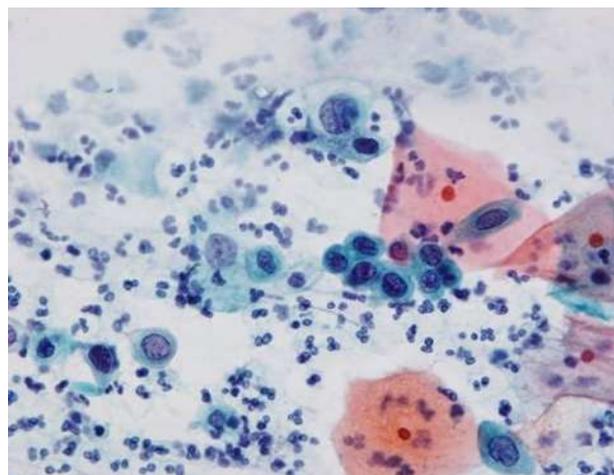
当科入職し、1年間細胞診検査業務を行う臨床検査技師を対象に、業務を行いながら、日々各種検体ごとに当科所有の細胞診標本を鏡検し、ベテラン細胞検査士・細胞診専門医より解説・回答を行い、診断判定技術を習得するプログラムを実施している。



また、長崎県臨床検査技師会主催のweb勉強会も毎月1回行われ、地域のベテラン細胞検査士より講義を受け、診断判定技術を習得している。



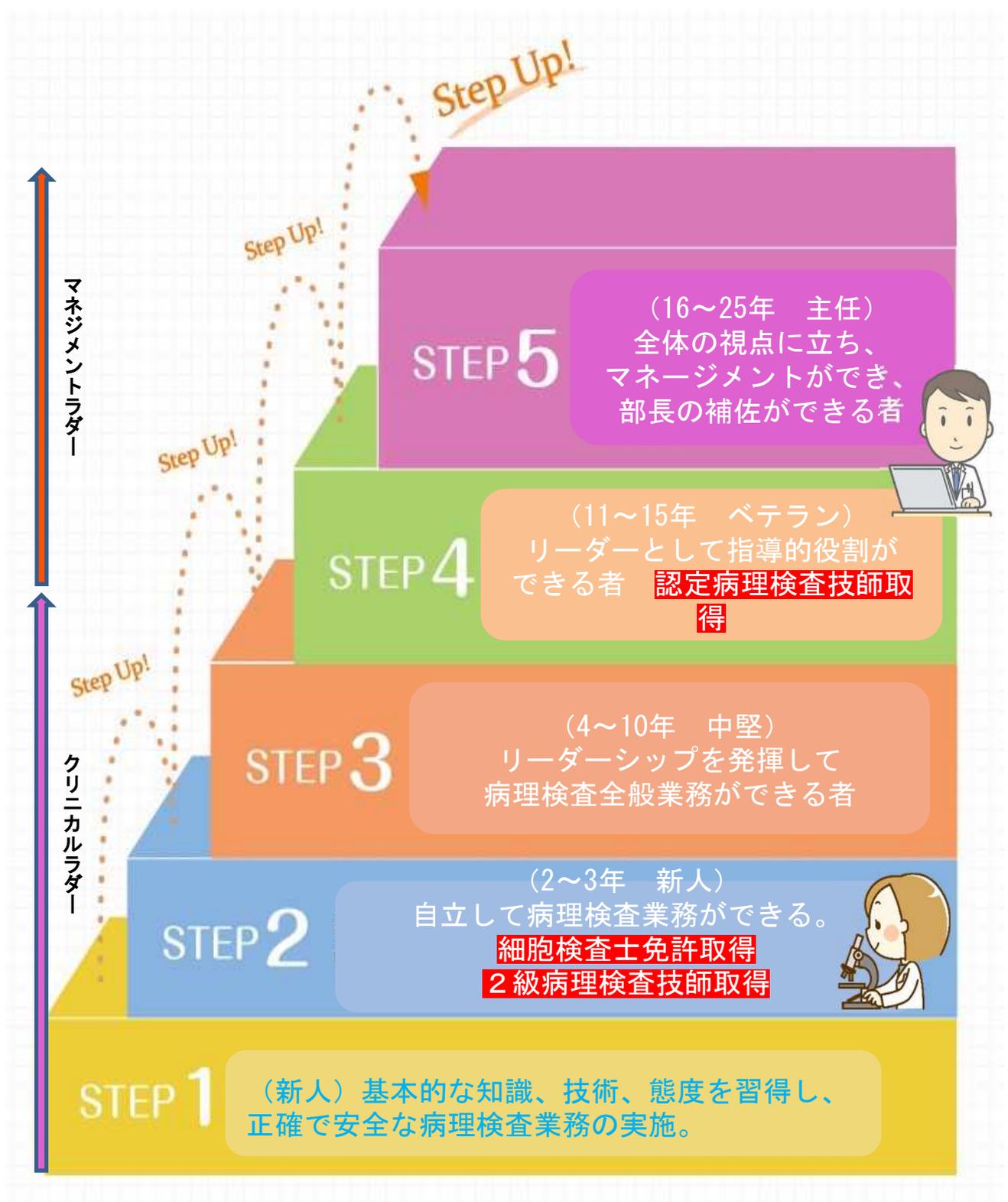
細胞診勉強会風景



子宮頸部擦過 HSIL

細胞検査士資格認定試験	開催年度	合格者
第55回	2022年度	中村 仁美
細胞検査士資格認定試験	開催年度	合格者
第56回	2023年度	増野 幹大
第56回	2023年度	大田 弘美
細胞検査士資格認定試験	開催年度	合格者
第57回	2024年度	宮崎 優美
第57回	2024年度	中島 志穂

(3) 自己評価3(病理部門 ラダー)



令和6年度 病理部門 業績

全国学会

学会名	開催期間	氏名	発表	論文
第113回日本病理学会総会 愛知県	2024/3/28 ～ 2024/3/30	田中 圭	正解データを用いたZ-stackスキャンとガラススライドにおける 細胞診スクリーニングの比較検証研究	
第113回日本病理学会総会 愛知県	2024/3/28 ～ 2024/3/30	大館 拓真	Reconstruction of faded specimens by Generative Adversarial Network (GAN)	
第22回デジタルパソロジー・ AI研究会 沖縄県	2024/08/29 ～ 2024/08/31	田中 圭	・ベンダーワークショップ発表「Evaluation of Diagnostic Accuracy in Cervical Cytology Screening Assisted by AI」 ・一般口演発表「Z軸を網羅したデジタルスライ ドにおける細胞診スクリーニングの検証研究」	
第22回デジタルパソロジー・ AI研究会 沖縄県	2024/08/29 ～ 2024/08/31	大館 拓真	Generative Adversarial Network (GAN) に よる退色標本の復元	
第63回日本臨床細胞学会 (秋期大会) 東京都	2024/11/16 ～ 2024/11/17	井上 卓巳	P-2-25 頸部軟部組織に発生した毛母腫 (Pilomatricoma)の1例	
第63回日本臨床細胞学会 (秋期大会) 東京都	2024/11/16 ～ 2024/11/17	増野 幹大	P-2-12 子宮体部小細胞神経内分泌癌 の一例	
第63回日本臨床細胞学会 (秋期大会) 東京都	2024/11/16 ～ 2024/11/17	田中 圭	・シンポジウム発表「若手細胞検査士が診断に 難渋した乳腺細胞診～どの所見をどのように考 えるか?～ 症例4」	

地方学会

学会名	開催期間	氏名	発表	論文
第38回長崎県臨床細胞学会 総会および学術集会・がん検 診従事者指導講習会	2024/06/29 ～ 2024/06/29	大田 弘美	胸水にみられた慢性骨髄探求性白 血病の急性転化した一例	
第38回長崎県臨床細胞学会 総会および学術集会・がん検 診従事者指導講習会	2024/06/29 ～ 2024/06/29	迫頭 直子	胸水セルブロックが診断に有用で あった心臓血管肉腫の一例 【学術奨励賞受賞講演】	日本臨床細胞学会雑誌 Vol.62No.5 Sept.2023

地域事業

長崎県臨床検査技師会	測定期間	担当	内容	備考
長崎県花粉情報提供 (長崎市担当)	2024/02/01 ～ 2024/04/30	技師全員	長崎市のスギ花粉、ヒノキ科花 粉の測定データを月曜～金曜 日、長崎県医師会へ毎朝報告 を行う。	長崎県医師会より県内8 か所の測定データを各報 道機関へ情報提供して 頂く。

二級臨床検査技師士試験合格

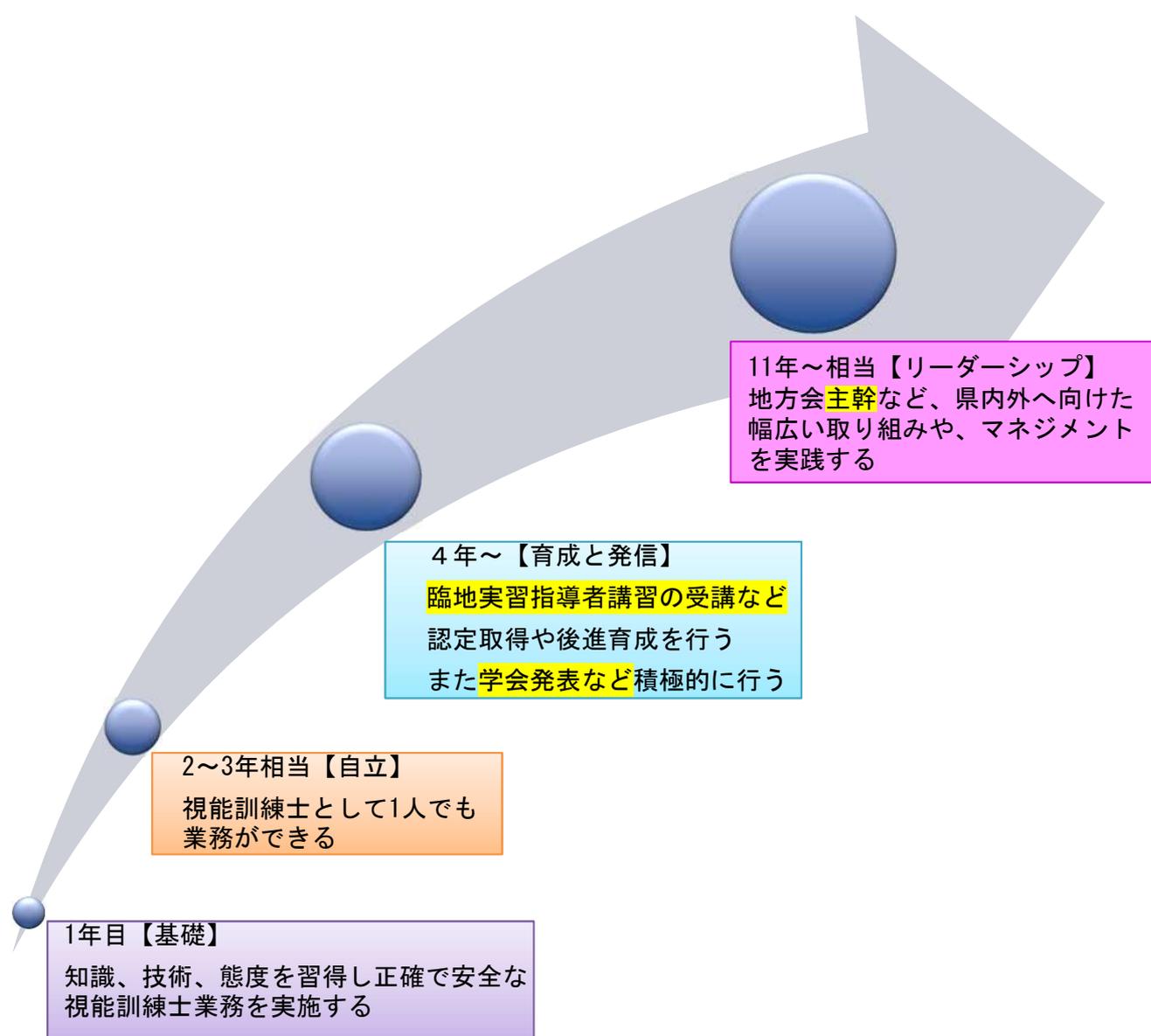
日本臨床検査同学院	開催期間	合格者	備考
2024年 二級臨床検査士資格認定試験	2024/7/27 ～ 2024/7/27	山田 明希	

(3) 自己評価 (視能訓練部門)

視能訓練部門		自己評価	他者評価
モラル評価			
規律性	ユニフォームなど適切で良識のある身だしなみ		
	他者（同僚・スタッフ・患者・学生など）の自尊心を傷つける態度・言動をしていない		
	上長・医師の指示に対して適切な態度・対応であったか		
	職場の規律（私語など）目立っていないか		
	始業前の準備・朝礼への参加ができていないか		
責任性	業務遂行責任を最後まで果たせたか		
	科・部門での決定事項を守れたか		
	同僚に対して適切なアドバイスや指導・情報伝達を行えているか		
協調性	時間、期日を守れたか		
	他者への協力・援助ができていないか		
	自己の業務に固執して他者へ迷惑を及ぼすことがない		
	特定の人にだけ協力・援助することはなかったか		
	組織の一員であることを自覚し、周囲と調和し協力したか		
積極性	自己都合で勤務遂行を阻害する行動はなかったか		
	旺盛な意欲と熱意をもって、率先して勤務に取り組んでいる		
	言われる前に行動できたか		
	言われたこと、与えられたことしかやらない態度ではなかったか		
	勤務に必要な知識、技術の習得のため自己研鑽に努めている		
能力	カンファレンス・ミーティング等で積極的に発言できたか		
	特別な職務を任せられたか		
	職務遂行は迅速で正確であったか		
	職歴（在籍歴）相応の専門知識、技術を備えているか		
	状況を的確に判断し、必要な対応をとれているか		
能力	上長に対する報告・相談の必要性、タイミングを適切に判断し実践できているか		
	効率的な職務遂行や問題解決のため、分析・創意工夫を行っていたか		
	上長を補佐し状況を的確に伝達する能力はどうか		
評価スコア合計		0	
5 : 非常に優れている		2 : やや劣る	
4 : 優れている		1 : 劣る	
3 : 普通			
個別研鑽評価 (学会参加, 発表, 購入図書 等 アピール)			
(例) 懇親会企画した。 第〇回 日本視能矯正学会 オンデマンド参加			

研鑽	学会、研究会への参加	学会: 2 研究会: 1 現地参加はそれに加点1 上限10
努力目標	インシデントレポート閲覧20回以上、 感染・安全eラーニング	10
抄読・報告会	抄読、報告会で発表	10
モラル評価	モラル評価実施	①:2 ②:1
資格等	認定視能訓練士	取得時: 5 更新時: 2
	視能訓練士養成施設実習指導者等 養成講習会（～2023） 臨地実習指導者講習会（2023～）	取得時: 5 更新時: 2
	ロービジョンケア研修会	取得時: 5
	その他業務に関わるの研修や認定の 取得	取得時: 2
学会	学会講演	6
	学会シンポジスト	5
	学会発表	4 (2nd: 1)
研究会 勉強会 セミナー	特別・教育講演	5
	シンポジスト	4
	発表	3
ボランティア (眼科医会、アイバンク、 長崎県CO会等)	無償	3
	有償	1
業務	業務指示による役割・係	各1
	インシデントレポート優良レポート選出	3
	業務効率化	3
	経費削減、増収化	3
	特に優良(1名)	3
抄読・報告会	優良(1名)	2
	手術室CO業務	2
	ERG・Veris	2
スキル獲得	RetCam	2
	斜視・弱視訓練の説明や実施	2
	おおよその一般検査業務(単独外勤 可能レベル)	3
論文 (学会誌)	その他	2
	査読付原著論文	30 (2nd: 5, 3nd: 3)
	査読付他論文	20 (2nd: 5, 3nd: 3)
	査読無論文(総説等)	10(筆頭者のみ)
論文 (学会誌以 外)	投稿時に×0.2 掲載時に ×0.8	
	商用誌	5
表彰	その他	20 (2nd: 5, 3nd: 3)
	論文賞等著名な賞	30
	ほか優秀賞	20
著書	学会発表賞	20
	単著	20
	共著	10

(3) 自己評価（視能訓練部門 成長のイメージ）



令和6年度 視能訓練部門 業績

《講演・地方会等》

講演・地方会	開催期間	氏名	発表
長崎県立盲学校外部専門家活用事業	2024/7/31	高橋 美和	視力値に応じた視覚補助具の選び方
長崎県立盲学校外部専門家活用事業	2025/1/29	森田 美咲	外部専門家活用認定事業～視能訓練士の立場から～

《地域事業》

視能訓練士協会	開催期間	氏名	内容
新人教育プログラム 技術日程 視野検査	2024/9/16	高橋 美和	生涯教育精度の一環として、九州ブロックの新人視能訓練士(希望者)を対象に視野検査の講義と実技指導

《書籍》

	巻・章	氏名	タイトル
眼科ケア	27巻 6章	高橋 美和	眼底写真撮影検査

大学病院に勤務する歯科衛生士の理念・基本方針

理念

歯学研究・教育を通じ地域社会に貢献するという医育研究機関である大学病院に勤務する歯科衛生士は、社会の変動・医療の進歩に伴いその要請に応じた歯科医療をサポートし、適切な歯科予防・歯科保健を担当する

基本方針

1. 口腔疾患の予防の促進・改善・普及の専門職として、受診者それぞれの健康レベルに合わせた、より快適なライフスタイルを支援するために以下のことを行う
 - (1) 必要に応じた口腔ケア
 - (2) 健康増進・疾病予防のための適切な情報の提供
 - (3) 円滑で適切な診療の補助
2. 常に受診者の立場に立ち、その基本的な人権を尊重する
3. 歯科医師、他職種及び受診者と信頼関係を持って協働し、科学的根拠に基づいたチーム医療を推進する
4. 臨床の場は常に学びと教育の場であることを意識し、研鑽を積む
5. 歯科衛生士としての誇りを持ち、自身の健康管理に努める

大学病院に勤務する歯科衛生士の臨床実践能力の行動目標

(1) 歯科衛生士業務の実践能力

患者の状態に応じた適切な歯科衛生士業務を提供するために、豊富な知識と正確な技術を統合し、実践する能力

- ① 理論に裏打ちされた確実な知識・技術を統合して、患者の状況に応じた適切な歯科衛生士業務が推進できる
- ② 患者や家族・周囲が安全・安心な診療環境を提供できる
- ③ 緊急時における、迅速かつ的確な対応ができる

(2) マネージメント能力

適切な歯科衛生士業務を提供するために、歯科衛生士に求められている役割や責任を果たす能力

- ① チーム医療の中で歯科衛生士の求められている能力を発揮するために、時に応じて、リーダーシップを取り、他職種、他部門と柔軟に連携し、調整を図ることができる
- ② 的確な状況判断を行い、計画的に冷静に行動を起こすことができる
- ③ 目標を達成するため組織化を行い、実践したことに対し評価し、業務改善に関わる
- ④ 業務の優先順位を設定し、効率よく作業を行い最良の歯科衛生士業務を提供できる

(3) 人間関係構築能力

患者との信頼関係を確立するために、コミュニケーション技術を高め、能力育成を図り、人間関係を築き上げる能力
又、医療チームと協調しながら連携を図るための能力

- ① 相手を尊重して自分の意見を述べることができ、相互理解を深めることができる
- ② 感情コントロールができ職業人として安定している
- ③ 社会人としての常識を持ち、適切な接遇ができる

(4) 教育・研究能力

歯科衛生士業務の質を確保するために実践能力のある歯科衛生士や歯科衛生士学生を育成する能力
及び、患者のニーズや医療の進歩に対応していくために研究に取り組む能力
社会的ニーズ(教育・診療・地域連携)に対応できる歯科衛生士育成の能力

- ① 業務の質を向上させるために、臨床に根ざした研究テーマを持って意欲的に業務改善に取り組むことができる
- ② 現任教育や学生教育に関わり研修の企画や運営内容の評価を行うことができる
- ③ 日頃の実績を集約し、発表や論文の作成をすることができる

長崎大学病院 歯科衛生室クリニカルラダー

新人教育 1ヶ月目 評価表

氏名 ()

職務	1ヶ月目到達目標	1ヶ月到達項目	自己評価	他者評価	総合評価
病院診療システム	職員としての自覚を持ち、外来業務を把握している	大学病院の目的を理解し、職員としての自覚を持っている			
		所属診療室の診療システムを理解し、患者に説明ができる			
		各科関連部署などの受付時間や依頼の仕方を把握している			
患者理解と対応	患者について理解し対応することができる	患者の来院目的を把握できる			
		診療中の患者へ声かけができる			
		医療におけるインフォームドコンセントについて理解できている			
診療室の管理	診療室の管理について理解できている	①診療室の始業点検・準備・清掃について			
		診療室の業務手順に沿って、上司の指示で始業点検・準備・清掃が理解できている			
		②薬剤・歯科材料・衛生材料について			
		使用している薬剤について基本的知識を持っている			
		使用している歯科材料について基本的知識を持っている			
		使用している衛生材料について基本的知識を持っている			
		③器具の滅菌・消毒について			
		使用器具・器材の消毒、滅菌方法のシステムについておおまかに理解できている			
		④器具・材料の取り扱いについて			
		使用する器具の取り扱い（準備・操作・後片付け等）について基本的知識を持っている			
		使用する材料について基本的知識を持っている			
		⑤ユニットの取り扱いについて			
		使用ユニットの基本的知識を持っている			
		ユニットの基本的操作ができる			
		歯科健康支援業務	患者に口腔内について説明ができている	①口腔内組織について	
それぞれの名称と役割について理解できている					
②う蝕について					
う蝕発生のメカニズムについて理解できている					
		③歯周病について			
		歯周組織と歯周病菌との関連を理解できている			



長崎大学病院 歯科衛生室クリニカルラダー

新人教育 3ヶ月目 評価表

職務	3ヶ月目到達目標	3ヶ月到達項目	自己評価	他者評価	総合評価
診療の補助	基本的技術をもっている	①患者誘導について			
		電子カルテで患者を呼び込み、ユニットへ誘導できる			
		②セメント類（充填・仮着・合着等）の取り扱いについて			
		使用するセメント類の基本的知識に基づき練和することができる			
		③レジンの取り扱いについて			
		使用するレジン類の基本的知識に基づき取り扱うことができる			
歯科健康支援業務	正しく理解し、説明することができる	④印象材の取り扱いについて			
		使用する印象材の基本的知識に基づき練和することができる			
		⑤バキューム操作について			
		基本的な操作ができる			
		⑥歯式・歯周検査等各種診査の記録について			
		歯科医師または上級歯科衛生士の指示に従い、正確に記入・入力ができる			
予防処置	基本的知識を持ち、説明することができる	①歯垢染色について			
		染色の目的を理解し患者に説明ができる			
		②ブラッシング法について			
		ブラッシングの目的を正しく理解できている			
病院診療システム	理解及び他部門との連携ができる	ブラッシング技術を理解し、伝達ができる			
		③歯口清掃器具について			
		器具・商品に対する知識を持って説明ができる			
		④う蝕予防について			
感染対策	正しく理解し感染対策マニュアルに基づき行動できる	フッ化物について基本的知識に基づき、使用することができる			
		②予防填塞について			
		シーラントの目的を理解し説明ができる			
		③スクーリングについて			
医療安全	正しく理解し医療事故防止のために実行できる	指導を受けながら安全にスクーリングができる			
		④歯口清掃について			
		目的を患者に説明し、安全にPTC・PMTGができる			
		①スクーリングについて			
医療機器安全管理	正しく理解しマニュアルに従い管理ができる	大学病院の目的を理解し、職員としての自覚を持つ			
		病院内での規則や取り決めに理解し、他科・他部門を連携できる			
		来院から診療終了、会計までの流れを把握している			
		所属診療室の診療システムを患者に説明できる			
医療機器安全管理	正しく理解しマニュアルに従い管理ができる	個人情報保護法を理解し、病院の情報セキュリティポリシーを理解している			
		②スクーリングについて			
		歯科医療における感染対策を理解している			
		病院の感染対策マニュアルの存在と内容について把握している			
医療機器安全管理	正しく理解しマニュアルに従い管理ができる	マニュアルに基づいた行動をとらなくてはならないことを理解している			
		感染対策マニュアルに沿って対応、実践できる			
		③スクーリングについて			
		病院の医療事故防止のための安全管理マニュアルの存在と内容について把握している			
医療機器安全管理	正しく理解しマニュアルに従い管理ができる	患者急変時のマニュアルを理解し、人を集めることができる			
		基本的な救急蘇生の手順が理解できる			
		④歯口清掃について			
		インシデントに気づき報告ができる			
医療機器安全管理	正しく理解しマニュアルに従い管理ができる	医療機器安全管理の法的な位置づけを知っている			
		院内の医療機器安全管理体制について理解している			
		マニュアルに従って医療機器の安全管理チェックが実践できる			

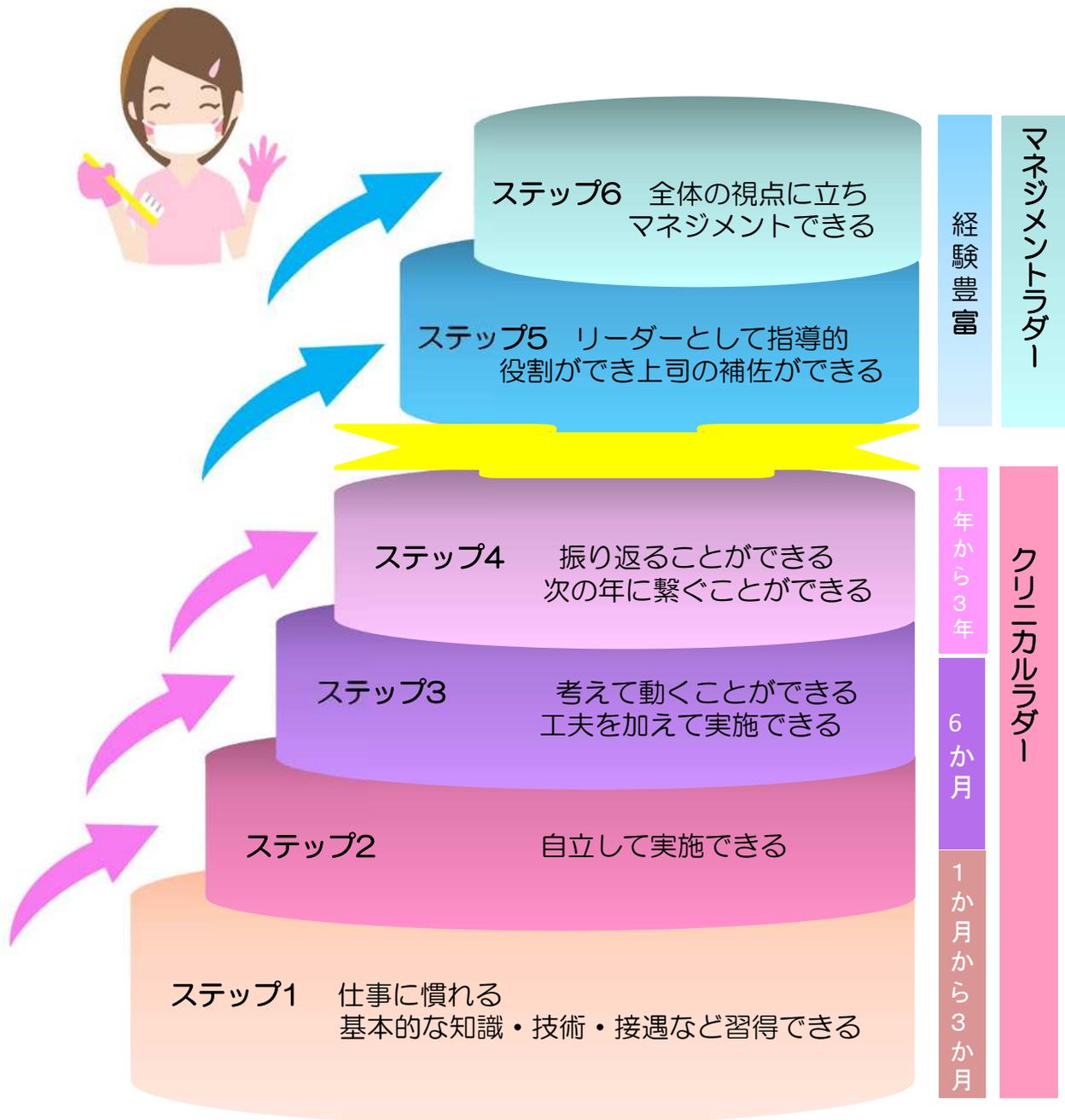
長崎大学病院 歯科衛生室クリニカルラダー

新人教育 6ヶ月目 評価表

氏名 ()

職務	6ヶ月目到達目標	6ヶ月到達項目	自己評価	他者評価	総合評価
患者理解と対応	患者について理解でき、対応することができる	医療におけるインフォームドコンセントについて理解ができ、ある程度対応できる 対象（高齢者・成人・小児・有病者・障害者等）に応じた患者対応ができる			
診療室の管理	診療室の管理ができています	①診療室の始業点検・準備・清掃について 診療室の業務手順に沿って、始業点検・準備・清掃ができる			
	基本的な知識を持ち、取り扱いができています	②薬剤・歯科材料・衛生材料について 使用している薬剤について基本的知識を持ち、取り扱いができる 使用している歯科材料について基本的知識を持ち、取り扱いができる 使用している衛生材料について基本的知識を持ち、取り扱いができる			
		③器具の滅菌・消毒について 使用器具・器材の消毒・滅菌方法のシステムについてほぼ理解でき操作できる			
		④器具・材料の取り扱いについて 使用する器具の取り扱い（準備・操作・後片付け等）について 基本的知識を持ち、取り扱いができる			
		使用する材料について基本的知識を持ち、取り扱いができる			
診療の補助	基本的な技術を持つことができます	①患者の声かけについて 患者の状況を把握し、治療の流れに合わせた声かけができるよう努力することができる			
		②セメント類（充填・仮着・合着等）の取り扱いについて 歯科医師の指示に従い、治療の流れに合わせて、使用セメント類の準備や操作ができる			
		③レジンの取り扱いについて 歯科医師の指示に従い、治療の流れに合わせて、使用レジン類の準備や操作ができる			
		④印象材の取り扱い 歯科医師の指示に従い、治療の流れに合わせて、使用印象材類の準備や操作ができる			
		⑤バキューム操作について 基本的かつ患者の口腔内状況に応じた操作ができる			
		⑥歯式・歯周検査等各種検査の記録について 状況に応じて歯科医師と連携をとりながら、正確に記入・入力ができる			
歯科健康支援業務	正しく説明をすることができます	①口腔内組織について 口腔内組織のそれぞれの役割と全体的な働きを説明できる 現在の口腔内の状態を説明できる			
		②う蝕について う蝕発生のメカニズムを説明できる			
		③歯周病について 歯周組織と歯周病菌との連携を説明できる			
予防処置	安全に予防処置ができています	①スケーリングについて 患者の口腔内状況に合わせ、状況を判断し、安全にスケーリングができる			
		②歯口清掃について 患者の口腔内状況に合わせ、状況を判断し、適切な器具・器材を選択し安全に歯口清掃ができる			
		③PTC・PMTICについて 患者の口腔内状況に合わせ、状況を判断し、安全にPTC・PMTICができる			
歯科衛生士学生指導	目的を理解し、指導を受けながら担当することができます	学生実習の目的を理解している 歯科医師または上級歯科衛生士の指導を受けながら必要時、学生指導を担当できる			

歯科衛生士成長過程のイメージ



2024. 歯科衛生士研修会年間スケジュール

月/日	時間	場所	研修内容	講師
4/16	17:45~18:45	6C資料保管庫	学会予演会	貫間 知美
5/28	17:45~18:45	6C資料保管庫	グループワーク (口腔機能、歯科栄養学、 全身疾患)	鶴飼 孝
6月	予定なし			
7/30	17:45~18:10	6C資料保管庫	グループワーク (口腔機能、歯科栄養学、 全身疾患)	鶴飼 孝
8/20	17:45~18:20	6C資料保管庫	ウェルテック商品紹介	ウェルテック吉川
9/4	17:45~18:15	6C資料保管庫	学会予演会	恒任 日奈子
10/23	17:45~18:55	6C資料保管庫	学会予演会	里 美香
11月	予定なし			
12/11	17:45~19:00	6C資料保管庫	口腔内写真撮影相互実習	鶴飼 孝
1/14	17:45~19:00	6C資料保管庫	業務記録記載について	里 美香
2月	予定なし			
3月	予定なし			



予演会



相互実習

令和6年度 歯科衛生部門 業績

全国学会

学会名	開催期間	氏名	発表
第21回日本口腔ケア学会 総会・学術大会	2024/4/27～28	貫間知美	歯科治療に強い不安を持った患者の化学療法中の口腔管理を良好に行うことができた1例
日本歯科衛生学会 第19回学術大会	2024/9/17～23	恒任日奈子	各種超音波スケーラーとそのチップの比較
第54回公益社団法人 日本口腔インプラント学会 学術大会	2024/11/1～3	里 美香	当院口腔管理センターにて周術期管理を行った患者の口腔インプラント治療の現状調査

学会名	開催期間	氏名	シンポジウム
第17回日本総合歯科学会総 会・学術大会	2024/11/2～3	平尾 直美	「歯科医療従事者連携による総合 歯科教育の実践に向けて」～歯科 衛生士の立場から～

資格取得

認定資格名	氏名	氏名	氏名	認定機構
社団法人日本歯科衛生学会生活習慣病予防（特定保健指導）認定	和田典子			日本歯科衛生学会
インプラント専門歯科衛生士認定	平尾直美	里 美香		日本口腔インプラント学会
日本口腔ケア学会認定資格試験3級取得	西山由美			一般社団法人日本口腔ケア学会
日本口腔ケア学会認定資格試験4級取得	牧野亜紀子 大森 彩 寺井詩織	貫間知美 恒任日奈子	末永しずえ 大瀬良いずみ	一般社団法人日本口腔ケア学会
第2種滅菌技士認定	里 美香	牧野亜紀子		一般社団法人日本医療機器学会
日本口腔ケア学会認定アンバサダー	平尾直美	貫間知美	末永しずえ	一般社団法人日本口腔ケア学会
歯科感染管理士	山下桃花			一般社団法人日本感染管理検定協会

(3) 自己評価(歯科技工部門)

階級	臨床	教育	研究	運営	到達期間の目安
役職者	レベル4に到達する	学会および職能団体の講師を担当する かつ学内での講師を担当する	5年間に2回以上 学会での研究発表 または論文投稿する かつ専門歯科技工士を取得する	運営を統括し、マネジメントできる	採用20年程度
一般	レベル3に到達する	学内の学生または他職種に対して講師を担当する	5年間に2回以上 学会での研究発表 または論文投稿する	運営委員会リーダーとして運営に参加し、問題を提起できる	採用10年以内
初心者	レベル2に到達する	症例検討会の講師を担当する	5年間に1回以上 学会での研究発表 または論文投稿する	運営委員として運営に参加できる	採用5年以内
新人	レベル1に到達する	症例検討会、カンファランスに参加する。ー	研究テーマを検討する	運営の仕組みを理解している	採用1年以内

臨床歯科技工(補綴装置の製作等)における評価基準

- レベル1
歯冠修復, 有床義歯, 口腔内装置, 中間製作物のうち初歩的な補綴装置を作成できる技術を有すること
- レベル2
歯冠修復, 有床義歯, 口腔内装置, 中間製作物のうち主となる20品目の補綴装置を作成できる技術を有すること
- レベル3
歯冠修復, 有床義歯, 口腔内装置, 中間製作物の全ての補綴装置を作成できる技術を有すること
- レベル4
以前に経験したことのない補綴装置等の設計を立案し, 補綴装置として実現できる技術を有すること

- 評価は十分満たしているから全く満たしていないまでの五段階評価とする
- 各階級において, 全ての項目で十分に満たしている評価であること
- また1つ以上の項目で満たしていない評価となった場合は, 階級を1段階下げる

令和6年度 歯科技工部門 業績

全国学会

学会名	開催期間	氏名	演題名
第133回日本歯科補綴学会 総会 (神奈川県)	2024/7/5 ~ 2024/7/7	竹中 広登	大臼歯用CAD/CAMブロックと接着したレジンセメントの摩耗特性
Prosthetic Meeting for Next Generation 2025 (滋賀県)	2025/3/28 ~ 2025/3/29	竹中 広登	すれ違い様の高度顎堤吸収患者に対して全部床義歯を製作し咀嚼・審美障害を改善した症例

論文

雑誌名	氏名	論文名	雑誌情報
Dental Materials Journal	竹中 広登	Wear characteristics of resin-based luting agents used in the bonded CAD-CAM resin blocks	43(6).772-77.2024
日本歯技	上田 麗	2種類のスキャナーを用いて計測した歯列に重ね合わせた支台歯の再現性	第664号, p25-30, 2024

地域事業

事業名	期間	担当	内容
災害対策検討会/長崎県歯科医師会 (長崎県歯科医師会館)	2024/10/22 2025/02/15	福井 淳一 松田 安弘	災害時の歯科医療支援と協力体制の確認等
歯っぴいスマイルフェスティバル (ベルナード観光通り)	2024/6/9	松田 安弘 竹中 広登 上田 麗	長崎市歯科医師会と共同開催の市民向けにお口の健康を啓蒙するイベント

教育

講義名	対象	期間	担当	内容
早期体験実習講義	歯学科 1年次生	2025/1/7 (1h×1回)	福井 淳一	歯科審美に対する心理学的アプローチ
臨床セミナー	研修医	2024/7/30 (1h×1回)	福井 淳一	歯科技工のエラーについて分析する
長崎歯科衛生士専門学校 臨床実習	専門学校 2年次生	2024/5/13 ~ 2024/10/23 (2h×21回)	中央技工室	長崎歯科衛生士専門学校2年生に対して、歯科技工士の体験実習を行う。

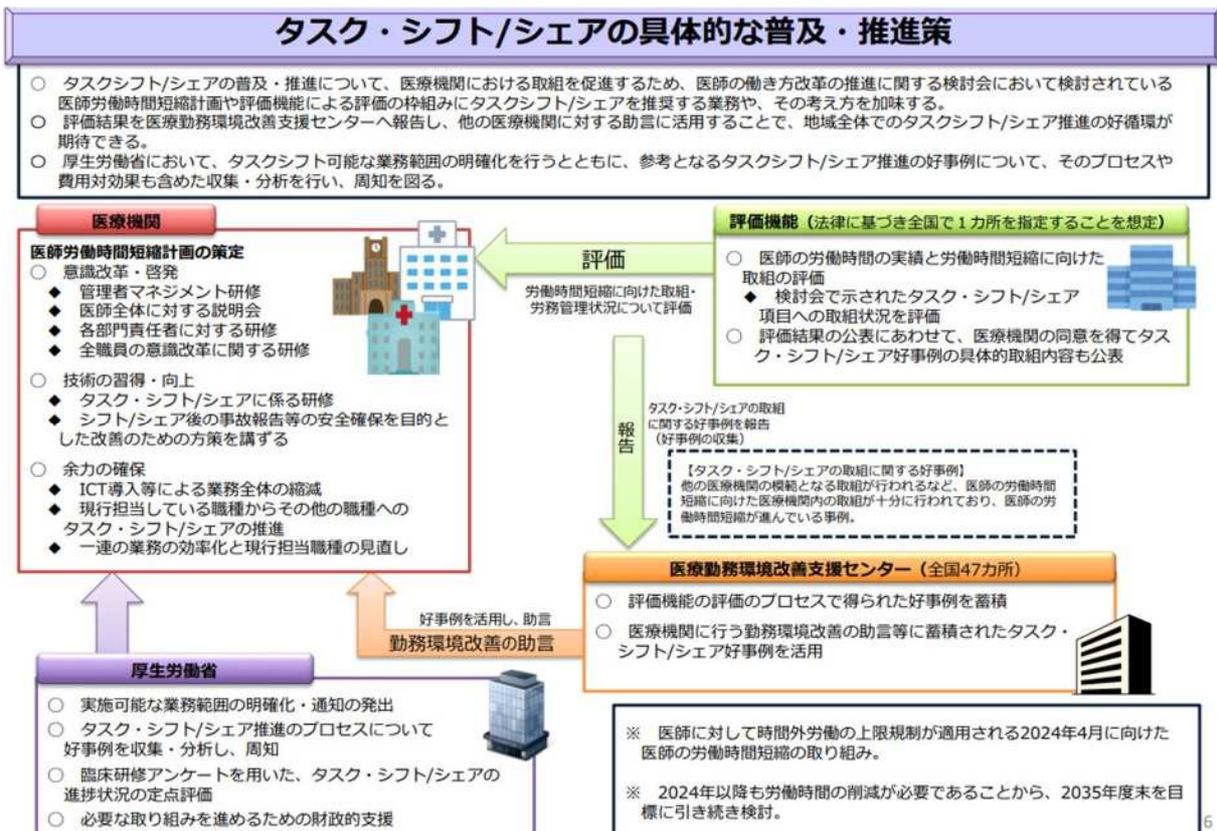
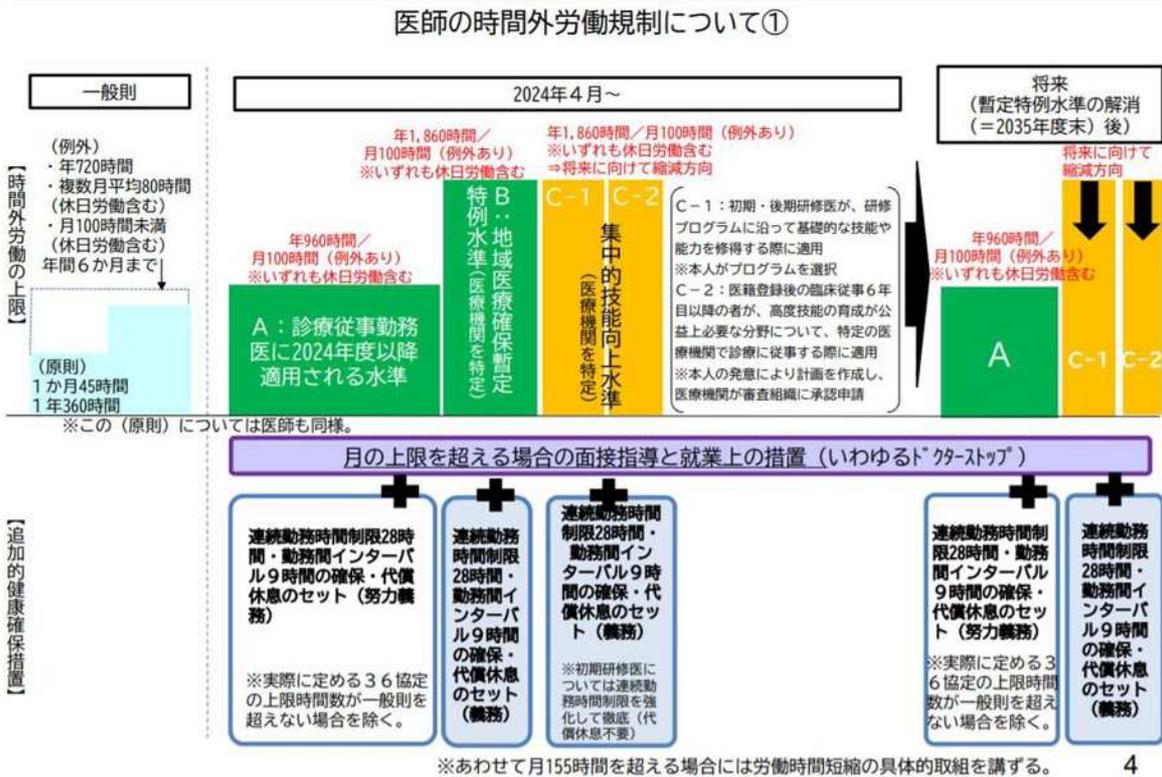
令和6年度 医療技術部 実習生受入

臨床実習生受入（学外）

養成校名	実習期間	実習部門	受入人数	延総日数
福岡国際医療福祉大学①	2024/5/7～ 2024/6/20	視能訓練士	2	33
長崎歯科衛生士専門学校①	2024/05/13～ 2024/08/02	歯科衛生士	54	376
鈴鹿医療科学大学	2024/5/13～ 2024/7/12	診療放射線技師	1	40
帝京大学	2025/06/03～ 2025/06/21	臨床工学技士	1	15
広島国際大学	2024/6/17～ 2024/7/12	診療放射線技師	2	40
福岡国際医療福祉大学②	2024/7/1～ 2024/8/9	視能訓練士	2	29
長崎歯科衛生士専門学校②	2024/08/26～ 2024/10/25	歯科衛生士	54	243
長崎総合科学大学	2025/08/26～ 2025/09/06	臨床工学技士	2	20
高知リハビリテーション 専門職大学	2024/07/18～ 2024/09/13	理学療法士	1	42
大分リハビリテーション 専門学校	2024/07/16～ 2024/09/06	理学療法士	1	39
長崎医療技術専門学校	205/01/27～ 2025/02/22	作業療法士	1	19
長崎歯科衛生士専門学校③	2024/11/25～ 2024/12/20	歯科衛生士	42	176
九州文化学園①	2024/11/1～ 2024/11/8	歯科衛生士	3	6
長崎歯科衛生士専門学校④	2025/01/20～ 2025/02/21	歯科衛生士	42	151

(4) 告示研修

- ・ タスク・シフト/シェアの推進に向け、令和3年7月9日 医政発0709第7号 臨床検査技師等に関する法律施行令の一部改正をする政令等の交付されており、本院においても告示研修受講を推進し、医師の働き方改革への協力体制を構築していく。



法令改正を行いタスク・シフト/シェアを推進するもの

- ◆ 法令改正が必要なもののうち、検討会で合意が得られたもの
 - ✓ 法律事項については、医師の働き方改革関連法案としての提出を目指す
 - ✓ 政省令事項については、順次改正

静脈路の確保とそれに関連する業務 <診療放射線技師・臨床検査技師・臨床工学技士>		
診療放射線技師	造影剤を使用した検査やR I 検査のために、静脈路を確保する行為 R I 検査医薬品を注入するための装置を接続し、当該装置を操作する行為 R I 検査医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血する行為	省令事項・法律事項 法律事項 法律事項
臨床検査技師	採血に伴い静脈路を確保し、電解質輸液（ヘパリン加生理食塩水を含む。）に接続する行為	法律事項
臨床工学技士	手術室等で生命維持管理装置を使用して行う治療において、当該装置や輸液ポンプ・シリンジポンプに接続するために静脈路を確保し、それらに接続する行為 輸液ポンプやシリンジポンプを用いて薬剤（手術室等で使用する薬剤に限る。）を投与する行為 当該装置や輸液ポンプ・シリンジポンプに接続された静脈路を抜針及び止血する行為	法律事項 法律事項 法律事項
診療放射線技師		
	動脈路に造影剤注入装置を接続する行為（動脈路確保のためのものを除く。）、動脈に造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為 下部消化管検査（CTコログラフィ検査を含む。）のため、注入した造影剤及び空気を吸引する行為 上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為、当該造影剤の投与が終了した後に鼻腔カテーテルを抜去する行為 医師又は歯科医師が診察した患者について、その医師又は歯科医師の指示を受け、病院又は診療所以外の場所に出張して行う超音波検査	省令事項 省令事項 省令事項 法律事項
臨床検査技師		
	直腸肛門機能検査（バルーン及びトランスデューサーの挿入（バルーンへの空気の注入を含む。）並びに抜去を含む。） 持続皮下グルコース検査（当該検査を行うための機器の装着及び脱着を含む。） 運動誘発電位検査・体性感覚誘発電位検査に係る電極（針電極を含む）の装着及び脱着 検査のために、経口、経鼻又は気管カニューレ内部から喀痰を吸引して採取する行為 消化管内視鏡検査・治療において、医師の立会いの下、生検鉗子を用いて消化管から組織検体を採取する行為 静脈路を確保し、成分採血のための装置を接続する行為、成分採血装置を操作する行為、終了後に抜針及び止血する行為 超音波検査に関連する行為として、静脈路を確保して、造影剤を接続し、注入する行為、当該造影剤の投与が終了した後に抜針及び止血する行為	省令事項 省令事項 省令事項 政令事項 法律事項 法律事項
臨床工学技士		
	血液浄化装置の穿刺針その他の先端部の動脈表在化及び静脈への接続又は動脈表在化及び静脈からの除去 心・血管カテーテル治療において、生命維持管理装置を使用して行う治療に関連する業務として、身体に電氣的負荷を与えるために、当該負荷装置を操作する行為 手術室で行う鏡視下手術において、体内に挿入されている内視鏡用ビデオカメラを保持する行為、術野視野を確保するために内視鏡用ビデオカメラを操作する行為	政令事項 法律事項 法律事項
救急救命士		
	現行法上、医療機関に搬送されるまでの間（病院前）に重度傷病者に対して実施可能な救急救命処置について、救急外来※ においても実施可能とする。	法律事項

※救急外来とは、救急診療を要する傷病者が来院してから入院(病棟)に移行するまで(入院しない場合は、帰宅するまで)に必要な診察・検査・処置等を提供される場のことを指す。

（４）告示研修 受講率

- ・ 2023年度は新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着き、受講率は増加した。2024年度においても、未受講者には積極的に受講を促していく。
- ・ 臨床検査技師においては告示研修受講による実施できる新たな業務について、本院では対応していないこともあり、受講率は限定的であった。
- ・ 法律改正に伴わない業務についても随時見直し、医療技術職員による医師および看護師の業務負担低減に繋がるタスクシフト・タスクシェアを進めていく。

告示研修受講職種	受講者数	部員数	受講率
診療放射線技師	45名	48名	94%
臨床検査技師	18名	75名	24%
臨床工学技士	31名	31名	100%

(5) タスク・シフト/シェア 実施状況

【診療放射線技師】

開始時期	部署	タスク・シフト/シェア業務内容
令和6年 3月～	CT・MRI	造影検査時の造影剤注入確認（漏れ等）の立ち会いを放射線科研修医から診療放射線技師が行うこととしていたが、造影剤注入のための静脈ルート確保し、造影検査を完結できるようにした。50症例実施した診療放射線技師をIVRTとして部内承認し、診療放射線技師単独でルート確保を実施している。令和6年度7月末時点でCT/MR部門で2名ずつのIVRTを養成した。
令和6年 3月～	RI	放射性医薬品（放射性同意元素）投与のための静脈ルート確保し、核医学検査を完結できるようにした。50症例実施した診療放射線技師をIVRTとして部内承認し、診療放射線技師単独でルート確保を実施している。
令和5年 4月～	乳腺エコー	放射線科医師が施行していた乳腺エコーを診療放射線技師が実施することで放射線科医師からのタスク・シェアを図る。（令和5年度は研修期間、令和6年度より単独での実施）携わる診療放射線技師数を段階的に増やし、3名を目標とする。
令和6年 4月～	放射線治療	放射線治療の一次治療計画を診療放射線技師（医学物理士）が行う事で、放射線治療専門医の業務負担を低減し、高精度放射線治療の件数を増やし、病院収益増に繋げる。

(5) タスク・シフト/シェア 実施状況

【臨床工学技士】

開始時期	対象診療科等	タスク・シフト/シェア業務内容
令和5年 4月～	血液浄化療法部/腎臓内科	<ul style="list-style-type: none"> ・血液浄化装置を操作して行う血液、補液及び薬剤の投与量の設定及び変更調整 ・透析開始時のシャントへの穿刺 ・透析終了時のシャントからの抜針 ・透析開始・終了時のカテーテル操作 ・バスキュラーアクセスの状態について超音波診断装置を使用した確認 ・血液浄化療法部設置機器新規購入/更新に係る業務
	光学医療診療部	<ul style="list-style-type: none"> ・各種処置具の手渡し、スコープからの抜去 ・シリンジ、散布チューブを用いた色素染色液の散布・注入 ・局注針を用いた局注液の粘膜下層への注入操作 ・高周波ナイフの操作、保持、清掃 ・高周波ナイフからの局注液注入操作 ・高周波スネアの操作 ・高周波止血鉗子の操作 ・APCプローブの操作、保持 ・止血用クリップ装置の操作 ・糸付きクリップの作成、操作 ・病変回収用鉗子の操作 ・生検鉗子の操作 ・ケナコルト局注の操作 ・高周波装置の設定変更操作 ・アルトシューターへの薬剤充填、操作 ・スコープレレンズの清掃 ・拡張術の介助 ・光学医療診療部設置機器新規購入/更新に係る業務
	看護部	<ul style="list-style-type: none"> ・低圧持続吸引器のME機器センター中央管理への移行

6. 特定行為部門

(1) 部門長挨拶

長崎大学病院は令和2年2月に厚生労働大臣より指定研修機関に指定され、令和2年4月に7区分13行為の特定行為研修を開講しました。令和5年度より栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連、令和6年度より栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連と腹腔ドレーン管理関連を追加し、更に地域医療においてニーズの高い特定行為を組み入れた在宅・慢性期領域パッケージも開設したことにより、当院で研修可能な区分は10区分17行為、1領域パッケージとなりました。令和6年度は院内4名、院外7名の計11名を受け入れましたが、そのうち3名は在宅・慢性期領域パッケージで、院内にとどまらず地域医療にも貢献できる人材育成を目指しています。

また、特定行為研修を修了した当院の特定看護師は活動の幅を広げ、手順書に検査オーダーを組み込むことで、対象患者の選定から介入後の評価まで、特定行為の流れが滞ることなく一貫した医療の提供を実現できるようになりました。院内・院外の特定行為研修修了者の活動報告会やフォローアップ研修を開催し、特定看護師の活動を広く周知するとともに、技能維持・修了者間の交流も図るよう努めています。さらに、特定行為研修指導者講習会に指導者1名(看護師1名)が参加し、指定研修機関として指導者の育成にも力を入れています。

特定行為部門は、“見る・診る・見るのトリプル愛”をキャッチフレーズに、“看護の視点”、“診療の補助行為の視点”、そして“社会的背景”を通じて3つの愛(eye)を養い、高度かつ専門的な質の高い医療を提供できる特定看護師、人間性を重視した特定行為を実践できる看護師の育成を目指します。令和6年度から医師の働き方改革が始まっており、単に医師が行う特定行為を“代行する”という立ち位置ではなく、臨床推論を的確に行ったうえで、必要な状況やタイミングで特定行為を実践していただき、その効果が他の同僚看護師にも波及することを期待しています。研修の遂行及び研修修了後の活動が円滑に行えているのは、指導者の皆様をはじめ関係各位の多大なご理解とご協力の賜物と感謝申し上げます。今後ともご協力・ご支援を宜しくお願いいたします。

医療教育開発センター 特定行為部門
部門長 泉野浩生

(2) 特定行為部門の実績

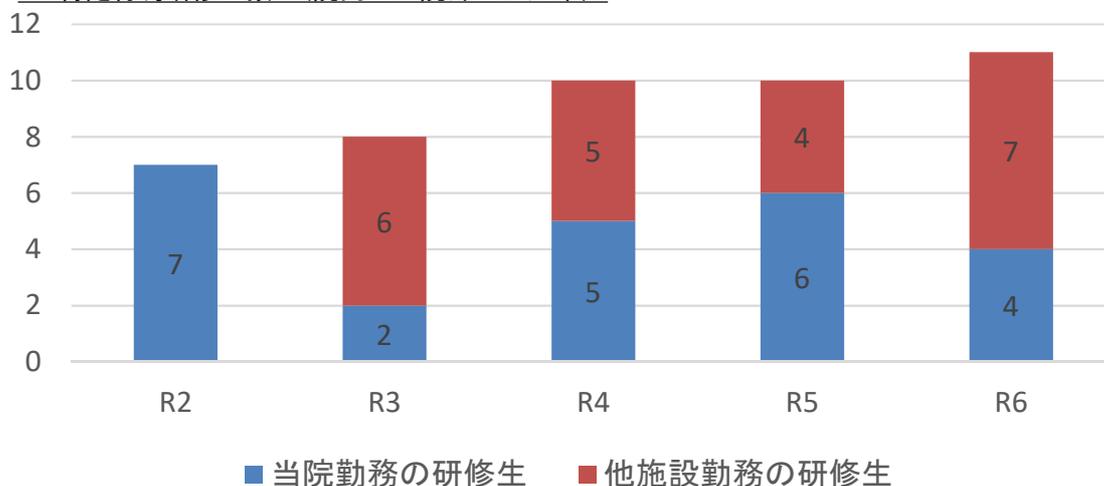
1) 令和6年度 特定行為部門目標

分野	大項目	中項目	小項目
(1) 特定行為研修	1) 研修生募集に関する事	① 特定行為研修相談会を年1回以上開催する	相談会期間を一定期間設け、個別で相談を受け付けて対応する
		② 地域の看護師を受け入れる	募集人数に対し院外からの研修生を最低2割以上受け入れる
	2) 研修に関する事	① 研修生と年1回面談を行う	必要に応じて面談を実施する。
		② 研修に係るアンケートを実施する	共通科目・区分別科目の開始、終了時に研修生にアンケートを実施し研修内容の理解度、満足度等検証する
		③ 長崎大学病院看護師特定行為研修管理委員会を年2回開催する	5月(研修修了判定等協議)、10月(共通科目修了判定、次年度募集内容等協議)に開催する
	3) その他付帯する業務に関する事	① 特定行為研修指導者を年2名育成する	特定行為研修の指導にあたっていただく医師、薬剤師、看護師に、特定行為研修指導者講習会へ参加を促す。費用等補助を行う
(2) 特定行為研修修了者支援	1) 研修修了者へのフォローアップ	① 手技に関する講習会を年3回開催する	各特定行為で難易度が高い、あるいは基準の多い手技を中心に進めていく
		② 講演会を年1回開催する	特定行為に関する講演会を開催する
		③ 医療プロフェッショナリズムについて講演会を開催する	
	2) 活動支援に関する事	① 長崎大学病院看護師特定行為管理委員会を年1回開催する	
		② 手順書に関する検討を長崎大学病院看護師特定行為管理委員会専門部会で迅速に審議する	
(3) その他	2) 事業アピール	① 広報誌を年3回作成する	
		② 情報発信を行う	ホームページを定期的に更新する
		③ 活動報告書作成	看護師年報様式に合わせて作成する
	3) 主要会議	① 特定行為研修室運営委員会を毎月開催する	
		② 病院運営委員会、執行部会議等へ年1回以上報告する	

2) 看護師特定行為研修生推移

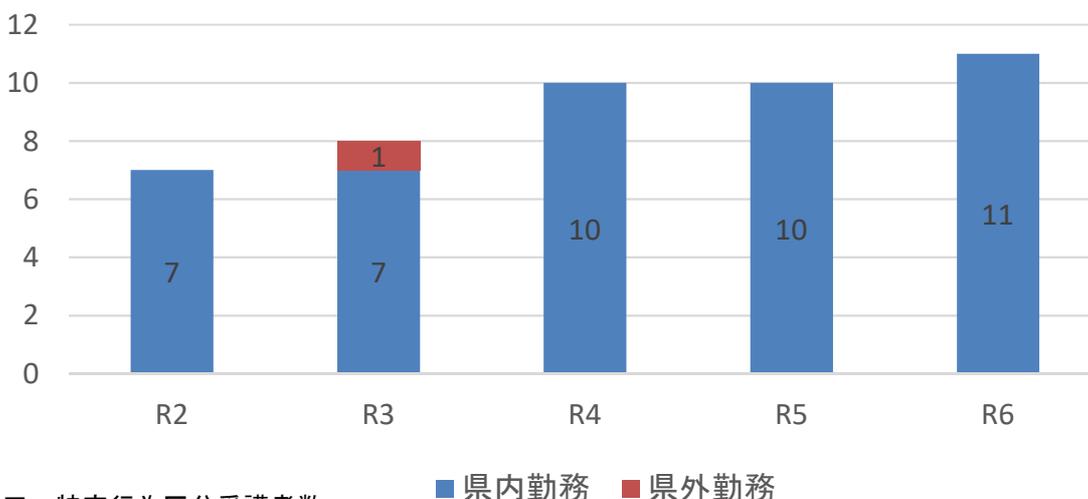
令和6年度（2024年度）は当院に勤務する看護師4名（内2名は共通科目免除者）、他施設で勤務する看護師7名、合計11名を第5期生として受け入れた。

■ 特定行為研修生数（院内生・院外生の比率）



※特定行為研修初年度（令和2年度）は当院で勤務する看護師を対象に研修生を受け入れた。次年度（令和3年度）以降、他施設で勤務する看護師の受け入れを開始した。

■ 特定行為研修生（県内・県外の比率）



■ 特定行為区分受講者数

研修受入年度	研修生（総数）	■ 県内勤務 ■ 県外勤務										
		呼吸器（気道確保に係るもの）関連	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	腹腔ドレーン管理関連	ろう孔管理関連	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	創傷管理関連	創部ドレーン管理関連	動脈血液ガス分析関連	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	在宅・慢性期領域パッケージ研修
R2	7名	6名	6名	6名	—	1名	—	1名	1名	5名	—	—
R3	8名	4名	4名	5名	—	4名	—	4名	3名	4名	—	—
R4	10名	4名	5名	5名	—	1名	—	5名	5名	6名	—	—
R5	10名	5名	5名	6名	—	2名	—	4名	3名	6名	2名	—
R5	11名	1名	1名	2名	1名	1名	2名	3名	2名	3名	1名	3名

※栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連は令和5年度より開始

※腹腔ドレーン管理関連、栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連、在宅・慢性期領域パッケージ研修は令和6年度より開始

(3) 特定行為研修について

1) 長崎大学病院看護師特定行為研修 研修プログラム

特定行為研修は、**共通科目**（看護師が手順書により特定行為を行う場合に必要とされる実践的な理解力、思考力及び判断力並びに技能であって、全ての特定行為に共通するものの向上を図るための研修）と**区分別科目**（看護師が手順書により特定行為を行う場合に必要とされる実践的な理解力、思考力及び判断力並びに技能であって、特定行為区分ごとに異なるものの向上を図るための研修）で構成される。

また、令和6年度に「腹腔ドレーン管理関連」「栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連」の区分、在宅・慢性期領域パッケージを追加し、特定行為区分10区分の特定行為研修を実施した。

(2025年6月開講時点)

	特定行為区分	特定行為
1	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	・経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整
2	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	・侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ・人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 ・人工呼吸器からの離脱
3	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	・気管カニューレの交換
4	動脈血液ガス分析関連	・直接動脈穿刺法による採血 ・橈骨動脈ラインの確保
5	ろう孔管理関連	・胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換 ・膀胱ろうカテーテルの交換
6	創傷管理関連	・褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 ・創傷に対する陰圧閉鎖療法
7	創部ドレーン管理関連	・創部ドレーンの抜去
8	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	・持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ・脱水症状に対する輸液による補正
9	腹腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む。）
10	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	中心静脈カテーテルの抜去
1	在宅・慢性期領域パッケージ	・気管カニューレの交換 ・胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換 ・褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 ・脱水症状に対する輸液による補正

① 特定行為研修の目標

- 1) 迅速かつ包括的なアセスメントを行い、特定行為を行ううえでの知識、技術などの基礎的能力を身につける。
- 2) 必要な治療を理解し、ケアを導くための基礎的能力を身につける。
- 3) 患者の安全に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実践できる基礎的能力を身につける。
- 4) 問題解決にむけて多職種と協働する能力を身につける。
- 5) 特定行為研修修了生としての責任を自覚し、自己研鑽できる努める能力を身につける。
- 6) 患者に寄り添い、患者のニーズに素早く対応できる質の高い看護を提供する。

②特定行為研修の概要

当院は、特定行為研修を実施し、特定行為研修修了看護師を養成することで急性期から在宅医療まであらゆる地域へ貢献する。

③研修期間

令和6年度 研修期間：令和6年6月1日～令和7年5月31日（12ヶ月）

③共通科目（必須科目：共通して必要とされる能力を身につけるための科目）

1) 共通科目の到達目標

- ・多様な臨床場面において、迅速かつ包括的にアセスメントする能力を身につける。
- ・多様な臨床場面において、必要な治療を理解し、ケアを導くための基本的な能力を身につける。
- ・患者の安全に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実践する能力を身につける。
- ・問題解決にむけて多職種と効果的に協働する能力を身につける。
- ・自らの看護実践を見直し標準化できる能力を身につける。
- ・看護の本質を高め、患者ニーズを捉える能力を身につける。

2) 共通科目の研修内容（科目名、研修方法、時間数、評価方法）

科目	時間数（単位：時間）					評価方法
	講義	演習	実習	評価	合計	
臨床病態生理学	29	1		1	31	共通科目試験
臨床推論	26.5	16	1	1.5	45	共通科目試験 各種実習の観察評価
フィジカルアセスメント	17.5	8.5	13.5	5.5	45	共通科目試験 各種実習の観察評価
臨床薬理学	32.5	11.5		1	45	共通科目試験
疾病・臨床病態概論	37	3		1	41	共通科目試験
医療安全学/ 特定行為実践	24.5	14	4.25	2.25	45	共通科目試験 各種実習の観察評価
合計	167	54	18.75	12.25	252	

※講義は、学研メディカルサポートのeラーニングを受講する。

3) 共通科目の研修スケジュール（令和6年度）

月	週	週の目安 (日)～(土)	共通科目					
			臨床病態生理学(31)	疾病・臨床病態概論(41)	フィジカルアセスメント(45)	臨床推論(45)	医療安全学/特定行為実践(45)	臨床薬理学(45)
令和6年 6月	第1週 (6/1～8)		29h	37h	17.5h	26.5h	22.5h	32.5h
	第2週 (9～15)							
	第3週 (16～22)							
	第4週 (23～29)							
	第5週 (30～7/6)							
7月	第6週 (7～13)							
	第7週 (14～20)							
	第8週 (21～27)							
8月	第9週 (28～8/3)	集合研修 5日	1h	3h	8.5h	11.0h		
	第10週 (4～10)							
	第11週 (11～17)							
	第12週 (18～24)							
9月	第13週 (25～31)	集合研修 5日			4.0h	16h	9h	
	第14週 (9/1～7)							
	第15週 (8～14)							
	第16週 (15～21)							
	第17週 (22～28)	集合研修 5日			3.0h	1.5h	9h	4.5h
	第18週 (29～10/5)	予備期間						
10月	第19週 (10/6～12)	筆記試験(3日間：再試験日含む)	共通科目試験(1h)	共通科目試験(1h)	共通科目試験(1h)	共通科目試験(1h)	共通科目試験(1h)	共通科目試験(1h)
	第20週 (13～19)	管理委員会(共通科目修了判定)						

4) 共通科目指導者数と指導時間（演習、実習）

指導者職種	人数	指導時間
医師	15名	51.75時間
薬剤師	12名	9時間
看護師	11名	20.25時間
計	38名	81時間

5) 共通科目研修風景（演習・実習）



演習講義



グループワーク



医療面接



実習（フィジカルアセスメント）



実習（フィジカルアセスメント）



実習（フィジカルアセスメント）

④区分別科目（選択：各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目）

1) 区分別科目の到達目標

- ・多様な臨床場面において、各区分の特定行為を行うための知識・技術及び態度の基礎的能力を身につける。
- ・多様な臨床場面において、医師からの手順書による指示を受け、実施の可否の判断、実施及び報告の一連の流れを適切に行うための基礎的な実践能力を身につける。

2) 区分別科目の研修内容（科目名、研修方法、時間数、評価方法）

科目	時間数（単位：時間）					評価方法
	講義	演習	実習	評価	合計	
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	8	—	5症例	1	9+ 5症例	区分別科目試験、OSCE、各種実習の観察評価
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	20	6	各5症例	2.5	29+ 20症例	区分別科目試験、各種実習の観察評価
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	7	—	5症例	1	8+ 5症例	区分別科目試験、OSCE、各種実習の観察評価
ろう孔管理関連	20	—	各5症例	2	22+ 10症例	区分別科目試験、OSCE、各種実習の観察評価
創傷管理関連	31	—	各5症例	3	34+ 10症例	区分別科目試験、OSCE、各種実習の観察評価
創部ドレーン管理関連	5	—	5症例	1	6+ 5症例	区分別科目試験、各種実習の観察評価
動脈血液ガス分析関連	11.5	—	各5症例	1.5	13+ 10症例	区分別科目試験、OSCE、各種実習の観察評価
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	12.5	2	各5症例	1.5	16+ 10症例	区分別科目試験、各種実習の観察評価
腹腔ドレーン管理関連	7	—	5症例	1	8+ 5症例	区分別科目試験、各種実習の観察評価
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	6	—	5症例	1	7+ 5症例	区分別科目試験、各種実習の観察評価

領域パッケージ研修の研修方法、時間数、評価方法

領域パッケージ	特定行為	時間数（単位：時間）					評価方法
		講義	演習	実習	評価	合計	
在宅・慢性期領域	気管カニューレの交換	7	—	5症例	1	8+ 5症例	区分別科目試験、OSCE、各種実習の観察評価
	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	14.5	—	5症例	1.5	16+ 5症例	区分別科目試験、OSCE、各種実習の観察評価
	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	24	—	5症例	2	26+ 5症例	区分別科目試験、OSCE、各種実習の観察評価
	脱水症状に対する輸液による補正	9	1	5症例	1	11+ 10症例	区分別科目試験、各種実習の観察評価

※講義は、学研メディカルサポートのeラーニングを受講する。

3) 区分別科目の研修スケジュール (令和6年度)

月	期 (日)~(土)	題の目次	区分別科目																		
			呼吸器 (気道確保に係るもの) 関連 (9+5時間)	呼吸器 (人工呼吸療法に係るもの) 関連 (29+20時間)	呼吸器 (長期呼吸療法に係るもの) 関連 (9+5時間)	救命トレーン管理関連 (8+5時間)	心臓管理関連 (22+10時間)	看護に基いたカテーテル管理 (中心静脈カテーテル管理) 関連 (7+5時間)	脳脊髄管理関連 (34+10時間)	救命トレーン管理関連 (6+5時間)	動脈血液ガス分析関連 (13+10時間)	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 (16+10時間)									
10月	第19週 (10/6~12)	筆記試験(3日連続:再試験日含む)																			
	第20週 (13~19)	管理委員会(共通科目終了判定)																			
	第21週 (20~26)		9h	20.5h	6.0h	6.0h	17h	5.0h	28h	4.5h	8.5h	12.5h									
	第22週 (27~11/2)																				
11月	第23週 (3~9)																				
	第24週 (10~16)																				
	第25週 (17~23)	筆記試験	区分別科目試験(1h)	区分別科目試験(2.5h)	区分別科目試験(1h)	区分別科目試験(1.0h)	区分別科目試験(2h)	区分別科目試験(1.0h)	区分別科目試験(3h)	区分別科目試験(1h)	区分別科目試験(2h)	区分別科目試験(1.5h)									
12月	第26週 (24~30)	筆記試験/集合研修	2.0h(講義:手技練習)+α	6h(演習)	1.0h(講義:手技練習)+α	区分別科目試験(1.0h)	区分別科目試験(2h)	区分別科目試験(1.0h)	区分別科目試験(3h)	区分別科目試験(1h)	3.0h(講義:手技練習)+α	2h(演習)									
	第27週 (12/1~7)	集合研修				1.0h(講義:手技練習)+α	3.0h(講義:手技練習)+α	1.0h(講義:手技練習)+α	3.0h(講義:手技練習)+α	0.5h(講義:手技練習)+α											
	第28週 (8~14)																				
	第29週 (15~21)	OSCE	OSCE(1)		OSCE(1)		OSCE(2)		OSCE(1)		OSCE(2)										
	第30週 (22~28)																				
	第31週 (29~1/4)	予備期間																			
令和7年1月	第32週 (5~11)																				
	第33週 (12~18)																				
	第34週 (19~25)																				
	第35週 (26~2/1)																				
	第36週 (2~8)																				
2月	第37週 (9~15)																				
	第38週 (16~22)																				
	第39週 (23~3/1)																				
	第40週 (2~8)																				
	第41週 (9~15)																				
3月	第42週 (16~22)																				
	第43週 (23~29)																				
	第44週 (30~4/5)																				
	第45週 (6~12)																				
4月	第46週 (13~19)																				
	第47週 (20~26)																				
	第48週 (27~5/3)																				
5月	第49週 (4~10)																				
	第50週 (11~17)																				
	第51週 (18~24)	管理委員会(研修終了判定)																			
第52週 (25~31)	修了式																				

※区分別科目の「(講義:手技練習)+α」のαはシラバスには含まれない手技練習の時間

4) 区分別科目指導者数と指導時間 (演習、実技試験、実習)

指導者職種	人数	指導時間
医師	50名	172時間48分
看護師	3名	16.5時間

※看護師2名は実技試験の外部評価者

5) 区分別科目研修風景 (演習・実習)



6) 区分別科目実習協力施設 (5施設: 実習区分)

- ・長崎みなとメディカルセンター (1区分)
- ・長崎記念病院 (2区分)
- ・佐世保共済病院 (3区分)
- ・長崎掖済会病院 (在宅パッケージの内2行為)
- ・長崎百合野病院 (1区分)
- ・長崎原爆病院 (1区分)
- ・吉川クリニック (在宅パッケージの内1行為)
- ・重工記念長崎病院 (在宅パッケージのうち1行為)

2) 協力施設における特定行為研修支援

当院で開講していない特定行為区分を受講する看護師の支援として、他の指定研修機関の協力施設となり区分別科目の実習を行った。令和6年度は、獨協医科大学、山口県立大学の特定行為研修の協力施設として特定行為研修の支援を行った。

【獨協医科大学】

■受講者 : 1名

■受講区分 : 3区分

- ①栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
- ②術後疼痛管理関連
- ③循環動態に係る薬剤投与関連

【山口県立大学】

■受講者 : 1名

■受講区分 : 2区分

- ①栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
- ②感染に係る薬剤投与関連

3) 看護師特定行為研修に関する説明会

令和6年12月3日（火）に院内の看護師を対象に看護師特定行為研修に関する説明会を開催した。院内説明会では看護師16名が参加した。また、説明会の内容については、イントラネットにアップして、オンデマンド（院内限定）で当日の内容を公開した。



- I 本日の研修は満足しましたか。
- ・満足した 5名
 - ・満足しなかった 0名
 - ・大体満足した 2名
 - ・未回答 0名
 - ・あまり満足しなかった 0名
- II 本日の研修内容は理解できましたか。
- ・理解できた 9名
 - ・理解できなかった 0名
 - ・大体理解できた 3名
 - ・未回答 0名
 - ・あまり理解できなかった 0名
- III 今後、看護師特定行為研修の受講を検討していますか。
- ・検討している 5名
 - ・検討していない 3名
 - ・わからない 1名
- IV IIIで「検討している」を選択した方にお尋ねします。現時点で考えている受講予定を教えてください。
- ・1年以内 4名
 - ・2年以内 1名
 - ・3年以内 0名
 - ・5年以内 0名
 - ・5年以降 0名
- V 本日の研修会について、気付かれた点や意見があれば記入してください。

【主な内容】

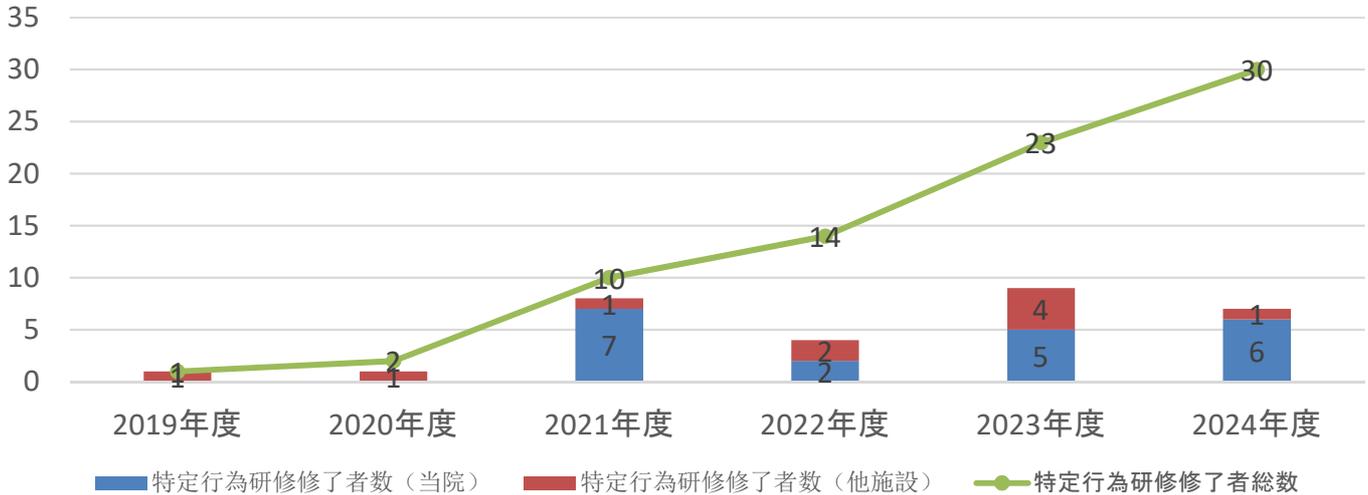
- ・受講のプロセスや臨床での活躍の場が具体的にわかりました。ありがとうございました。
- ・新しい情報を知ることができた。
- ・特定看護師の実践報告がとても良かったです。
- ・特定看護師の役割活動が具体的にわかってよかった。
- ・特定行為修了者が増えると業務がスムーズになると患者さんにも役立つ、もっと増えてほしい。

(4) 特定行為研修を修了した看護師（特定看護師）への支援

1) 特定行為研修修了者推移

令和6年度は、当院特定行為研修を4名修了（うち履修免除者2名）、また他機関特定行為研修を1名修了（2025年9月にもう1人修了予定）した。当院所属の特定看護師輩出は、30名となった。

■特定行為研修修了者推移（当院に勤務する看護師）



※初回特定行為研修修了時に修了者人数にカウント、特定行為区分を追加受講の場合は修了者人数には含まない。

■特定行為研修修了区分と修了者数（実施可能な特定行為区分）

研修修了年度	修了者数	特定行為区分															領域パッケージ		
		呼吸器（気道確保に係るもの）関連	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	腹腔ドレーン管理関連	ろう孔管理関連	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル）関連	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル）	創傷管理関連	創部ドレーン管理関連	動脈血液ガス分析関連	薬剤投与関連	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	感染に係る薬剤投与関連	術後疼痛管理関連	循環動態に係る薬剤投与関連	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	皮膚損傷に係る薬剤投与関連	
R元	1					1			1	1									
R2	1	1	1	1							1								
R3	8	6	6	6		1			1	1	5								
R4	4	2	3	3							2	3	1	1	2		1	2	
R5	9	3	3	4	2	0	3	4	2	2	4	2	0	0	1	1	0	3	
R6	6	3	3	3		1			3	2	3	2	1						
計	29	15	16	17	2	3	3	4	7	6	15	7	2	1	3	1	1	5	

2) 研修修了者へのフォローアップ研修

令和6年度の【第1回】フォローアップ研修は、インサイトAの使い方とエコーガイド下Aライン穿刺のフォローアップ研修を実施した。当院看護師特定行為研修を修了した院内、院外で活動する特定看護師11名が参加した。

【参加者へのアンケート結果】（令和6年5月2日開催）



- I 本日の研修は満足しましたか ・満足した 6名 ・大体満足した 5名
II 本日の研修内容は理解できましたか ・理解できた 9名 ・大体理解できた 2名
III 特定看護師として活動している中で困っていることはありますか。
・ある 6名 ・ない 5名

「ある」と回答した主な内容

- ・特定看護師が増えると経験できる手技が偏るときがある。
- ・行為種別件数にかなりの差がある。Aラインは過去1年でできていない。
- ・症例が少ない特定行為を実践する際に手技に自信がない。
- ・病棟でなかなか行わない手技に対して、忘れてないか不安になる。
- ・特定行為研修を修了したが、実施する機会が無く困っている。
- ・ERにおいて緊急手術のために他科の医師よりAライン留置や動脈採血を依頼されることがあるが、当科の患者しか対応できない（包括的指示）と断っている。医師も手術説明や手術室との調整、ICなど手が足りない場面も多く、ばたついた中で動脈LINEを確保したりしており、患者にとっては雑に処置をされているように感じているのではないかと感じる。このような場면을散見すると他科は直接的指示のもとであれば特定看護師で対応できないのかと考える。

- IV 今後、特定行為研修室に開催して欲しいフォローアップ研修があれば記入してください。
- ・エコー手技
 - ・臨床推論についての研修
 - ・人工呼吸器の設定について
- V 本日の研修会について、気付かれた点や意見があれば記入してください。
- ・とても勉強になりました。また参加したい。
 - ・とてもわかりやすく、明日より実践に生かしていきたい。
 - ・病棟では実践する機会が少ない手技だったので、とても勉強になった。
 - ・病棟でほとんど機会がなかったので、フォローアップ研修があっても良い機会でした。
 - ・とてもわかりやすかった。

令和6年度 フォローアップ研修を創傷プロフェッショナルコース5回シリーズで研修を行った。当院看護師特定行為研修を修了した院内、院外で活動する特定看護師が参加した。シリーズ1は創傷治癒過程（参加者：9名）、シリーズ2は軟膏の選択（参加者6名）、シリーズ3は創傷被覆材の使い分け（参加者7名）、シリーズ4はNPWTについて（参加者5名）、シリーズ5はNPWTハンズオンセミナー（参加者6名）を実施した。



【参加者へのアンケート結果】（令和6年9月3日からシリーズ5回研修開催）

- I 本日の研修は満足しましたか ・満足した 26名 ・大体満足した 1名
・どちらでもない0名・あまり満足しなかった 0名 ・満足しなかった 0名 ・未回答 3名
- II 本日の研修内容は理解できましたか ・理解できた 22名 ・大体理解できた 5名
・どちらでもない 0名 ・あまり理解できなかつた 0名 ・理解できなかつた 0名
・未入力 0名
- III フォローアップ研修へ参加した目標は達成されましたか
・達成した17名 ・大体達成した 10名 ・どちらでもない0名 ・あまり達成しなかつた 0名
・達成しなかつた 0名 ・未回答 0名
- IV 研修方法は適切でしたか
・そう思う 22名 ・大体そう思う 5名 ・どちらでもない0名 ・ありそうは思わない 0名
・そう思わない 0名 ・未回答 0名
- V 研修時間は適切でしたか
・長い 0名 ・やや長い 0名 ・丁度よい 26名 ・やや短い 1名 ・短い 0名
- VI 特定看護師として活動している中で困っていることはありますか
・もともとの業務との調整
・実際にまだ特定行為はしていませんが、NPWTの処置についての時に、創周囲の皮膚の洗浄や皮膚保護の必要性について、主治医との意識の差があり実施できなかつたことがありました（清潔、準清潔の考え方の違いもありました）。2回目からは必要性を説明して実施できましたが、意識の差を埋めるために地道な関わりが必要なのだと感じました。
・まだ特定看護師をメインにしている看護師が1人なので、活動方法が定まっていない
- VII フォローアップ研修で気づいたことやご意見がありましたら教えてください
・最新情報を提供していただき大変勉強になった。
・洗浄することを周囲にも指導してきましたが、まだまだ洗浄が足りてない時があると感じさせられました
・カデックス軟膏とイソジンシュガーパスタの違いがわかりました。基剤の違いで溶解するかどうかで褥瘡のポケット部分に使用する際の注意点を聞き、今までしっかり洗い流してなかつたのでは？と創傷治癒の妨げをしていたのではないかと反省しております
・具体例を挙げて説明して下さるので、わかりやすかったです
・研修中に一生懸命勉強したことでも、実際にやらなかつたら忘れてしまっていることもあるので、このような機会をいただけて助かります。
- VIII 今後取り入れてほしい研修内容を教えてください
・デブリードマンや縫合方法のフォローアップ研修

令和6年度の【第4回】フォローアップ研修は、縫合に関するハンズオン研修会を実施した。当院看護師特定行為研修を修了した院内、院外で活動する特定看護師7名が参加した。
(令和6年9月6日開催)



【参加者へのアンケート結果】

- I 本日の研修は満足しましたか
・満足した 6名 ・大体満足した 1名 ・どちらでもない 0名
・あまり満足しなかった 0名 ・満足しなかった 0名 ・未回答 0名
- II 本日の研修内容は理解できましたか
・理解できた 3名 ・大体理解できた 4名 ・どちらでもない 0名
・あまり理解できなかった 0名 ・理解できなかった 0名 ・未入力 0名
- III 特定看護師として活動している中で困っていることはありますか
・ある 1名 ・ない 6名

「ある」と回答した主な内容

- ・研修を修了してからまだ活動ができていないので不安が強い。部署内の特定看護師との連携をとるのが難しく感じている。
- IV 今後、特定行為研修室に開催して欲しいフォローアップ研修があれば記入してください
- ・橈骨動脈ラインの確保。
 - ・人工呼吸器の設定の変更（症例を提示して設定の変更を試みる）。
 - ・座学で知識を深めたい。
 - ・人工呼吸器の調整。
- V 本日の研修会について、気付かれた点や意見があれば記入して下さい
- ・疑問に思ったことを丁寧に説明してくれて理解を深めることができた。
 - ・少人数で開催する方が学びは深いと感じた。
 - ・参加できてよかった。
 - ・他の部署の具体的な実践方法を知り、自分の手技や考え方について振り返ることができ、参考にすることができた。
 - ・他部署での活動状況を聞くことができてとても勉強になった。実際に活動の中での不安や医師や特定看護師と情報共有ができて有益だった。

令和6年度の【第5回】フォローアップ研修は、症例検討会で創傷管理関連を修了し、病棟で活躍されている特定看護師が直面した事例について検討を行った。当院看護師特定行為研修を修了した院内で活動する特定看護師8名が参加した。

(令和6年10月10日開催)



【参加者へのアンケート結果】

- I 本日の研修は満足しましたか ・満足した 3名 ・大体満足した 2名 ・どちらでもない 0名 ・あまり満足しなかった 0名 ・満足しなかった 0名 ・未回答 3名
- II 本日の研修内容は理解できましたか ・理解できた 3名 ・大体理解できた 2名 ・どちらでもない 0名 ・あまり理解できなかった 0名 ・理解できなかった 0名 ・未入力 3名
- III 特定看護師として活動している中で困っていることはありますか
・ある 0名 ・ない 0名 ・わからない 1名
- IV 今後、特定行為研修室に開催して欲しいフォローアップ研修があれば記入してください
・今回のようなフォローアップの内容をお願いしたい。
- V 本日の研修会について、気付かれた点や意見があれば記入して下さい
・知識がないことが多く、とても勉強になりました。

令和6年度の【第6回】フォローアップ研修は、人工呼吸器の調整に関して講義形式で主に人工呼吸器の考え方やグラフィック波形の見方、調整方法について研修会を実施した。当院看護師特定行為研修を修了した院内で活動する特定看護師10名が参加した。

(令和7年3月27日開催)



【参加者へのアンケート結果】

- I 本日の研修は満足しましたか ・満足した 10名 ・大体満足した 0
- II 本日の研修内容は理解できましたか ・理解できた 7名 ・大体理解できた 3
- III 特定看護師として活動している中で困っていることはありますか
・ある 1名
- 「ある」と回答した主な内容
- ・高度肥満で肺炎を合併しており、シャントやVQミスマッチが合併している症例などで、設定を微調整している途中で、主治医がウィーニングを始めることがある。
- IV 今後、特定行為研修室に開催して欲しいフォローアップ研修があれば記入してください
- ・血液ガス分析、酸塩基平衡
 - ・血液ガス分析に関する座学
 - ・人工呼吸器のシリーズ研修、脱水のフォローアップ研修
 - ・Aライン確保ができていないので、手技に不安がある
- V 本日の研修会について、気付かれた点や意見があれば記入して下さい
- ・とても勉強になった。
 - ・とても有意義な研修だった。
 - ・患者の身体アセスメントをして何が起きているのか考えるのが大事であると学ぶことができた。

3) 活動報告会

特定看護師の活動報告会を令和6年3月21日に開催した。今回は、長崎大学病院看護師特定行為研修を修了した院内・院外7名の特定看護師が活動を報告した（遠方の修了生はZOOMを用いた）。会場には医師、看護師、計40名の参加があった。また、活動報告会の内容については、後日インターネット（院内限定）で当日の内容を公開した。



【参加者へのアンケート結果】

1. 本日の研修は満足しましたか
 - ・満足した 21名
 - ・満足しなかった 0名
 - ・大体満足した 5名
 - ・未回答 14名
 - ・あまり満足しなかった 0名
2. 本日の研修内容は理解できましたか
 - ・理解できた 24名
 - ・理解できなかった 0名
 - ・大体理解できた 2名
 - ・未回答 14名
 - ・あまり理解できなかった 0名
3. 今後、看護師特定行為研修の受講を検討していますか
 - ・検討している 4名
 - ・検討していない 10名
 - ・わからない 7名
 - ・未回答 19名
4. 3で「検討している」を選択した方にお尋ねします。現時点で考えている受講予定を教えてください。
 - ・1年以内 4名
 - ・2年以内 0名
 - ・3年以内 0名
 - ・未回答 0名
5. 特定看護師は必要だと思いますか
 - ・思う 24名
 - ・思わない 0名
 - ・どちらでもない 1名
 - ・未回答 15名

「思う」と回答した主な内容

- ・患者さんや家族、医師や看護師の負担軽減のために必要だと思うから。
- ・特定行為研修を受講した仲間が増えると、相談や活動を行いやすくなるため。
- ・患者へ待たせずに対応できる。
- ・患者さんに速く対応できる、スタッフの負担軽減などに繋がるため。
- ・看護師が血液ガスの評価が必要であると考えても医師がいないと、評価ができずタイムリーに介入ができない経緯がありました。特定看護師が手順書の範囲内で活動することで、早期に患者介入もでき、かつ看護の質向上にも貢献できると考えています。
- ・臨床推論より患者に必要なケアをタイムリーに提供できたり情報提供・共有することで、安全なケアのケア提供、看護の質の向上につながる。
- ・状況にもよるが、タイムリーな介入ができ、医療材料を適切に利用することができる。状態悪化を未然に防ぐことができる機会も増える。スタッフの知識の底上げができる。
- ・質の向上の為。しかし人数が必要。
- ・患者にとって高度な全体像の把握を行ったうえでのマネジメントができる。
- ・様々な理由はありますが、看護の質の向上に繋がる。結果患者への貢献に繋がる。様々な場面でタスクシフト・シェアに繋がり、看護師の相談役や教育の視点としても必要。
- ・看護の質向上に繋がると考えられるため。
- ・タスクシフトに繋がる。また、病棟内の特定看護師が増えること情報共有や活動の幅が広がると思います。
- ・働き方改革も始まるためタイムリーな医療の為にも特定看護師が必要である。
- ・タスクシフトの面と看護師への専門的知識の指導。
- ・医師不在（OPで不在など）時の処置など実施できる。看護師が医師を待つ時間が減る。
- ・タスクシフトだけでなく、看護の質の向上、看護師の業務効率化に繋がる。

6. 特定看護師に何を期待していますか

【主な内容】

- ・患者さん・家族、看護師の負担や不安軽減
- ・看護の質の向上のために介入
- ・アセスメント能力
- ・働きやすい環境の元、実践できる
- ・医師のタスクシフト、シェアを推進だけでなく看護の質向上できることを活動で可視化する必要があると考えています。
- ・特定行為のみでなく、スタッフ教育をどんどんしてほしい。
- ・患者満足度向上に繋がるための働きかけ。
- ・医師と看護師、患者をつなぐ医療者。
- ・看護の質の向上。
- ・まずは安全を第一に、そのためには病棟内の業務の見直しなど必要だと思います。
- ・もっと積極的に活動ができるような環境ができてほしい。

7. 本日の研修会について、気付かれた点や意見があれば記入してください。

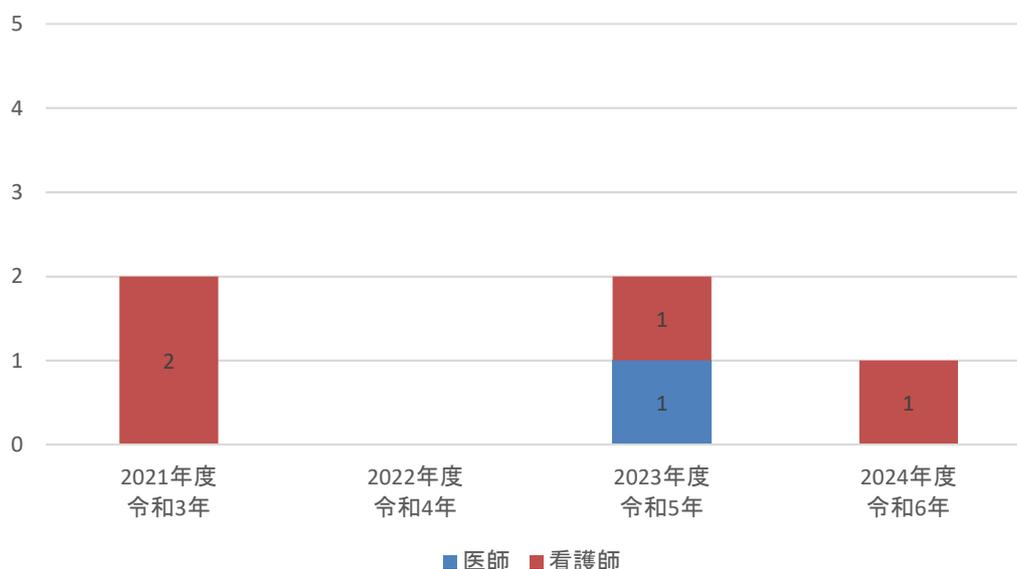
【主な内容】

- ・時々、音声がとぎれましたが、大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・zoomで、院外性のみ顔が映っていたため、発表以外の時、話しをされている方の顔を映して頂ければと思いました。どのような雰囲気の中、行われているのかも感じたかったです。
- ・それぞれで活躍されていることがわかりました。
- ・大学病院での特定看護師の活動を知り、周囲の反応を評価しながら取り組まれている所など発表を聴きとても勉強になりました。医師へのアピールや活動するためにどのような取り組みを自分達が行うべき事を考えていきたいです。
- ・発表された皆さんが、他の業務を行いながら工夫されている点、課題としている点を理解することで、自己の活動に役立てていきたい。ありがとうございました。
- ・他の病棟等での活動が聞けて良かったです。自部署での活動等を振り返りたいと思います。
- ・パワーポイントの字が小さく、見にくい方が多かった。
- ・他の特定看護師の働き方が分かってよかった。参考にしたい。

(5) 特定行為研修指導者育成

令和3年度から特定行為研修指導者の育成を開始。令和6年度は看護師1名が指導者講習会を受講した。特定行為研修の指導の質を保つため、今後も継続して指導者講習会への参加者を推進していく。

■特定行為研修指導者講習会受講修了者推移（当院に勤務する指導者）



【特定行為研修指導者講習会とは】

特定行為研修を実施する指定研修機関は、適切な指導体制を確保していることが求められ、指導者は、指導を行うために必要な経験及び能力を有している者で、特定行為研修に必要な指導方法等に関する講習会を受講していることが望ましいこととされている。

講習会は、特定行為研修制度の趣旨及び内容等について、指定研修機関や、指定研修機関と連携して実習等を行う協力施設における指導者の理解を促進し、効果的に指導を行うことのできる指導者を養成することで、特定行為研修の質の担保を図ることを目的とされている。

(6) 広報の充実に向けて

1) 特定行為研修ホームページ (研修風景や募集案内等を掲載、随時更新)

■ホームページ (<http://www.mh.nagasaki-u.ac.jp/tokutei/>)



トップページ



研修概要



募集案内

2) 特定行為研修Facebook

2021年8月に長崎大学病院特定行為研修のアカウントを作成し情報発信を開始



3) 特定行為研修instagram

2022年8月に長崎大学病院特定行為研修のアカウントを作成し情報発信を開始



4) 看護師特定行為Report

院内向けに看護師特定行為を周知するための広報誌を年3回発行



7. 外来医療教育部門

○.長崎外来医療教育室協議会

(1). 部門長挨拶

『長崎外来医療教育室』事業の2024年度の活動について

皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、2024年6月1日より、前室長である長谷敦子教授より『長崎外来医療教育室』の室長職を引き継ぎました、泉野浩生でございます。ここに、2024年度の活動についてご報告申し上げます。

本年度は、初期研修医の外来研修について改めて考察し、見直す貴重な機会となりました。初期臨床研修制度は、「医師としての基盤形成と幅広い診療能力の習得」を目的として2004年度にインターン制度廃止以来36年ぶりに改正され、2年間の臨床研修が必修化されました。発足当初は長く続かないだろうと見られていたこの制度も、今や20年以上の歴史を重ね、私自身を含め、この制度を経た指導医が着実に増えてきました。また、2020年度の制度改正により、一般外来研修の必修化がなされました。

本研修では、内科や外科領域の幅広い症候・疾患への対応や、慢性疾患の継続診療が求められ、臨床研修の2年間で4週間以上の研修が義務付けられています。しかし、研修医の都市部集中・大学離れや専門外来化の進行により、一般外来研修の場が限られる現状があります。そのような状況の中で、長崎大学病院では1年次で必修項目をほぼ達成できるよう、指導医と協力病院との連携による実践的な研修プログラムを構築しています。

当院では、年間を通じて外来研修を行う「並行研修」方式を採用し、4週間の「ブロック研修」に代えて計20日の外来研修デーを設けています。県内各地7つの協力病院における一般内科・小児科外来の研修を実施し、県北、県南、さらには上五島に至るまで、研修医が実際に一般外来研修かつ地域医療に携わる機会を確保できるようになりました。2024年度には、すべての協力病院との意見交換会や臨床研修協議会主催の「卒後医師臨床研修プログラム責任者養成講習会」への参加を通じて、本取り組みが全国的にも珍しく、他の施設では実現が難しい独自のシステムであることを改めて認識いたしました。この「20日」という数字にこだわりすぎることなく、せっかくの貴重な研修機会を最大限に活用できるよう、院内の規程の見直しにも取り組んでおります。

また、私が本事業に加わったことで、長谷教授から引き継いだ救急医療に関する教育を継続しながら、これまで研修医が経験しづらかった外科的必修項目を外来研修で習得できるようになったことは、大きな意義があると考えています。近年、低侵襲手術の進展や働き方改革の影響により、縫合・開腹の機会が減少し、処置への参加が難しくなった研修医にとって、協力病院で開放・汚染創の処置や骨折のプライマリケア、軽症頭部外傷への対応などの経験を積めることは非常に重要です。この機会を提供いただいている協力病院の皆様には、心より感謝申し上げます。

本事業は、単なる外来研修にとどまらず、医学生に対する大学病院のイメージ向上、心肺蘇生コースや災害研修の主催、指導医派遣による協力病院の外来診療・救急外来の維持など、地域医療の活性化に寄与する形で発展してまいりました。こうした活動が継続できているのも、ひとえに協力病院の皆様と関係機関の指導医の先生方の深い理解と多大なるご支援の賜物であり、改めて感謝申し上げます。

今後とも、各施設の皆様の変わらぬご協力とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

長崎大学病院 医療教育開発センター
長崎外来医療教育室
室長 泉野浩生 (いずみのひろお)

(2). 目標

【教育】

目標1：医学生教育を通じて、マッチングの促進を行う。

- 1-1 長崎大学病院を見学に来た医学生に初期臨床研修の説明を行う。
- 1-2 初期臨床研修説明会等のイベント、医学部講義・実習等にて医学生に説明を行う。
- 1-3 医学生との情報交換、初期臨床研修説明を目的とした懇親会を行う。

目標2：研修医教育における初期・二次救急医療教育の充実を図る。

- 2-1 長崎大学基幹型の研修医100%に、協力病院での外来研修を経験させる。
- 2-2 長崎大学基幹型の研修医100%に、協力病院(輪番)での救急医療研修を経験させる。
また、長崎大学病院以外の研修医の取得も推進する。

目標3：日本救急医学会の救急初期対応の資格であるICLSを取得させる。

- 3-1 長崎大学基幹型の研修医80%に、救急学会の救急初期対応の資格であるICLSを取得させる。
また、長崎大学病院以外の研修医の指導も推進する。

目標4：厚労省が示す初期臨床研修の到達目標をクリアさせる。

- 4-1 長崎大学基幹型の研修医100%に、厚労省が示す研修の救急関連の到達目標をクリアさせる。

【臨床】

目標5：協力病院における、通常外来及び救急外来の患者数の維持。

- 5-1 協力病院における通常外来の患者数を維持する。
- 5-2 協力病院における救急外来の患者数を維持する。

目標6：協力病院の救急車受入台数の維持

- 6-1 協力病院における救急車受入台数を維持する。

【その他】

目標7：医師不足による勤務医の疲弊防止

- 7-1 協力病院の外来及び救急外来に医師を派遣する。

目標8：外来及び救急外来勤務要員の確保

- 8-1 協力病院の外来及び救急外来へ、長崎外来医療教育室 所属医8名と協力医若干名を派遣する。

(3). 目標に対する結果

目標1：医学生教育を通じて、マッチングの促進を行う

結果1-1 長崎大学病院を見学に来た医学生への説明

見学者数 2024年4月～2025年3月

2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年度
2年生													0人	0人
3年生													0人	-1人
4年生													0人	-2人
5年生	1人	2人		1人	5人				3人	1人			13人	-10人
6年生	3人	6人	3人	4人		2人							18人	8人
既卒者				2人									2人	1人
	4人	8人	3人	7人	5人	2人	0人	0人	3人	1人	0人	0人	33人	-4人



結果1-2 初期臨床研修説明会等のイベント、医学部講義・実習等における説明

2024年度	イベント・講義・実習名	場所	対象	参加者人数(延べ)	対前年度
2024年5月11日	eレジフェアオンライン2024	Web	医学生4・5・6年	4人	0人
2024年5月16日	Web病院説明会	Web	医学生(学年不問)	24人	24人
2024年5月19日	レゾナンスFair2024福岡	博多国際展示場	医学生3・4・5年	54人	0人
2024年5月22日	Web病院説明会	Web	医学生(学年不問)	23人	—
2024年6月11日	長崎大学医学部6年生と教授の懇親会	ザ・グローバルビュー長崎	長大6年生	34人	6人
2024年6月29日	ALL長崎合同説明会	長崎大学病院	医学生4・5・6年	21人	4人
2024年10月6日	eレジフェアオンライン2024	Web	医学生4・5・6年	6人	1人
2024年2月1日	ALL長崎病院説明会	長崎大学病院	医学生3・4・5年	51人	29人
合計				217人	87人

結果1-3 学生との情報交換、初期臨床研修説明を目的とした懇親会の開催

開催	長崎大学医学部6年生と教授の懇親会
開催日時	2024年6月11日(金) 18:30~20:30
開催場所	ザ・グローバルビュー長崎
開催目的	マッチング数向上を目的とする人脈づくりの為の懇親会
参加者	長崎大学医学部 6年生34人+教員他32人=66人
その他	長崎大学医学部長、医学部学務課、学生の総代の協力受け実施



【参加者からの感想など】

- 実施後のアンケートによると、五段階評価で5をつけた学生81% ネガティブ意見はありませんでした。
- 病院の先生方のイメージも、81%の学生が『より良い方に変わった』と感想を寄せてくれました。
- この時点では、長崎大学病院を含め、県内で研修をしたいと思っている学生が、約60%おりました。

目標2：研修医教育における初期・二次救急医療教育の充実を図る

2024年度 長崎大学病院 勤務研修医数

	院内勤務	院外勤務	合計
2023年度研修医	0名	22名	22名
2024年度研修医	35名	2名	37名
合計	35名	24名	59名

※1 38名入職したが、年度末に1名転籍した

結果2-1

協力病院にて外来研修を経験した2021年度長崎大学病院勤務研修医

外来研修経験者数

外来研修経験者数、平均経験回数（全体）

	2023年度研修医	2024年度研修医	合計	割合※1	対前年度※2
研修医数	0名	35名	35名・・・①	-	13名
外来研修1回以上	0名	35名	35名	100%	13名
平均経験回数	—	14.2回	14.2回	-	-6.8回

※1 研修医数①のうち、各協力病院で外来研修を経験した者の割合 ※2 前年値 増減

結果2-2

輪番病院にて救急医療研修を経験した長崎大学病院勤務研修医

協力病院別外来研修経験者数

救急医療研修経験者数、平均経験回数（全体）

	2023年度研修医	2024年度研修医	合計	割合※1	対前年度※2
研修医数	0名	35名	35名・・・①	-	13名
救急医療研修1回以上	0名	22名	22名	63%	0名
平均経験回数	—	0.9回	0.9回	-	-1.1回

※1 研修医数①のうち、各協力病院で外来研修を経験した者の割合 ※2 前年値 増減

目標3：日本救急医学会の救急初期対応の資格であるICLSを取得させる

結果3-1

ICLS※コース受講者数(全体)

※ICLS：Immediate Cardiac Life Support

	開催日	受講者	コース ディレクター	インストラクター	アシスタント インストラクター	タスクフォース
第1～25回コース計	2013～2019年度	339名	50名	116名	123名	25名
第26回ICLSコース	2020/08/01	12名	2名	4名	—	2名
第27回ICLSコース	2020/10/17	12名	2名	4名	3名	2名
第28回ICLSコース	2020/12/05	12名	2名	5名	5名	1名
第29回ICLSコース	2021/02/06	10名	2名	5名	1名	1名
第30回ICLSコース	2021/06/19	12名	2名	6名	—	1名
第31回ICLSコース	2021/10/09	11名	2名	6名	1名	2名
第32回ICLSコース	2022/03/13	6名	2名	1名	1名	1名
第33回ICLSコース	2022/05/14	6名	2名	3名	2名	1名
第34回ICLSコース	2022/06/18	12名	2名	3名	2名	1名
第35回ICLSコース	2022/07/30	6名	1名	4名	2名	1名
第36回ICLSコース	2022/09/04	6名	2名	3名	2名	1名
第37回ICLSコース	2023/06/03	12名	2名	9名	—	1名
第38回ICLSコース	2023/07/15	6名	1名	3名	1名	1名
第39回ICLSコース	2023/09/02	11名	2名	7名	3名	1名
第40回ICLSコース	2024/06/22	注1 15名	2名	8名	7名	1名
第41回ICLSコース	2024/08/03	12名	1名	6名	6名	1名
第42回ICLSコース	2024/10/19	注2 10名	1名	5名	4名	1名
第43回ICLSコース	2024/12/07	注3 6名	1名	4名	4名	1名

注1:受講者15名のうち、6名は看護師

注2:受講者10名のうち、3名は他病院の研修医

注3:受講者6名のうち、1名年度末転籍

長崎大学病院基幹型 研修医 受講率

	研修医総数※	受講者数	受講率
2014年度研修医	45名	43名	96%
2015年度研修医	54名	53名	98%
2016年度研修医	49名	49名	100%
2017年度研修医	62名	62名	100%
2018年度研修医	48名	48名	100%
2019年度研修医	37名	37名	100%
2020年度研修医	41名	41名	100%
2021年度研修医	34名	34名	100%
2022年度研修医	31名	31名	100%
2023年度研修医	22名	22名	100%
2024年度研修医	33名	33名	100%



目標4：厚労省が示す初期臨床研修の到達目標をクリアさせる

結果4-1 厚労省が示す研修の到達目標達成状況

2024年4月～2025年3月

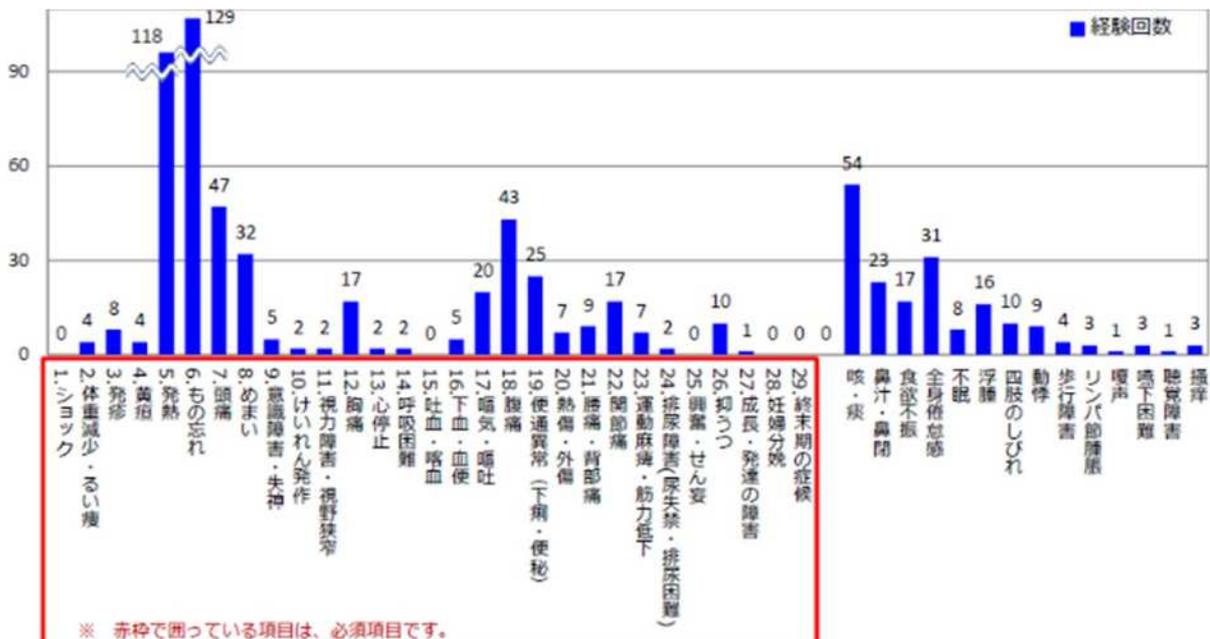
初期研修医1年次 → 35名

	経験すべきアイテム数		経験したアイテム数	経験回数(延べ)	研修医1人あたりの経験数
	必須項目	上記以外			
経験すべき症候	必須項目	29	24	518	14.8
	上記以外	—	14	183	5.2
経験すべき疾病・病態	必須項目	—	22	309	8.8
	上記以外	—	25	105	3
基本的手技	EPOC掲載	26	18	107	3.1
	上記以外	—	3	15	0.4
検査手技	EPOC掲載	4	2	68	1.9
	上記以外	—	10	485	13.9
診療録	EPOC掲載	2	5	1031	29.5
	上記以外	—	2	264	7.5
診療計画	—	—	4	78	2.2

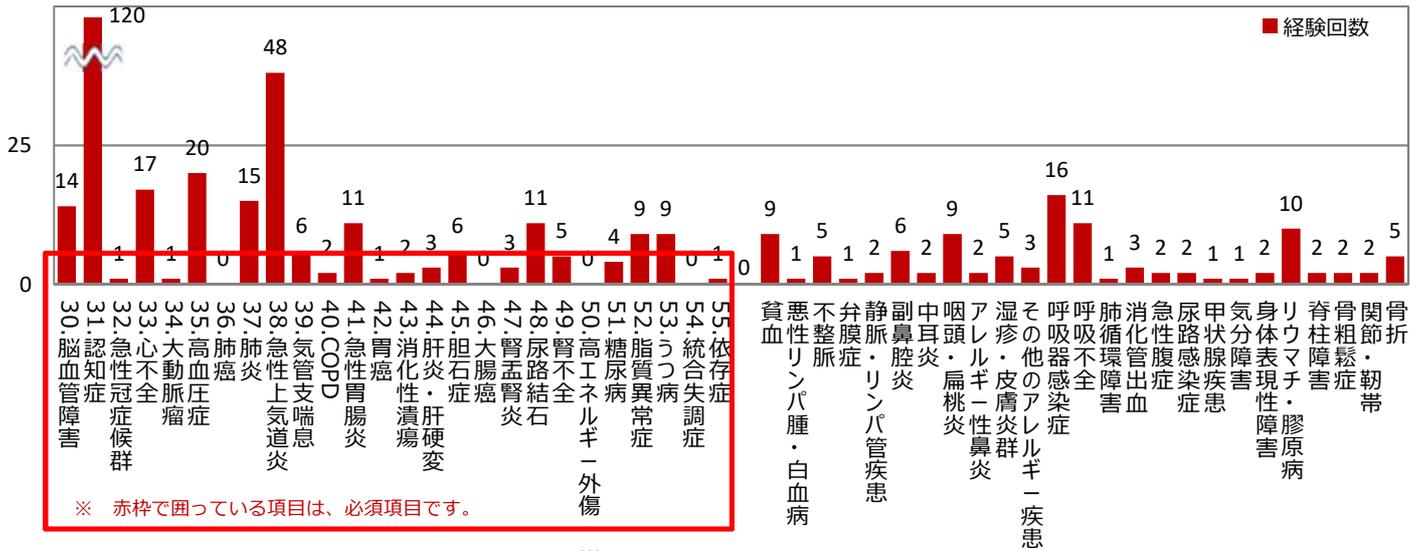
※年度末に1名転籍38名→37名 2名は外病院スタートの為 院内研修医は35名

【経験のアイテム・回数の詳細】

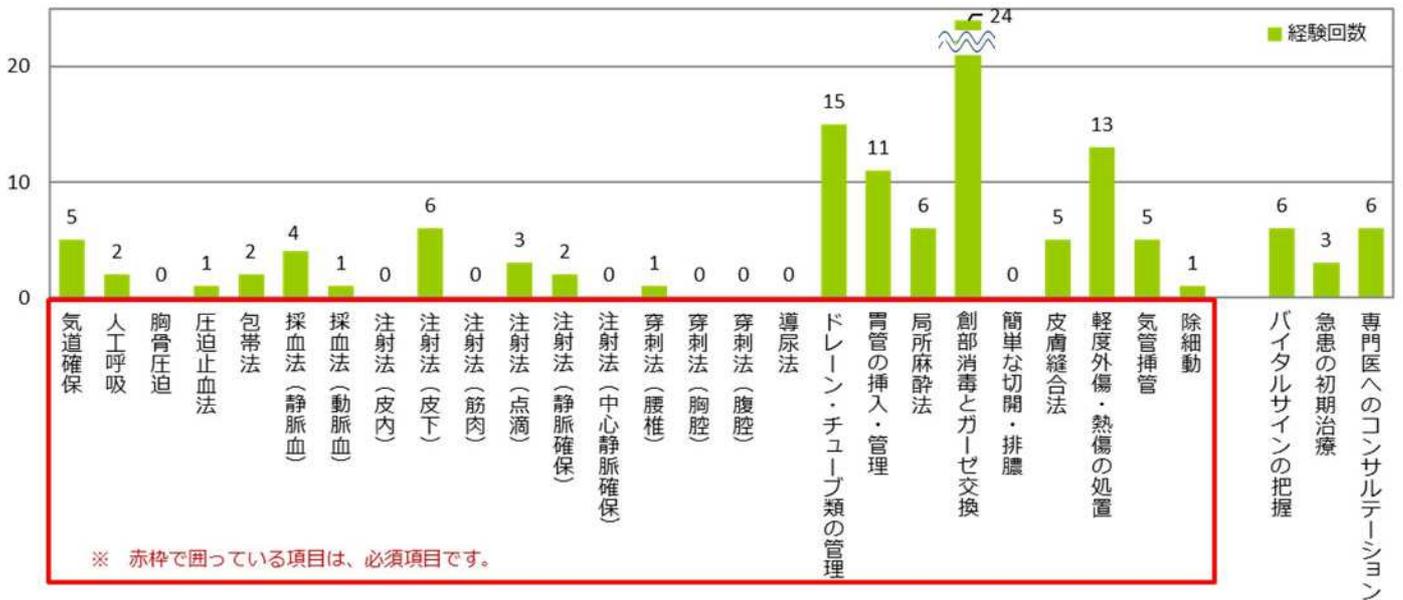
【経験すべき症候】



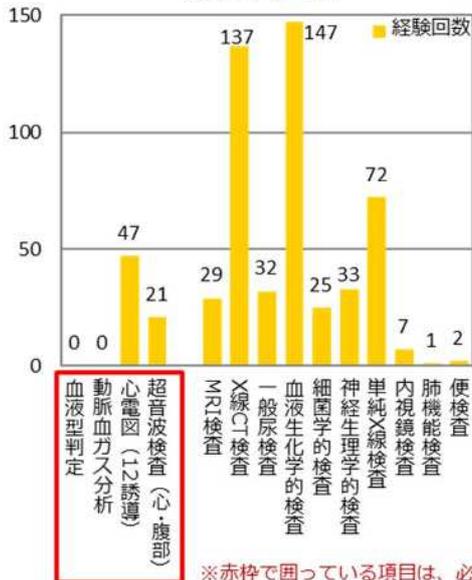
【経験すべき疾病・病態】



基本的手技



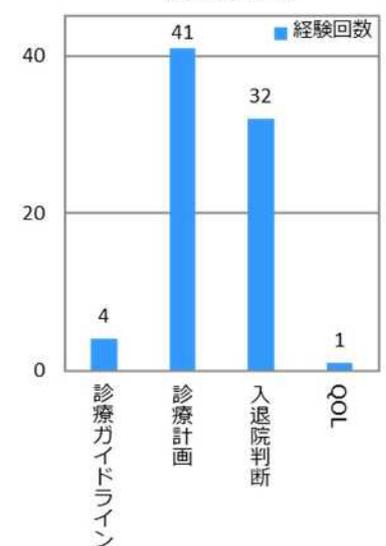
【検査手技】



【診療録】



【診療計画】

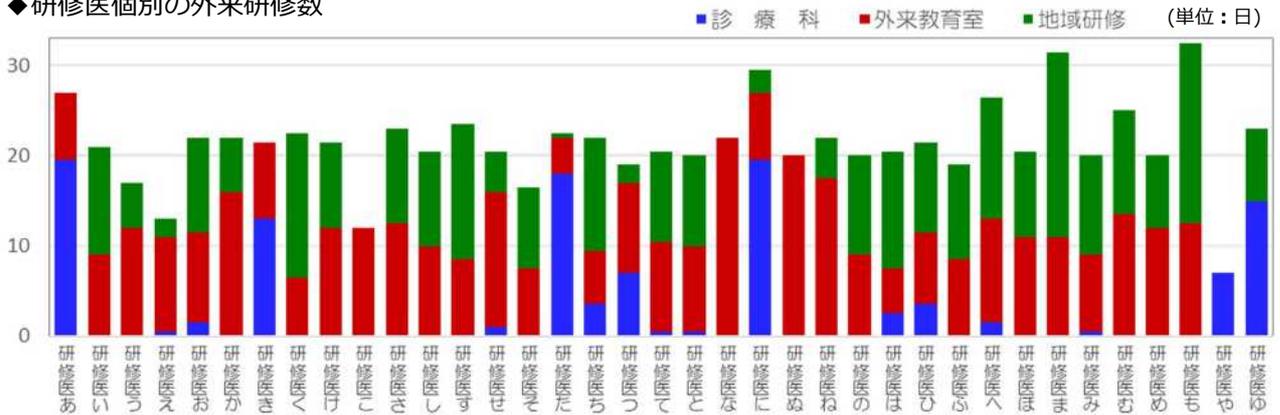


◆研修医が一般外来を経験した場所



※一般外来研修の47.5%が、長崎外来医療教育室によるものであった。

◆研修医個別の外来研修数



目標に掲げた『1年次のうちに外来研修最低20日!!』を、82.9%の研修医が達成した。

2023年長崎大学病院基幹型研修医の22名(100%)が、厚労省が示す初期臨床研修の到達目標をクリアして終了した。
2024年度の研修医は、目標のクリアに向けて2年目の研修中である。

目標5：協力病院における、通常外来及び救急外来の患者数の維持

目標6：協力病院の救急車受入台数の維持

結果5-1	協力病院における通常外来の患者数を維持する
結果5-2	協力病院における救急外来の患者数を維持する
結果6-1	協力病院における救急車受入台数を維持する

◆協力病院 一般外来・救急外来の患者数及び入院患者数の総計

		2023年度	2024年度	前年比※
外来	患者数	369,722	362,071	-2.1%
	うち入院数	9,334	9,322	-0.1%
救急外来	患者数	7,891	8,089	2.5%
	うち入院数	2,772	3,230	16.5%
	救急車受入台数	3,818	3,963	3.8%

単位：人 ※赤字は増、青字は減

目標7：医師不足による勤務医の疲弊防止

結果7-1	協力病院へ派遣回数
-------	-----------

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般外来	60	46	46	45	40	46	50	44	48	43	41	42	551回
救急外来	18	10	6	8	6	7	6	6	6	7	8	10	98回
合計	78	56	52	53	46	53	56	50	54	50	49	52	649回

目標8：外来及び救急外来勤務要員の確保

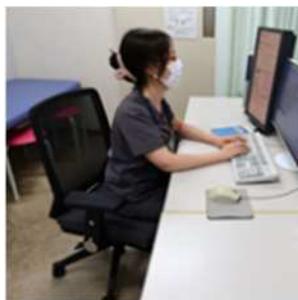
結果8-1-① 2024年度 外来・救急外来担当医一覧(4月～3月)

協力病院	担当業務	担当医	専門分野	資格
済生会長崎病院	木曜外来	A	医学教育 消化器内科学	厚生労働省認定 臨床研修指導医・臨床研修プログラム責任者 日本医学教育学会認定 医学教育専門家 日本内科学会 認定医 インフェクションコントロールドクター 日本消化器病学会 専門医 日本内視鏡学会 専門医 日本プライマリ・ケア学会 認定医
	救急外来 手術麻酔 (～6/1)	B	救急医学 麻酔科学 蘇生学	厚生労働省認定 臨床研修指導医 日本救急医学会 専門医・指導医 日本蘇生学会 指導医 日本麻酔科学会 認定医 JATECインストラクター、インストラクタートレーナー ICLSコースディレクター
	救急外来	C	救命・集中治療 栄 養 外 傷 災 害 医 療	厚生労働省認定 臨床研修指導医 日本救急医学会 救急科専門医 日本栄養治療学会 JSPEN認定医・NSTコーディネーター 日本病態栄養学会 病態栄養専門医 日本統括DMAT隊員、NBC・災害テロ研修修了 PC3コースインストラクター
	救急外来	D	麻酔科学 救急医学 災害医学	厚生労働省認定 臨床研修指導医 厚生労働省認定 麻酔科標榜医 日本麻酔科学会認定 専門医・指導医 日本救急医学会 救急科専門医・指導医 社会医学系専門医協会 社会医学系専門医・指導医 日本DMAT、統括DMAT、DMATインストラクター DAMインストラクター、BHELPインストラクター 国際緊急援助隊登録 長崎県災害医療コーディネーター
	救急外来	E	救急医学	—————
	火曜外来 (医師Eとの2名交代制)	F	内科一般 灼傷・膠原病	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 日本リウマチ学会専門医・指導医 臨床遺伝専門医
	水曜外来 (医師F・F2人の交代制)	G	消化管疾患	厚生労働省認定 臨床研修指導医 日本内科学会 総合内科専門医・指導医 日本消化器病学会 専門医 日本消化器内視鏡学会 専門医 日本肝臓学会 専門医 日本消化管学会 専門医 日本東洋医学会 専門医 日本ヘリコバクター学会 認定医
	木曜外来	H	内科一般 灼傷・膠原病	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 日本リウマチ学会 専門医・指導医・評議員・登録ソノグラファー 厚労省認定 臨床研修指導医
長崎記念病院	月曜外来・病棟,水曜外来	A	同上	同上
	救急外来、手術麻酔(～6/1)	B	同上	同上
	火曜外来	G	同上	同上
	木曜外来			※研修病院の医師による指導
	金曜外来			※研修病院の医師による指導
	不定期	C		同上

結果8-1-②

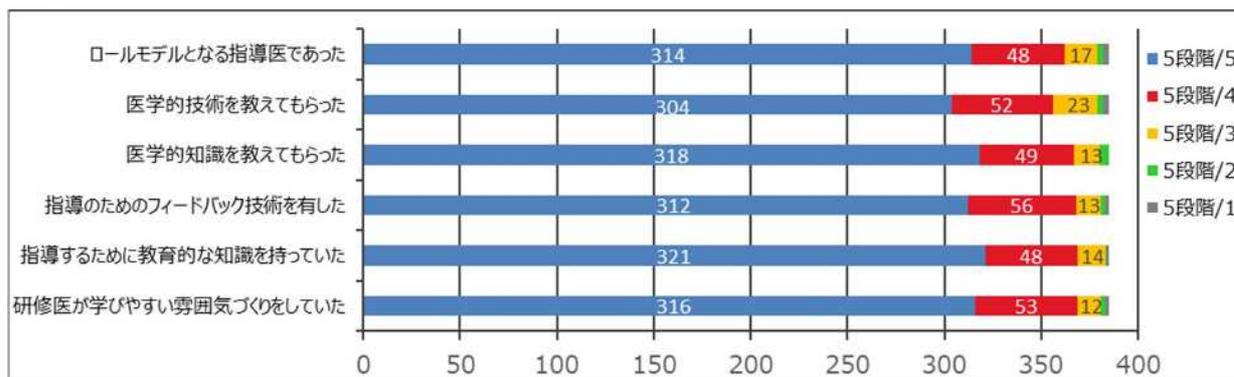
2023年度 外来・救急外来担当医一覧(4月～3月)

協力病院	担当業務	担当医	専門分野	資格
長崎県上五島病院	木曜新患外来 特殊外来(アレルギー・嚥下) 手術	I	耳鼻咽喉科一般 中耳免疫・鼓膜再生 鼻副鼻腔・アレルギー (舌下免疫・分子標的治療) 口腔咽頭 嚥下・気管食道 小児耳鼻咽喉科	厚生労働省認定 臨床研修指導医 厚生労働省認定 補聴器適合判定医 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会認定 耳鼻咽喉科専門医 日本気管食道科学会認定 気管食道科専門医 日本アレルギー学会認定 アレルギー専門医 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会認定 補聴器相談医 身体障害者福祉法第15条指定医 難病指定医 医療系大学間共用試験実施評価機構認定 OSCE外部評価者 医療系大学間共用試験実施評価機構認定 Post-cc OSCE外部評価者
長崎県島原病院	火曜外来	J	消化管疾患 炎症性腸疾患	日本内科学会 認定内科医・指導医 日本消化器病学会 消化器病専門医・指導医、九州支部評議員 日本消化器内視鏡学会 内視鏡専門医、九州支部評議員 日本消化管学会 胃腸科専門医・指導医 日本ヘリコバクター学会 H.pylori感染症認定医
柴田長庚堂病院	第1・3木曜外来	K	精神医学 医学教育	厚生労働省認定 臨床研修指導医 精神保健指定医 日本精神神経学会 専門医・指導医 日本プライマリ・ケア連合学会 認定医・指導医 日本総合病院精神医学会 精神科リエンソ専門医 日本医学教育学会 医学教育専門医 認知症サポート医 日本老年精神医学会 専門医・指導医 精神保健判定医 日本児童青年精神医学会 認定医 子どものこころ専門医 長崎県子ども心のサポート医
光晴会病院	月曜外来	L	腎臓内科 一般透析	厚生労働省認定 臨床研修指導医 日本内科学会 総合内科専門医 日本腎臓学会 腎臓内科専門医・指導医 日本透析医学会 透析専門医
	第2・4木曜外来	K	同上	同上
石坂脳神経外科	水曜外来	M	内科一般 リウマチ・膠原病	厚生労働省認定 臨床研修指導医 日本内科学会 認定内科医・指導医 日本内科学会 総合内科専門医 日本リウマチ学会 専門医・登録ソノグラファー 日本リウマチ学会 指導医



◆長崎外来医療教育室で研修をした研修医による指導医の評価結果

(実施期間：2024年4月～2025年3月 アンケート回答数385)



指導を受けた研修医からのアンケートコメント(抜粋)

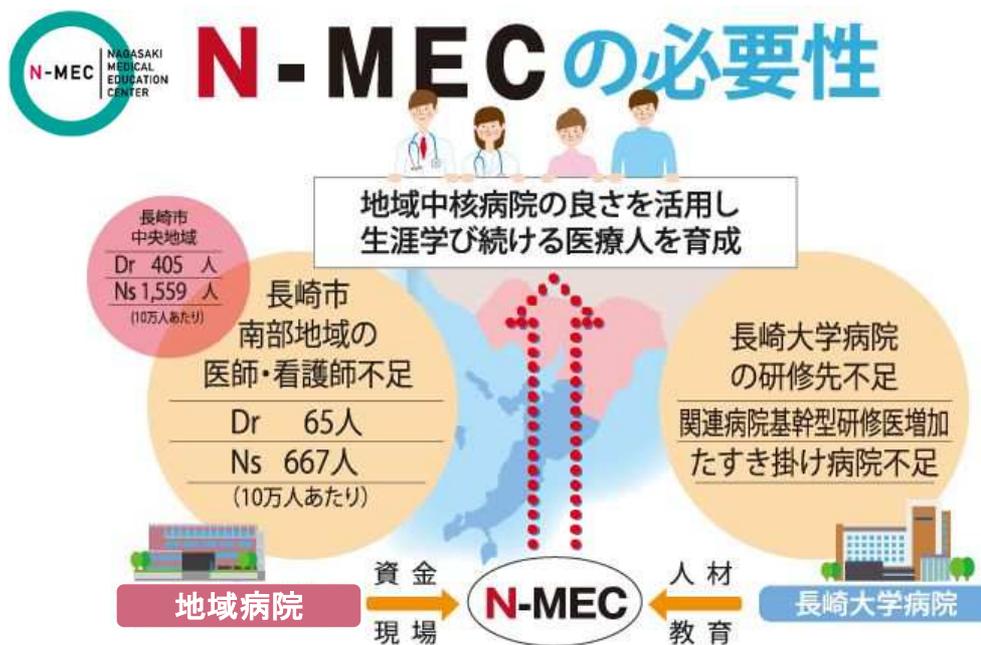
【最も良かった点・学んだ点】

- ・外来診察(主に再診)のときの姿勢や、患者さんと話すときの基本的な姿勢を学ぶことができた。
- ・common diseaseの診療ができて良かった。
- ・不安に思われている患者さんにの気持ちに寄り添えた。
- ・明らかにこれじゃないかという病名が浮かんでも、鑑別疾患を最低3つは考える癖をつけることを学んだ。
- ・片頭痛の若年女性を診た。典型的な症状、発症形式で勉強になった。
- ・認知症は、家族の協力が必要な病気なので、家族構成であったり、介護サービスの利用状況も把握すべきであることを学んだ。
- ・コロナ、インフル陰性の患者に対しての薬剤選択を学べた。
- ・物忘れの程度や抑うつ傾向がないかなど、認知症患者にて問診で把握すべきことについて学ぶことができた。また、認知症で使用する薬剤も学ぶことができた。
- ・長谷川式認知機能試験とMMSEの試験を実践して、どうい試験なのかを実際に学ぶことができた。
- ・外来は時間を意識すべきだということ。1人の患者当たり10分を目標にする。問診票の段階である程度アセスメントまで自分の中で組み立てる事を学んだ。
- ・一回の外来で全てを診断する必要はなく、緊急性の無さそうな方であれば悪くなったらまた来てもらうことで、何度も重ねて診断をつけることができる事を学んだ。
- ・膠原病を疑えばRF、抗CCP、抗核抗体、SS-A 安静時、寝る時起きた時の疼痛悪化は整形より膠原病領域の疾患を疑う。一般外来は患者の為に、医療スタッフの為に、スピード感が大事だということを学んだ。
- ・救急を捌くには、まだまだ勉強不足であった。
- ・IEの可能性がある場合は、迅速に心エコーを行い歯科治療歴を確認することを学んだ。
- ・輪番病院の雰囲気を知ることができた。
- ・生活指導をするときは具体的に、且その患者さんが達成できるような指導をすることの大事さを学んだ。
- ・診断基準を満たしていないリウマチ患者が3割程度いることを学んだ。
- ・虫垂炎や尿路結石といったcommonな疾患を診れてよかった。
- ・患者さんに笑顔や相槌を忘れず、話しやすい印象を持ってもらえるように意識し、緊張せずたくさんコミュニケーション取れたことが良かった。
- ・診察から他院搬送までの流れを、経験する事が出来た。
- ・重篤そうに見えない方でも、実際に検査してみると入院レベルであった。鑑別を広く持つ事を、大切にしようと思った。
- ・緊急性が高い症例を見極め、優先度が高い検査と治療を考えることが重要であることを学んだ。
- ・患者の目的・主訴によって、必要な診察が異なる事を学んだ。虫垂炎や尿路結石といったcommonな疾患を診れて良かった。
- ・外来研修で患者の診察を行うのは今回が初めてだった。患者への言葉遣いや話すスピードなど、患者への接し方を自分なりに実践する機会を得ることができた。
- ・アドレナリン筋注は、最強最速の抗アレルギー薬であるということ。挿管の手順のことについてと、静注の昇圧薬、降圧薬、徐脈・頻脈の治療薬について学んだ。
- ・慢性病床で実際にどのようなケアが行われているのか、どのような患者がいるのか学ぶことができた。
- ・気管カニューレの交換、褥瘡の処置、胃瘻の管理を学んだ。
- ・マイコプラズマ迅速検査を初めてしました。
- ・右側腹部痛を訴える患者の問診・身体診察を一人で行い検査・治療プランを立てることができた。
- ・感冒疑い、聴診で捻髪音を感じる患者がいたので、CTを撮るとやはり肺炎だった。自分の成長を感じた。
- ・妊娠女性への対応を学んだ。
- ・抗菌薬、抗アレルギー薬、抗めまい薬の使用について学んだ。
- ・めまいは原因不明であることが多いが、脳梗塞は必ず除外する事を学んだ。
- ・紹介状の返事などの作成をすることができた。
- ・胃癌オペ後の副作用で術先によっては、胆汁逆流がある為、六君子湯や腸管蠕動運動促進薬の処方を追加する必要があると学んだ。
- ・市中病院でよく見る症例を、経験できて良かった。
- ・体重減少が見られる際には甲状腺機能亢進症も考える必要だと学べる症例をみる事ができた。

8. 長崎医療人育成部門

(1). 長崎医療人育成室とは

長崎大学病院と社会医療法人 長崎記念病院が協力して2018年に始動した。
 長崎大学病院からは医師を派遣し、派遣先の病院で研修医教育や診療に従事し、
 協力病院からは派遣医師の人件費やN-MECの運営費用などを出資していただく。
 2019年からはみなとメディカルセンターと済生会長崎病院も協定を結び事業を拡大予定。



2024年度職員一覧

担当指導医

長崎記念病院	消化器	荒木 智徳	2019年6月～着任
済生会長崎病院			
長崎みなとメディカルセンター	歯科	野田 さわこ	2021年4月～着任

N-MECナース

なし

(2) N-MEC各支部目標

1) N-MEC長崎記念病院支部の目標

目標1：長崎記念病院にて、若人の集う病院づくり

1-1：長崎大学病院初期研修医の地域研修選択が延べ12ヶ月以上となることを目指す。

1-2：後期研修は、内科、病理が特別連携である。

外科と整形と形成は連携施設である。

後期研修を年間1～2名の獲得を目指す。

1-3：将来的に、長崎大学病院のたすきがけを申請を目指す。

1-4：長崎記念病院のN-MEC派遣の看護師数3人を目指す。

1-5：N-MECの医師が週に1度研修医の外来研修を実施することを目指す。

目標2：地域医療貢献

2-1：N-MECの医師が、ひとり、1日あたり10～20名前後の入院患者を持つことを目指す。

2-2：外来を週2回ほど行うことを目指す。

2-3：看護師が病棟や外来業務を行う

2-4：地域貢献の為にN-MEC主催の教育講演会の開催を目指す。

目標3：長崎記念病院の活性化

3-1：大学教官が長崎記念病院にて教育ワークショップを行うことを目指す。

3-2：多職種連携教育セミナーなどを行うことを目指す。

3-3：臨床及び教育研究や学会発表を行うことを目指す。

2) N-MEC済生会長崎病院支部の目標

目標1：済生会長崎病院にて、若人の集う病院づくり

1-1：長大初期研修医の選択研修が延べ6ヶ月以上となることを目指す。

（例）1ヶ月×6名、2ヶ月×3名

1-2：長崎大学病院のたすきがけ病院として4～5名の研修医を済生会長崎病院で受け入れる。

1-3：後期研修は、将来的に耳鼻咽喉科の専門研修プログラムの連携施設になる。

耳鼻咽喉科の後期研修を年間1～2名の獲得を目指す。

目標2：地域医療貢献

2-1：外来を週2～3回行う。

2-2：開業医からの紹介患者を年間100名以上目指す。

2-3：N-MECの医師が、ひとり4～5名前後の入院患者を持つことを目指す。

2-4：耳鼻咽喉科領域の手術を年間100件以上目指す。

2-5：地域貢献の為にN-MEC主催の教育講演会の開催を目指す。

目標3：済生会長崎病院の活性化

3-1：済生会長崎病院にて研修医向けの教育セミナーを行うことを目指す。

3-2：多職種連携教育セミナーなどを行うことを目指す。

3-3：臨床及び教育研究や学会発表を行うことを目指す。

3) N-MEC長崎みなとメディカルセンター支部の目標

1. 研修歯科医における教育

- ① 歯科介入にあたり必要な全身疾患、投与薬剤、検査結果についての知識を修得する
- ② 病院内における歯科の役割や重要性について理解する
- ③ 病診連携の重要性を理解する
- ④ チーム医療の重要性について理解する
- ⑤ 病棟往診による口腔管理に参加する
- ⑥ NSTカンファレンスへ参加する
- ⑦ 緩和ケアカンファレンスへ参加する
- ⑧ 糖尿病チームカンファレンスへ参加する
- ⑨ 歯科衛生士と情報交換を行いながら治療を行う
- ⑩ 医科の治療を考慮した歯科治療計画を立案する
- ⑪ 歯科治療を実践する（義歯調整、義歯床内面適合法、マウスガード作製等）

2. 医療への貢献

	項目	目標
①	新患者数	1,000人/年
	① 周術期等口腔機能管理の対象患者	800人/年
	② がん等に係る手術を実施する患者	650人/年
	③ がん等に係る放射線治療若しくは化学療法を実施又は予定している患者	150人/年
	④ 入院中に口腔内トラブルが生じ、応急処置が必要な患者	200人/年
②	入院中の歯科的トラブルに早期に対応することにより、患者さんのQOLを向上させる	① - ④の患者数（200人/年）
③	チーム医療への参加により、スタッフの知識を向上させ、多職種連携を強化する	摂食嚥下、NST、緩和ケア、糖尿病のチーム医療に参加し活動する（継続）
④	みなとメディカルセンターのスタッフを対象にセミナーやワークショップを行う	3回/年 開催時にアンケート実施
⑤	地域の歯科診療所との連携を強化し、地域医療に貢献する	逆紹介患者数（診療情報提供料算定件数）100人/年

(3). N-MEC医科部門活動報告

1) 長崎記念病院

目標1：長崎記念病院にて、若人の集う病院づくり

1-1：長大初期研修医の地域研修選択が延べ12ヶ月以上となることを目指す。

2024年度 長崎記念病院研修医一覧

	年次	4/10~ 5/12	5/13~ 6/9	6/10~ 7/7	7/8~ 8/4	8/5~ 9/1	9/2~ 9/29	9/30~ 10/27	10/28~ 11/24	11/25~ 12/22	12/23~ 1/26	1/27~ 2/23	2/24~ 3/31	合計
1	1				小児							内科		2
2	1							小児						1
3	1						小児							1
4	1					小児								1
5	1								内科			小児		2
6	1			小児										1
7	1						内科	小児			内科			3
8	1			内科										1
合計		0	0	2	1	1	2	1	2	0	1	2	0	12

合計(月)	地域	0	内科	5	小児科	7	外科	0
-------	----	---	----	---	-----	---	----	---

年度別研修医一覧

	延べ人数	地域	内科	外科	小児科	救急	延べ月数	研修医数
平成30年度	12	13			1	3	17	48
平成31年度	19	14	3	3	1	3	24	37
令和2年度	22	17	1	2	6		26	41
令和3年度	16	3	5	1	7		16	33
令和4年度	14	4	5	3	8		20	31
令和5年度	13	1	13		9		23	22
令和6年度	8		5		7		12	37

1-1-A 研修医に学習支援金を支給

図書購入一覧

	研修医数	冊数	金額
平成30年度	12	119	568,775
平成31年度	19	168	939,780
令和2年度	22	207	1,084,825
令和3年度	13	129	641,625
令和4年度	14	153	684,268
令和5年度	9	125	619,433
令和6年度	8	187	383,716

1-1-B 学生・研修医に対するの宣伝活動

- ・ 医学部6年生（マッチ者）へのパンフレット配布
- ・ 4月オリエンテーション時にN-MEC説明会を開催
- ・ 医療教育開発センターSNSにて研修風景など活動内容の発信



1-2：後期研修は、内科、病理が特別連携である。外科と整形と形成は連携施設である。
後期研修を年間1～2名の獲得を目指す。

令和4年度以降は、該当者なし

1-3：将来的に長崎大学病院のたすきがけ申請を目指す。

令和3年度からのたすきがけ病院加入が決定。令和4年より受入れ開始。
たすきがけガイドブックに病院案内を掲載済み。
令和2年3月30日厚生労働省より臨床研修病院に指定された。
令和6年度のたすきがけ研修医はなし。

1-4：長崎記念病院のN-MEC派遣の看護師数3人を目指す。

➤ 令和6年度 N-MECナース 0名

公募の結果、令和5年に2名が病院見学会希望し視察したが、派遣にはつながらなかった。

➤ N-MEC・アイランドナース活動報告会

令和6年度派遣N-MECナースによる報告会を開催

企画：看護部執行部

日時：令和6年7月18日(木) 17:30～18:30

場所：第一会議室（長崎大学病院内）

参加者：長崎大学病院 看護師

内容：1. アイランドナース報告（五島中央病院）

①野平 佳緒里（8階西病棟）

②才木 知恵（13階東病棟）

2. 事業概要

①貞方三枝子（長崎県病院企業団 看護管理監）

②池田千春（長崎記念病院 看護部長）

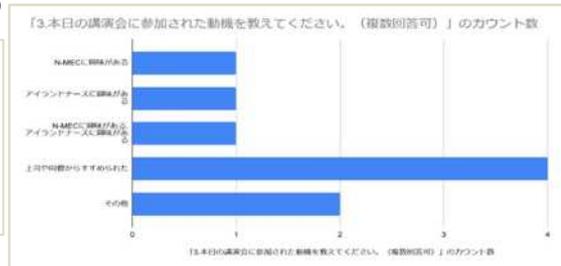
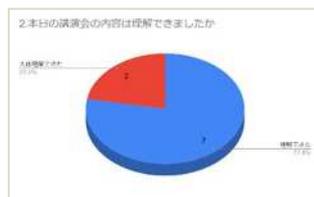
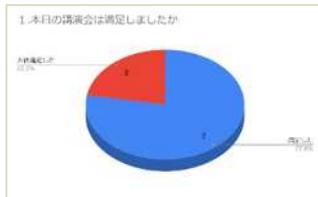
3. 令和7年度募集

齊藤美保（人事担当副看護部長）



総評：参加者：16名（看護師長7名、副看護師長6名、看護師3名）

アンケート回答9名（フォーム7名、紙回答2名）



今回は、事前参加申し込みが5名であったため、看護部管理室で前日に軽食を準備する企画に変更した。結果参加者は16名だった。看護職員への周知不足が考えられる為、次年度は周知方法等を工夫する。タイトルも「報告会」になっているので事業概要や次年度の募集の説明を行うことがわかるような題名に変更することが望ましいと思われた。

➤ N-MECナース病院見学会の開催

令和6年度N-MEC看護師派遣に向けて見学会を開催。

日時：令和6年11月18日(月) 14:00～16:00

場所：長崎記念病院

参加者：長崎大学病院 看護部2名（齊藤副看護部長、候補者1名）

長崎記念病院 看護部（池田看護部長、畑地副看護部長、田中副看護部長）

小出病院長

内容：長崎記念病院看護部 概要説明、院内見学、意見・情報交換会

総評：出向中の看護師がいなかったため、N-MECの見学者1名と両病院の看護部長、副看護部長の5名で意見交換を行った。最終的な出向には至らなかった。

目標 2 : 地域医療貢献

2-1 : N-MECの医師が、ひとり1日あたり10~20名前後の入院患者を持つことを目指す。

小出先生 入院患者担当数 (令和5年8月まで)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度													
令和5年度	6	6	6	6	5	3	10	11	9	8	5	9	84

今村先生 入院患者担当数 (令和6年3月まで)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度													
令和5年度	6	6	6	7	14	8	4	5	9	6	6	7	84

荒木先生 入院患者 (新規) 担当数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	5	9	7	11	7	13	13	11	5	8	7	9	105
令和5年度	10	2	3	2	5	8	6	7	6	8	12	9	78

三浦先生 入院患者担当数 (令和5年10月まで)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度													
令和5年度	0	0	0	0	0	0	0	3	1	3	2	3	12

2-2 : 外来を週2回ほど行うことを目指す。

小出先生 外来担当数 (外来担当日 : 水曜 午前、木曜 午前、土曜 午前) (令和5年8月まで)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度													
令和5年度	197	239	179	218	246	266	254	311	308	277	314	269	3,078

今村先生 外来担当数 (外来担当日 : 水曜 午前、木曜 午前、土曜 午前) (令和6年3月まで)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度													
令和5年度	106	104	121	110	165	121	95	76	129	107	100	129	1,363

荒木先生 外来担当数 (外来担当日 : 木曜 午前、土曜 午前)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	55	69	57	78	72	65	69	51	75	65	58	61	775
令和5年度	76	60	70	66	60	54	52	70	47	63	69	59	746

三浦先生 外来担当数確認 (外来担当日 : 月曜 午後) (令和5年10月まで)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度													
令和5年度	8	1	11	10	9	6	0	18	26	23	25	40	177

荒木先生 内視鏡検査数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和6年度	68	69	72	76	64	65	75	71	75	73	65	79	852
令和5年度	64	61	64	69	60	67	55	72	57	57	70	71	767

2-3 : 看護師が病棟や外来業務を行う

出向者がいなかったため、実施はなかった。

目標 3 : 長崎記念病院の活性化

3-1 : 大学教官が長崎記念病院にて教育ワークショップを行うことを目指す。

3-2 : 多職種連携教育セミナーなどを行うことを目指す。

3-3 : 臨床及び教育研究や学会発表を行うことを目指す。

ワークショップ等の実施はなかった。

2) 済生会長崎病院

目標1：済生会長崎病院にて、若人の集う病院づくり

1-1：長大初期研修医の選択研修が延べ6ヶ月以上となることを目指す。

年度 年次	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		合計
	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	
人数	6	3	4	2	1	0	1	1	0	0	0	0	18

備考：2020年度より地域医療研修先に指定できなくなった為、外科ローテートとして研修を実施

1-2：長崎大学病院のたすきがけ病院として4～5名の研修医を済生会長崎病院で受け入れる。

年度	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	合計
人数	4	4	3	3	3	3	14

(備考) トライアングルコースも含む

1-3：後期研修は、将来的に耳鼻咽喉科の専門研修プログラムの連携施設になる。
耳鼻咽喉科の後期研修を年間1～2名の獲得を目指す。

2021年4月より長崎耳鼻咽喉科・頭頸部外科専門研修プログラムの連携施設。

その他

・特記事項なし

目標 2 : 地域医療貢献

2-1 : 外来を週 2 ~ 3 回行う。

2-2 : 開業医からの紹介患者を年間100名以上目指す。

2-3 : N-MECの医師が、ひとり 4 ~ 5 名前後の入院患者を持つことを目指す。

2-4 : 耳鼻咽喉科領域の手術を年間100件以上目指す。

2-5 : 地域貢献の為にN-MEC主催の教育講演会の開催を目指す。

担当指導医がいなかったため、実施はなかった。

目標 3 : 済生会長崎病院の活性化

3-1 : 済生会長崎病院にて研修医向けの教育セミナーを行うことを目指す。

3-2 : 多職種連携セミナーなどを行うことを目指す。

3-3 : 臨床及び教育研究や学会発表を行うことを目指す。

担当指導医がいなかったため、実施はなかった。

B. 研修歯科医の研修内容

- ① 地域医療支援病院における歯科の役割・特徴
- ② カルテの読み方（全身疾患・投与薬剤・検査結果の理解）
- ③ 周術期等口腔機能管理の重要性
- ④ 他職種との連携
- ⑤ 病棟往診への参加
- ⑥ チーム医療（NST、緩和ケアカンファレンス、糖尿病チームカンファレンス）への参加
- ⑦ 歯科診療
 - ・問診
 - ・歯式
 - ・口腔ケア、歯石除去
 - ・印象採得
 - ・デンタルX線撮影
 - ・周術期等口腔機能管理についての説明および同意取得
 - ・治療計画の立案
 - ・義歯調整、義歯修理
 - ・マウスガードの作製

C. 研修についてのアンケート結果

対象：研修歯科医 25名中24名（回答率96%）

問1. 研修日数（25名分の実績より）

群方式臨床研修の研修歯科医（3人）5日

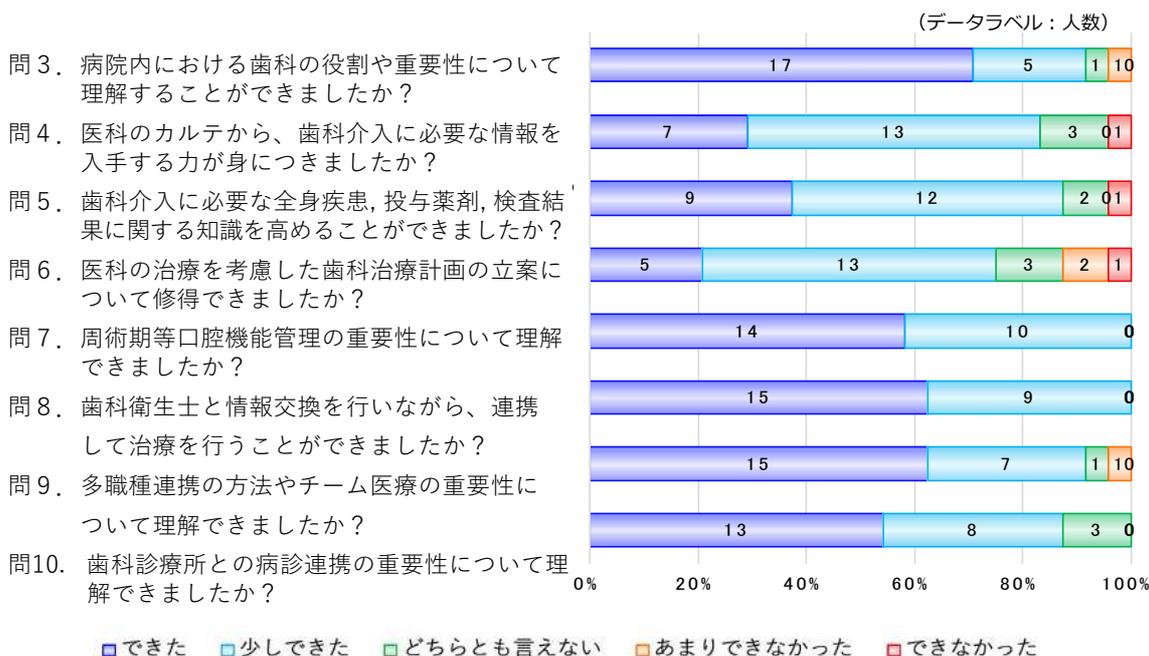
単独型臨床研修の研修歯科医（22人）8日：2人 9日：12人 10日：8人 平均9.3日

問2. チーム医療への参加回数

・NSTカンファレンス：平均2.0回（1回：7人 2回：11人 3回：5人 5回：1人）

・緩和ケアカンファレンス：平均1.9回（1回：8人 2回：10人 3回：6人）

・糖尿病チームカンファレンス：途中から目標へ追加のため、次年度から評価項目へ追加



問11. 研修をより充実させるためには、どのような研修内容が望ましいと思いますか？
まとまった連続した日数で研修を行なう
全身疾患への理解・知識に関する研修
カンファ等は勉強になった
各カンファを理解するために必要な基礎知識に関する研修
研修開始前にどんなことをするのかを知っておく。様々なカンファレンスに研修医が参加する意義を説明しておく
簡単な処置を研修医が行なう(歯磨き以外の義歯調整やCRなど)
口腔ケアでもいいので、もう少し実際に手を動かす機会がほしい
1階はやる事が無すぎたため、病棟周りを最優先した方がいい
正規のスタッフの邪魔になっていると感じたので、研修自体が無くて良いと感じた
NSTカンファレンスについての講義を長大でリハ科の先生にさせていただき、とても勉強になった

問12. この研修に対する意見や感想など、自由に記載してください。
医科との連携について学べてよかった
みなとメディカルセンターでの研修を通して周術期の歯科介入や医科との連携の重要性を学んだ。医科しかない病院でも歯科に求められる仕事は意外とたくさんあることを感じた
カンファに参加することでチーム医療の大切さが分かった
カンファレンスに実際に参加できたのはいい経験になった(特に緩和ケアカンファレンス)
緩和やNSTのカンファは正直なくてもよいと思うような、よくわからない内容ではあったが、他職種連携の大切さは学べた。加算のために参加しているのであれば4月の時点でそのような栄養の講義などもしてほしかった
口腔ケアが患者の栄養状態に大きな影響を与えることを実感することができた
口腔ケアの重要性を学べた
術後の患者さんなどは特に口腔ケアが行き届いていない方もいたので、歯科の介入の重要性を再認識できた
大学病院とは異なる環境で、周術期の口腔管理を学ぶことができ、充実した時間だった
歯科衛生士の役割の大切さに気づくことができた
歯科衛生士の病棟での口腔ケアからはすごく学ぶことが多かった。いつも疑問に答えていただけてありがたかった
自分たちが普段診ている患者さんとみなとで診る患者さんの違いを知ることができた
周術期歯科の保険算定や必要書類について勉強して行けば良かったと思った
市中病院を研修先として考えた時期もあったのでいい経験をさせてもらえたと感じている
日が空いて業務内容を忘れていても教えてくださってありがたかった
野田先生が積極的にコミュニケーションを図っていただけたので質問しやすく、研修しやすい環境で良かった
NSTでのラウンドは必要なか疑問に思うことがあった
カンファレンスへの参加が苦痛だった
歯磨きだけさせられる研修でとても苦痛だった
早く行ってもやる事ないので8時30分出勤で良いと思った
場所が少し遠かった
研修日に代診無しで有給を使いたかった

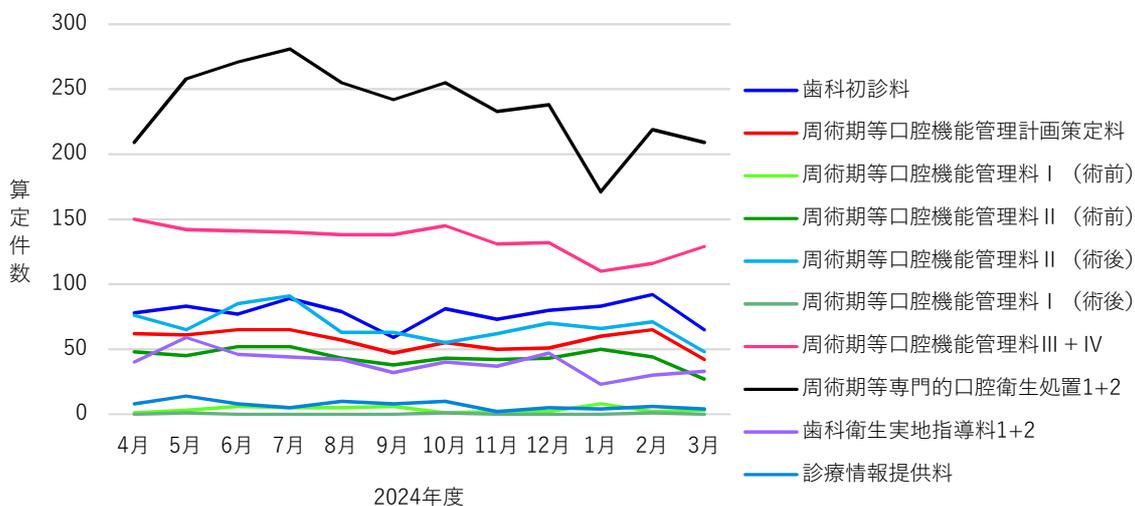
2. 長崎みなとメディカルセンターにおける医療への貢献

	2024年度 目標		2024年度 実績			参考
	年間(人)	月(人)	年間(人)	月(人)	達成率	2023年度 達成率
① 介入患者数（新患）	1,000	83.3	939	78.3	93.9%	98.5%
② 周術期等口腔機能管理対象患者	800	66.7	680	56.7	85.0%	97.6%
① 全身麻酔手術	650	54.2	566	47.2	87.1%	97.5%
② 化学療法・放射線治療（手術無）	150	12.5	114	9.5	76.0%	98.0%
③ 入院中の口腔内トラブル	200	16.7	259	21.6	129.5%	100.5%
④ 患者さんのQOL向上 → ①-③	200	16.7	259	21.6	129.5%	100.5%
⑤ チーム医療への参加	—	—	—	—	達成	達成
⑥ セミナーやワークショップの開催	3回	—	4回	—	達成	未達成
⑦ 地域医療への貢献（逆紹介患者数）	100	8.3	84	7.0	84.0%	70.8%

※参考 新入院患者数：2023年度 8,635人、2024年度 9,722人

【主要項目の月別算定件数および患者数】

算定項目	点数	2024年度												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
① 歯科初診料	267	78	83	77	89	79	59	81	73	80	83	92	65	939
歯科再診料	58	297	317	345	348	299	297	313	294	306	254	255	291	3616
周術期等口腔機能管理計画策定料	300	62	61	65	65	57	47	55	50	51	60	65	42	680
周術期等口腔機能管理料Ⅰ（術前）	280	1	3	6	5	5	6	1	2	2	8	2	3	44
周術期等口腔機能管理料Ⅱ（術前）	500	48	45	52	52	43	38	43	42	43	50	44	27	527
周術期等口腔機能管理料Ⅱ（術後）	300	76	65	85	91	63	63	55	62	70	66	71	48	815
周術期等口腔機能管理料Ⅰ（術後）	190	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3
周術期等口腔機能管理料Ⅲ+Ⅳ	200/200	150	142	141	140	138	138	145	131	132	110	116	129	1612
周術期等専門的口腔衛生処置1+2	100/110	209	258	271	281	255	242	255	233	238	171	219	209	2841
歯科衛生実地指導料1+2	80/100	40	59	46	44	42	32	40	37	47	23	30	33	473
⑤ 診療情報提供料	250	8	14	8	5	10	8	10	2	5	4	6	4	84
② 周術期等以外の新患数		16	22	12	24	22	12	26	23	29	23	27	23	259
実患者数		241	246	248	255	237	225	236	230	392	209	222	212	2,953
診療日数		21	21	20	22	21	19	22	20	20	19	18	20	243
1日平均患者数		17.9	19.0	21.1	19.9	18.0	18.7	17.9	18.4	19.3	17.7	19.3	17.8	18.7



③ チーム医療への参加

チーム名	カンファレンス、ラウンド開催日時	内容
VAP	月曜 14:00～	カンファレンス前に介入対象患者の口腔評価およびカルテ参照 カンファレンス・小勉強会に参加（研修歯科医・歯科衛生士）
摂食嚥下チーム	火曜 14:30～	カンファレンス前に介入対象患者の口腔評価および医科カルテ記載 評価に基づき指導、必要に応じて歯科受診手配・口腔ケア
NSTチーム	火曜 15:00～16:30	カンファレンス前に介入対象患者の口腔評価および医科カルテ記載
		評価に基づき指導、必要に応じて歯科受診手配・口腔ケア
		カンファレンス、ラウンド参加（研修歯科医、歯科衛生士）
		委員会参加（歯科衛生士）
緩和ケアチーム	火曜 15:00～（委員会） 第2水曜 16:00～	カンファレンス前に介入対象患者の口腔評価および医科カルテ記載
		評価に基づき指導、必要に応じて歯科受診手配・口腔ケア
		カンファレンスに参加（研修歯科医、歯科衛生士）
		委員会で歯科介入状況報告（歯科医師）
糖尿病チーム	金曜 14:30～16:00	カンファレンス前に介入対象患者の口腔評価および医科カルテ記載
		カンファレンス・小勉強会に参加（研修歯科医・歯科衛生士）
		歯科保健指導結果報告書にて医師へ情報提供の依頼
		歯科診療所宛口腔内情報などの文書作成（医師の情報提供書に同封）
その他	開催日時	内容
糖尿病教室	金曜 14:30～15:00	講話（テキスト有）、お口のチェック表記入など
		退院前指導：水曜 9:00～9:15（概ね）
		お口のチェック表配布、歯科診療所宛情報提供書の作成

④ セミナーやワークショップの開催

月/日	時間	研修会名	内容	講師
2024 4/3	10:00 ～11:00	令和6年度 新人看護職員研修会	口腔ケアの目的・意義、口腔ケアに必要な物品、基本的な口腔ケアの方法や義歯の取り扱いなど。安全に口腔ケアを実施するための方法についての講義と実習	竹田由香里
2024 9/11	10:00 ～11:00	糖尿病罹患の入院 患者対象研修会	糖尿病と歯周病	竹田由香里
2024 11/6	17:30 ～18:30	地域がん診療連携 拠点病院研修会	がんと口腔ケア	竹田由香里 中村理沙
2025 1/20	17:30 ～18:30	集中治療部看護師 対象研修会	人工呼吸器管理の口腔ケアについて	野田さわこ 戸崎 優

9. シミュレーションセンター一部門

(1) 部門長 挨拶

2024年4月から前任の高山隼人先生の後任を務めさせていただいています。シミュレーションセンターは、専任看護師の中山さんと専任事務の花田さんとともに運営を行っています。

シミュレーション教育は安全な医療やケアを提供するために重要視されています。当センターの利用者は、医学生や研修医のみではなく、医師、看護師、他の医療職、更には事務職です。

基本トレーニングから専門トレーニング、人工呼吸器を使った高機能シミュレータなど取り揃えています。みなさんが、いつでもシミュレータを利用いただけるように、メンテナンスや更新を行っています。

利用には申込が必要ですが、空室があれば当日でも受け付けを行っていますので、積極的にご利用ください。

2024年度の目標

- ・利用者数をコロナ禍以前に戻し増大させる。

2024年度の結果

- ・コロナ禍前の2019年度を超えて利用者数が過去最高となった。(2023年度:8187人、2024年度:8899人)

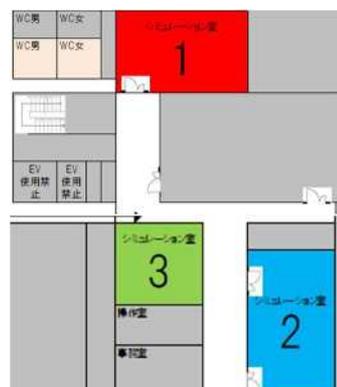
今後は、医学生の医行為実践の拡充に寄与できるように先端医育センター、医学部学務課とともに基本的臨床手技の練習環境を整えてまいります。また、病院においては、BLSの受講対象者拡大を進めていきます。さらに、県内の医療人育成のためにICLSコースを公募形式として広く参加者を募る体制を整えてまいります。

医療教育開発センター
シミュレーションセンター部門
部門長 石本 裕士

(2) シミュレーションセンター概要

シミュレーションセンター及び多目的研修室は、長崎県の医療人材育成のため、離島を含むより広い範囲からの実習の受け入れを可能とし、多くの医療従事者や学生がより良い環境の中で学習できるよう、長崎県地域医療再生臨時特例基金 医療教育開発センター構築事業にて設立された。

より多くのシミュレーション実習をする事が出来るように3部屋のうち2部屋をパーティションで区切ることができ、計5部屋での実習が可能となった。



■仕様

シミュレーション室1
収容人数: 約24名
広さ: 91㎡
パーティション: 可能



講習会の風景



パーティションで分けた場合の実習



シミュレーション室2
収容人数: 約36名
広さ: 91㎡
パーティション: 可能



BLS講習会での風景



パーティションで分けた場合の実習



シミュレーション室3
収容人数: 約15名
広さ: 38㎡
パーティション: 無し
仕様: 病棟仕様
(ガス・吸引有)



医学部生の救命実習の様子

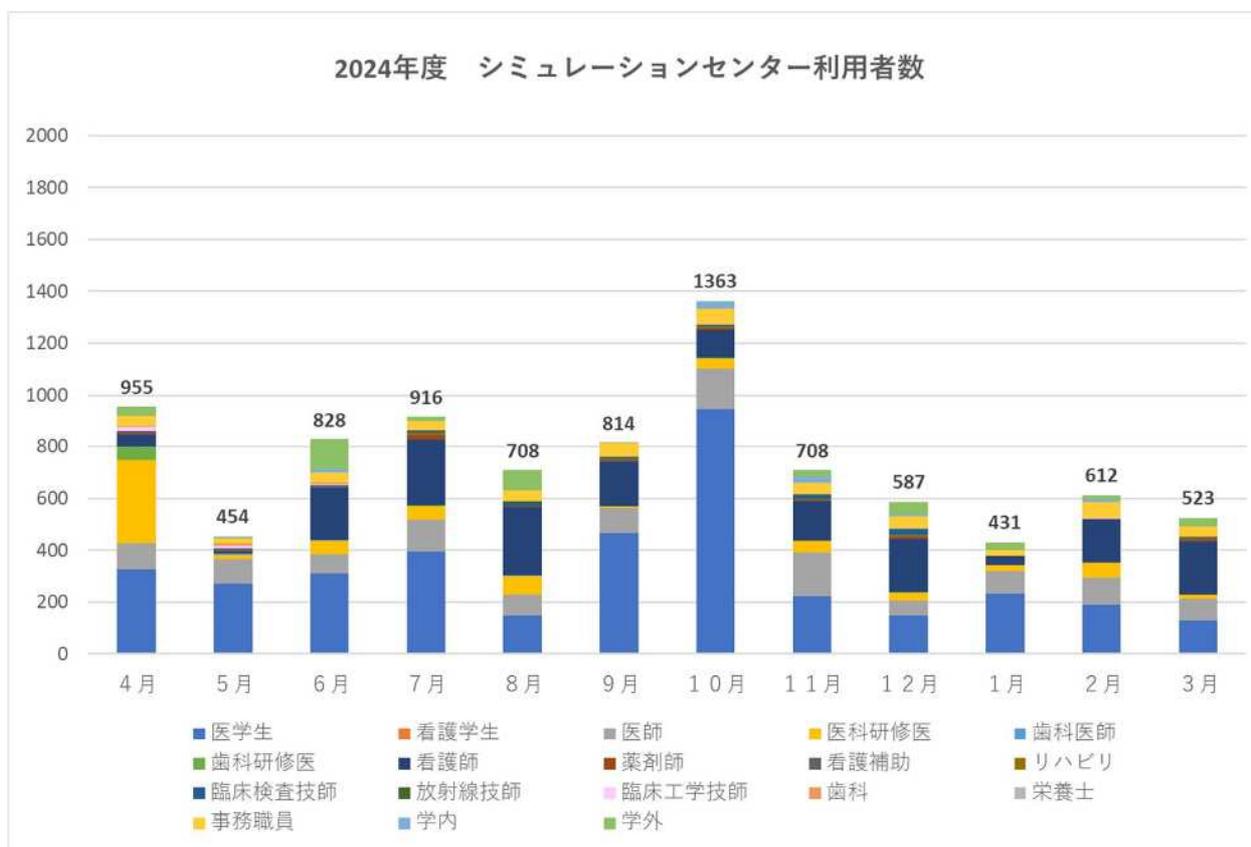


モニター室の様子

(3) 利用者数・職種別利用者数

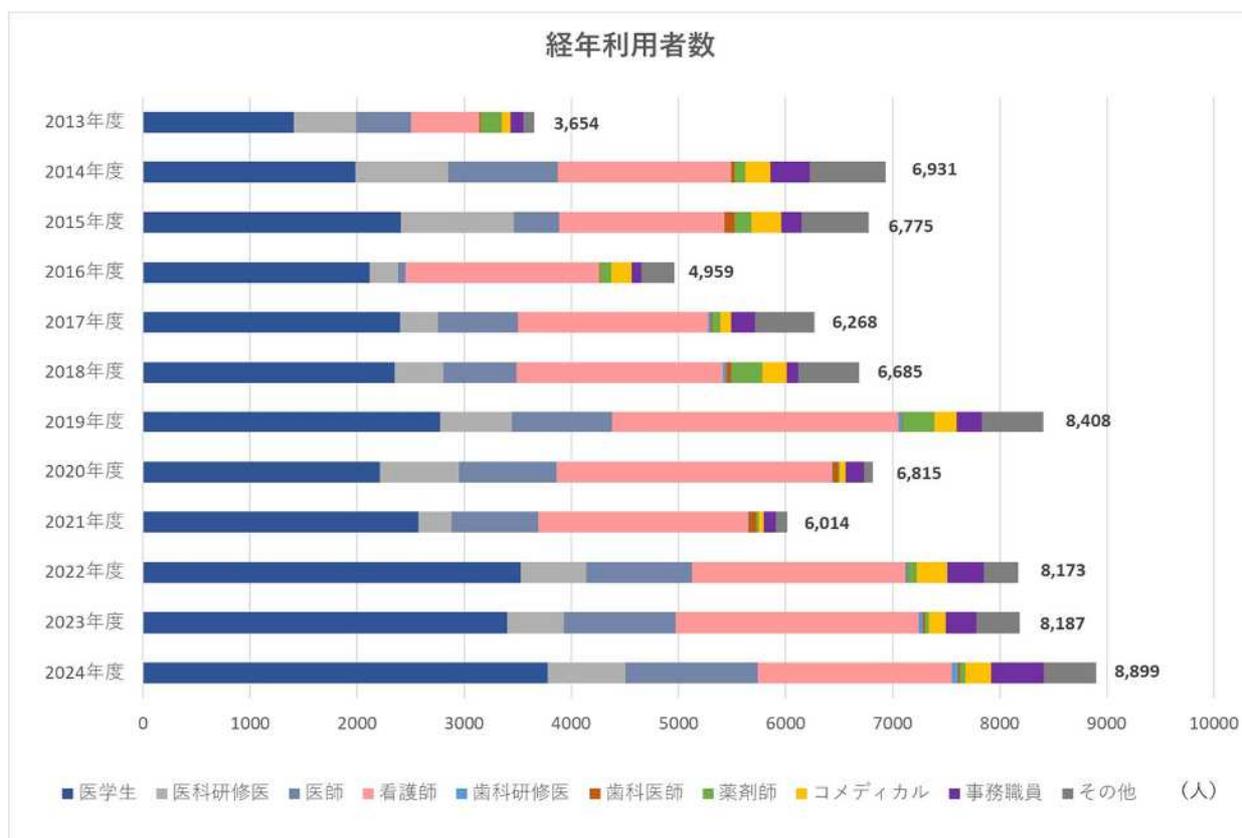
①シミュレーションセンター 2024年度 利用者一覧表

2024年度	医学生	看護学生	医師	医科研修医	歯科医師	歯科研修医	看護師	薬剤師	コメディカル	事務職員	学内者	学外者	合計
4月	327	0	99	321	2	50	47	5	31	38	2	33	955
5月	270	0	94	16	6	0	7	5	27	22	2	5	454
6月	310	0	73	52	3	2	200	2	17	42	10	117	828
7月	394	0	124	52	1	1	255	14	27	33	0	15	916
8月	147	0	80	74	1	1	262	3	22	40	1	77	708
9月	466	0	98	7	0	0	172	3	16	51	0	1	814
10月	945	0	159	36	2	2	108	6	16	60	24	5	1363
11月	222	0	168	46	0	0	153	4	26	40	25	24	708
12月	146	0	61	28	1	1	206	6	35	47	7	49	587
1月	231	0	87	24	1	0	34	0	2	22	0	30	431
2月	190	0	102	59	0	0	168	0	5	63	10	15	612
3月	129	0	16	129	0	0	203	7	15	37	0	32	523
合計	3777	0	1229	731	17	57	1815	55	239	495	81	403	8899



②シミュレーションセンター 経年利用者数

	医学生	医科研修医	医師	看護師	歯科研修医	歯科医師	薬剤師	コメディカル	事務職員	その他	合計
2013年度	1,412	580	509	642	—	8	200	83	118	102	3,654
2014年度	1,982	866	1,025	1,619	—	30	100	235	366	708	6,931
2015年度	2,409	1,056	420	1,544	—	92	162	276	188	628	6,775
2016年度	2,120	260	72	1,805	0	10	109	190	85	308	4,959
2017年度	2,403	350	750	1,774	24	16	75	98	225	553	6,268
2018年度	2,348	458	684	1,925	31	49	287	228	108	567	6,685
2019年度	2,772	671	935	2,673	32	10	295	212	233	575	8,408
2020年度	2,214	738	908	2,577	2	51	14	58	171	82	6,815
2021年度	2,575	304	815	1,954	8	70	23	45	115	105	6,014
2022年度	3,526	616	986	1,988	22	7	76	285	342	325	8,173
2023年度	3,398	531	1,047	2,265	43	17	37	159	282	408	8,187
2024年度	3,777	731	1,229	1,815	57	17	55	239	495	484	8,899



(4) 教育プログラム

医療の質を向上させるために、シミュレータを使用した研修等を院内職員および県内医療者に対して実施している。

①シミュレーションセンターを使用した研修等

プログラムコース	対象者	開催回数	受講者数
長崎大学病院ICLSコース	県内研修医	4	37
ICLS指導者養成ワークショップ	県内医療職	1	9
長崎大学病院看護師対象ICLSコース	院内医療職	2	23
日本母体救命システム普及協議会J-MELS	県内医療職	2	36
日本内科学会JMECC	内科専攻医・内科医	3	36
虹ヶ丘病院ICLSコース	虹ヶ丘病院医療職	2	12

専任看護師主催 研修プログラム	対象者	開催回数	受講者数
採血研修	院内臨床検査技師(1年目)	1	5
呼吸音聴診研修	院内看護師(1-2年目)	1	10
吸引研修	院内看護師	1	10
気管内挿管介助研修	院内看護師	1	8
病棟別BLS研修	院内看護師	2	4
病棟別急変対応シミュレーション研修	院内看護師	4	46
シミュレーション教育指導者養成研修	院内看護師	1	6
ハイブリッドERシミュレーション研修	院内医療職	1	30

シミュレーションセンター主催 勉強会	対象者	開催回数	受講者数
急変対応スキルアップ勉強会	県内医療職、院内研修医、医学生	5	17

セミナー及び講習会等	対象者	開催回数	受講者数
研修医・看護師合同災害研修	院内医療職	2	113
新・鳴滝塾 合同オリエンテーション	県内研修医	1	110
職員BLS研修	院内一般職員	72	368
第15回キッズセミナー	小学6年生	1	31

②専任看護師が関わった研修等(外部開催)

内容	対象者	開催回数	受講者数
対馬ICLSコース	対馬市内医療職	1	10
長崎県看護キャリア支援センター 「看護スキルアップ研修 採血静脈注射筋肉注射」	県内看護職	2	32
医療的ケアが必要な在宅小児等に対する支援事業研修会 「小児のフィジカルアセスメント、緊急時の対応、心肺蘇生」	県内看護師、保健師、養護教諭	1	84
県民公開講座「みて、きいて、健康チェック！脳卒中と心臓病」 BLSブース	長崎県民	1	90
長崎大学教育学部附属中学校BLS講習会	附属中学校2年生	1	140

施設見学

団体名等
タイ王国からの視察団 46名
長崎大学病院 地域医療構想に関する特別講演会 関係者 4名

【日本救急医学会認定ICLSコース】
院内・県内の医療職を対象として開催。
本院の初期研修医も全員受講している。



【一般職員のためのBLS研修】
本院で勤務する院内職員(医師・看護師を除く)
を対象としたBLS研修を開催。



【長崎大学教育学部附属中学校BLS講習会】
附属中学校からの依頼で開催。指導者として
医療教育開発センター、シミュレーションセン
ターより6名が参加(研修医2名含む)。



(5) シミュレータについて

① 2024年度に購入した物品



リトルアン2.0 QCPR 6体 ライト (2セット・合計12体)

キャスター付きスーツケースに、リトルアン2.0QCPRのマネキンが6体セットになっている。
マネキンはBluetoothに対応、QCPRアプリに接続することで、トレーニングの質を向上させるための客観的なフィードバックを得ることができる。



ハートコードコンプリートBLS (2年レンタル+専用アカウント100名分)

最新のガイドラインAHA 2020をもとに、eラーニングとスキルトレーニングを組み合わせたトレーニングが可能な設置型蘇生トレーニングシステム。
まずは、院内看護師のBLS技術向上・指導者の負担軽減などを目標に導入部署を検討のうえ、2025年度より運用開始。

② 2024年度に更新した物品

- ・電動ベッド用リモコン2台
- ・Simman3G用ベッド

③ 2024年度に修理した物品

- ・フィジコ(右足再圧着)
- ・評価型気道管理シミュレータ(口腔、バンド等)
- ・レサシアンプラス(Link Box交換)

④ シミュレーター一覧

基本トレーニング

 心臓肺臓シミュレーター イタロー	 呼吸器訓練シミュレーター ラング	 呼吸器訓練シミュレーター 小児ラング	 超音波診断ファントム・ 腹部モデル ECHOZY
 超音波診断ファントム・ 上部胸部モデル AECFAN	 臓器内臓器測定 ファントム	 腫瘍シミュレーター	 前立腺腫シミュレーター
 乳腺腫瘍モデル	 眼窩訓練シミュレーター	 耳鼓膜トレーナー	 浮腫腫瘍モデル
 聴診スピーカ 聴くソウ			

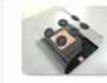
救急トレーニング

 simman 3G	 ASL 5000人工呼吸管理 ソリューション	 ALSシミュレーター用 トランスマシールド	 Resusc Anna
 レザシアン(半身)	 レザシアンQCR	 ソフィアマン	 レザシ ジュニア
 レザシ ジュニア4本	 レザシ ベビー	 レザシ ベビー4本	 レザシ ベビー with QCR
 ALSベビー 200セット	 チャームング チャーリー	 AEDトレーナー2	 AEDトレーナー
 深部腫瘍トレーナー	 デラックス デイフィカルト エアウエイトトレーナー	 ALQSIMエアウェイ トレーニングシステム	 デイフィカルト ニンウェイ マイナーシミュレーションシステム
 アイフェイカルト エアウェイ マイナーシミュレーションモデル	 バスタバスタマスク	 深部腫瘍トレーナー	 レザシアン シミュレーター PLUS
 胸部外傷トレーナー	 CPRスター2		

臨床手技

 乳房トレーナー	 心臓穿刺シミュレーター	 腫瘍・硬膜外穿刺 シミュレーター ルンパールくん	 小児腫瘍・硬膜外穿刺 シミュレーター ガルランパール
 緑内障手技訓練シミュレーター	 緑内障手技トレーニングセット	 糸状口手技トレーナー	 鼻腔・咽頭腔・気管支モデル

専門トレーニング

 結核肺腫シミュレーター	 腫瘍肺腫シミュレーター	 ライブトレーニング BOX	 超音波透過内視鏡 トレーニングモデル
 マーダシミュレーター	 PROCPPT分鏡トレーナー	 肺人科経口経鼻部ファントム	 内視鏡システム
 治療技術訓練 シミュレーター	 Vscan	 Sono Sim	 First Echo

看護技術トレーニング

 フィジカルアセスメントモデル Physiko	 吸引シミュレーター Qちゃん	 導管トレーナー	 経管シミュレーター
--	---	--	--

注射技術トレーニング

 CVC穿刺挿入シミュレーター	 次級血管穿刺 トレーニングモデル	 点滴・採血・静注トレーナー	 即時型注射モデル 既設備
 深部腫瘍シミュレーター シンシヨウ	 小児の手術訓練シミュレーター	 動脈採血シミュレーター	 パーチャルIVシステム
 実用導入中心静脈カテーテル PICCシミュレーター			

(6) キッズセミナーについて

平成21年度から、長崎県の地域医療を支える人材育成の一環として、長崎の小中学生（平成23年度以降は小学生）が夏休み期間中に医師や看護師の話を聞いたり、医療用シミュレーターなどを用いた楽しい医療模擬体験ができるセミナーを開催している。医療に対する興味を深めてもらうとともに、子どもたちが自らの関心を広げ、将来の進路に役立てることを目指している。

■実績

今年度で15回目を迎えたキッズセミナーは、小学6年生31名が参加した。参加者数の累計は626名。

今回、講演を行った研修医は第3回キッズセミナーの参加者であった。

学 年	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	一	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回
	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
小学2年生	1															
小学3年生	1															
小学4年生	3	1														
小学5年生	27	25	24	31	20	25	28	33	台風接近のため中止	13	19	11	23	14		
小学6年生	10	5	23	18	21	25	17	20	台風接近のため中止	36	32	10	12	8	24	31
中学1年生	11	5														
中学2年生	7	4														
中学3年生	5	3														
合 計	65	43	47	49	41	50	45	53	0	49	51	21	35	22	24	31

Zoom開催 Zoom開催 Zoom開催 4年-59 対面開催

累計 626

第15回 長崎大学病院キッズセミナー

開会式



第15回ポスター



看護師・研修医・医師の講演



グループ実習



グループ実習



令和6年度(2024年度) 業績集
長崎大学病院 医療教育開発センター
2025年12月発行